
東 松 山 市

城 敷 遺 跡 Ⅱ

高坂駅東口第二特定土地区画整理事業地内
埋蔵文化財発掘調査報告Ⅲ
(第2分冊)

2 0 1 1

独立行政法人 都市再生機構
財団法人 埼玉県埋蔵文化財調査事業団

目次

巻頭図版

城敷遺跡の紹介

序

例言

凡例

目次

(第1分冊)

I 発掘調査の概要	1
1. 発掘調査に至る経過	1
2. 発掘調査・報告書作成の経過	2
(1) 発掘調査	2
(2) 整理・報告書の作成	2
3. 発掘調査・報告書作成の組織	4
II 遺跡の立地と環境	6
1. 地理的環境	6
2. 歴史的環境	8
III 遺跡の概要	12
1. 銭塚・城敷・反町遺跡群の概要	12
2. 城敷遺跡の概要	16
IV 遺構と遺物	31
1. 竪穴住居跡	31
2. 掘立柱建物跡	219
3. 柱穴跡	238
4. 土壇	238
5. 溝跡	254
6. 大溝跡	266

(第2分冊)

7. その他の遺構と遺物	381
(1) 滑石製品集中地点	381
(2) 水田跡	418
(3) 性格不明遺構	418
(4) グリッドピット	422
(5) グリッド出土・表採遺物	422
V 自然科学分析	437
1. 銭塚・城敷遺跡出土木材の樹種	437
2. 城敷遺跡の自然科学分析	465
(1) 樹種同定	465
(2) 放射性炭素年代測定	473
(3) 大型植物遺体同定	475
(4) 骨同定	483
3. 城敷遺跡における放射性炭素年代	488
VI 調査のまとめ	492
1. 発掘調査の成果	492
2. 初期須恵器について	501
3. 滑石製品の製作について	508
4. 大溝と木製品の出土状況について	509

写真図版

7. その他の遺構と遺物

(1) 滑石製品集中地点

第4号溝跡(大溝跡)第6地点西岸部のE・F-5~11グリッドには、住居跡と掘立柱建物跡が集中している。第4号溝跡第6地点に最も近づいた最西端には、第3号掘立柱建物跡と第11号掘立柱建物跡が位置している。そして、これら2棟の建物の周辺には空地があり、そこから多数の滑石製品類が集中する地点が2ヶ所発見されている(第295図)。

第1号滑石製品集中地点(第296図)

第3号掘立柱建物跡と第11号掘立柱建物跡・第44・45号住居跡の囲まれたE-12グリッドに、滑石製品の集中地点が位置する。北端は調査区域外にまでおよび、範囲は東西約1.5m、南北約3.0mが検出されている。このうち、南側の東西1.0m、南北1.5mの密集度は高い。垂直方向では、約0.1mの範囲に分布している。

出土した滑石製品には、剣形品11点(6~16)・有孔円板11点(17~27)・白玉188点(28~215)と、白玉製作段階の破損品54点(216~269)がある。

剣形品は、大きさ・形状ともに個体差が顕著で、統一性はない。6・8~10には鍔が表現され、8は鍔、6・9・10は片平鍔である。一方、鍔の表現がない7・11~16は扁平なつくりである。7は刃部側面に研磨が施され、断面が切刃形を呈している。

有孔円板には、2孔が穿たれた17~21・26と、中央に1孔が穿孔された22~24・27に大別される。2孔タイプのもは大きさに均一性が見られるが、1孔タイプのものでは個体差が激しい。

白玉は、径・厚さにバラエティーが見られる。特に、厚さにおいては、0.1cm未満のものから0.5cmと、個体差が大きい。その一方で、穿孔された孔径には、大きな差を見出すことができない。孔径は穿孔具に大きく左右されることが推定され、

同工具による穿孔過程も想定することが可能である。

白玉製作段階の破損品のうち、216は穿孔後の研磨途中で製作が放棄された未成品である。両面と側面に研磨痕が残る。217~235は、穿孔後の破損品で、両面もしくは片面に研磨痕がみられる。236~269は穿孔時の破損品で、236~255には形削工程段階に施された側面加工痕が残る。一方、256~269には、側面加工痕が認められない。

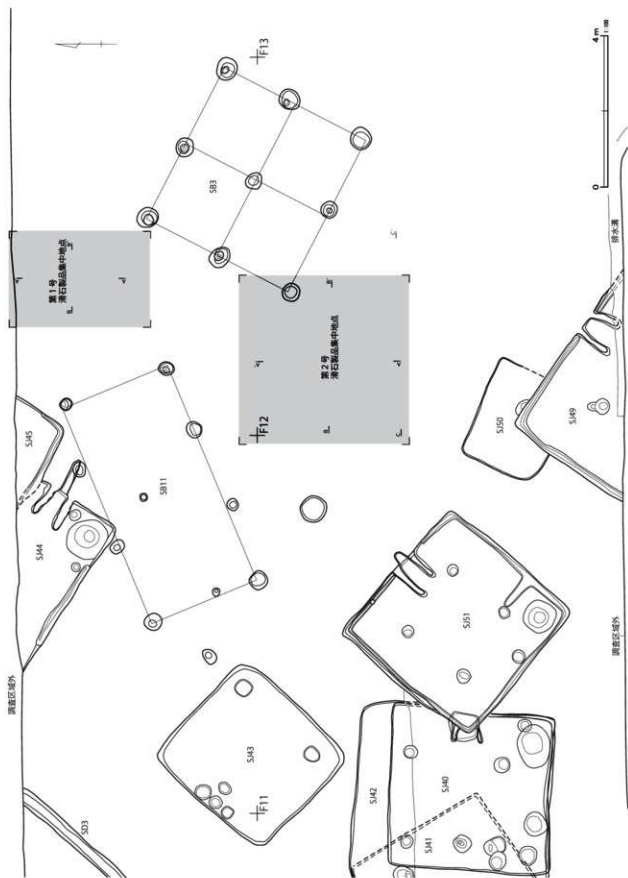
このほかに滑石製品の製作途上の剥片が1,029点出土している(第94表)。残存する大きさ・形状等から、白玉製作工程の形削剥片・切削工程品・切削剥片に分類した。これらの遺物から、白玉製作にかかる工房機能も推定されるが、製作に伴う施設や工具等は発見されていない。また、構築物の痕跡も確認されていないことから、露天での滑石製品製作が想定できるか疑問も残る。

伴出した土器は少ない。赤彩された高環と坏・碗で、供膳具に限定されている。高環は有稜環、坏類は内灣口縁・口縁部が小さく外反する鉢タイプがある。器形の特徴から、銭塚・城敷Ⅲ期に相当するものと推定される。

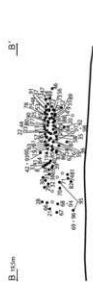
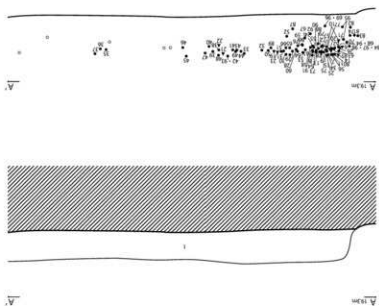
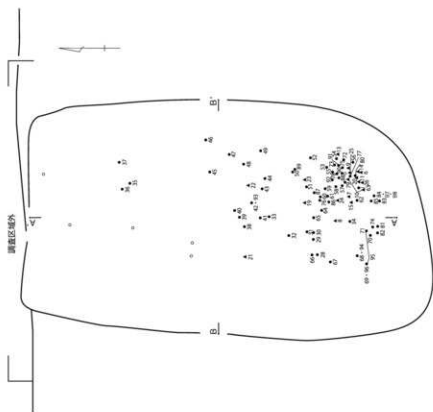
第2号滑石製品集中地点(第300・301図)

北側の第3号掘立柱建物跡・第11号掘立柱建物跡、南側の第51号住居跡・第49・50号住居跡に囲まれたF-12グリッドに、滑石製品の集中地点が位置する。範囲は南北3.8m・東西3.5mにおよび、垂直方向では約0.1mの範囲に分布している。特に、中央部の南北1.5m・東西2.0mの密集度は高く、土器との共存関係が捉えられる。

出土した滑石製品には、紡錘車1点(19)・剣形品28点(20~47)・有孔円板16点(48~63)・白玉158点(64~221)と、白玉製作段階の破損品51点(222~272)がある。



第295図 第1号・2号滑石製品集中地点とその周辺

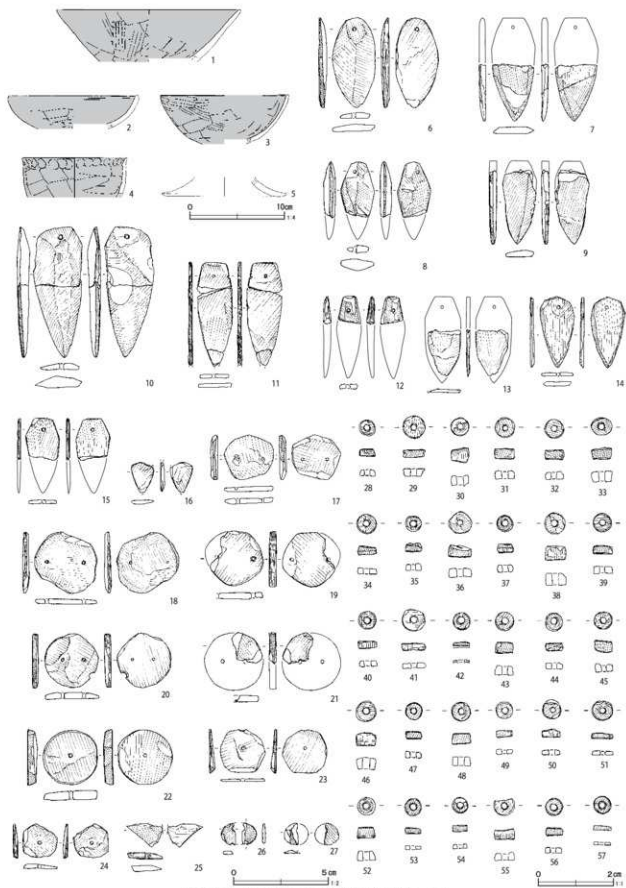


- 白土
- 黒土・腐植土・付孔戸板
- 腐植土以外

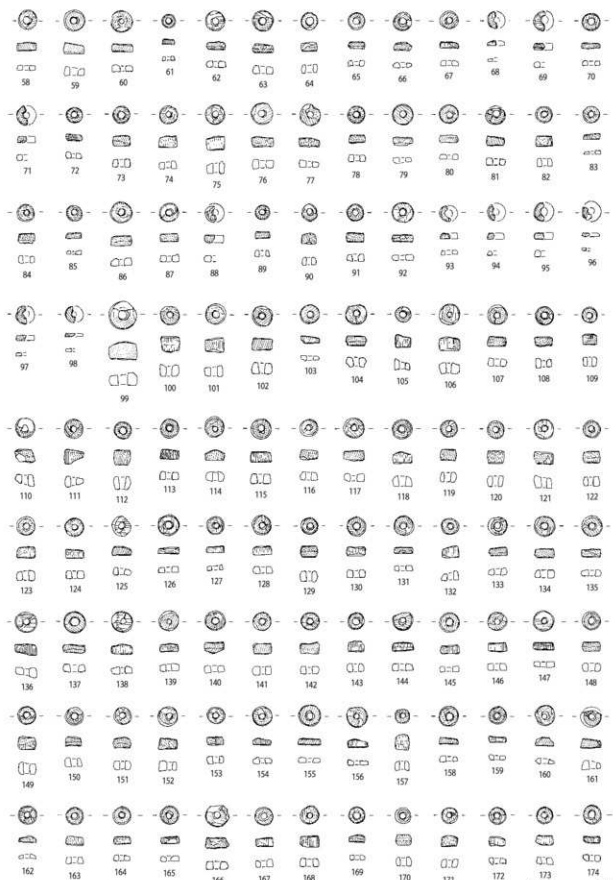
第1号滑石製品集中地点
 1 腐オリーブ樹位上 シルト質 FeO2 たかし小礫中繼 しまり・粘性あり



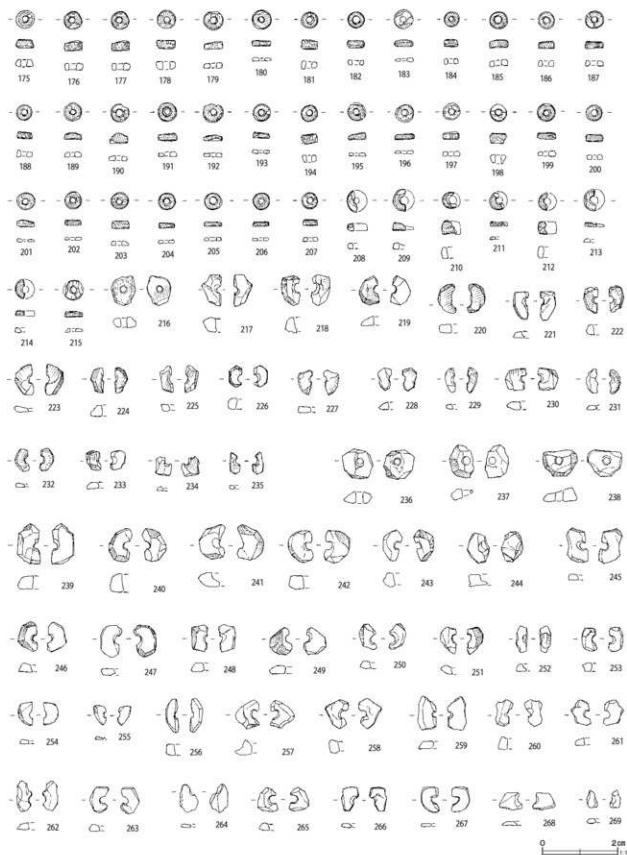
第296図 第1号滑石製品集中地点



第297图 第1号滑石製品集中地点出土遺物(1)



第298图 第1号滑石裂品集中地点出土文物(2)



第299图 第1号滑石製品集中地点出土遺物(3)

第92表 第1号滑石製品集中地点出土遺物観察表 (第297図)

番号	種類	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	出土位置	図版
1	土師器	高环	(19.5)	5.5		A E I J K	10	普通	にぶい相	有稜环 赤彩 南比企産 二次的被熱 E12Gr 玉集中A		
2	土師器	环	(13.6)	3.5		A C E G H I J K	5	普通	にぶい相	内湾口縁 赤彩 南比企産		
3	土師器	环	(13.5)	5.2		A E G H I J	15	普通	にぶい相	内湾口縁 赤彩 南比企産 口縁部に稜付着		
4	土師器	椀	(11.0)	4.2		A C E G H I J K	15	普通	にぶい相	外反口縁外タイプ 赤彩 南比企産		
5	土師器	高环		2.0	(13.3)	A E G H I J L	20以下	普通	にぶい相	脚部部 南比企産 器面風化 赤彩痕不明 玉集中A		

第93表 第1号滑石製品集中地点出土石製品観察表 (第297～299図)

番号	器種	石材	状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	図版
6	劍形	滑石		4.700	2.250	0.400	6.5	No13 先端部割がれ 穿孔あり	152-5
7	劍形	滑石		2.920	2.200	0.310	2.9	No10 上部欠損	153-2
8	劍形	滑石		2.810	1.720	0.580	3.9	No9 下部欠損 穿孔あり	153-1
9	劍形	滑石		3.840	1.690	0.350	3.6	No66 上部欠損 穿孔あり	153-4
10	劍形	滑石		6.900	2.550	0.650	6.9	No77/No57 整理No57と接合	152-6
11	劍形	滑石		5.440	1.780	0.150	3.4	No47 先端部欠損 穿孔あり	152-7
12	劍形	滑石		1.317	1.244	0.368	0.9	下半部欠損 穿孔あり	
13	劍形	滑石		2.370	1.760	0.210	1.4	No42 右下半部以外欠損 先端部欠損	153-5
14	劍形	滑石		3.660	1.710	0.240	2.6	No46	153-6
15	劍形	滑石		2.140	1.800	0.170	1.3	No54 下半部欠損 穿孔あり	153-3
16	劍形	滑石		1.571	1.175	0.207	0.6		
17	有孔円板	滑石		2.580	2.000	0.310	3.5		153-7
18	有孔円板	滑石		3.376	2.758	0.311	5.9		153-8
19	有孔円板	滑石		2.770	2.320	0.360	5.2	No7 右側欠損 穿孔2	153-9
20	有孔円板	滑石		2.810	2.730	0.290	4.4	No12 穿孔2	153-10
21	有孔円板	滑石		1.900	1.320	0.360	1.4	No22 右上部以外欠損 穿孔2	154-1
22	有孔円板	滑石		2.890	2.820	0.480	7.5	No28	153-11
23	有孔円板	滑石		2.320	2.260	0.250	2.1	No37	153-12
24	有孔円板	滑石		1.880	1.660	0.260	1.3	No79	154-2
25	有孔円板?	滑石		1.730	1.170	0.340	0.9	No11 欠損部再加工	154-3
26	無孔円板	滑石		1.150	0.780	0.180	0.3	No40 穿孔無し 右半分欠損	
27	無孔円板	滑石		1.071	0.702	0.153	0.2	穿孔無し	
28	白玉	滑石	完成品	0.430	0.410	0.190	0.0	No1	154-4
29	白玉	滑石	完成品	0.560	0.600	0.210	0.1	No2 左側面欠損	154-4
30	白玉	滑石	完成品	0.460	0.450	0.410	0.1	No3 裏面右側欠損	154-4
31	白玉	滑石	完成品	0.520	0.500	0.290	0.2	No4	154-4
32	白玉	滑石	完成品	0.510	0.050	0.240	0.1	No5	154-4
33	白玉	滑石	完成品	0.520	0.450	0.300	0.1	No6	154-4
34	白玉	滑石	完成品	0.510	0.500	0.240	0.1	No8	154-4
35	白玉	滑石	完成品	0.410	0.400	0.220	0.0	No17	154-4
36	白玉	滑石	完成品	0.580	0.560	0.290	0.1	No18	154-4
37	白玉	滑石	完成品	0.420	0.410	0.240	0.0	No19	154-4
38	白玉	滑石	完成品	0.540	0.520	0.390	0.2	No23	154-4
39	白玉	滑石	完成品	0.480	0.470	0.230	0.1	No24	154-4
40	白玉	滑石	完成品	0.490	0.480	0.190	0.1	No25	154-4
41	白玉	滑石	完成品	0.590	0.560	0.190	0.1	No26	154-4
42	白玉	滑石	完成品	0.450	0.440	0.100	0.0	No27	154-4
43	白玉	滑石	完成品	0.480	0.470	0.300	0.1	No29	154-4
44	白玉	滑石	完成品	0.470	0.450	0.230	0.1	No30 裏面半分欠損	154-4
45	白玉	滑石	完成品	0.460	0.450	0.330	0.1	No31	154-4
46	白玉	滑石	完成品	0.520	0.510	0.330	0.2	No32	154-4
47	白玉	滑石	完成品	0.450	0.430	0.190	0.1	No33 裏面上部欠損	154-4
48	白玉	滑石	完成品	0.500	0.490	0.310	0.1	No34	154-4
49	白玉	滑石	完成品	0.460	0.450	0.180	0.0	No35	154-4
50	白玉	滑石	完成品	0.450	0.410	0.210	0.0	No36 上部欠損	154-4
51	白玉	滑石	完成品	0.550	0.500	0.160	0.0	No38 上部欠損	154-4
52	白玉	滑石	完成品	0.450	0.440	0.300	0.1	No39	154-4
53	白玉	滑石	完成品	0.450	0.440	0.180	0.0	No41	154-4

番号	器種	石材	状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	図版
54	白玉	滑石	完成品	0.400	0.390	0.210	0.1	No43	154-4
55	白玉	滑石	完成品	0.540	0.380	0.290	0.1	No44 上部欠損	154-4
56	白玉	滑石	完成品	0.450	0.440	0.230	0.0	No45	154-4
57	白玉	滑石	完成品	0.470	0.460	0.110	0.0	No49	154-4
58	白玉	滑石	完成品	0.500	0.490	0.180	0.1	No50	154-4
59	白玉	滑石	完成品	0.550	0.540	0.250	0.1	No51 穿孔ミス有	154-4
60	白玉	滑石	完成品	0.550	0.540	0.230	0.1	No52	154-4
61	白玉	滑石	完成品	0.340	0.330	0.160	0.0	No53	154-4
62	白玉	滑石	完成品	0.510	0.500	0.210	0.1	No55	154-4
63	白玉	滑石	完成品	0.530	0.520	0.220	0.1	No56	154-4
64	白玉	滑石	完成品	0.450	0.440	0.230	0.1	No58	154-4
65	白玉	滑石	完成品	0.450	0.430	0.170	0.0	No59 裏面左側欠損	154-4
66	白玉	滑石	完成品	0.460	0.450	0.190	0.0	No60	154-4
67	白玉	滑石	完成品	0.470	0.460	0.140	0.0	No61	154-4
68	白玉	滑石	完成品	0.460	0.230	0.130	0.0	No62 半分欠損	154-4
69	白玉	滑石	完成品	0.510	0.300	0.170	0.0	No63 半分欠損	154-4
70	白玉	滑石	完成品	0.470	0.450	0.140	0.0	No64	154-4
71	白玉	滑石	完成品	0.480	0.250	0.130	0.0	No65 半分欠損	154-4
72	白玉	滑石	完成品	0.410	0.400	0.190	0.0	No67	154-4
73	白玉	滑石	完成品	0.440	0.430	0.260	0.1	No68	154-4
74	白玉	滑石	完成品	0.490	0.480	0.310	0.1	No69	154-4
75	白玉	滑石	完成品	0.500	0.490	0.400	0.1	No70	154-4
76	白玉	滑石	完成品	0.560	0.550	0.290	0.1	No71 裏面上部欠損	154-4
77	白玉	滑石	完成品	0.550	0.530	0.240	0.1	No72 正面上部欠損	154-4
78	白玉	滑石	完成品	0.440	0.430	0.210	0.0	No73 裏面半分欠損	154-4
79	白玉	滑石	完成品	0.560	0.550	0.230	0.1	No74	154-4
80	白玉	滑石	完成品	0.490	0.480	0.210	0.1	No75	154-4
81	白玉	滑石	完成品	0.480	0.420	0.220	0.1	No76	154-4
82	白玉	滑石	完成品	0.430	0.420	0.290	0.1	No78	154-4
83	白玉	滑石	完成品	0.430	0.420	0.170	0.0	No80	154-4
84	白玉	滑石	完成品	0.460	0.450	0.270	0.1	No81	154-4
85	白玉	滑石	完成品	0.420	0.410	0.140	0.0	No82	154-4
86	白玉	滑石	完成品	0.530	0.520	0.270	0.1	No83	154-4
87	白玉	滑石	完成品	0.490	0.480	0.210	0.1	No84	154-4
88	白玉	滑石	完成品	0.430	0.250	0.250	0.0	No85 3/5欠損	154-4
89	白玉	滑石	完成品	0.380	0.370	0.220	0.0	No86 裏面上部欠損	154-4
90	白玉	滑石	完成品	0.430	0.390	0.250	0.1	No87 正面上部欠損	154-4
91	白玉	滑石	完成品	0.440	0.430	0.270	0.1	No88	154-4
92	白玉	滑石	完成品	0.560	0.540	0.170	0.1	No89	154-4
93	白玉	滑石	完成品	0.430	0.240	0.130	0.0	No27 半分欠損	154-4
94	白玉	滑石	完成品	0.420	0.160	0.180	0.0	No62 3/5欠損	154-4
95	白玉	滑石	完成品	0.500	0.250	0.200	0.0	No63/No65 半分欠損 整理No95と接合	154-4
96	白玉	滑石	完成品	0.330	0.160	0.110	0.0	No63 3/4欠損	154-4
97	白玉	滑石	完成品	0.470	0.290	0.170	0.0	No81 半分欠損	154-4
98	白玉	滑石	完成品	0.430	0.230	0.080	0.0	No81 半分欠損	154-4
99	白玉	滑石	完成品	0.720	0.714	0.482	0.3	正面上部欠損	154-4
100	白玉	滑石	完成品	0.520	0.500	0.403	0.2		154-4
101	白玉	滑石	完成品	0.558	0.554	0.372	0.2		154-4
102	白玉	滑石	完成品	0.567	0.523	0.330	0.2	正面上部欠損	154-4
103	白玉	滑石	完成品	0.542	0.525	0.191	0.1		154-4
104	白玉	滑石	完成品	0.559	0.554	0.267	0.1		154-4
105	白玉	滑石	完成品	0.442	0.439	0.314	0.1		154-4
106	白玉	滑石	完成品	0.543	0.528	0.330	0.1		154-4
107	白玉	滑石	完成品	0.522	0.502	0.282	0.1		154-4
108	白玉	滑石	完成品	0.508	0.500	0.253	0.1		154-4
109	白玉	滑石	完成品	0.417	0.412	0.276	0.0		154-4
110	白玉	滑石	完成品	0.538	0.508	0.314	0.1		154-4

番号	器種	石材	状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	図版
111	白玉	滑石	完成品	0.512	0.505	0.349	0.1		154-4
112	白玉	滑石	完成品	0.459	0.451	0.411	0.1		154-4
113	白玉	滑石	完成品	0.503	0.502	0.262	0.1		154-4
114	白玉	滑石	完成品	0.586	0.538	0.298	0.1		154-4
115	白玉	滑石	完成品	0.534	0.531	0.302	0.1		154-4
116	白玉	滑石	完成品	0.481	0.467	0.288	0.1		154-4
117	白玉	滑石	完成品	0.544	0.542	0.249	0.1		154-4
118	白玉	滑石	完成品	0.532	0.526	0.299	0.1		154-4
119	白玉	滑石	完成品	0.455	0.451	0.303	0.1		154-4
120	白玉	滑石	完成品	0.462	0.455	0.342	0.1		154-4
121	白玉	滑石	完成品	0.539	0.538	0.359	0.1		154-4
122	白玉	滑石	完成品	0.467	0.463	0.371	0.1		154-4
123	白玉	滑石	完成品	0.493	0.488	0.303	0.1		154-4
124	白玉	滑石	完成品	0.482	0.473	0.256	0.1		154-4
125	白玉	滑石	完成品	0.497	0.460	0.232	0.0		154-4
126	白玉	滑石	完成品	0.569	0.549	0.197	0.1		154-4
127	白玉	滑石	完成品	0.475	0.471	0.194	0.0		154-4
128	白玉	滑石	完成品	0.499	0.477	0.222	0.1		154-4
129	白玉	滑石	完成品	0.448	0.444	0.326	0.1		154-4
130	白玉	滑石	完成品	0.503	0.501	0.291	0.1		154-4
131	白玉	滑石	完成品	0.525	0.523	0.176	0.1		154-4
132	白玉	滑石	完成品	0.461	0.458	0.329	0.1		154-4
133	白玉	滑石	完成品	0.511	0.508	0.224	0.1		154-4
134	白玉	滑石	完成品	0.541	0.520	0.255	0.1		154-4
135	白玉	滑石	完成品	0.535	0.532	0.220	0.1		154-4
136	白玉	滑石	完成品	0.559	0.521	0.307	0.1	上部欠損	154-4
137	白玉	滑石	完成品	0.583	0.569	0.187	0.1		154-4
138	白玉	滑石	完成品	0.567	0.549	0.275	0.1		154-4
139	白玉	滑石	完成品	0.522	0.519	0.222	0.1		154-4
140	白玉	滑石	完成品	0.526	0.507	0.262	0.1		154-4
141	白玉	滑石	完成品	0.491	0.481	0.287	0.1		154-4
142	白玉	滑石	完成品	0.496	0.495	0.271	0.1		154-4
143	白玉	滑石	完成品	0.458	0.435	0.315	0.0	左側面欠損	154-4
144	白玉	滑石	完成品	0.539	0.473	0.237	0.1		154-4
145	白玉	滑石	完成品	0.518	0.511	0.246	0.1		154-4
146	白玉	滑石	完成品	0.506	0.485	0.231	0.1		154-4
147	白玉	滑石	完成品	0.578	0.525	0.189	0.1		154-4
148	白玉	滑石	完成品	0.486	0.468	0.239	0.1		154-4
149	白玉	滑石	完成品	0.462	0.461	0.341	0.1		154-4
150	白玉	滑石	完成品	0.460	0.451	0.263	0.0		154-4
151	白玉	滑石	完成品	0.470	0.464	0.318	0.1		154-4
152	白玉	滑石	完成品	0.515	0.513	0.287	0.1		154-4
153	白玉	滑石	完成品	0.451	0.450	0.243	0.1		154-4
154	白玉	滑石	完成品	0.510	0.506	0.196	0.1		154-4
155	白玉	滑石	完成品	0.598	0.589	0.187	0.1		154-4
156	白玉	滑石	完成品	0.555	0.553	0.156	0.1		154-4
157	白玉	滑石	完成品	0.406	0.397	0.370	0.1		154-4
158	白玉	滑石	完成品	0.535	0.533	0.184	0.1		154-4
159	白玉	滑石	完成品	0.456	0.454	0.152	0.0		154-4
160	白玉	滑石	完成品	0.563	0.535	0.246	0.1		154-4
161	白玉	滑石	完成品	0.507	0.450	0.282	0.1	上部欠損	154-4
162	白玉	滑石	完成品	0.483	0.466	0.146	0.0		154-4
163	白玉	滑石	完成品	0.456	0.451	0.233	0.1		154-4
164	白玉	滑石	完成品	0.475	0.468	0.200	0.0		154-4
165	白玉	滑石	完成品	0.478	0.477	0.204	0.1		154-4
166	白玉	滑石	完成品	0.602	0.578	0.258	0.1	裏面一部欠損	154-4
167	白玉	滑石	完成品	0.461	0.457	0.238	0.1		154-4

番号	器種	石材	状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	図版
168	白玉	滑石	完成品	0.490	0.489	0.273	0.1		154-4
169	白玉	滑石	完成品	0.439	0.434	0.179	0.0		154-4
170	白玉	滑石	完成品	0.413	0.410	0.277	0.0		154-4
171	白玉	滑石	完成品	0.434	0.429	0.306	0.1		154-4
172	白玉	滑石	完成品	0.454	0.427	0.259	0.0		154-4
173	白玉	滑石	完成品	0.458	0.448	0.261	0.1		154-4
174	白玉	滑石	完成品	0.483	0.476	0.203	0.0		154-4
175	白玉	滑石	完成品	0.478	0.476	0.221	0.0		154-4
176	白玉	滑石	完成品	0.480	0.477	0.253	0.1		154-4
177	白玉	滑石	完成品	0.462	0.458	0.283	0.1		154-4
178	白玉	滑石	完成品	0.491	0.488	0.232	0.1		154-4
179	白玉	滑石	完成品	0.525	0.511	0.192	0.1		154-4
180	白玉	滑石	完成品	0.500	0.499	0.173	0.0		154-4
181	白玉	滑石	完成品	0.418	0.412	0.271	0.0		154-4
182	白玉	滑石	完成品	0.433	0.426	0.199	0.0		154-4
183	白玉	滑石	完成品	0.521	0.501	0.191	0.0		154-4
184	白玉	滑石	完成品	0.386	0.381	0.181	0.0		154-4
185	白玉	滑石	完成品	0.466	0.438	0.196	0.0		154-4
186	白玉	滑石	完成品	0.434	0.428	0.192	0.0		154-4
187	白玉	滑石	完成品	0.492	0.479	0.190	0.0		154-4
188	白玉	滑石	完成品	0.423	0.414	0.200	0.1		154-4
189	白玉	滑石	完成品	0.476	0.452	0.220	0.0		154-4
190	白玉	滑石	完成品	0.458	0.454	0.274	0.1		154-4
191	白玉	滑石	完成品	0.488	0.484	0.174	0.1		154-4
192	白玉	滑石	完成品	0.523	0.460	0.163	0.0		154-4
193	白玉	滑石	完成品	0.469	0.477	0.134	0.0		154-4
194	白玉	滑石	完成品	0.472	0.453	0.205	0.0	裏面半分欠損	154-4
195	白玉	滑石	完成品	0.478	0.446	0.184	0.0	上部欠損	154-4
196	白玉	滑石	完成品	0.466	0.465	0.172	0.0		154-4
197	白玉	滑石	完成品	0.453	0.446	0.216	0.0		154-4
198	白玉	滑石	完成品	0.458	0.449	0.268	0.0	正面上部欠損	154-4
199	白玉	滑石	完成品	0.472	0.453	0.185	0.0		154-4
200	白玉	滑石	完成品	0.422	0.417	0.191	0.0		154-4
201	白玉	滑石	完成品	0.474	0.466	0.191	0.1		154-4
202	白玉	滑石	完成品	0.443	0.439	0.146	0.1		154-4
203	白玉	滑石	完成品	0.459	0.453	0.196	0.1		154-4
204	白玉	滑石	完成品	0.455	0.452	0.168	0.1		154-4
205	白玉	滑石	完成品	0.445	0.442	0.125	0.0		154-4
206	白玉	滑石	完成品	0.442	0.441	0.131	0.0		154-4
207	白玉	滑石	完成品	0.412	0.407	0.175	0.1		154-4
208	白玉	滑石	完成品	0.551	0.245	0.193	0.0	半分欠損	154-4
209	白玉	滑石	完成品	0.565	0.374	0.182	0.0	半分欠損	154-4
210	白玉	滑石	完成品	0.454	0.327	0.334	0.0	半分欠損	154-4
211	白玉	滑石	完成品	0.448	0.320	0.116	0.0	2/5欠損	154-4
212	白玉	滑石	完成品	0.417	0.194	0.351	0.0	半分欠損	154-4
213	白玉	滑石	完成品	0.572	0.311	0.134	0.0	半分欠損	154-4
214	白玉	滑石	完成品	0.514	0.249	0.143	0.0	半分欠損	154-4
215	白玉	滑石	完成品	0.226	0.225	0.140	0.0		154-4
216	白玉	滑石	未完成	0.764	0.623	0.404	0.2		154-4
217	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.842	0.488	0.358	0.3		154-4
218	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.767	0.433	0.429	0.2		154-4
219	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.753	0.530	0.306	0.2		154-4
220	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.763	0.334	0.233	0.2		154-4
221	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.733	0.428	0.167	0.0		154-4
222	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.736	0.418	0.261	0.1		154-4
223	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.824	0.489	0.157	0.1		154-4
224	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.642	0.334	0.289	0.1		154-4

番号	器種	石材	状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	図版
225	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.681	0.322	0.313	0.1		154-4
226	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.553	0.336	0.348	0.1		154-4
227	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.599	0.390	0.173	0.0		154-4
228	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.570	0.351	0.222	0.0		154-4
229	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.633	0.236	0.084	0.0		154-4
230	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.598	0.534	0.232	0.1		154-4
231	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.639	0.245	0.141	0.0		154-4
232	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.594	0.366	0.125	0.0		154-4
233	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.507	0.373	0.184	0.1		154-4
234	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.456	0.401	0.137	0.0		154-4
235	白玉	滑石	穿孔後破損品	0.566	0.289	0.116	0.0		154-4
236	白玉	滑石	穿孔工程品	0.800	0.756	0.322	0.3		154-4
237	白玉	滑石	穿孔工程品	0.893	0.618	0.328	0.2		154-4
238	白玉	滑石	穿孔工程品	0.862	0.682	0.435	0.3		154-4
239	白玉	滑石	穿孔時破損品	1.063	0.600	0.331	0.3		154-4
240	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.958	0.597	0.503	0.3		154-4
241	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.852	0.694	0.326	0.3		154-4
242	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.860	0.636	0.351	0.3		154-4
243	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.848	0.488	0.396	0.2		154-4
244	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.803	0.561	0.333	0.2		154-4
245	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.871	0.544	0.167	0.1		154-4
246	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.717	0.506	0.191	0.1		154-4
247	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.824	0.508	0.171	0.1		154-4
248	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.691	0.404	0.233	0.1		154-4
249	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.720	0.582	0.265	0.1		154-4
250	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.677	0.433	0.214	0.1		154-4
251	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.712	0.425	0.207	0.0		154-4
252	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.693	0.294	0.177	0.0		154-4
253	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.628	0.359	0.245	0.1		154-4
254	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.626	0.392	0.171	0.0		154-4
255	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.553	0.334	0.105	0.0		154-4
256	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.816	0.275	0.311	0.1		154-4
257	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.762	0.651	0.409	0.2		154-4
258	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.699	0.636	0.342	0.1		154-4
259	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.877	0.482	0.181	0.1		154-4
260	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.763	0.448	0.309	0.1		154-4
261	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.681	0.452	0.150	0.1		154-4
262	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.827	0.403	0.201	0.1		154-4
263	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.672	0.460	0.207	0.1		154-4
264	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.709	0.458	0.103	0.0		154-4
265	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.660	0.532	0.228	0.1		154-4
266	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.676	0.449	0.118	0.0		154-4
267	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.703	0.462	0.108	0.0		154-4
268	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.551	0.466	0.129	0.0		154-4
269	白玉	滑石	穿孔時破損品	0.460	0.284	0.155	0.0		154-4

第94表 第1号滑石製品集中地点出土滑石刺片一覽表

番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
20	形刺刺片	2.520	1.440	0.370	1.6	№20	276	形刺刺片	0.518	0.360	0.084	0.0	
21	形刺刺片	1.610	1.080	0.420	1.1	№21	301	形刺刺片	1.414	1.037	0.254	0.4	
48	形刺刺片	1.760	1.000	0.450	0.9	№48	302	形刺刺片	1.533	0.810	0.217	0.4	
218	形刺刺片	0.772	0.434	0.304	0.1		303	形刺刺片	1.053	0.985	0.262	0.3	
231	切刺刺片	0.545	0.515	0.252	0.0		304	形刺刺片	1.006	0.542	0.338	0.3	
244	切刺工程品	0.707	0.403	0.208	0.1		305	形刺刺片	0.790	0.543	0.477	0.3	
273	切刺刺片	0.631	0.375	0.077	0.0		306	切刺工程品	1.672	0.387	0.416	0.5	
275	切刺刺片	0.648	0.371	0.133	0.0		307	形刺刺片	1.129	0.571	0.191	0.2	

序号	窑种/状态	长 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	序号	窑种/状态	长 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
308	切削工程品	0.777	0.598	0.254	0.2		376	形割薄片	0.886	0.666	0.183	0.1	
310	形割薄片	0.860	0.731	0.317	0.3		377	形割薄片	0.675	0.488	0.096	0.1	
311	形割薄片	0.995	0.866	0.264	0.3		378	形割薄片	1.066	0.458	0.129	0.1	
312	形割薄片	0.810	0.690	0.222	0.2		379	形割薄片	0.926	0.566	0.131	0.1	
313	形割薄片	1.177	0.777	0.257	0.3		380	形割薄片	0.677	0.605	0.226	0.1	
314	形割薄片	0.889	0.586	0.245	0.2		381	形割薄片	1.023	0.455	0.273	0.1	
315	形割薄片	0.884	0.681	0.221	0.2		382	切削薄片	0.764	0.610	0.125	0.0	
316	形割薄片	0.810	0.466	0.431	0.2		383	形割薄片	0.741	0.523	0.194	0.1	
318	形割薄片	0.848	0.632	0.282	0.2		384	形割薄片	0.915	0.439	0.198	0.1	
319	形割薄片	0.962	0.557	0.363	0.2		385	形割薄片	0.978	0.463	0.347	0.2	
320	形割薄片	0.653	0.599	0.192	0.1		386	形割薄片	0.800	0.723	0.151	0.1	
321	形割薄片	1.116	0.340	0.216	0.1		387	形割薄片	0.726	0.557	0.178	0.1	
322	形割薄片	0.613	0.599	0.169	0.1		389	形割薄片	0.896	0.495	0.216	0.1	
323	形割薄片	0.805	0.484	0.211	0.1		390	形割薄片	0.678	0.635	0.155	0.1	
324	形割薄片	0.806	0.472	0.315	0.1		391	形割薄片	0.899	0.596	0.293	0.2	
325	形割薄片	0.822	0.347	0.333	0.1		392	形割薄片	0.637	0.513	0.140	0.0	
326	形割薄片	0.876	0.516	0.198	0.1		393	形割薄片	0.803	0.657	0.255	0.2	
327	形割薄片	0.873	0.228	0.214	0.1		394	形割薄片	0.729	0.523	0.150	0.1	
328	形割薄片	0.627	0.418	0.291	0.1		395	形割薄片	0.945	0.469	0.191	0.1	
329	形割薄片	0.658	0.540	0.250	0.1		397	形割薄片	0.725	0.398	0.179	0.1	
331	形割薄片	0.803	0.524	0.233	0.2		398	切削薄片	0.549	0.544	0.141	0.0	
332	形割薄片	1.356	0.755	0.448	0.6		400	形割薄片	0.731	0.357	0.168	0.1	
334	形割薄片	1.905	0.705	0.536	0.7		401	形割薄片	0.712	0.666	0.158	0.1	
335	形割薄片	1.103	0.846	0.308	0.6		402	形割薄片	0.712	0.553	0.142	0.1	
336	形割薄片	1.244	0.949	0.184	0.3		404	形割薄片	0.694	0.549	0.267	0.1	
340	形割薄片	0.942	0.832	0.167	0.2		405	切削薄片	0.516	0.495	0.171	0.0	
341	形割薄片	1.185	0.817	0.280	0.3		406	形割薄片	0.916	0.378	0.240	0.1	
342	形割薄片	1.655	0.492	0.163	0.3		407	形割薄片	0.587	0.580	0.211	0.1	
343	形割薄片	0.921	0.512	0.339	0.2		408	形割薄片	0.766	0.433	0.188	0.1	
345	形割薄片	1.511	0.912	0.258	0.4		409	切削薄片	0.587	0.516	0.215	0.0	
346	切削工程品	0.715	0.688	0.197	0.2		410	形割薄片	0.665	0.657	0.176	0.1	
347	形割薄片	1.173	0.519	0.414	0.3		411	切削薄片	0.781	0.523	0.090	0.0	
348	形割薄片	1.415	0.575	0.297	0.3		412	切削薄片	0.737	0.431	0.355	0.0	
349	形割薄片	0.758	0.612	0.343	0.2		413	切削薄片	0.684	0.522	0.072	0.0	
350	形割薄片	1.160	0.621	0.207	0.2		417	形割薄片	0.772	0.492	0.173	0.1	
351	形割薄片	1.153	0.581	0.133	0.1		418	切削薄片	0.750	0.411	0.170	0.0	
352	形割薄片	0.956	0.578	0.346	0.3		419	切削薄片	0.671	0.342	0.201	0.0	
353	形割薄片	1.250	0.594	0.197	0.2		420	形割薄片	0.798	0.333	0.236	0.1	
354	形割薄片	0.747	0.691	0.250	0.2		421	形割薄片	0.880	0.645	0.313	0.3	
356	形割薄片	0.962	0.782	0.292	0.2		422	形割薄片	0.706	0.668	0.272	0.2	
357	形割薄片	0.846	0.684	0.189	0.2		423	形割薄片	1.166	0.371	0.130	0.1	
358	形割薄片	0.717	0.707	0.243	0.2		424	切削薄片	0.639	0.434	0.215	0.0	
359	形割薄片	0.855	0.834	0.320	0.3		425	切削工程品	0.706	0.699	0.177	0.1	
360	形割薄片	0.971	0.538	0.241	0.2		427	切削薄片	0.664	0.452	0.152	0.0	
361	形割薄片	0.829	0.524	0.276	0.2		428	切削工程品	0.737	0.625	0.344	0.2	
362	切削工程品	0.799	0.637	0.230	0.2		429	切削薄片	0.688	0.454	0.113	0.0	
363	形割薄片	1.136	0.495	0.370	0.2		430	切削薄片	0.777	0.494	0.146	0.0	
364	形割薄片	1.056	0.603	0.252	0.3		431	切削薄片	0.874	0.576	0.108	0.0	
365	形割薄片	1.150	0.766	0.304	0.4		432	切削薄片	0.820	0.389	0.118	0.0	
367	形割薄片	1.510	0.787	0.278	0.4		433	切削薄片	0.587	0.481	0.204	0.0	
368	形割薄片	1.077	0.792	0.178	0.2		434	形割薄片	0.632	0.388	0.221	0.1	
370	形割薄片	0.863	0.655	0.164	0.1		435	切削薄片	0.568	0.534	0.216	0.0	
371	形割薄片	0.788	0.551	0.159	0.1		436	形割薄片	0.786	0.511	0.183	0.1	
372	形割薄片	1.107	0.587	0.185	0.2		437	形割薄片	0.806	0.677	0.237	0.1	
373	切削薄片	0.673	0.414	0.185	0.0		439	切削薄片	0.610	0.389	0.284	0.0	
374	形割薄片	0.762	0.582	0.277	0.1		440	形割薄片	0.704	0.257	0.268	0.1	
375	形割薄片	0.683	0.622	0.251	0.1		441	形割薄片	0.789	0.547	0.203	0.1	

番号	器械 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	番号	器械 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
442	切削剥片	0.652	0.411	0.152	0.0		506	形割剥片	0.760	0.464	0.202	0.1	
443	形割剥片	0.561	0.529	0.161	0.1		507	切削剥片	0.803	0.419	0.241	0.0	
445	切削剥片	0.643	0.419	0.213	0.0		509	形割剥片	0.896	0.565	0.267	0.2	
446	切削剥片	0.546	0.429	0.139	0.0		510	切削剥片	0.670	0.625	0.306	0.2	
447	切削剥片	0.574	0.501	0.090	0.0		511	形割剥片	1.160	0.558	0.245	0.2	
448	切削剥片	0.511	0.448	0.141	0.0		513	切削剥片	0.611	0.402	0.200	0.0	
449	切削剥片	0.590	0.434	0.124	0.0		514	形割剥片	1.145	0.720	0.234	0.3	
450	切削剥片	0.598	0.455	0.185	0.0		515	切削剥片	0.684	0.608	0.128	0.0	
451	切削剥片	0.636	0.627	0.118	0.0		516	形割剥片	0.684	0.523	0.153	0.1	
453	切削剥片	0.529	0.341	0.162	0.0		517	切削剥片	0.771	0.466	0.193	0.1	
454	形割剥片	1.108	0.855	0.227	0.3		518	形割剥片	0.616	0.543	0.155	0.1	
455	形割剥片	0.992	0.845	0.218	0.2		519	形割剥片	1.293	0.637	0.334	0.4	
456	切削剥片	0.661	0.346	0.175	0.0		520	形割剥片	0.937	0.731	0.305	0.2	
457	切削剥片	0.518	0.335	0.176	0.0		521	切削剥片	0.577	0.466	0.114	0.0	
458	切削剥片	0.759	0.307	0.113	0.0		522	切削剥片	0.584	0.500	0.127	0.0	
459	切削剥片	0.528	0.498	0.128	0.0		523	形割剥片	1.220	0.962	0.407	0.5	
460	切削剥片	1.056	0.419	0.107	0.0		524	形割剥片	1.123	0.701	0.214	0.2	
461	切削剥片	0.594	0.422	0.216	0.0		525	形割剥片	1.336	0.834	0.287	0.3	
462	切削剥片	0.949	0.224	0.130	0.0		526	切削剥片	0.755	0.745	0.240	0.2	
463	切削剥片	0.603	0.422	0.161	0.0		527	形割剥片	2.270	0.951	0.447	0.8	
464	形割剥片	0.636	0.369	0.214	0.1		528	形割剥片	1.700	0.664	0.330	0.4	
465	切削剥片	0.409	0.390	0.089	0.0		530	形割剥片	1.293	0.960	0.280	0.5	
466	切削剥片	0.599	0.430	0.170	0.0		531	形割剥片	1.443	0.727	0.249	0.4	
467	切削剥片	0.556	0.422	0.190	0.0		533	形割剥片	1.007	0.604	0.206	0.2	
468	切削剥片	0.603	0.313	0.175	0.0		534	形割剥片	1.153	0.822	0.209	0.3	
469	形割剥片	1.362	0.699	0.292	0.3		535	形割剥片	1.475	0.675	0.307	0.4	
470	切削剥片	0.662	0.314	0.139	0.0		536	形割剥片	1.131	0.440	0.214	0.1	
471	切削剥片	0.521	0.298	0.149	0.0		538	形割剥片	0.961	0.427	0.296	0.2	
472	切削剥片	0.638	0.296	0.276	0.0		539	形割剥片	1.321	0.781	0.244	0.4	
473	形割剥片	0.926	0.851	0.264	0.3		541	形割剥片	1.238	0.574	0.269	0.3	
474	切削剥片	0.462	0.341	0.214	0.0		542	形割剥片	1.111	0.671	0.176	0.2	
475	形割剥片	1.178	0.567	0.251	0.2		543	形割剥片	0.993	0.703	0.147	0.1	
477	切削剥片	0.699	0.564	0.228	0.1		544	形割剥片	0.863	0.564	0.158	0.1	
478	形割剥片	0.840	0.257	0.246	0.1		546	形割剥片	1.077	0.668	0.177	0.1	
480	形割剥片	1.230	0.613	0.231	0.2		547	形割剥片	0.856	0.643	0.177	0.1	
481	形割剥片	0.873	0.573	0.279	0.2		549	切削剥片	0.687	0.602	0.194	0.0	
482	形割剥片	1.208	0.339	0.146	0.1		550	滑石剥片	1.680	0.822	0.338	0.5	
484	形割剥片	0.999	0.503	0.261	0.1		551	切削剥片	1.005	0.930	0.438	0.5	
485	切削剥片	0.694	0.575	0.171	0.1		553	形割剥片	0.796	0.594	0.280	0.2	
486	切削剥片	0.763	0.502	0.105	0.0		555	形割剥片	0.858	0.527	0.243	0.1	
487	切削剥片	0.722	0.352	0.237	0.0		557	形割剥片	0.945	0.529	0.153	0.1	
488	切削剥片	0.573	0.488	0.109	0.0		558	形割剥片	1.065	0.538	0.286	0.2	
489	形割剥片	0.984	0.601	0.237	0.2		559	形割剥片	0.914	0.566	0.216	0.1	
491	形割剥片	1.004	0.444	0.167	0.1		560	切削剥片	0.627	0.552	0.150	0.1	
493	形割剥片	0.846	0.661	0.255	0.2		561	形割剥片	0.674	0.551	0.260	0.1	
494	形割剥片	0.822	0.777	0.153	0.1		562	切削剥片	0.596	0.302	0.192	0.0	
495	形割剥片	0.840	0.678	0.217	0.2		563	切削剥片	0.806	0.415	0.212	0.0	
496	形割剥片	0.698	0.692	0.329	0.2		565	形割剥片	0.719	0.545	0.193	0.1	
497	形割剥片	0.879	0.616	0.235	0.2		566	切削剥片	0.617	0.480	0.144	0.0	
498	形割剥片	0.995	0.532	0.135	0.1		568	形割剥片	2.217	1.352	0.620	2.5	
499	形割剥片	1.357	0.449	0.182	0.1		570	形割剥片	1.662	0.790	0.328	0.4	
500	形割剥片	0.700	0.624	0.120	0.0		572	形割剥片	1.087	0.751	0.414	0.5	
501	形割剥片	0.890	0.618	0.215	0.2		573	形割剥片	1.033	0.978	0.203	0.3	
502	形割剥片	0.672	0.346	0.246	0.1		574	形割剥片	1.329	0.571	0.303	0.4	
503	形割剥片	1.430	0.739	0.198	0.2		576	形割剥片	1.034	0.732	0.284	0.3	
504	切削剥片	0.765	0.303	0.179	0.0		577	形割剥片	0.983	0.935	0.185	0.3	
505	形割剥片	0.700	0.489	0.150	0.1		579	形割剥片	1.079	0.522	0.177	0.2	

番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
580	形割剥片	0.856	0.632	0.251	0.2		651	切削剥片	0.833	0.349	0.200	0.0	
581	形割剥片	0.803	0.652	0.190	0.1		652	切削剥片	0.604	0.437	0.217	0.0	
582	形割剥片	1.040	0.792	0.200	0.3		653	切削剥片	0.702	0.325	0.193	0.0	
583	形割剥片	1.166	0.716	0.223	0.3		654	形割剥片	1.000	0.643	0.345	0.3	
584	形割剥片	1.366	0.772	0.201	0.3		655	形割剥片	0.793	0.663	0.128	0.1	
586	切削工程品	0.846	0.743	0.265	0.3		656	形割剥片	0.781	0.650	0.150	0.1	
587	形割剥片	1.172	0.585	0.285	0.2		657	切削剥片	0.639	0.403	0.143	0.0	
588	形割剥片	0.977	0.631	0.260	0.2		658	形割剥片	0.826	0.690	0.337	0.2	
589	形割剥片	0.815	0.572	0.267	0.2		659	切削剥片	0.586	0.452	0.151	0.0	
590	形割剥片	1.003	0.466	0.247	0.2		660	形割剥片	0.567	0.402	0.267	0.1	
591	切削工程品	0.693	0.639	0.308	0.2		662	切削剥片	0.612	0.329	0.189	0.0	
592	形割剥片	0.921	0.617	0.198	0.2		663	切削剥片	0.700	0.378	0.210	0.0	
593	形割剥片	1.016	0.684	0.092	0.1		664	切削剥片	0.601	0.460	0.150	0.0	
594	形割剥片	1.053	0.554	0.192	0.2		665	形割剥片	0.860	0.463	0.241	0.1	
595	形割剥片	0.800	0.622	0.234	0.2		666	形割剥片	1.062	0.686	0.278	0.2	
596	形割剥片	0.881	0.443	0.231	0.1		667	形割剥片	0.717	0.537	0.226	0.1	
597	形割剥片	0.773	0.577	0.138	0.1		668	形割剥片	0.839	0.450	0.236	0.1	
598	形割剥片	0.819	0.582	0.219	0.1		669	切削剥片	0.639	0.382	0.192	0.0	
600	形割剥片	0.691	0.461	0.226	0.2		671	切削剥片	0.598	0.351	0.141	0.0	
601	形割剥片	0.727	0.669	0.162	0.2		672	切削剥片	0.556	0.273	0.140	0.0	
602	形割剥片	0.790	0.625	0.138	0.1		674	形割剥片	1.297	0.684	0.238	0.2	
603	切削工程品	0.655	0.475	0.295	0.2		675	形割剥片	1.071	0.686	0.215	0.2	
606	形割剥片	0.916	0.431	0.208	0.1		676	形割剥片	0.741	0.641	0.125	0.1	
607	切削剥片	0.557	0.500	0.188	0.0		677	切削剥片	0.746	0.514	0.123	0.0	
608	形割剥片	0.789	0.499	0.187	0.1		678	切削剥片	0.710	0.415	0.116	0.0	
609	形割剥片	0.929	0.463	0.204	0.1		679	切削剥片	0.629	0.309	0.092	0.0	
610	形割剥片	0.869	0.455	0.203	0.1		680	切削剥片	0.502	0.462	0.151	0.0	
612	切削工程品	0.649	0.556	0.247	0.2		681	切削剥片	0.605	0.455	0.118	0.0	
614	形割剥片	0.689	0.475	0.220	0.1		682	形割剥片	1.097	0.691	0.361	0.3	
615	形割剥片	0.727	0.529	0.152	0.1		683	切削剥片	0.371	0.365	0.074	0.0	
619	形割剥片	1.123	0.835	0.206	0.3		685	切削剥片	0.704	0.450	0.175	0.0	
620	形割剥片	1.061	0.557	0.264	0.3		686	形割剥片	0.941	0.394	0.198	0.1	
622	形割剥片	0.757	0.613	0.209	0.1		687	切削剥片	0.692	0.409	0.166	0.0	
623	形割剥片	0.714	0.404	0.198	0.1		688	形割剥片	1.754	1.191	0.528	1.5	
624	形割剥片	0.773	0.578	0.134	0.1		689	形割剥片	2.284	0.600	0.373	0.5	
627	形割剥片	0.882	0.590	0.168	0.1		690	形割剥片	2.376	0.926	0.279	0.7	
628	切削剥片	0.686	0.462	0.166	0.0		693	形割剥片	1.369	0.656	0.541	0.5	
629	形割剥片	0.786	0.590	0.180	0.1		697	形割剥片	1.441	0.430	0.292	0.2	
630	形割剥片	0.674	0.350	0.264	0.1		699	切削剥片	0.644	0.403	0.143	0.0	
631	形割剥片	0.676	0.653	0.216	0.1		700	切削剥片	0.494	0.391	0.205	0.0	
632	切削剥片	0.656	0.524	0.105	0.0		701	形割剥片	1.403	0.632	0.506	0.4	
633	切削剥片	0.687	0.332	0.145	0.0		702	切削剥片	0.439	0.294	0.175	0.0	
634	形割剥片	0.702	0.678	0.129	0.1		703	切削剥片	0.612	0.454	0.112	0.0	
635	切削剥片	0.568	0.519	0.100	0.0		704	切削剥片	0.558	0.403	0.155	0.0	
637	形割剥片	0.784	0.414	0.248	0.1		705	切削剥片	0.516	0.506	0.062	0.0	
638	切削剥片	0.770	0.445	0.163	0.0		706	切削剥片	0.571	0.355	0.603	0.0	
639	形割剥片	0.641	0.336	0.233	0.1		707	切削剥片	0.637	0.314	0.243	0.0	
640	切削剥片	0.839	0.318	0.128	0.0		708	切削剥片	0.372	0.362	0.118	0.0	
641	形割剥片	1.334	0.550	0.276	0.3		709	切削剥片	0.615	0.286	0.112	0.0	
642	切削剥片	0.537	0.443	0.187	0.0		710	切削剥片	0.634	0.285	0.089	0.0	
643	切削剥片	0.767	0.363	0.150	0.0		711	切削剥片	0.738	0.371	0.172	0.0	
644	形割剥片	1.441	0.785	0.231	0.3		712	切削剥片	0.552	0.238	0.156	0.0	
645	形割剥片	1.018	0.764	0.282	0.3		713	切削剥片	0.955	0.236	0.119	0.0	
646	形割剥片	0.945	0.418	0.225	0.1		714	切削剥片	0.506	0.387	0.145	0.0	
648	切削剥片	0.667	0.331	0.084	0.0		715	切削剥片	0.542	0.304	0.077	0.0	
649	形割剥片	0.935	0.333	0.155	0.1		716	切削剥片	0.636	0.319	0.211	0.0	
650	切削剥片	0.672	0.337	0.193	0.0		717	形割剥片	1.521	0.633	0.481	0.5	

番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
718	切削銅片	0.570	0.381	0.169	0.0		782	形銅銅片	1.136	0.577	0.396	0.3	
719	切削銅片	0.431	0.355	0.176	0.0		783	形銅銅片	0.676	0.645	0.210	0.2	
721	切削銅片	0.773	0.275	0.166	0.0		784	形銅銅片	1.205	0.494	0.315	0.3	
722	切削銅片	0.490	0.311	0.096	0.0		785	形銅銅片	1.271	0.651	0.209	0.3	
727	切削銅片	0.563	0.323	0.103	0.0		786	形銅銅片	1.821	1.002	0.185	0.5	
728	切削銅片	0.658	0.355	0.193	0.0		787	形銅銅片	1.111	0.708	0.189	0.2	
729	切削銅片	0.507	0.378	0.188	0.0		788	形銅銅片	1.297	0.648	0.286	0.3	
730	切削銅片	0.530	0.324	0.136	0.0		790	形銅銅片	1.066	0.632	0.280	0.3	
731	切削銅片	0.535	0.332	0.086	0.0		791	形銅銅片	1.037	0.687	0.291	0.3	
732	切削銅片	0.387	0.347	0.203	0.0		792	形銅銅片	1.020	0.675	0.149	0.2	
733	切削銅片	0.516	0.434	0.198	0.0		793	形銅銅片	0.905	0.716	0.151	0.2	
734	切削銅片	0.614	0.282	0.106	0.0		794	形銅銅片	0.893	0.683	0.303	0.2	
735	切削銅片	0.797	0.302	0.138	0.0		795	形銅銅片	0.857	0.747	0.268	0.2	
737	切削銅片	0.725	0.341	0.189	0.0		796	形銅銅片	0.795	0.726	0.197	0.2	
738	切削銅片	0.500	0.458	0.141	0.0		797	形銅銅片	1.112	0.519	0.282	0.3	
739	切削銅片	0.559	0.322	0.158	0.0		798	形銅銅片	0.875	0.557	0.335	0.2	
740	切削銅片	0.543	0.317	0.145	0.0		799	形銅銅片	0.945	0.598	0.180	0.1	
741	切削銅片	0.510	0.357	0.095	0.0		800	形銅銅片	0.809	0.519	0.273	0.2	
742	切削銅片	0.647	0.288	0.286	0.0		801	形銅銅片	0.983	0.528	0.308	0.2	
743	切削銅片	0.601	0.433	0.151	0.0		802	形銅銅片	0.749	0.649	0.326	0.2	
744	切削銅片	0.776	0.334	0.129	0.0		803	形銅銅片	0.853	0.649	0.247	0.2	
745	切削銅片	0.461	0.400	0.133	0.0		804	形銅銅片	0.907	0.571	0.197	0.1	
746	切削銅片	0.567	0.382	0.226	0.0		805	形銅銅片	0.891	0.530	0.273	0.2	
747	切削銅片	0.651	0.255	0.185	0.0		806	形銅銅片	0.984	0.713	0.236	0.2	
748	切削銅片	0.670	0.302	0.122	0.0		808	形銅銅片	0.807	0.601	0.322	0.1	
749	切削銅片	0.674	0.233	0.147	0.0		809	形銅銅片	0.931	0.575	0.334	0.2	
750	切削銅片	0.559	0.386	0.135	0.0		810	形銅銅片	0.815	0.807	0.300	0.2	
751	切削銅片	0.559	0.412	0.216	0.0		811	形銅銅片	1.986	0.616	0.378	0.5	
752	切削銅片	0.531	0.348	0.113	0.0		814	形銅銅片	0.986	0.647	0.280	0.3	
753	切削銅片	0.548	0.293	0.190	0.0		815	切削工程品	0.827	0.676	0.304	0.3	
754	切削銅片	0.578	0.311	0.132	0.0		816	形銅銅片	1.036	0.696	0.273	0.3	
756	切削銅片	0.647	0.288	0.101	0.0		817	形銅銅片	1.078	0.559	0.157	0.2	
757	切削銅片	0.584	0.251	0.163	0.0		820	形銅銅片	0.853	0.827	0.297	0.2	
758	切削銅片	0.569	0.472	0.161	0.0		821	形銅銅片	0.996	0.702	0.171	0.2	
759	切削銅片	0.532	0.375	0.128	0.0		822	形銅銅片	0.922	0.626	0.339	0.2	
760	切削銅片	0.444	0.412	0.221	0.0		823	形銅銅片	1.107	0.541	0.224	0.2	
761	切削銅片	0.577	0.349	0.110	0.0		824	形銅銅片	0.879	0.672	0.184	0.1	
762	切削銅片	0.551	0.320	0.100	0.0		825	形銅銅片	0.763	0.594	0.290	0.2	
763	切削銅片	0.573	0.347	0.140	0.0		827	形銅銅片	1.250	0.372	0.184	0.1	
764	切削銅片	0.542	0.330	0.106	0.0		828	形銅銅片	1.291	0.409	0.379	0.3	
765	切削銅片	0.483	0.289	0.225	0.0		830	形銅銅片	0.967	0.704	0.279	0.2	
766	切削銅片	0.413	0.314	0.103	0.0		831	形銅銅片	0.927	0.654	0.223	0.2	
767	切削銅片	0.582	0.327	0.214	0.0		832	切削工程品	0.795	0.612	0.362	0.2	
768	切削銅片	0.543	0.325	0.069	0.0		833	形銅銅片	0.769	0.730	0.163	0.1	
769	切削銅片	0.575	0.415	0.090	0.0		835	形銅銅片	0.795	0.578	0.303	0.2	
770	切削銅片	0.559	0.351	0.209	0.0		837	形銅銅片	0.840	0.489	0.178	0.1	
771	切削銅片	0.514	0.273	0.225	0.0		838	形銅銅片	1.052	0.567	0.142	0.1	
772	切削銅片	0.529	0.315	0.256	0.0		839	形銅銅片	1.003	0.580	0.270	0.2	
773	切削銅片	0.450	0.429	0.179	0.0		840	形銅銅片	1.063	0.485	0.309	0.2	
774	切削銅片	0.485	0.353	0.112	0.0		841	形銅銅片	1.327	0.562	0.306	0.3	
775	切削銅片	0.764	0.261	0.218	0.0		842	形銅銅片	0.816	0.476	0.235	0.2	
776	切削銅片	0.577	0.338	0.104	0.0		843	形銅銅片	0.522	0.319	0.267	0.1	
777	切削銅片	0.463	0.410	0.129	0.0		844	形銅銅片	1.043	0.486	0.168	0.1	
778	切削銅片	0.400	0.328	0.161	0.0		845	形銅銅片	0.660	0.592	0.300	0.2	
779	切削銅片	0.418	0.281	0.127	0.0		847	切削工程品	0.763	0.507	0.228	0.1	
780	切削銅片	0.440	0.294	0.154	0.0		848	形銅銅片	0.773	0.549	0.210	0.1	
781	形銅銅片	1.153	0.688	0.184	0.3		849	形銅銅片	0.804	0.546	0.255	0.2	

番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
850	形測測片	0.859	0.460	0.300	0.1		917	切側測片	0.556	0.364	0.095	0.0	
851	形測測片	0.851	0.508	0.159	0.1		918	切側測片	0.863	0.426	0.105	0.0	
852	形測測片	0.927	0.427	0.322	0.2		919	形測測片	0.837	0.374	0.146	0.1	
853	形測測片	0.756	0.612	0.202	0.1		920	形測測片	1.042	0.701	0.286	0.2	
855	形測測片	0.805	0.640	0.370	0.2		921	形測測片	0.742	0.563	0.148	0.1	
856	切側測片	0.839	0.402	0.135	0.0		922	形測測片	0.954	0.465	0.160	0.1	
857	形測測片	0.873	0.468	0.310	0.2		923	切側測片	0.626	0.429	0.161	0.0	
858	形測測片	0.764	0.464	0.281	0.1		924	切側測片	0.650	0.527	0.109	0.0	
859	形測測片	0.715	0.417	0.296	0.1		925	切側測片	0.657	0.495	0.142	0.0	
861	切側工程品	0.694	0.418	0.291	0.1		926	切側測片	0.756	0.407	0.132	0.0	
862	形測測片	0.732	0.551	0.084	0.1		927	切側測片	0.753	0.557	0.096	0.0	
864	形測測片	0.857	0.505	0.222	0.1		928	形測測片	0.063	0.592	0.289	0.1	
867	切側測片	0.740	0.376	0.143	0.0		929	形測測片	0.929	0.602	0.281	0.2	
868	形測測片	0.997	0.399	0.157	0.1		930	形測測片	0.786	0.593	0.174	0.1	
869	切側測片	0.578	0.456	0.204	0.0		931	切側測片	0.615	0.453	0.145	0.0	
870	形測測片	0.747	0.489	0.244	0.2		932	形測測片	1.037	0.572	0.173	0.2	
873	形測測片	0.790	0.631	0.148	0.1		933	切側工程品	0.551	0.549	0.250	0.1	
874	形測測片	0.775	0.486	0.357	0.1		934	形測測片	1.127	0.496	0.151	0.1	
875	形測測片	0.987	0.520	0.220	0.1		935	形測測片	0.731	0.412	0.216	0.1	
876	形測測片	0.634	0.522	0.147	0.1		936	形測測片	0.693	0.572	0.290	0.1	
877	形測測片	0.725	0.427	0.161	0.1		937	切側測片	0.754	0.404	0.155	0.0	
879	切側工程品	0.725	0.528	0.219	0.1		938	切側測片	0.671	0.359	0.121	0.0	
880	形測測片	0.647	0.493	0.268	0.1		939	形測測片	0.776	0.386	0.284	0.1	
881	形測測片	0.640	0.442	0.297	0.1		940	形測測片	0.781	0.363	0.192	0.1	
882	形測測片	0.751	0.490	0.263	0.1		941	切側測片	0.564	0.399	0.108	0.0	
883	形測測片	0.989	0.427	0.234	0.1		942	切側測片	1.015	0.501	0.089	0.0	
884	切側測片	1.013	0.259	0.158	0.0		943	切側測片	0.575	0.549	0.187	0.0	
885	形測測片	0.688	0.268	0.209	0.1		944	形測測片	0.859	0.846	0.181	0.2	
886	形測測片	0.627	0.455	0.275	0.1		945	形測測片	0.904	0.780	0.368	0.3	
887	形測測片	0.795	0.483	0.260	0.1		946	形測測片	0.697	0.617	0.224	0.2	
888	形測測片	0.648	0.436	0.345	0.1		947	切側測片	0.579	0.315	0.182	0.0	
889	形測測片	0.731	0.349	0.308	0.1		948	切側測片	0.682	0.555	0.111	0.0	
890	切側測片	0.504	0.333	0.285	0.0		949	切側測片	0.533	0.498	0.169	0.0	
891	切側測片	0.719	0.358	0.198	0.0		950	形測測片	0.634	0.616	0.285	0.2	
892	切側測片	0.676	0.314	0.284	0.0		952	切側測片	0.612	0.335	0.125	0.0	
893	切側測片	0.714	0.330	0.133	0.0		953	切側測片	0.742	0.349	0.095	0.0	
895	切側測片	0.725	0.432	0.147	0.0		954	切側測片	0.648	0.417	0.089	0.0	
896	切側測片	0.868	0.422	0.157	0.0		955	形測測片	0.653	0.453	0.253	0.1	
897	切側測片	0.733	0.332	0.182	0.0		956	形測測片	0.730	0.515	0.102	0.1	
898	切側工程品	0.626	0.467	0.242	0.1		957	形測測片	0.749	0.360	0.222	0.1	
899	形測測片	0.613	0.522	0.271	0.1		958	切側測片	0.623	0.407	0.137	0.0	
900	形測測片	0.839	0.468	0.165	0.1		959	形測測片	0.763	0.507	0.170	0.1	
901	形測測片	0.834	0.435	0.194	0.1		960	形測測片	0.685	0.436	0.163	0.1	
902	形測測片	1.019	0.590	0.182	0.2		961	形測測片	0.817	0.739	0.114	0.1	
903	形測測片	0.855	0.769	0.193	0.2		962	形測測片	0.693	0.595	0.241	0.1	
905	形測測片	0.738	0.538	0.172	0.1		963	形測測片	0.567	0.393	0.277	0.1	
906	形測測片	0.693	0.557	0.279	0.2		964	切側測片	0.591	0.330	0.131	0.0	
907	形測測片	0.913	0.510	0.144	0.1		965	形測測片	0.721	0.533	0.185	0.1	
908	切側測片	0.627	0.539	0.078	0.0		966	切側測片	0.608	0.406	0.193	0.0	
909	形測測片	0.926	0.505	0.192	0.1		968	切側測片	0.712	0.410	0.173	0.0	
910	形測測片	0.979	0.476	0.206	0.1		969	切側測片	0.562	0.544	0.139	0.0	
911	形測測片	0.891	0.488	0.232	0.1		971	切側測片	0.434	0.342	0.201	0.0	
912	切側工程品	0.800	0.705	0.204	0.2		972	形測測片	1.376	0.776	0.378	0.5	
913	形測測片	1.160	0.474	0.175	0.2		973	形測測片	1.422	0.965	0.334	0.5	
914	切側測片	0.820	0.359	0.137	0.0		974	形測測片	0.912	0.761	0.317	0.3	
915	形測測片	0.890	0.559	0.135	0.1		975	形測測片	0.745	0.456	0.256	0.1	
916	形測測片	0.956	0.411	0.151	0.1		976	形測測片	0.851	0.761	0.314	0.2	

番号	品種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	番号	品種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
977	切削副片	0.523	0.371	0.122	0.0		1038	形割副片	0.641	0.607	0.200	0.1	
978	形割副片	1.363	0.602	0.281	0.3		1040	形割副片	0.566	0.507	0.235	0.1	
979	形割副片	1.040	0.536	0.137	0.1		1041	形割副片	0.672	0.561	0.154	0.1	
980	形割副片	1.085	0.630	0.360	0.3		1042	切削副片	0.733	0.311	0.159	0.0	
981	形割副片	1.357	1.035	0.232	0.4		1043	切削副片	0.742	0.387	0.261	0.0	
982	形割副片	0.778	0.519	0.206	0.1		1044	切削副片	0.642	0.487	0.110	0.0	
983	形割副片	1.358	0.390	0.150	0.1		1045	形割副片	0.579	0.511	0.281	0.1	
984	形割副片	1.030	1.026	0.267	0.3		1046	切削副片	0.546	0.470	0.182	0.0	
985	形割副片	0.938	0.455	0.239	0.1		1047	切削副片	0.646	0.640	0.145	0.0	
986	形割副片	0.802	0.535	0.154	0.1		1048	形割副片	0.955	0.720	0.292	0.2	
987	形割副片	0.645	0.546	0.229	0.1		1049	形割副片	0.777	0.497	0.189	0.1	
988	形割副片	0.851	0.443	0.347	0.1		1050	形割副片	1.064	0.542	0.166	0.1	
990	切削副片	0.667	0.408	0.188	0.0		1051	形割副片	0.943	0.557	0.191	0.1	
992	形割副片	1.130	0.967	0.343	0.3		1053	切削副片	0.785	0.302	0.238	0.0	
993	形割副片	0.782	0.568	0.323	0.2		1054	切削副片	0.508	0.463	0.121	0.0	
994	形割副片	1.136	0.612	0.256	0.2		1055	切削副片	0.959	0.306	0.152	0.0	
995	切削副片	0.767	0.439	0.172	0.0		1056	形割副片	0.678	0.513	0.305	0.1	
996	切削副片	0.532	0.474	0.219	0.0		1057	切削副片	0.682	0.324	0.203	0.0	
997	形割副片	0.818	0.497	0.203	0.1		1058	形割副片	0.802	0.474	0.296	0.1	
998	切削副片	0.626	0.372	0.196	0.0		1059	切削副片	0.683	0.399	0.241	0.0	
999	切削副片	0.685	0.399	0.137	0.0		1060	切削副片	0.628	0.452	0.119	0.0	
1000	形割副片	0.893	0.452	0.228	0.1		1061	切削副片	0.701	0.500	0.135	0.0	
1001	形割副片	1.147	0.740	0.212	0.2		1062	形割副片	1.497	0.478	0.324	0.3	
1002	形割副片	0.825	0.599	0.210	0.1		1063	形割副片	1.219	0.709	0.262	0.3	
1003	形割副片	1.548	0.942	0.289	0.4		1064	形割副片	1.686	0.731	0.425	0.7	
1004	形割副片	1.329	0.972	0.288	0.4		1065	形割副片	0.867	0.846	0.164	0.2	
1005	形割副片	1.359	0.455	0.151	0.1		1066	形割副片	1.436	0.559	0.264	0.3	
1006	切削副片	0.990	0.389	0.136	0.0		1067	形割副片	0.961	0.672	0.250	0.3	
1007	形割副片	0.796	0.406	0.263	0.1		1070	形割副片	1.338	0.774	0.283	0.5	
1008	形割副片	1.172	0.630	0.210	0.2		1072	形割副片	1.585	0.866	0.417	0.4	
1009	形割副片	0.751	0.516	0.179	0.1		1074	形割副片	1.808	1.342	0.608	1.4	
1010	切削工程品	0.703	0.686	0.302	0.2		1077	形割副片	1.634	0.883	0.231	0.4	
1011	形割副片	0.991	0.726	0.152	0.2		1079	形割副片	1.464	0.967	0.413	0.5	
1012	形割副片	0.780	0.511	0.368	0.1		1081	形割副片	1.548	0.665	0.246	0.4	
1013	切削副片	0.627	0.309	0.196	0.0		1082	形割副片	1.460	0.575	0.275	0.3	
1015	形割副片	0.749	0.389	0.320	0.1		1083	形割副片	1.351	0.524	0.185	0.2	
1016	切削副片	0.720	0.314	0.162	0.0		1084	形割副片	1.062	0.590	0.239	0.2	
1017	形割副片	0.845	0.629	0.168	0.1		1085	形割副片	0.972	0.596	0.457	0.3	
1018	切削副片	0.884	0.345	0.092	0.0		1086	形割副片	1.035	0.785	0.255	0.4	
1019	形割副片	0.755	0.493	0.191	0.1		1087	形割副片	1.070	0.746	0.283	0.3	
1020	形割副片	1.047	0.679	0.264	0.2		1088	形割副片	1.274	0.547	0.277	0.2	
1021	形割副片	1.549	0.445	0.190	0.1		1090	形割副片	1.133	0.821	0.155	0.2	
1022	切削副片	0.619	0.539	0.118	0.0		1091	形割副片	1.064	0.501	0.205	0.2	
1023	切削副片	0.758	0.383	0.112	0.0		1092	切削工程品	0.859	0.618	0.217	0.2	
1024	形割副片	1.026	0.614	0.200	0.2		1093	形割副片	1.070	0.640	0.285	0.3	
1026	切削副片	0.584	0.471	0.156	0.0		1094	形割副片	1.203	0.861	0.572	0.4	
1027	切削副片	0.709	0.385	0.196	0.0		1095	形割副片	1.050	0.774	0.236	0.3	
1028	形割副片	1.150	0.692	0.341	0.3		1096	形割副片	1.136	0.628	0.321	0.2	
1029	形割副片	1.168	0.401	0.312	0.3		1097	形割副片	1.120	0.535	0.186	0.1	
1030	形割副片	0.710	0.664	0.112	0.1		1099	形割副片	0.562	0.433	0.202	0.1	
1031	切削工程品	0.744	0.657	0.225	0.2		1100	形割副片	1.066	0.661	0.224	0.2	
1032	形割副片	0.893	0.544	0.129	0.1		1101	形割副片	0.908	0.541	0.198	0.1	
1033	切削副片	0.566	0.444	0.156	0.0		1102	切削工程品	0.729	0.620	0.262	0.2	
1034	形割副片	0.683	0.565	0.180	0.1		1103	形割副片	0.962	0.630	0.217	0.2	
1035	形割副片	0.816	0.553	0.426	0.2		1104	形割副片	1.090	0.708	0.298	0.3	
1036	形割副片	0.667	0.491	0.170	0.1		1105	形割副片	0.766	0.540	0.238	0.2	
1037	切削副片	0.840	0.343	0.189	0.0		1106	形割副片	0.740	0.557	0.333	0.2	

番号	形種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	番号	形種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
1107	形測測片	1.042	0.433	0.223	0.2		1183	切削測片	0.508	0.447	0.161	0.0	
1108	形測測片	0.907	0.649	0.436	0.3		1184	切削測片	0.576	0.438	0.152	0.0	
1110	形測測片	1.055	0.512	0.117	0.1		1186	形測測片	0.481	0.463	0.290	0.1	
1112	形測測片	0.917	0.338	0.210	0.1		1187	形測測片	0.818	0.641	0.224	0.2	
1113	切削工程品	0.732	0.485	0.262	0.1		1188	切削測片	0.679	0.475	0.095	0.0	
1115	形測測片	0.919	0.595	0.232	0.2		1189	形測測片	0.736	0.542	0.228	0.1	
1116	切削工程品	0.761	0.563	0.271	0.2		1191	切削測片	0.645	0.296	0.166	0.0	
1117	切削工程品	0.745	0.728	0.206	0.1		1193	形測測片	0.688	0.549	0.270	0.1	
1118	形測測片	0.787	0.535	0.246	0.2		1194	形測測片	0.627	0.463	0.181	0.1	
1119	形測測片	1.021	0.409	0.194	0.2		1195	形測測片	0.745	0.662	0.256	0.1	
1120	形測測片	0.710	0.588	0.250	0.2		1196	切削測片	0.581	0.517	0.103	0.0	
1122	形測測片	1.075	0.519	0.248	0.2		1198	切削測片	0.484	0.397	0.266	0.0	
1123	形測測片	0.741	0.519	0.176	0.1		1199	切削測片	0.662	0.494	0.121	0.0	
1124	形測測片	0.642	0.602	0.405	0.2		1200	切削測片	0.584	0.436	0.091	0.0	
1125	切削工程品	0.680	0.620	0.253	0.2		1201	形測測片	0.725	0.559	0.202	0.1	
1127	形測測片	0.686	0.444	0.345	0.1		1202	切削測片	0.797	0.292	0.153	0.0	
1128	形測測片	0.792	0.476	0.121	0.1		1203	切削測片	0.562	0.265	0.220	0.0	
1129	形測測片	0.849	0.596	0.147	0.1		1204	形測測片	0.605	0.474	0.203	0.1	
1130	形測測片	0.663	0.387	0.262	0.1		1206	切削測片	0.610	0.367	0.058	0.0	
1131	形測測片	0.736	0.455	0.331	0.2		1207	形測測片	0.692	0.304	0.259	0.1	
1132	切削工程品	0.819	0.741	0.187	0.2		1208	切削測片	0.481	0.312	0.219	0.0	
1133	形測測片	0.776	0.544	0.402	0.2		1209	切削測片	0.607	0.359	0.186	0.0	
1134	形測測片	1.103	0.372	0.165	0.1		1210	切削測片	0.664	0.239	0.145	0.0	
1135	形測測片	0.868	0.387	0.239	0.2		1212	切削測片	0.645	0.461	0.107	0.0	
1136	形測測片	0.641	0.558	0.286	0.1		1214	切削測片	0.496	0.338	0.126	0.0	
1137	形測測片	0.668	0.468	0.373	0.2		1215	切削測片	0.495	0.381	0.151	0.0	
1141	形測測片	0.949	0.445	0.216	0.1		1216	形測測片	0.519	0.468	0.260	0.1	
1142	形測測片	0.662	0.452	0.288	0.1		1217	切削測片	0.542	0.301	0.179	0.0	
1144	形測測片	1.215	0.211	0.224	0.2		1218	切削測片	0.539	0.381	0.136	0.0	
1145	形測測片	1.071	0.790	0.265	0.1		1220	切削測片	0.517	0.345	0.168	0.0	
1147	切削測片	0.597	0.296	0.220	0.0		1222	切削測片	0.601	0.451	0.179	0.0	
1148	形測測片	0.933	0.383	0.198	0.1		1223	切削測片	0.573	0.280	0.224	0.0	
1149	切削測片	0.441	0.227	0.246	0.0		1224	切削測片	0.579	0.355	0.235	0.0	
1150	形測測片	1.004	0.394	0.175	0.1		1225	切削測片	0.649	0.306	0.081	0.0	
1152	形測測片	0.987	0.479	0.183	0.1		1226	形測測片	0.838	0.561	0.129	0.1	
1153	形測測片	0.783	0.587	0.153	0.1		1227	形測測片	0.735	0.364	0.336	0.1	
1155	切削測片	0.368	0.362	0.086	0.0		1228	切削測片	0.440	0.295	0.204	0.0	
1157	切削測片	0.699	0.404	0.094	0.0		1229	切削工程品	0.624	0.369	0.227	0.1	
1158	切削測片	0.648	0.515	0.223	0.0		1230	切削測片	0.660	0.516	0.123	0.0	
1159	切削測片	0.643	0.577	0.126	0.0		1231	切削測片	0.662	0.494	0.218	0.0	
1162	切削測片	0.847	0.447	0.124	0.0		1232	切削測片	0.410	0.333	0.152	0.0	
1164	切削測片	0.557	0.246	0.189	0.0		1233	切削測片	0.611	0.321	0.114	0.0	
1165	切削測片	0.617	0.448	0.131	0.0		1235	切削測片	0.388	0.383	0.083	0.0	
1166	形測測片	0.835	0.441	0.319	0.2		1236	切削測片	0.550	0.415	0.110	0.0	
1167	切削測片	0.712	0.455	0.170	0.0		1237	切削工程品	0.681	0.316	0.220	0.0	
1168	切削測片	0.644	0.359	0.179	0.0		1238	切削測片	0.570	0.243	0.097	0.0	
1169	切削測片	0.600	0.567	0.208	0.0		1239	切削測片	0.569	0.380	0.154	0.0	
1170	形測測片	0.665	0.323	0.253	0.1		1240	切削測片	0.545	0.343	0.106	0.0	
1171	形測測片	0.671	0.545	0.210	0.1		1241	切削測片	0.704	0.319	0.118	0.0	
1173	形測測片	0.636	0.519	0.198	0.1		1242	切削測片	0.656	0.377	0.192	0.0	
1174	形測測片	0.746	0.335	0.205	0.1		1244	切削測片	0.520	0.387	0.145	0.0	
1175	切削測片	0.827	0.298	0.177	0.0		1245	切削測片	0.480	0.436	0.104	0.0	
1176	切削測片	0.608	0.479	0.198	0.0		1246	切削測片	0.438	0.273	0.158	0.0	
1178	形測測片	0.792	0.646	0.274	0.1		1247	切削工程品	0.510	0.432	0.153	0.0	
1179	切削工程品	0.573	0.346	0.239	0.1		1248	切削測片	0.685	0.314	0.174	0.0	
1181	切削測片	0.520	0.353	0.088	0.0		1249	切削測片	0.736	0.307	0.142	0.0	
1182	切削工程品	0.918	0.466	0.370	0.2		1250	切削測片	0.903	0.471	0.119	0.0	

番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
1251	形割剥片	0.745	0.352	0.229	0.1		1322	切削工程品	0.539	0.360	0.172	0.0	
1253	切削剥片	0.900	0.307	0.095	0.0		1323	切削剥片	0.522	0.374	0.080	0.0	
1256	切削剥片	0.645	0.241	0.220	0.0		1324	切削剥片	0.394	0.248	0.146	0.0	
1257	切削剥片	0.900	0.322	0.123	0.0		1325	切削工程品	0.508	0.417	0.286	0.0	
1258	形割剥片	0.739	0.486	0.145	0.1		1326	切削剥片	0.624	0.421	0.137	0.0	
1259	形割剥片	0.749	0.552	0.147	0.1		1328	切削剥片	0.525	0.468	0.201	0.0	
1260	切削剥片	0.614	0.525	0.097	0.0		1329	切削剥片	0.551	0.414	0.168	0.0	
1262	切削剥片	0.592	0.469	0.171	0.0		1330	切削剥片	0.738	0.214	0.231	0.0	
1263	切削剥片	0.685	0.516	0.111	0.0		1331	切削剥片	0.610	0.318	0.209	0.0	
1264	形割剥片	0.830	0.450	0.213	0.1		1332	切削剥片	0.437	0.429	0.153	0.0	
1265	切削剥片	0.570	0.536	0.149	0.0		1333	切削剥片	0.347	0.270	0.173	0.0	
1267	形割剥片	0.737	0.646	0.198	0.1		1334	切削剥片	0.516	0.359	0.237	0.0	
1268	切削剥片	0.478	0.442	0.137	0.0		1335	切削剥片	0.659	0.321	0.148	0.0	
1269	切削剥片	0.699	0.454	0.112	0.0		1336	切削剥片	0.546	0.245	0.167	0.0	
1270	切削剥片	0.593	0.354	0.175	0.0		1337	切削剥片	0.567	0.250	0.196	0.0	
1272	切削剥片	0.809	0.436	0.144	0.0		1338	切削剥片	0.592	0.355	0.134	0.0	
1273	切削工程品	0.605	0.379	0.127	0.0		1339	切削剥片	0.509	0.441	0.158	0.0	
1274	切削剥片	0.549	0.418	0.118	0.0		1340	切削剥片	0.601	0.355	0.137	0.0	
1275	切削剥片	0.544	0.519	0.128	0.0		1341	切削剥片	0.436	0.386	0.099	0.0	
1276	切削工程品	0.649	0.446	0.107	0.0		1342	切削剥片	0.514	0.415	0.163	0.0	
1277	切削剥片	0.500	0.403	0.089	0.0		1343	切削剥片	0.674	0.403	0.086	0.0	
1278	切削剥片	0.596	0.377	0.138	0.0		1344	切削剥片	0.557	0.333	0.086	0.0	
1279	切削剥片	0.781	0.323	0.161	0.0		1345	切削剥片	0.522	0.230	0.150	0.0	
1280	切削剥片	0.844	0.354	0.127	0.0		1346	切削剥片	0.493	0.313	0.163	0.0	
1281	切削剥片	0.684	0.483	0.197	0.0		1347	切削剥片	0.623	0.499	0.124	0.0	
1284	切削剥片	0.453	0.434	0.186	0.0		1348	切削剥片	0.579	0.395	0.113	0.0	
1285	切削剥片	0.656	0.466	0.186	0.0		1349	切削剥片	0.443	0.302	0.145	0.0	
1286	切削剥片	0.595	0.371	0.178	0.0		1350	切削剥片	0.480	0.329	0.138	0.0	
1287	切削剥片	0.758	0.259	0.103	0.0		1351	切削剥片	0.563	0.345	0.145	0.0	
1288	切削剥片	0.602	0.414	0.209	0.0		1352	切削剥片	0.456	0.418	0.212	0.0	
1289	切削剥片	0.612	0.369	0.123	0.0		1353	切削剥片	0.507	0.397	0.155	0.0	
1290	切削剥片	0.686	0.282	0.156	0.0		1354	切削剥片	0.566	0.259	0.075	0.0	
1291	形割剥片	0.744	0.398	0.197	0.1		1356	切削剥片	0.490	0.410	0.159	0.0	
1292	形割剥片	0.588	0.498	0.261	0.1		1357	切削剥片	0.481	0.378	0.156	0.0	
1293	形割剥片	0.544	0.422	0.246	0.1		1358	切削剥片	0.490	0.338	0.145	0.0	
1294	切削剥片	0.642	0.398	0.182	0.0		1359	切削剥片	0.545	0.270	0.086	0.0	
1295	形割剥片	0.611	0.568	0.267	0.1		1361	切削剥片	0.600	0.365	0.118	0.0	
1296	切削剥片	0.544	0.371	0.143	0.0		1362	切削剥片	0.437	0.310	0.114	0.0	
1297	切削剥片	0.765	0.372	0.155	0.0		1363	切削剥片	0.350	0.306	0.116	0.0	
1299	切削剥片	0.714	0.458	0.108	0.0		1364	切削剥片	0.445	0.344	0.188	0.0	
1300	形割剥片	0.625	0.425	0.221	0.1		1365	切削剥片	0.454	0.310	0.201	0.0	
1301	切削剥片	0.670	0.378	0.131	0.0		1366	切削剥片	0.459	0.418	0.067	0.0	
1302	切削剥片	0.500	0.425	0.124	0.0		1367	切削剥片	0.454	0.355	0.262	0.0	
1305	切削剥片	0.681	0.441	0.107	0.0		1368	切削剥片	0.426	0.417	0.059	0.0	
1306	切削剥片	0.550	0.528	0.161	0.0		1369	切削剥片	0.448	0.377	0.151	0.0	
1307	切削剥片	0.466	0.404	0.083	0.0		1370	切削剥片	0.467	0.433	0.109	0.0	
1308	切削剥片	0.637	0.367	0.167	0.0		1371	切削剥片	0.521	0.457	0.107	0.0	
1309	切削剥片	0.574	0.413	0.070	0.0		1372	切削剥片	0.435	0.387	0.218	0.0	
1310	切削剥片	0.624	0.373	0.139	0.0		1373	切削剥片	0.467	0.271	0.123	0.0	
1311	切削剥片	0.475	0.429	0.105	0.0		1374	切削剥片	0.353	0.300	0.064	0.0	
1313	切削剥片	0.506	0.397	0.182	0.0		1376	切削工程品	0.533	0.266	0.199	0.0	
1314	切削剥片	0.641	0.435	0.250	0.0		1378	切削剥片	0.704	0.303	0.197	0.0	
1315	切削剥片	0.550	0.399	0.128	0.0		1379	切削剥片	0.573	0.310	0.145	0.0	
1316	切削工程品	0.709	0.247	0.219	0.0		1380	切削剥片	0.532	0.329	0.114	0.0	
1317	切削剥片	0.537	0.283	0.262	0.0		1381	切削剥片	0.506	0.367	0.221	0.0	
1319	切削剥片	0.635	0.256	0.165	0.0		1382	切削剥片	0.428	0.419	0.141	0.0	
1320	切削剥片	0.460	0.332	0.253	0.0		1383	切削剥片	0.508	0.399	0.170	0.0	

番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
1384	切削銅片	0.333	0.306	0.116	0.0		1448	切削銅片	0.417	0.205	0.187	0.0	
1386	切削銅片	0.538	0.318	0.239	0.0		1449	切削工 程品	0.515	0.294	0.107	0.0	
1387	切削銅片	0.581	0.288	0.118	0.0		1450	切削銅片	0.495	0.409	0.082	0.0	
1388	切削銅片	0.477	0.404	0.116	0.0		1451	切削銅片	0.424	0.312	0.116	0.0	
1389	切削銅片	0.558	0.311	0.208	0.0		1452	切削銅片	0.341	0.302	0.070	0.0	
1390	切削銅片	0.530	0.314	0.106	0.0		1455	切削銅片	0.526	0.401	0.104	0.0	
1391	切削銅片	0.717	0.279	0.112	0.0		1458	切削銅片	0.477	0.277	0.128	0.0	
1396	切削銅片	0.722	0.282	0.229	0.0		1459	切削銅片	0.500	0.326	0.066	0.0	
1397	切削銅片	0.492	0.445	0.124	0.0		1460	切削銅片	0.389	0.345	0.126	0.0	
1398	切削銅片	0.529	0.334	0.105	0.0		1461	切削銅片	0.545	0.313	0.072	0.0	
1399	切削銅片	0.465	0.350	0.151	0.0		1462	切削銅片	0.417	0.353	0.145	0.0	
1401	切削銅片	0.437	0.328	0.127	0.0		1463	切削銅片	0.461	0.354	0.079	0.0	
1402	切削銅片	0.382	0.219	0.252	0.0		1464	切削銅片	0.453	0.247	0.121	0.0	
1403	切削銅片	0.506	0.295	0.188	0.0		1465	切削銅片	0.470	0.353	0.105	0.0	
1404	切削銅片	0.491	0.365	0.176	0.0		1466	切削銅片	0.441	0.387	0.113	0.0	
1406	切削銅片	0.551	0.295	0.060	0.0		1467	切削銅片	0.379	0.295	0.098	0.0	
1407	切削銅片	0.529	0.355	0.069	0.0		1468	切削銅片	0.464	0.363	0.100	0.0	
1408	切削銅片	0.424	0.318	0.062	0.0		1469	切削銅片	0.379	0.313	0.154	0.0	
1409	切削銅片	0.496	0.341	0.190	0.0		1470	切削銅片	0.388	0.358	0.155	0.0	
1410	切削銅片	0.521	0.306	0.095	0.0		1471	切削銅片	0.385	0.330	0.121	0.0	
1411	切削銅片	0.483	0.263	0.153	0.0		1472	切削銅片	0.495	0.353	0.122	0.0	
1412	切削銅片	0.338	0.273	0.165	0.0		1473	切削銅片	0.454	0.347	0.077	0.0	
1413	切削銅片	0.356	0.321	0.234	0.0		1474	切削銅片	0.470	0.370	0.215	0.0	
1416	切削銅片	0.561	0.343	0.092	0.0		1475	切削銅片	0.435	0.310	0.133	0.0	
1417	切削銅片	0.549	0.257	0.181	0.0		1476	切削銅片	0.361	0.269	0.125	0.0	
1418	切削銅片	0.393	0.327	0.210	0.0		1477	切削銅片	0.411	0.274	0.116	0.0	
1419	切削銅片	0.509	0.352	0.095	0.0		1478	切削銅片	0.407	0.355	0.123	0.0	
1420	切削銅片	0.468	0.461	0.158	0.0		1479	切削銅片	0.403	0.325	0.144	0.0	
1421	切削銅片	0.520	0.416	0.098	0.0		1480	切削銅片	0.609	0.237	0.110	0.0	
1422	切削銅片	0.520	0.318	0.094	0.0		1481	切削銅片	0.518	0.296	0.075	0.0	
1423	切削銅片	0.490	0.345	0.083	0.0		1482	切削銅片	0.404	0.313	0.135	0.0	
1425	切削銅片	0.419	0.327	0.111	0.0		1483	切削銅片	0.412	0.257	0.113	0.0	
1426	切削銅片	0.532	0.256	0.152	0.0		1484	形測銅片	1.783	0.732	0.295	0.4	
1428	切削銅片	0.367	0.284	0.158	0.0		1485	形測銅片	1.787	0.937	0.237	0.5	
1429	切削銅片	0.459	0.366	0.096	0.0		1494	切削銅片	0.402	0.325	0.110	0.0	
1430	切削銅片	0.465	0.389	0.131	0.0		1495	切削銅片	0.430	0.373	0.054	0.0	
1431	切削銅片	0.408	0.341	0.153	0.0		1496	切削銅片	0.403	0.266	0.077	0.0	
1432	切削銅片	0.715	0.251	0.168	0.0		1497	切削銅片	0.448	0.307	0.139	0.0	
1433	切削銅片	0.541	0.246	0.141	0.0		1498	切削銅片	0.413	0.275	0.124	0.0	
1435	切削銅片	0.663	0.412	0.100	0.0		1499	切削銅片	0.496	0.329	0.136	0.0	
1436	切削銅片	0.411	0.203	0.104	0.0		1500	切削銅片	0.385	0.334	0.094	0.0	
1437	切削銅片	0.458	0.400	0.093	0.0		1501	切削銅片	0.430	0.296	0.163	0.0	
1438	切削銅片	0.457	0.350	0.112	0.0		1502	切削銅片	0.474	0.301	0.074	0.0	
1439	切削銅片	0.552	0.277	0.096	0.0		1503	切削銅片	0.512	0.206	0.096	0.0	
1440	切削銅片	0.395	0.293	0.091	0.0		1504	切削銅片	0.355	0.322	0.055	0.0	
1441	切削銅片	0.442	0.400	0.097	0.0		1505	切削銅片	0.393	0.303	0.135	0.0	
1442	切削銅片	0.439	0.356	0.141	0.0		1506	切削銅片	0.355	0.337	0.106	0.0	
1443	切削銅片	0.390	0.337	0.208	0.0		1507	切削銅片	0.423	0.334	0.110	0.0	
1444	切削銅片	0.431	0.324	0.137	0.0		1508	切削銅片	0.424	0.336	0.078	0.0	
1445	切削銅片	0.467	0.368	0.170	0.0		1509	切削銅片	0.425	0.344	0.118	0.0	
1446	切削銅片	0.517	0.324	0.092	0.0		1510	切削銅片	0.350	0.306	0.123	0.0	
1447	切削銅片	0.487	0.303	0.090	0.0		1511	切削銅片	0.381	0.313	0.084	0.0	

剣形品の形状には、概ねの傾向として、上端部が短い細みのもの13点(20・21・23~27・32・35~37・39・43)、上端部が長く細みのもの2点(28・31)、上端部が長く幅広のもの10点(22・29・30・33・34・38・40・42・44・45)と、欠損により形状不明3点(41・46・47)がある。鏝が表現された12点(22・25・30~35・37~39・43)は、片平鏝である。鏝の表現のない16点は扁平なつくりであるが、20・27・28・36・44・45は片切刃形、29は切刃形となるように、側面部に加工が施されている。

穿孔円板には、穿孔2孔6点(48~52・63)と、穿孔1孔9点(53~61)、無孔1点(62)がある。穿孔2孔のものには大型の3点(48~50)と小型2点(51・52)に大別される。特に48は厚みもある重厚なものである。また、63は穿孔2孔のものが再加工されたものと思われ、孔の名残が側面にみられる。穿孔1孔のものは、比較的形の小さなものが多い。厚さには、円形を呈したものが薄く、隅丸方形に近い形状が厚い傾向が窺われる。

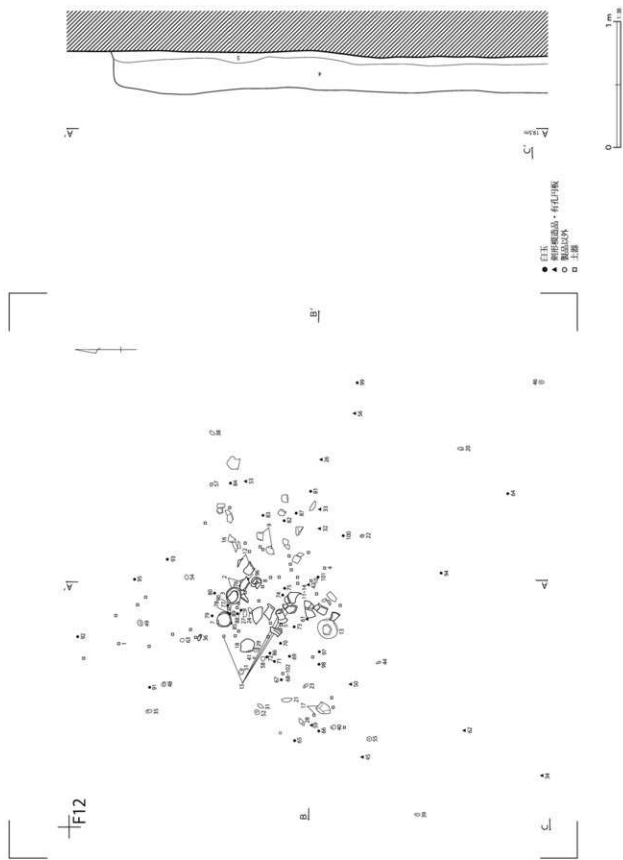
白玉は、厚さに個体差がみられるが、第1号滑石製品集中地点と比べて、径の個体差が小さい。また穿孔された孔径も同様で、規格性の高い製品群と捉えられる。

白玉製作段階の破損品の中で、222~225・227は穿孔後の研磨途中で製作が放棄された未成品である。両面と側面に研磨痕が残る。226は、孔が未貫通のものであるが、両面に研磨痕がみられる。228~256は穿孔後の研磨工程での破損品で、両面もしくは片面に研磨痕がみられる。257~259

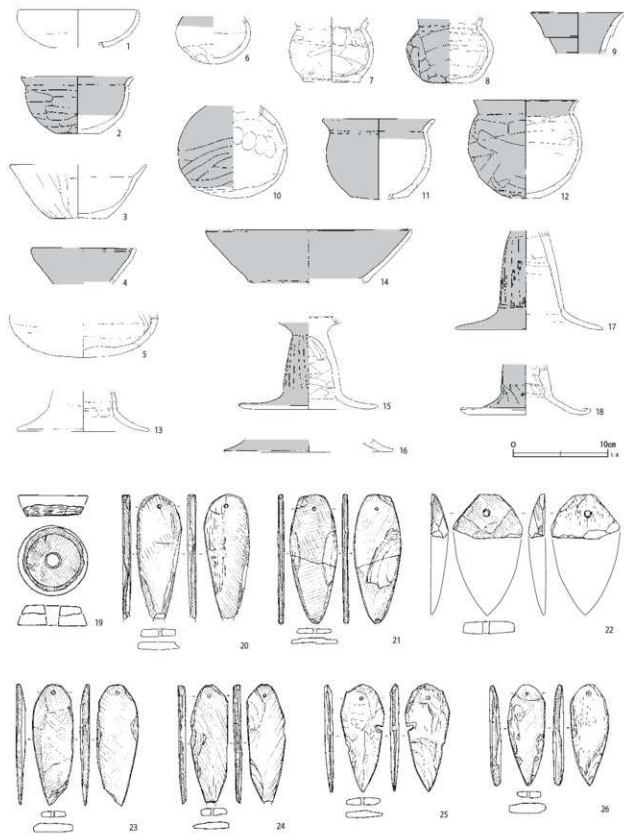
は穿孔工程品である。未成品の範疇で捉えられるものであるが、穿孔後に研磨が行われず、放棄されたものである。260~271は穿孔時の破損品で、260の側面には形削り段階での加工痕が残る。272は穿孔前の切削工程品である。形削り段階での加工痕がみられる。

このほかに滑石製品の製作途上の剥片が588点出土している(第97表)。残存する大きさ・形状等から、白玉製作工程の形削り剥片・切削工程品・切削剥片に分類した。これらの遺物から、白玉製作にかかる工房機能が推定されるが、製作に伴う施設や工具等は発見されていない。第1号滑石製品集中地点と同様に、構築物の痕跡が確認されていない。

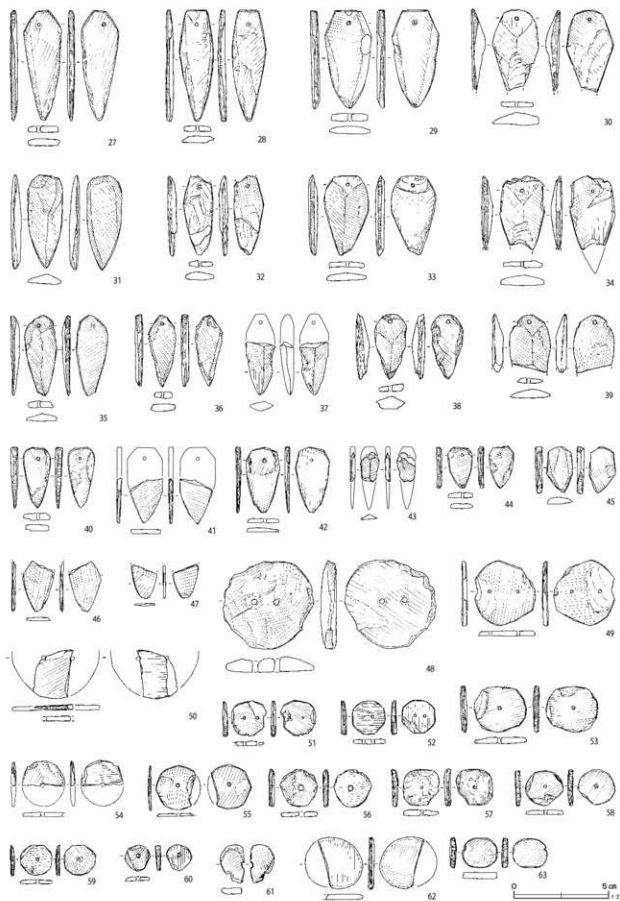
共伴した土器は、滑石製品集中地点のほぼ中央部に分布している。内湾口縁の坏や平底の碗、有稜坏屈折脚・有段脚の高坏、小型の卮や鉢で、供膳具と赤彩された小型の貯蔵具に限定され、甕や甗等の煮沸具の出土がない。また、遺物の接合度合いは低い。さらに、個体ごとの残存率も低く、全体形からみた場合、50%を超えるものはない。多数の滑石製品と土器との共伴を祭祀的な要素として捉えることもできるが、接合率・残存率の低さは、現地での破壊行為などが考え難い状況である。そのため、単純に祭祀跡とすることには問題が残る。その場合も儀式行為そのものを復元する必要がある。共伴した土器は、器形の特徴から、銭塚・城敷Ⅲ期に相当するが、新古段階の限定は困難である。



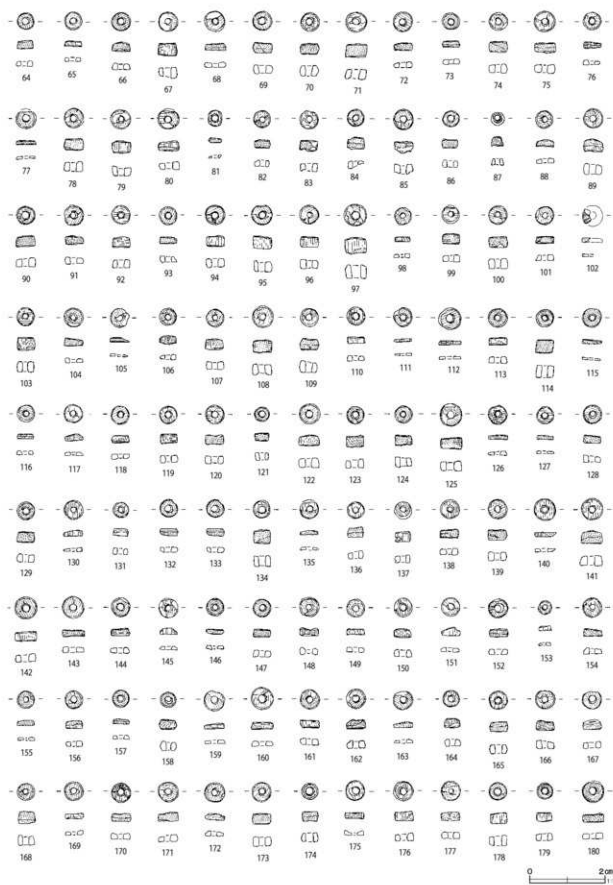
第300图 第2号滑石製品集中地点(1)



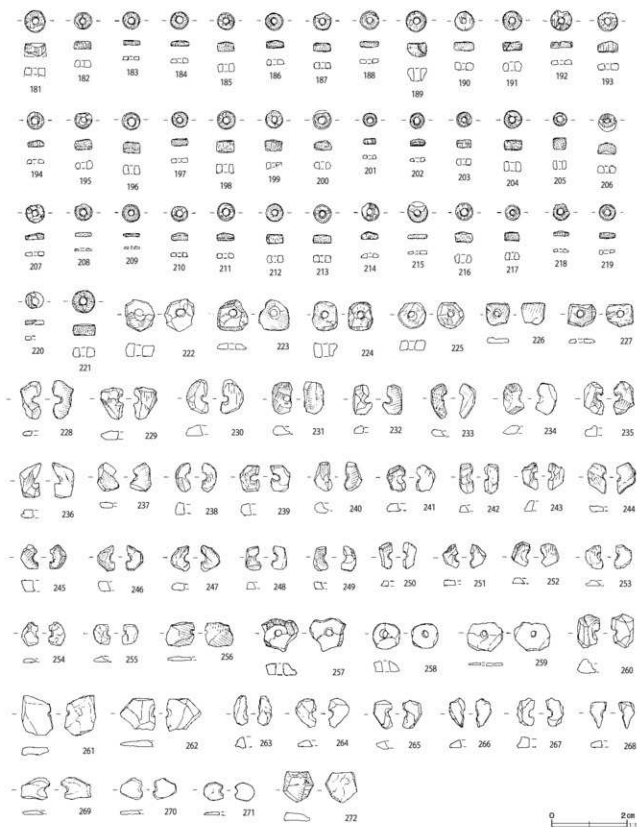
第302图 第2号滑石製品集中地点出土遺物 (1)



第303图 第2号滑石製品集中地点出土遺物(2)



第304图 第2号滑石製品集中地点出土遺物(3)



第305图 第2号滑石裂品集中地点出土遗物(4)

第95表 第2号滑石製品集中地点出土遺物観察表 (第302図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考 出土位置	図版
1	土師器	坏	(12.6)	3.9		C E H I J K	25	普通	にぶい橙	内堀口縁 器面風化顕著 玉集中No51	
2	土師器	椀	(12.0)	6.0	4.8	A H I	55	普通	にぶい黄橙	外反口縁 平底 赤彩 二次的被熱 No64・68・玉集中B	154-5
3	土師器	椀	(14.4)	5.6	5.8	A B C H I	55	普通	明赤褐	平底 玉集中No64	154-6
4	土師器	埴	(11.0)	3.9		J L	30	普通	灰褐	赤彩 二次的被熱 玉集中B No80	
5	土師器	埴		4.5	(5.9)	A J	55	普通	橙	外面黒色化 玉集中B No86	
6	土師器	小型埴		5.0		C E H I J K	50	普通	にぶい橙	外面赤彩 玉集中B	155-1
7	土師器	小型埴		6.8	6.0	C H I J	60	普通	にぶい橙	平底(底部ヘラケズリ) 赤彩? 玉集中 No63・玉集中B	155-2
8	土師器	小型埴		7.3	3.5	E H I J K	70	普通	にぶい褐	平底 赤彩 玉集中No67・玉集中B	155-3
9	土師器	壺	(10.0)	4.5		A E H I K	10	普通	にぶい黄橙	有段口縁 赤彩 玉集中No114-122	
10	土師器	埴		9.9	4.4	H J	70	普通	にぶい橙	丸底 赤彩 玉集中No103・玉集中B	
11	土師器	鉢	(11.8)	8.3	6.1	E H I J K	40	普通	橙	平底 器面風化顕著 調整・赤彩不明瞭 玉集中B・玉集中B No70	155-4
12	土師器	鉢	(11.2)	10.3	(3.0)	A E I J K	40	普通	にぶい橙	丸底 赤彩 玉集中No99・玉集中B	155-5
13	土師器	高坏		4.4	13.9	A B H I J	95	普通	橙	屈折脚 玉集中B No75	
14	土師器	高坏	(22.0)	5.7		C E H I	20	普通	にぶい橙	有枝坏 赤彩 玉集中No70	
15	土師器	高坏		10.0	14.8	C E H I K	60	普通	にぶい黄橙	屈折脚 赤彩 玉集中B No66-70-72-83	
16	土師器	高坏		1.3	(18.0)	H J L	45	普通	にぶい橙	有段脚裾部 赤彩 玉集中B・玉集中B No111	
17	土師器	高坏		10.4	15.7	A C J L	35	普通	橙	屈折脚 赤彩 玉集中B No59-60	
18	土師器	高坏			14.0	A H I J	90	普通	にぶい黄橙	屈折脚 赤彩 玉集中B No62	

第96表 第2号滑石製品集中地点出土石製品観察表 (第302～305図)

番号	器種	石材	状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	図版
19	紡錘車	滑石		3.332	3.206	0.504	7.8	裏面前面欠損	155-6
20	銅形	滑石		6.520	2.360	0.460	12.0	No2 先端部欠損 穿孔あり	155-7
21	銅形	滑石		6.800	2.510	0.310	8.6	No14 穿孔あり	155-8
22	銅形	滑石		3.570	2.400	0.880	8.8	No4 下半部欠損 穿孔あり	155-9
23	銅形	滑石		6.370	2.170	0.550	11.9	No23 穿孔あり	156-1
24	銅形	滑石		6.190	1.980	0.380	8.4	No49 先端部欠損 穿孔あり	156-2
25	銅形	滑石		5.620	2.280	0.450	7.2		156-3
26	銅形	滑石		5.300	1.950	0.550	8.9	No153 穿孔あり	156-4
27	銅形	滑石		5.780	1.970	0.410	7.9	No48 穿孔あり	156-5
28	銅形	滑石		5.850	1.790	0.410	7.1	No13 穿孔ミスあり 穿孔あり	156-6
29	銅形	滑石		5.130	2.460	0.430	10.1	No31 穿孔あり	156-7
30	銅形	滑石		4.230	2.460	0.650	7.8	A区F12G 先端部欠損 穿孔あり	157-1
31	銅形	滑石		4.920	1.880	0.560	7.1	No15	157-2
32	銅形	滑石		4.140	1.590	0.450	3.9	No146 穿孔あり	157-3
33	銅形	滑石		4.190	2.350	0.510	6.8	No145 穿孔あり	157-4
34	銅形	滑石		3.900	2.390	0.570	7.1	No135 下部欠損穿孔あり	157-5
35	銅形	滑石		4.230	1.650	0.420	3.8	No17 穿孔あり	157-6
36	銅形	滑石		3.730	1.380	0.390	3.1	No22 穿孔あり	157-7
37	銅形	滑石		1.535	0.798	0.253	0.5	上部欠損	157-8
38	銅形	滑石		3.370	1.640	0.690	4.5	No42 穿孔あり	158-1
39	銅形	滑石		2.790	2.180	0.550	4.9	No7 下半部欠損 穿孔あり	157-9
40	銅形	滑石		3.150	1.430	0.370	2.4	No8 穿孔あり	158-2
41	銅形	滑石		1.910	1.760	0.200	1.3	No32 上半部欠損	158-3
42	銅形	滑石		3.400	1.770	0.250	2.3	No144 穿孔あり	158-4
43	銅形	滑石		2.727	1.459	0.653	3.1	穿孔部より上・下半部欠損 穿孔あり	158-5
44	銅形	滑石		2.140	1.310	0.270	1.4	No5 穿孔あり	158-6
45	銅形	滑石		2.400	1.360	0.340	2.1	No136	158-7
46	銅形	滑石		2.345	1.572	0.175	1.2	No1 穿孔あり	
47	銅形	滑石		1.892	1.356	0.130	0.5		
48	有孔円板	滑石		4.910	4.500	0.840	27.5	No18 穿孔2	158-8
49	有孔円板	滑石		3.280	3.150	0.330	6.0	No20 穿孔2	158-9
50	有孔円板	滑石		2.600	1.870	0.270	2.4	No149 穿孔部より下半部残存 穿孔2	158-10

番号	器種	石材	状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	図版
51	有孔円板	滑石		1.810	1.710	0.220	1.1	No33 穿孔2	158-11
52	有孔円板	滑石		1.730	1.790	0.290	1.5	No16 穿孔2	158-12
53	有孔円板	滑石		2.770	2.410	0.330	4.2	No139 穿孔1	158-13
54	有孔円板	滑石		2.080	1.250	0.250	1.2	No21 下半部欠損 穿孔1	159-1
55	有孔円板	滑石		2.320	1.920	0.130	1.2	No6 左側欠損 穿孔1	159-2
56	有孔円板	滑石		1.970	1.860	0.290	2.0	No154 穿孔1	159-3
57	有孔円板	滑石		1.880	1.910	0.340	2.2	No47 穿孔1	159-4
58	有孔円板	滑石		2.760	1.950	0.270	1.9	No30 穿孔1	159-5
59	有孔円板	滑石		1.700	1.590	0.160	0.9	No140 穿孔1	159-6
60	有孔円板	滑石		1.328	1.258	0.322	1.0	穿孔1	
61	有孔円板	滑石		2.000	1.280	0.310	1.3	No128	159-7
62	無孔円板	滑石		2.780	1.940	0.310	3.3	No134	159-8
63	無孔円板	滑石		1.850	1.520	0.300	1.9	No19	159-9
64	白玉	滑石	完成品	0.440	0.430	0.190	0.0	No3	159-10
65	白玉	滑石	完成品	0.460	0.450	0.130	0.0	No11	159-10
66	白玉	滑石	完成品	0.500	0.480	0.240	0.1	No12	159-10
67	白玉	滑石	完成品	0.520	0.510	0.340	0.2	No24	159-10
68	白玉	滑石	完成品	0.550	0.540	0.190	0.1	No25 正面上部欠損	159-10
69	白玉	滑石	完成品	0.490	0.480	0.250	0.1	No26 裏面上部欠損	159-10
70	白玉	滑石	完成品	0.490	0.480	0.270	0.1	No27 裏面上部欠損	159-10
71	白玉	滑石	完成品	0.540	0.530	0.330	0.2	No28	159-10
72	白玉	滑石	完成品	0.510	0.500	0.190	0.1	No29	159-10
73	白玉	滑石	完成品	0.430	0.420	0.140	0.0	No34	159-10
74	白玉	滑石	完成品	0.470	0.460	0.290	0.1	No35	159-10
75	白玉	滑石	完成品	0.540	0.530	0.240	0.1	No36 正面上部欠損	159-10
76	白玉	滑石	完成品	0.460	0.450	0.140	0.0	No37	159-10
77	白玉	滑石	完成品	0.530	0.440	0.080	0.0	No38 上部欠損	159-10
78	白玉	滑石	完成品	0.520	0.510	0.320	0.1	No39	159-10
79	白玉	滑石	完成品	0.510	0.500	0.320	0.1	No40	159-10
80	白玉	滑石	完成品	0.540	0.490	0.250	0.1	No41	159-10
81	白玉	滑石	完成品	0.400	0.360	0.110	0.0	No43	159-10
82	白玉	滑石	完成品	0.420	0.430	0.230	0.1	No44	159-10
83	白玉	滑石	完成品	0.500	0.490	0.270	0.1	No45	159-10
84	白玉	滑石	完成品	0.430	0.420	0.320	0.0	No46	159-10
85	白玉	滑石	完成品	0.520	0.500	0.280	0.1	No81	159-10
86	白玉	滑石	完成品	0.450	0.430	0.250	0.0	No127	159-10
87	白玉	滑石	完成品	0.300	0.290	0.250	0.0	No129	159-10
88	白玉	滑石	完成品	0.440	0.430	0.190	0.0	No130	159-10
89	白玉	滑石	完成品	0.530	0.520	0.340	0.1	No131	159-10
90	白玉	滑石	完成品	0.510	0.490	0.250	0.1	No132	159-10
91	白玉	滑石	完成品	0.480	0.470	0.270	0.1	No137	159-10
92	白玉	滑石	完成品	0.480	0.470	0.280	0.1	No138	159-10
93	白玉	滑石	完成品	0.460	0.450	0.170	0.0	No142	159-10
94	白玉	滑石	完成品	0.510	0.500	0.270	0.1	No143	159-10
95	白玉	滑石	完成品	0.530	0.520	0.330	0.2	No147	159-10
96	白玉	滑石	完成品	0.490	0.480	0.300	0.1	No148	159-10
97	白玉	滑石	完成品	0.600	0.580	0.400	0.2	No150	159-10
98	白玉	滑石	完成品	0.440	0.420	0.120	0.0	No151	159-10
99	白玉	滑石	完成品	0.450	0.420	0.250	0.1	No152	159-10
100	白玉	滑石	完成品	0.490	0.480	0.330	0.1	No155	159-10
101	白玉	滑石	完成品	0.490	0.440	0.180	0.0	No156 左側面欠損	159-10
102	白玉	滑石	完成品	0.370	0.210	0.110	0.0	No25 3/4欠損	159-10
103	白玉	滑石	完成品	0.466	0.464	0.343	0.1		159-10
104	白玉	滑石	完成品	0.497	0.496	0.206	0.0		159-10
105	白玉	滑石	完成品	0.507	0.486	0.114	0.0		159-10
106	白玉	滑石	完成品	0.441	0.432	0.231	0.1		159-10
107	白玉	滑石	完成品	0.479	0.047	0.272	0.1		159-10

序号	窑种	石材	状态	长 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	图版
108	白玉	滑石	完成品	0.548	0.544	0.351	0.2		159-10
109	白玉	滑石	完成品	0.496	0.496	0.378	0.1		159-10
110	白玉	滑石	完成品	0.483	0.481	0.196	0.0		159-10
111	白玉	滑石	完成品	0.475	0.466	0.098	0.0		159-10
112	白玉	滑石	完成品	0.565	0.563	0.136	0.0		159-10
113	白玉	滑石	完成品	0.492	0.485	0.212	0.1		159-10
114	白玉	滑石	完成品	0.460	0.458	0.404	0.1		159-10
115	白玉	滑石	完成品	0.505	0.500	0.156	0.0		159-10
116	白玉	滑石	完成品	0.469	0.438	0.147	0.0		159-10
117	白玉	滑石	完成品	0.493	0.049	0.166	0.0		159-10
118	白玉	滑石	完成品	0.470	0.454	0.224	0.0		159-10
119	白玉	滑石	完成品	0.458	0.454	0.261	0.1		159-10
120	白玉	滑石	完成品	0.494	0.493	0.248	0.1		159-10
121	白玉	滑石	完成品	0.387	0.384	0.227	0.0		159-10
122	白玉	滑石	完成品	0.552	0.533	0.310	0.1		159-10
123	白玉	滑石	完成品	0.466	0.461	0.274	0.1		159-10
124	白玉	滑石	完成品	0.457	0.453	0.280	0.1		159-10
125	白玉	滑石	完成品	0.586	0.570	0.303	0.2		159-10
126	白玉	滑石	完成品	0.502	0.484	0.111	0.0		159-10
127	白玉	滑石	完成品	0.445	0.439	0.116	0.0		159-10
128	白玉	滑石	完成品	0.483	0.474	0.245	0.1		159-10
129	白玉	滑石	完成品	0.465	0.462	0.316	0.1		159-10
130	白玉	滑石	完成品	0.494	0.488	0.171	0.0		159-10
131	白玉	滑石	完成品	0.415	0.414	0.211	0.0		159-10
132	白玉	滑石	完成品	0.466	0.453	0.194	0.0		159-10
133	白玉	滑石	完成品	0.469	0.465	0.184	0.0		159-10
134	白玉	滑石	完成品	0.463	0.455	0.337	0.1		159-10
135	白玉	滑石	完成品	0.492	0.455	0.126	0.0		159-10
136	白玉	滑石	完成品	0.458	0.456	0.242	0.0		159-10
137	白玉	滑石	完成品	0.444	0.439	0.291	0.1		159-10
138	白玉	滑石	完成品	0.496	0.494	0.242	0.1		159-10
139	白玉	滑石	完成品	0.517	0.504	0.284	0.1		159-10
140	白玉	滑石	完成品	0.588	0.582	0.151	0.1		159-10
141	白玉	滑石	完成品	0.571	0.566	0.342	0.2		159-10
142	白玉	滑石	完成品	0.583	0.572	0.263	0.1		159-10
143	白玉	滑石	完成品	0.589	0.572	0.172	0.1		159-10
144	白玉	滑石	完成品	0.499	0.488	0.228	0.1		159-10
145	白玉	滑石	完成品	0.549	0.533	0.165	0.0		159-10
146	白玉	滑石	完成品	0.451	0.450	0.163	0.0		159-10
147	白玉	滑石	完成品	0.465	0.464	0.207	0.1		159-10
148	白玉	滑石	完成品	0.495	0.450	0.192	0.0		159-10
149	白玉	滑石	完成品	0.466	0.460	0.154	0.0		159-10
150	白玉	滑石	完成品	0.453	0.446	0.244	0.0		159-10
151	白玉	滑石	完成品	0.496	0.489	0.159	0.0		159-10
152	白玉	滑石	完成品	0.500	0.491	0.206	0.0		159-10
153	白玉	滑石	完成品	0.364	0.350	0.132	0.0		159-10
154	白玉	滑石	完成品	0.509	0.503	0.189	0.1		159-10
155	白玉	滑石	完成品	0.458	0.453	0.135	0.0		159-10
156	白玉	滑石	完成品	0.500	0.464	0.217	0.0		159-10
157	白玉	滑石	完成品	0.459	0.445	0.126	0.0		159-10
158	白玉	滑石	完成品	0.434	0.405	0.253	0.0		159-10
159	白玉	滑石	完成品	0.547	0.515	0.143	0.0		159-10
160	白玉	滑石	完成品	0.602	0.597	0.214	0.1		159-10
161	白玉	滑石	完成品	0.516	0.514	0.198	0.1		159-10
162	白玉	滑石	完成品	0.512	0.497	0.234	0.1		159-10
163	白玉	滑石	完成品	0.498	0.489	0.173	0.0		159-10
164	白玉	滑石	完成品	0.433	0.432	0.225	0.0		159-10

番号	器種	石材	状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	図版
165	白玉	滑石	完成品	0.477	0.475	0.271	0.1		159-10
166	白玉	滑石	完成品	0.517	0.515	0.253	0.1		159-10
167	白玉	滑石	完成品	0.513	0.492	0.228	0.0		159-10
168	白玉	滑石	完成品	0.453	0.451	0.324	0.1		159-10
169	白玉	滑石	完成品	0.481	0.468	0.136	0.0		159-10
170	白玉	滑石	完成品	0.509	0.505	0.198	0.1	裏面上部欠損	159-10
171	白玉	滑石	完成品	0.530	0.529	0.268	0.1		159-10
172	白玉	滑石	完成品	0.548	0.543	0.188	0.0		159-10
173	白玉	滑石	完成品	0.521	0.517	0.261	0.1		159-10
174	白玉	滑石	完成品	0.433	0.432	0.255	0.0		159-10
175	白玉	滑石	完成品	0.499	0.498	0.161	0.1		159-10
176	白玉	滑石	完成品	0.503	0.500	0.255	0.1		159-10
177	白玉	滑石	完成品	0.503	0.493	0.221	0.1		159-10
178	白玉	滑石	完成品	0.475	0.468	0.249	0.1		159-10
179	白玉	滑石	完成品	0.425	0.424	0.222	0.0		159-10
180	白玉	滑石	完成品	0.573	0.523	0.210	0.1	上部欠損	159-10
181	白玉	滑石	完成品	0.606	0.578	0.240	0.1	裏面前面欠損	159-10
182	白玉	滑石	完成品	0.470	0.442	0.224	0.1		159-10
183	白玉	滑石	完成品	0.453	0.451	0.134	0.0		159-10
184	白玉	滑石	完成品	0.451	0.447	0.140	0.0		159-10
185	白玉	滑石	完成品	0.449	0.447	0.255	0.1		159-10
186	白玉	滑石	完成品	0.452	0.451	0.223	0.0		159-10
187	白玉	滑石	完成品	0.462	0.412	0.261	0.0		159-10
188	白玉	滑石	完成品	0.474	0.472	0.172	0.0		159-10
189	白玉	滑石	完成品	0.542	0.517	0.369	0.2		159-10
190	白玉	滑石	完成品	0.532	0.498	0.227	0.1		159-10
191	白玉	滑石	完成品	0.505	0.503	0.245	0.1		159-10
192	白玉	滑石	完成品	0.559	0.524	0.167	0.0		159-10
193	白玉	滑石	完成品	0.528	0.515	0.265	0.1		159-10
194	白玉	滑石	完成品	0.454	0.452	0.113	0.0		159-10
195	白玉	滑石	完成品	0.448	0.375	0.271	0.0		159-10
196	白玉	滑石	完成品	0.462	0.442	0.309	0.1		159-10
197	白玉	滑石	完成品	0.418	0.415	0.189	0.0		159-10
198	白玉	滑石	完成品	0.479	0.473	0.303	0.1		159-10
199	白玉	滑石	完成品	0.474	0.454	0.253	0.0	裏面ほぼ前面欠損	159-10
200	白玉	滑石	完成品	0.504	0.421	0.230	0.0	上部欠損	159-10
201	白玉	滑石	完成品	0.360	0.354	0.150	0.0		159-10
202	白玉	滑石	完成品	0.405	0.403	0.136	0.0		159-10
203	白玉	滑石	完成品	0.389	0.387	0.220	0.0		159-10
204	白玉	滑石	完成品	0.493	0.460	0.263	0.1		159-10
205	白玉	滑石	完成品	0.352	0.347	0.263	0.0		159-10
206	白玉	滑石	完成品	0.463	0.462	0.296	0.0		159-10
207	白玉	滑石	完成品	0.514	0.474	0.170	0.0		159-10
208	白玉	滑石	完成品	0.457	0.417	0.116	0.0		159-10
209	白玉	滑石	完成品	0.481	0.440	0.082	0.0		159-10
210	白玉	滑石	完成品	0.435	0.370	0.173	0.0		159-10
211	白玉	滑石	完成品	0.462	0.460	0.196	0.0		159-10
212	白玉	滑石	完成品	0.463	0.458	0.227	0.1		159-10
213	白玉	滑石	完成品	0.460	0.454	0.225	0.1		159-10
214	白玉	滑石	完成品	0.464	0.458	0.163	0.0		159-10
215	白玉	滑石	完成品	0.540	0.442	0.134	0.0		159-10
216	白玉	滑石	完成品	0.466	0.457	0.235	0.0		159-10
217	白玉	滑石	完成品	0.389	0.384	0.242	0.0		159-10
218	白玉	滑石	完成品	0.423	0.405	0.133	0.0		159-10
219	白玉	滑石	完成品	0.430	0.423	0.174	0.0		159-10
220	白玉	滑石	完成品	0.454	0.196	0.166	0.0	半分欠損	159-10
221	白玉	滑石	完成品	0.606	0.587	0.300	0.2		159-10

序号	器种	石材	状态	长 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	图版
222	白玉	滑石	未成品	0.822	0.729	0.385	0.3		159-10
223	白玉	滑石	未成品	0.841	0.806	0.201	0.2		159-10
224	白玉	滑石	未成品	0.744	0.652	0.418	0.3		159-10
225	白玉	滑石	未成品	0.705	0.690	0.278	0.2		159-10
226	白玉	滑石	未成品	0.623	0.614	0.138	0.1		159-10
227	白玉	滑石	未成品	0.708	0.600	0.139	0.1		159-10
228	白玉	滑石	穿孔残破品	0.921	0.519	0.134	0.1		159-10
229	白玉	滑石	穿孔残破品	0.829	0.611	0.283	0.2		159-10
230	白玉	滑石	穿孔残破品	0.832	0.567	0.292	0.2		159-10
231	白玉	滑石	穿孔残破品	0.836	0.491	0.264	0.2		159-10
232	白玉	滑石	穿孔残破品	0.772	0.246	0.175	0.1		159-10
233	白玉	滑石	穿孔残破品	0.894	0.271	0.173	0.1		159-10
234	白玉	滑石	穿孔残破品	0.791	0.438	0.236	0.1		159-10
235	白玉	滑石	穿孔残破品	0.865	0.328	0.226	0.1		159-10
236	白玉	滑石	穿孔残破品	0.945	0.531	0.223	0.2		159-10
237	白玉	滑石	穿孔残破品	0.750	0.476	0.171	0.1		159-10
238	白玉	滑石	穿孔残破品	0.758	0.398	0.275	0.2		159-10
239	白玉	滑石	穿孔残破品	0.693	0.460	0.306	0.2		159-10
240	白玉	滑石	穿孔残破品	0.752	0.330	0.198	0.1		159-10
241	白玉	滑石	穿孔残破品	0.645	0.467	0.210	0.1		159-10
242	白玉	滑石	穿孔残破品	0.810	0.355	0.287	0.1		159-10
243	白玉	滑石	穿孔残破品	0.714	0.341	0.265	0.1		159-10
244	白玉	滑石	穿孔残破品	0.785	0.341	0.143	0.1		159-10
245	白玉	滑石	穿孔残破品	0.643	0.272	0.239	0.1		159-10
246	白玉	滑石	穿孔残破品	0.580	0.375	0.287	0.1		159-10
247	白玉	滑石	穿孔残破品	0.642	0.508	0.166	0.1		159-10
248	白玉	滑石	穿孔残破品	0.599	0.366	0.187	0.0		159-10
249	白玉	滑石	穿孔残破品	0.622	0.306	0.188	0.0		159-10
250	白玉	滑石	穿孔残破品	0.687	0.288	0.115	0.0		159-10
251	白玉	滑石	穿孔残破品	0.613	0.405	0.120	0.0		159-10
252	白玉	滑石	穿孔残破品	0.633	0.372	0.125	0.0		159-10
253	白玉	滑石	穿孔残破品	0.603	0.402	0.134	0.0		159-10
254	白玉	滑石	穿孔残破品	0.608	0.404	0.144	0.0		159-10
255	白玉	滑石	穿孔残破品	0.567	0.381	0.133	0.0		159-10
256	白玉	滑石	穿孔残破品	0.779	0.653	0.090	0.1		159-10
257	白玉	滑石	穿孔工程品	0.962	0.788	0.300	0.3		159-10
258	白玉	滑石	穿孔工程品	0.700	0.660	0.330	0.2	No.133	159-10
259	白玉	滑石	穿孔工程品	0.956	0.706	0.144	0.1		159-10
260	白玉	滑石	穿孔时破品	0.840	0.488	0.358	0.3		159-10
261	白玉	滑石	穿孔时破品	0.985	0.767	0.222	0.3		159-10
262	白玉	滑石	穿孔时破品	0.918	0.798	0.188	0.2		159-10
263	白玉	滑石	穿孔时破品	0.772	0.389	0.306	0.1		159-10
264	白玉	滑石	穿孔时破品	0.756	0.520	0.200	0.1		159-10
265	白玉	滑石	穿孔时破品	0.735	0.468	0.181	0.1		159-10
266	白玉	滑石	穿孔时破品	0.781	0.381	0.177	0.0		159-10
267	白玉	滑石	穿孔时破品	0.724	0.433	0.301	0.1		159-10
268	白玉	滑石	穿孔时破品	0.698	0.373	0.188	0.1		159-10
269	白玉	滑石	穿孔时破品	0.703	0.417	0.113	0.0		159-10
270	白玉	滑石	穿孔时破品	0.588	0.566	0.091	0.0		159-10
271	白玉	滑石	穿孔时破品	0.524	0.488	0.103	0.0		159-10
272	白玉	滑石	穿孔时破品	0.822	0.803	0.204	0.2		159-10

第97表 第2号滑石製品集中地点出土滑石剥片一覽表

番号	器種/状態	長(cm)	短(cm)	厚(cm)	重(g)	備考	番号	器種/状態	長(cm)	短(cm)	厚(cm)	重(g)	備考
229	切削剥片	0.632	0.322	0.196	0.0		314	形割剥片	0.926	0.515	0.225	0.1	
235	切削剥片	0.521	0.316	0.190	0.0		315	形割剥片	0.815	0.622	0.156	0.1	
239	切削剥片	0.540	0.353	0.095	0.0		316	形割剥片	0.901	0.568	0.163	0.1	
251	切削剥片	0.824	0.371	0.116	0.0		317	切削剥片	0.689	0.424	0.108	0.0	
252	形割剥片	0.923	0.596	0.176	0.1		318	形割剥片	0.904	0.470	0.250	0.1	
254	切削工程品	0.792	0.647	0.375	0.3		319	切削剥片	0.698	0.550	0.091	0.0	
256	形割剥片	0.965	0.628	0.212	0.2		320	切削剥片	0.753	0.455	0.094	0.0	
257	形割剥片	1.109	0.634	0.252	0.2		321	形割剥片	1.599	0.763	0.240	0.4	
258	形割剥片	0.994	0.871	0.300	0.3		322	形割剥片	1.525	1.137	0.286	0.7	
259	形割剥片	0.887	0.744	0.288	0.2		323	形割剥片	1.031	0.656	0.238	0.2	
261	形割剥片	0.929	0.774	0.157	0.2		324	形割剥片	1.143	0.727	0.293	0.3	
262	形割剥片	0.825	0.551	0.244	0.1		325	形割剥片	1.163	0.694	0.224	0.2	
263	形割剥片	0.791	0.604	0.502	0.2		326	切削剥片	0.729	0.459	0.146	0.0	
264	切削剥片	0.565	0.454	0.136	0.0		327	形割剥片	1.834	0.793	0.481	1.0	
266	形割剥片	0.829	0.664	0.189	0.1		328	形割剥片	1.170	0.814	0.290	0.3	
267	切削剥片	0.680	0.340	0.207	0.0		329	形割剥片	1.083	0.747	0.231	0.3	
268	切削工程品	0.743	0.657	0.270	0.2		330	形割剥片	0.935	0.537	0.203	0.1	
269	形割剥片	0.984	0.686	0.429	0.4		331	形割剥片	1.291	0.897	0.302	0.4	
271	形割剥片	1.022	0.630	0.394	0.4		332	形割剥片	0.938	0.774	0.294	0.3	
272	形割剥片	0.629	0.516	0.266	0.1		333	形割剥片	1.073	0.723	0.228	0.3	
273	形割剥片	0.804	0.635	0.252	0.2		334	形割剥片	0.935	0.874	0.183	0.2	
274	切削工程品	1.052	0.502	0.306	0.2		335	形割剥片	1.154	0.460	0.163	0.1	
275	形割剥片	0.918	0.443	0.226	0.1		336	切削剥片	0.762	0.567	0.126	0.0	
276	切削剥片	0.669	0.520	0.152	0.0		337	形割剥片	0.863	0.808	0.310	0.3	
277	形割剥片	0.750	0.597	0.202	0.1		338	形割剥片	1.025	0.616	0.225	0.2	
278	形割剥片	0.976	0.722	0.167	0.2		339	形割剥片	1.290	0.704	0.194	0.2	
279	形割剥片	0.617	0.495	0.180	0.1		340	形割剥片	0.806	0.597	0.228	0.2	
280	形割剥片	0.749	0.699	0.307	0.1		341	形割剥片	0.891	0.581	0.235	0.1	
282	形割剥片	0.827	0.671	0.181	0.1		342	形割剥片	0.696	0.674	0.238	0.1	
284	形割剥片	0.897	0.660	0.222	0.2		343	形割剥片	1.385	0.737	0.264	0.3	
285	形割剥片	0.745	0.601	0.308	0.2		344	形割剥片	1.134	0.808	0.201	0.3	
286	切削剥片	0.686	0.498	0.145	0.0		345	形割剥片	0.890	0.652	0.263	0.2	
287	切削剥片	0.949	0.604	0.094	0.0		346	形割剥片	0.957	0.689	0.134	0.1	
288	形割剥片	1.092	0.509	0.258	0.2		347	形割剥片	1.458	0.812	0.232	0.4	
289	切削剥片	0.698	0.463	0.269	0.0		348	形割剥片	1.217	0.437	0.199	0.1	
290	形割剥片	0.647	0.428	0.246	0.1		350	形割剥片	1.440	0.724	0.166	0.3	
291	形割剥片	0.763	0.600	0.206	0.1		351	形割剥片	2.151	1.506	0.923	2.6	
292	形割剥片	0.790	0.579	0.193	0.1		353	形割剥片	1.741	1.261	0.411	1.1	
293	形割剥片	1.118	0.447	0.293	0.2		355	形割剥片	1.803	1.330	0.495	1.6	
294	形割剥片	0.758	0.432	0.301	0.1		356	形割剥片	1.340	1.144	0.332	0.5	
296	形割剥片	0.922	0.853	0.295	0.3		359	形割剥片	1.589	0.834	0.303	0.4	
297	形割剥片	1.313	0.649	0.097	0.1		360	形割剥片	1.572	0.802	0.306	0.4	
298	形割剥片	0.895	0.673	0.319	0.2		361	形割剥片	1.280	0.827	0.286	0.3	
299	形割剥片	0.926	0.314	0.386	0.2		362	形割剥片	0.882	0.752	0.359	0.3	
301	形割剥片	1.718	0.654	0.184	0.3		363	形割剥片	1.140	0.589	0.249	0.3	
302	切削工程品	1.127	0.831	0.192	0.3		366	形割剥片	0.954	0.633	0.304	0.3	
303	形割剥片	1.440	0.833	0.418	0.5		367	形割剥片	1.330	0.611	0.390	0.4	
304	形割剥片	1.722	0.810	0.432	0.8		368	形割剥片	0.929	0.646	0.217	0.2	
305	形割剥片	1.445	0.608	0.354	0.4		369	形割剥片	0.799	0.735	0.273	0.3	
306	形割剥片	1.516	0.766	0.270	0.4		371	形割剥片	0.921	0.662	0.193	0.2	
307	形割剥片	0.903	0.576	0.297	0.2		372	形割剥片	0.795	0.745	0.261	0.3	
308	形割剥片	1.093	0.385	0.142	0.1		373	形割剥片	1.177	0.409	0.197	0.1	
310	形割剥片	1.411	0.584	0.392	0.3		374	形割剥片	0.799	0.616	0.166	0.1	
311	形割剥片	1.175	0.874	0.205	0.2		375	形割剥片	1.399	0.412	0.191	0.2	
312	形割剥片	1.399	0.644	0.293	0.3		376	形割剥片	0.830	0.611	0.230	0.2	
313	形割剥片	0.866	0.397	0.297	0.2		377	形割剥片	0.754	0.662	0.184	0.1	

番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
378	形測測片	0.809	0.596	0.278	0.1		441	切削測片	0.634	0.412	0.094	0.0	
379	切削工程品	1.068	0.638	0.161	0.1		442	切削測片	0.527	0.416	0.206	0.0	
380	形測測片	0.785	0.525	0.212	0.1		443	形測測片	0.700	0.500	0.164	0.1	
381	形測測片	0.819	0.305	0.353	0.1		444	形測測片	0.645	0.313	0.212	0.1	
382	形測測片	1.317	0.614	0.243	0.2		445	切削測片	0.640	0.302	0.105	0.0	
383	形測測片	0.857	0.607	0.216	0.2		446	切削測片	0.793	0.267	0.138	0.0	
384	形測測片	0.802	0.510	0.215	0.2		447	切削測片	0.619	0.407	0.235	0.0	
385	切削測片	0.857	0.465	0.113	0.0		448	切削測片	0.678	0.253	0.208	0.0	
386	形測測片	0.879	0.369	0.347	0.2		449	切削測片	0.516	0.332	0.093	0.0	
387	形測測片	0.873	0.637	0.202	0.1		450	切削測片	0.651	0.236	0.160	0.0	
388	形測測片	0.736	0.543	0.172	0.1		451	大壁滑石測片	3.124	1.798	0.601	4.6	
389	形測測片	1.074	0.754	0.262	0.2		454	切削測片	0.608	0.334	0.083	0.0	
390	形測測片	0.722	0.523	0.240	0.1		455	切削測片	0.526	0.348	0.281	0.0	
391	形測測片	0.826	0.710	0.230	0.2		456	切削測片	0.539	0.406	0.217	0.0	
393	形測測片	0.707	0.359	0.309	0.1		457	切削測片	0.564	0.285	0.152	0.0	
394	形測測片	0.698	0.503	0.169	0.1		458	切削測片	0.544	0.513	0.093	0.0	
395	形測測片	0.688	0.650	0.205	0.1		459	切削測片	0.543	0.499	0.089	0.0	
396	形測測片	0.840	0.410	0.184	0.1		460	切削測片	0.513	0.298	0.087	0.0	
397	形測測片	0.825	0.587	0.241	0.1		461	切削測片	0.573	0.414	0.108	0.0	
398	形測測片	0.837	0.611	0.260	0.2		463	切削測片	0.448	0.436	0.141	0.0	
400	切削測片	0.830	0.778	0.116	0.0		464	切削測片	0.417	0.394	0.162	0.0	
401	形測測片	0.902	0.523	0.166	0.1		465	切削測片	0.572	0.315	0.163	0.0	
402	形測測片	0.939	0.497	0.132	0.1		466	切削測片	0.548	0.465	0.187	0.0	
403	切削測片	0.676	0.480	0.168	0.0		467	切削測片	0.531	0.370	0.102	0.0	
404	切削測片	0.656	0.384	0.085	0.0		468	切削測片	0.425	0.412	0.103	0.0	
405	形測測片	0.897	0.357	0.119	0.1		469	形測測片	2.008	0.840	0.211	0.5	
406	形測測片	0.772	0.418	0.196	0.1		470	形測測片	1.051	0.753	0.256	0.2	
407	切削測片	0.660	0.350	0.122	0.0		471	形測測片	1.285	1.133	0.305	0.4	
408	切削工程品	0.613	0.470	0.228	0.0		472	形測測片	2.133	0.796	0.399	0.6	
409	切削測片	0.591	0.387	0.086	0.0		473	形測測片	1.230	0.794	0.142	0.2	
411	切削工程品	0.688	0.406	0.203	0.0		475	形測測片	0.922	0.691	0.180	0.2	
412	形測測片	0.756	0.630	0.176	0.1		476	形測測片	0.840	0.832	0.167	0.2	
413	形測測片	0.705	0.483	0.150	0.1		477	形測測片	1.718	0.710	0.405	0.7	
414	切削測片	0.749	0.413	0.129	0.0		478	形測測片	1.635	0.928	0.315	0.6	
415	切削測片	0.680	0.334	0.102	0.0		479	切削測片	0.688	0.317	0.134	0.0	
416	切削測片	0.674	0.377	0.102	0.0		481	形測測片	0.650	0.509	0.139	0.1	
417	切削測片	0.814	0.357	0.209	0.0		482	形測測片	0.109	0.731	0.406	0.4	
418	切削測片	0.512	0.490	0.183	0.0		483	形測測片	1.040	0.459	0.215	0.1	
419	形測測片	0.700	0.411	0.178	0.1		484	形測測片	0.931	0.884	0.191	0.2	
420	切削測片	0.708	0.342	0.105	0.0		485	形測測片	0.836	0.734	0.326	0.2	
422	形測測片	1.185	0.404	0.248	0.2		486	形測測片	1.103	0.507	0.193	0.1	
423	形測測片	0.802	0.464	0.258	0.2		487	形測測片	0.941	0.788	0.182	0.1	
424	形測測片	0.887	0.447	0.337	0.2		488	形測測片	0.950	0.624	0.627	0.3	
425	形測測片	1.128	0.729	0.356	0.4		489	形測測片	0.770	0.561	0.300	0.2	
426	形測測片	1.044	0.635	0.258	0.2		490	形測測片	0.825	0.502	0.240	0.1	
427	形測測片	0.807	0.541	0.206	0.1		491	形測測片	1.204	0.501	0.179	0.2	
428	形測測片	0.876	0.479	0.296	0.1		493	形測測片	0.908	0.859	0.171	0.2	
429	形測測片	1.077	0.374	0.255	0.1		494	形測測片	0.726	0.640	0.185	0.2	
430	形測測片	0.763	0.625	0.231	0.2		495	形測測片	0.108	0.721	0.282	0.2	
431	形測測片	0.657	0.628	0.179	0.1		496	形測測片	0.895	0.415	0.188	0.1	
432	切削測片	0.698	0.383	0.148	0.0		497	形測測片	1.150	0.523	0.233	0.2	
433	形測測片	0.773	0.228	0.258	0.1		498	形測測片	1.079	0.572	0.243	0.2	
434	形測測片	0.902	0.329	0.110	0.1		499	切削工程品	1.002	0.586	0.217	0.2	
435	切削工程品	0.621	0.461	0.214	0.1		500	形測測片	1.328	0.631	0.175	0.2	
438	切削測片	0.566	0.473	0.140	0.0		501	形測測片	1.137	0.565	0.335	0.2	
439	切削測片	0.651	0.499	0.109	0.0		502	形測測片	1.142	0.350	0.192	0.1	
440	切削測片	0.698	0.402	0.161	0.0		503	形測測片	0.794	0.514	0.232	0.1	

番号	器械/状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	番号	器械/状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
504	形割削片	1.272	0.693	0.117	0.1		571	形割削片	3.009	0.733	0.253	0.8	
505	形割削片	0.841	0.585	0.236	0.1		572	形割削片	0.943	0.714	0.272	0.3	
506	形割削片	0.935	0.716	0.303	0.2		573	形割削片	0.780	0.586	0.201	0.1	
507	形割削片	0.918	0.595	0.162	0.1		574	切削削片	0.651	0.417	0.093	0.0	
508	切削削片	0.511	0.465	0.124	0.0		575	形割削片	0.829	0.539	0.264	0.2	
509	形割削片	0.828	0.396	0.213	0.1		576	形割削片	0.811	0.426	0.221	0.1	
510	切削削片	0.685	0.333	0.213	0.0		577	切削削片	0.624	0.376	0.127	0.0	
511	切削工用品	0.830	0.519	0.196	0.1		578	切削削片	0.739	0.546	0.121	0.0	
513	形割削片	0.942	0.493	0.310	0.2		579	形割削片	0.650	0.419	0.232	0.1	
514	切削削片	0.605	0.572	0.132	0.0		581	切削削片	0.732	0.419	0.154	0.0	
515	形割削片	0.678	0.667	0.209	0.1		583	形割削片	0.603	0.484	0.225	0.1	
516	形割削片	1.010	0.396	0.308	0.1		584	形割削片	0.547	0.459	0.246	0.1	
517	切削削片	0.794	0.395	0.138	0.0		585	切削削片	0.663	0.411	0.078	0.0	
518	形割削片	0.994	0.387	0.174	0.1		586	切削削片	0.513	0.442	0.125	0.0	
519	形割削片	0.884	0.706	0.199	0.2		587	切削削片	0.686	0.393	0.100	0.0	
522	形割削片	0.540	0.503	0.249	0.1		588	切削削片	0.572	0.387	0.119	0.0	
523	形割削片	0.827	0.450	0.254	0.1		589	形割削片	0.991	0.316	0.183	0.1	
524	形割削片	0.829	0.292	0.156	0.1		590	切削削片	0.472	0.469	0.162	0.0	
525	形割削片	0.720	0.551	0.180	0.1		591	切削工用品	0.626	0.604	0.189	0.1	
527	形割削片	0.781	0.417	0.208	0.1		592	切削削片	1.087	0.358	0.148	0.0	
528	形割削片	0.918	0.350	0.187	0.1		593	切削削片	0.478	0.456	0.115	0.0	
529	形割削片	0.823	0.494	0.227	0.1		594	形割削片	0.890	0.563	0.185	0.1	
530	切削削片	0.740	0.512	0.167	0.0		595	切削削片	0.851	0.286	0.162	0.0	
531	形割削片	0.961	0.453	0.179	0.1		596	切削削片	0.483	0.349	0.180	0.0	
532	切削削片	0.827	0.429	0.156	0.0		597	切削削片	0.646	0.301	0.063	0.0	
533	切削削片	0.646	0.369	0.128	0.0		598	切削削片	0.686	0.198	0.183	0.0	
534	形割削片	0.649	0.442	0.226	0.1		599	切削削片	0.500	0.408	0.165	0.0	
535	形割削片	0.701	0.408	0.373	0.1		600	切削削片	0.564	0.392	0.160	0.0	
537	形割削片	0.743	0.390	0.274	0.1		601	形割削片	0.729	0.526	0.163	0.1	
538	切削削片	0.699	0.357	0.155	0.0		602	切削削片	0.668	0.548	0.155	0.0	
539	形割削片	0.564	0.551	0.184	0.1		603	形割削片	0.796	0.349	0.207	0.1	
540	形割削片	0.812	0.533	0.369	0.2		604	形割削片	0.957	0.551	0.142	0.1	
541	形割削片	0.954	0.771	0.171	0.2		605	切削削片	0.632	0.590	0.142	0.0	
542	形割削片	0.783	0.351	0.304	0.1		606	形割削片	0.855	0.649	0.155	0.1	
543	形割削片	1.217	0.699	0.224	0.2		607	切削削片	0.617	0.418	0.115	0.0	
544	切削工用品	0.581	0.443	0.186	0.0		609	切削削片	0.531	0.507	0.195	0.0	
545	形割削片	0.552	0.517	0.125	0.1		611	形割削片	0.865	0.427	0.198	0.1	
546	形割削片	0.871	0.443	0.291	0.2		612	切削工用品	0.694	0.557	0.237	0.1	
547	切削工用品	0.636	0.630	0.342	0.2		613	切削削片	0.640	0.507	0.168	0.0	
549	形割削片	0.530	0.464	0.266	0.1		614	切削削片	0.718	0.481	0.143	0.0	
550	形割削片	0.691	0.555	0.166	0.1		615	形割削片	0.668	0.341	0.158	0.1	
551	形割削片	0.719	0.555	0.210	0.1		617	形割削片	0.849	0.426	0.262	0.1	
552	形割削片	0.572	0.458	0.203	0.1		618	切削削片	0.595	0.443	0.208	0.0	
553	形割削片	0.887	0.608	0.370	0.2		619	切削工用品	0.741	0.315	0.254	0.0	
554	切削削片	0.528	0.284	0.210	0.0		620	切削削片	0.534	0.378	0.106	0.0	
555	切削工用品	0.898	0.628	0.290	0.2		621	形割削片	0.638	0.428	0.205	0.1	
556	形割削片	0.449	0.407	0.306	0.1		623	切削削片	0.640	0.295	0.144	0.0	
557	切削削片	0.526	0.416	0.133	0.0		624	切削削片	0.740	0.397	0.138	0.0	
558	切削削片	0.629	0.267	0.245	0.0		626	切削削片	0.612	0.327	0.099	0.0	
559	形割削片	0.632	0.494	0.382	0.2		627	形割削片	0.598	0.386	0.283	0.1	
560	切削削片	0.991	0.540	0.119	0.0		628	切削削片	0.587	0.336	0.239	0.0	
561	形割削片	0.933	0.735	0.156	0.1		629	切削削片	0.715	0.434	0.177	0.0	
563	形割削片	0.699	0.574	0.180	0.2		630	切削削片	0.489	0.333	0.210	0.0	
565	切削削片	0.727	0.433	0.138	0.0		632	切削削片	0.640	0.427	0.147	0.0	
566	切削削片	0.530	0.448	0.184	0.0		633	切削削片	0.769	0.308	0.217	0.0	
567	形割削片	0.751	0.451	0.237	0.1		635	切削削片	0.574	0.447	0.119	0.0	
568	切削削片	0.720	0.474	0.147	0.0		636	切削削片	0.645	0.328	0.220	0.0	

番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	番号	器種 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
637	切削銅片	0.767	0.299	0.168	0.0		699	切削銅片	0.646	0.492	0.112	0.0	
638	切削銅片	0.582	0.311	0.110	0.0		700	切削銅片	0.663	0.318	0.116	0.0	
639	切削銅片	0.584	0.532	0.111	0.0		701	形測銅片	0.818	0.787	0.292	0.3	
640	切削銅片	0.608	0.425	0.129	0.0		702	切削銅片	0.973	0.479	0.091	0.0	
641	切削銅片	0.614	0.454	0.147	0.0		703	切削銅片	0.536	0.440	0.135	0.0	
643	切削工程品	0.675	0.410	0.143	0.0		704	形測銅片	0.858	0.539	0.152	0.1	
644	切削銅片	0.666	0.327	0.123	0.0		705	切削銅片	0.440	0.273	0.041	0.0	
645	切削銅片	0.629	0.354	0.136	0.0		706	切削銅片	0.621	0.322	0.140	0.0	
646	切削銅片	0.657	0.256	0.114	0.0		707	切削銅片	0.434	0.323	0.200	0.0	
647	切削銅片	0.509	0.483	0.269	0.0		708	切削銅片	0.494	0.403	0.105	0.0	
648	切削銅片	0.571	0.457	0.098	0.0		710	形測銅片	0.557	0.330	0.234	0.1	
649	切削銅片	0.543	0.393	0.145	0.0		711	切削銅片	0.498	0.271	0.131	0.0	
650	切削銅片	0.759	0.228	0.119	0.0		713	切削銅片	0.462	0.368	0.152	0.0	
651	切削銅片	0.544	0.486	0.177	0.0		714	切削銅片	0.514	0.323	0.104	0.0	
652	形測銅片	1.488	0.434	0.568	0.5		716	切削銅片	0.543	0.355	0.145	0.0	
654	切削銅片	0.673	0.339	0.145	0.0		717	切削銅片	0.667	0.303	0.098	0.0	
655	切削銅片	0.585	0.324	0.095	0.0		718	切削銅片	0.600	0.273	0.124	0.0	
656	切削銅片	0.674	0.316	0.163	0.0		719	切削銅片	0.426	0.361	0.056	0.0	
657	切削銅片	0.585	0.337	0.108	0.0		720	形測銅片	2.228	0.772	0.198	0.5	
658	大型滑石銅片	3.351	2.581	0.780	9.3		721	形測銅片	1.461	0.765	0.258	0.4	
659	形測銅片	1.106	0.784	0.231	0.3		722	形測銅片	1.015	0.560	0.439	0.3	
660	形測銅片	1.239	0.171	0.174	0.2		723	形測銅片	0.826	0.448	0.162	0.1	
661	切削銅片	0.677	0.243	0.126	0.0		724	形測銅片	0.707	0.431	0.276	0.1	
662	切削銅片	0.658	0.568	0.085	0.0		725	形測銅片	0.927	0.492	0.254	0.2	
663	形測銅片	0.922	0.696	0.292	0.3		726	形測銅片	0.964	0.557	0.139	0.1	
664	形測銅片	1.056	0.563	0.207	0.2		727	形測銅片	0.876	0.684	0.374	0.2	
665	形測銅片	0.800	0.555	0.210	0.2		728	形測銅片	1.054	0.709	0.270	0.2	
666	形測銅片	0.958	0.582	0.118	0.2		729	形測銅片	0.695	0.363	0.364	0.2	
667	形測銅片	0.865	0.422	0.221	0.1		730	切削銅片	1.066	0.306	0.116	0.0	
668	形測銅片	0.899	0.608	0.171	0.1		731	切削銅片	0.705	0.438	0.117	0.0	
669	切削工程品	0.774	0.653	0.317	0.2		732	形測銅片	0.706	0.378	0.186	0.1	
670	形測銅片	1.125	0.561	0.150	0.1		733	切削銅片	0.561	0.447	0.138	0.0	
671	形測銅片	1.432	0.775	0.211	0.3		734	形測銅片	1.300	0.818	0.290	0.2	
672	形測銅片	0.928	0.585	0.298	0.2		735	形測銅片	0.686	0.443	0.218	0.1	
673	形測銅片	0.786	0.620	0.183	0.1		736	形測銅片	1.121	1.068	0.227	0.3	
674	形測銅片	0.785	0.550	0.276	0.2		738	切削銅片	0.788	0.292	0.189	0.0	
675	形測銅片	0.937	0.470	0.202	0.1		739	形測銅片	1.376	0.428	0.401	0.2	
676	切削銅片	0.560	0.355	0.164	0.0		740	形測銅片	0.893	0.602	0.262	0.2	
677	形測銅片	0.827	0.400	0.230	0.1		741	切削工程品	0.861	0.619	0.310	0.2	
678	形測銅片	1.215	0.608	0.235	0.2		742	形測銅片	0.755	0.451	0.164	0.1	
679	形測銅片	0.882	0.773	0.413	0.3		743	形測銅片	0.621	0.506	0.242	0.1	
681	形測銅片	0.879	0.678	0.196	0.1		744	形測銅片	0.793	0.395	0.207	0.1	
682	形測銅片	1.504	0.705	0.248	0.3		745	切削銅片	0.587	0.346	0.215	0.0	
683	形測銅片	0.763	0.554	0.272	0.1		746	切削銅片	0.459	0.386	0.126	0.0	
685	形測銅片	1.357	0.632	0.210	0.2		747	切削銅片	0.737	0.431	0.161	0.0	
686	切削工程品	0.795	0.780	0.329	0.3		748	切削銅片	0.497	0.483	0.098	0.0	
687	切削工程品	0.637	0.530	0.127	0.0		749	切削銅片	0.534	0.324	0.167	0.0	
689	形測銅片	0.770	0.597	0.142	0.1		750	切削銅片	0.609	0.365	0.195	0.0	
690	形測銅片	0.827	0.412	0.204	0.1		751	切削工程品	1.045	0.902	0.307	0.3	
691	形測銅片	0.585	0.466	0.190	0.1		752	形測銅片	0.908	0.624	0.242	0.2	
692	切削銅片	0.333	0.284	0.109	0.0		753	形測銅片	0.962	0.442	0.349	0.2	
693	形測銅片	0.521	0.440	0.189	0.1		754	形測銅片	0.950	0.537	0.284	0.2	
694	切削銅片	0.540	0.372	0.154	0.0		755	形測銅片	0.751	0.509	0.225	0.1	
695	切削銅片	0.614	0.542	0.135	0.0		756	形測銅片	1.393	0.574	0.340	0.3	
696	形測銅片	1.094	0.459	0.268	0.2		757	形測銅片	0.879	0.535	0.133	0.1	
697	形測銅片	0.915	0.709	0.311	0.3		758	形測銅片	1.051	0.426	0.151	0.1	
698	切削銅片	0.835	0.447	0.109	0.0		759	切削銅片	0.616	0.454	0.154	0.0	

番号	器械 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考	番号	器械 / 状態	長 (cm)	短 (cm)	厚 (cm)	重 (g)	備考
760	切削剥片	0.667	0.506	0.095	0.0		823	切削剥片	0.470	0.349	0.249	0.0	
761	形割剥片	0.824	0.413	0.172	0.1		824	形割剥片	0.723	0.642	0.213	0.2	
762	切削剥片	0.513	0.463	0.161	0.0		825	切削剥片	0.612	0.347	0.108	0.0	
763	切削剥片	0.641	0.363	0.107	0.0		826	形割剥片	0.752	0.482	0.223	0.1	
764	切削剥片	0.485	0.371	0.173	0.0		827	切削剥片	0.761	0.543	0.177	0.1	
765	切削剥片	0.550	0.356	0.129	0.0		828	切削剥片	0.557	0.436	0.189	0.0	
766	切削剥片	0.527	0.381	0.109	0.0		829	切削剥片	0.949	0.269	0.157	0.0	
767	切削剥片	0.550	0.363	0.159	0.0		830	形割剥片	0.685	0.503	0.219	0.1	
768	切削剥片	0.638	0.385	0.160	0.0		831	形割剥片	0.728	0.490	0.242	0.1	
769	形割剥片	0.747	0.387	0.203	0.1		832	形割剥片	0.512	0.336	0.249	0.1	
771	切削剥片	0.573	0.355	0.128	0.0		835	形割剥片	1.368	0.865	0.344	0.4	
774	切削剥片	0.472	0.417	0.163	0.0		836	切削剥片	0.511	0.285	0.141	0.0	
775	切削剥片	0.549	0.343	0.194	0.0		838	切削剥片	0.459	0.303	0.197	0.0	
777	切削剥片	0.463	0.309	0.096	0.0		839	切削剥片	0.620	0.277	0.157	0.0	
778	切削剥片	0.448	0.372	0.095	0.0		842	切削剥片	0.468	0.346	0.223	0.0	
780	形割剥片	1.000	0.608	0.125	0.1		843	形割剥片	0.832	0.593	0.243	0.2	
782	形割剥片	0.898	0.538	0.320	0.2		844	形割剥片	0.845	0.460	0.177	0.1	
783	形割剥片	0.888	0.791	0.384	0.3		845	切削剥片	0.731	0.452	0.111	0.0	
784	形割剥片	1.328	0.413	0.313	0.2		846	切削剥片	0.200	0.321	0.200	0.1	
785	形割剥片	1.000	0.641	0.139	0.1		847	切削剥片	0.388	0.369	0.087	0.0	
786	形割剥片	0.900	0.619	0.210	0.2		848	形割剥片	0.774	0.593	0.146	0.1	
787	形割剥片	0.839	0.589	0.179	0.1		849	切削剥片	0.788	0.376	0.128	0.0	
788	形割剥片	0.979	0.431	0.227	0.1		850	切削剥片	0.639	0.273	0.206	0.0	
789	切削剥片	0.711	0.449	0.079	0.0		852	形割剥片	0.864	0.567	0.390	0.2	
790	形割剥片	0.770	0.478	0.200	0.1		853	切削剥片	0.602	0.316	0.204	0.0	
791	形割剥片	0.862	0.595	0.147	0.1		855	切削剥片	0.648	0.579	0.078	0.0	
792	切削剥片	0.581	0.429	0.174	0.0		856	切削剥片	0.958	0.314	0.195	0.0	
793	切削剥片	1.016	0.347	0.140	0.0		857	形割剥片	0.789	0.425	0.192	0.1	
794	形割剥片	0.601	0.571	0.233	0.1		858	形割剥片	0.755	0.585	0.258	0.1	
795	形割剥片	0.745	0.388	0.207	0.1		859	切削剥片	0.559	0.373	0.179	0.0	
796	切削剥片	0.683	0.425	0.228	0.0		860	切削剥片	0.528	0.407	0.200	0.0	
797	切削剥片	0.597	0.451	0.128	0.0		861	切削剥片	0.456	0.327	0.118	0.0	
798	切削剥片	0.694	0.516	0.167	0.0		862	切削剥片	0.442	0.415	0.092	0.0	
799	切削剥片	0.616	0.398	0.167	0.0		864	切削剥片	0.443	0.338	0.156	0.0	
800	切削剥片	0.532	0.343	0.095	0.0		865	切削剥片	0.445	0.357	0.091	0.0	
801	切削剥片	0.637	0.289	0.117	0.0		866	切削剥片	0.531	0.285	0.077	0.0	
802	切削剥片	0.651	0.302	0.125	0.0		867	形割剥片	1.085	0.521	0.152	0.1	
803	切削剥片	0.649	0.380	0.188	0.0		868	形割剥片	0.765	0.635	0.214	0.2	
804	切削剥片	0.499	0.411	0.126	0.0		869	切削剥片	0.745	0.389	0.160	0.0	
805	形割剥片	0.980	0.555	0.177	0.1		870	形割剥片	0.643	0.380	0.298	0.1	
806	形割剥片	1.311	0.534	0.305	0.3		872	切削剥片	0.476	0.378	0.141	0.0	
807	形割剥片	0.870	0.460	0.231	0.1		874	切削剥片	0.579	0.381	0.086	0.0	
808	切削剥片	0.670	0.359	0.223	0.0		875	切削剥片	0.611	0.202	0.159	0.0	
809	切削剥片	0.488	0.470	0.138	0.0		876	切削剥片	0.456	0.445	0.052	0.0	
810	切削剥片	0.580	0.461	0.105	0.0		877	切削剥片	0.358	0.324	0.054	0.0	
811	切削剥片	0.798	0.566	0.216	0.2		878	切削剥片	0.435	0.307	0.171	0.0	
812	形割剥片	0.749	0.532	0.380	0.2		879	切削剥片	0.399	0.291	0.054	0.0	
813	形割剥片	1.028	0.452	0.240	0.2		880	切削剥片	0.467	0.325	0.093	0.0	
814	切削剥片	0.433	0.368	0.086	0.0		881	切削剥片	0.392	0.290	0.095	0.0	
815	切削剥片	0.600	0.316	0.150	0.0		882	切削剥片	0.558	0.444	0.056	0.0	
816	切削剥片	0.834	0.365	0.197	0.0		883	切削剥片	0.354	0.320	0.147	0.0	
817	切削剥片	0.465	0.461	0.200	0.0		884	切削剥片	0.385	0.297	0.109	0.0	
818	形割剥片	0.646	0.517	0.149	0.1		885	切削剥片	0.596	0.381	0.125	0.0	
819	形割剥片	1.060	0.610	0.209	0.2		886	切削剥片	0.381	0.330	0.117	0.0	
820	形割剥片	0.973	0.445	0.384	0.3		887	切削剥片	0.338	0.299	0.124	0.0	
821	切削剥片	0.372	0.359	0.174	0.0		890	切削剥片	0.702	0.413	0.134	0.0	
822	切削剥片	0.519	0.353	0.106	0.0		891	切削剥片	0.536	0.338	0.161	0.0	

番号	器種/状態	長(cm)	短(cm)	厚(cm)	重(g)	備考	番号	器種/状態	長(cm)	短(cm)	厚(cm)	重(g)	備考
892	切削剥片	0.601	0.260	0.121	0.0		904	切削剥片	0.693	0.326	0.128	0.0	
894	切削剥片	0.578	0.324	0.160	0.0		906	切削剥片	0.498	0.375	0.069	0.0	
895	切削剥片	0.527	0.328	0.111	0.0		908	形削剥片	0.639	0.402	0.203	0.1	
896	切削剥片	0.437	0.329	0.124	0.0		909	形削剥片	0.672	0.424	0.211	0.1	
898	形削剥片	0.588	0.586	0.225	0.1		910	形削剥片	0.779	0.469	0.271	0.1	
899	切削剥片	0.541	0.381	0.165	0.0		912	切削剥片	0.444	0.363	0.144	0.0	
900	切削剥片	0.531	0.404	0.184	0.0		913	切削剥片	0.498	0.391	0.088	0.0	
901	切削剥片	0.436	0.360	0.076	0.0		914	切削剥片	0.406	0.398	0.086	0.0	
902	切削剥片	0.460	0.348	0.128	0.0		916	切削剥片	0.441	0.359	0.090	0.0	
903	切削剥片	0.436	0.342	0.119	0.0		917	切削剥片	0.441	0.303	0.060	0.0	

(2) 水田跡

第1号水田跡(第307図)

J・K-3～5グリッドに、水田区画が確認されている。断面視察から東端部の畦畔状の盛土が確認されている(1層)。土層の記録がなく詳細が不明な点が多いが、Ⅲa・Ⅲb・V層が水田の耕作土に相当するものと予想される。北辺15.5m・南辺20.0m・幅6.5m、面積115㎡が検出されている。東辺の方位はN-34°-Wを指す。出土遺物はない。

水田跡の東辺に沿って、走行方向がほぼ一致する第7号溝跡が位置する。上層からは、奈良・平安時代の遺物が一括出土している。出土遺物がない水田跡との时期的な検証が難しく、両者の関係を明らかにすることは困難である。土層断面図をみると、第7号溝跡はV層下に掘り込まれており、完全に埋没した時期が水田の開墾よりも古く位置づけられる可能性が高い。また、上層の奈良・平安時代の一括遺物から、水田はこれ以降のものとするのが可能である。

(3) 性格不明遺構

第1号性格不明遺構(第308・309図)

A・B-11・12・13グリッドに位置し、総数12条の溝跡によって区画された区域で、東西約23.2mにおよんでいる。

走行方向を東側に振る平行した6条の溝跡と、西側に振る平行する6条の溝跡が直交し、区画範囲の内部に方形の小区画を形成している。東側に振る走行方位は、N-38°-40°-EとN-51°-53°-Eに、西側に振る走行方位もN-47°-57°-WとN-31°-Wに細分される。検出された溝跡は、幅0.2m前後・確認面からの深さ0.2m前後の小規模なものである。また細分された方形区画も規模に統一性はない。重複する各遺構よりも、基本的には新しい。後出的な畠状の施設とも考えられるが、畝状の痕跡もなく、確たる根拠に乏しい。よって、用途・正確については不明である。

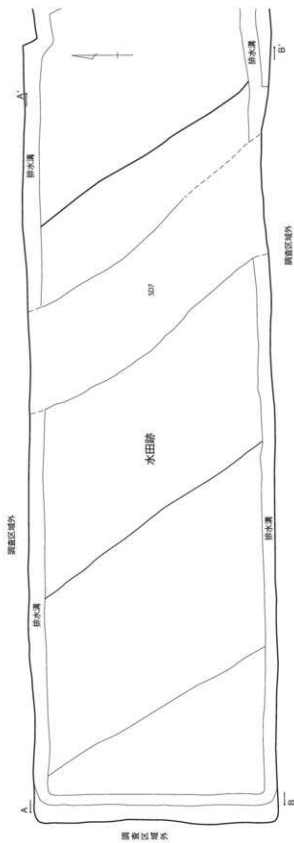
遺物は、底径が小さな単孔式の甕が出土しているが、遺構の時期をあらわすものではない。



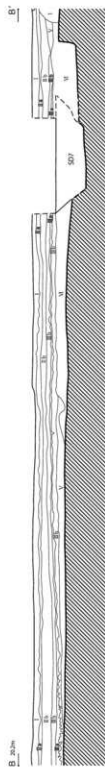
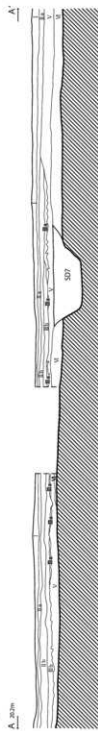
第308図 第1号性格不明遺構出土遺物

第98表 第1号性格不明遺構出土遺物観察表(第306図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	出土位置	図版
1	土師器	甕	9.0	3.5	A E I K	50	普通	にぶい黄橙	鉢形	煮沸時の煤付着		160-1



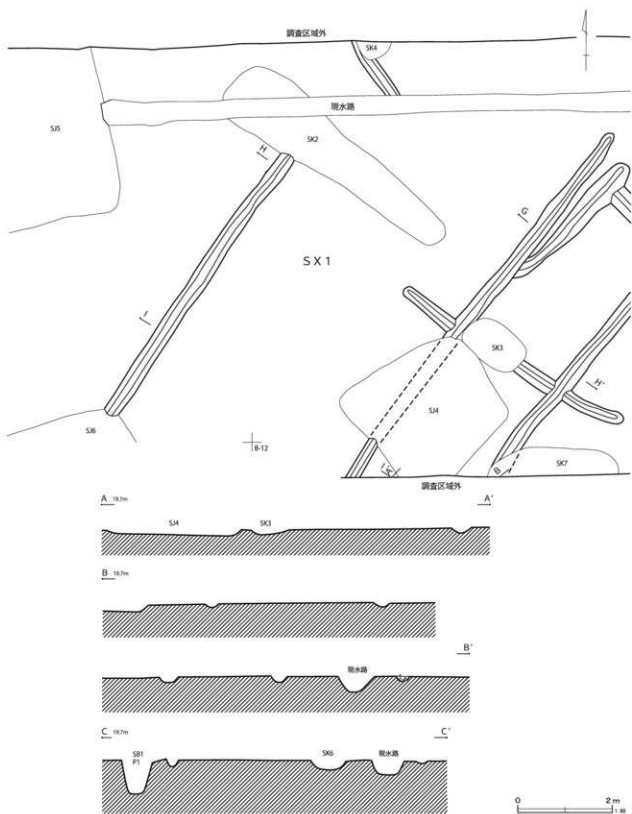
平面図



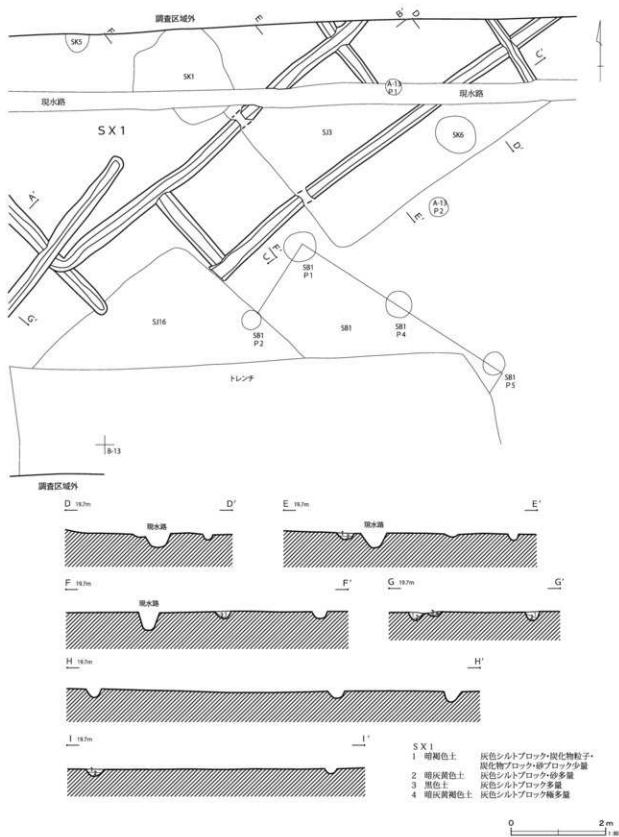
- 地層
- I 灰土
 - IIa 砂状土
 - IIb 砂状土
 - III 砂状土
 - IV 暗褐色土
 - V 暗灰色土
 - VI 黄褐色土
 - I' 暗褐色土

鉄釘付輪郭が多層

第307図 第1号水田跡



第308図 第1号性格不明遺構(1)



第309図 第1号性格不明遺構(2)

(4) グリッドピット

グリッドピットは、比較的少ない遺跡である。分布の傾向をみると、住居跡の分布が希薄な個所に集中する。また集中箇所も5カ所程度にままとまっている。

E・F-2・3グリッドとJ-6グリッドは、集落の西外辺部にあたる。第8号溝跡兩岸のE・F-16グリッドとE・F-18グリッドは、第4号溝跡(大溝跡)東側の住居跡が希薄な地域である。一方、J・K-9・10グリッドは掘立柱建物跡が集中する地区で、配置の組み合わせが確認できなかった掘立柱建物跡が含まれている可能性がある。

ほとんどのピットから、遺物は出土していない。また、出土した遺物も、図示し得ない細片である。このうち、残存率の高い遺物を第310図に掲載した。

第99表 グリッドピット出土遺物観察表(第310図)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	出土位置	図版	
1	土師器	坏	(13.9)	5.5		E H J K	35	普通	にぶい橙	F11GrPit40	内堀口縁	160-2	
2	須恵器	坏身	(10.3)	3.0		I K	10	普通	灰	J7GrPit2	坏H身	陶邑産 TK23~TK47	160-3

(5) グリッド出土・表探遺物

発見されたグリッドが明確ではあるが、その一方で、帰属する遺構が不明な遺物を、グリッド出土遺物として第311~317図に掲載した。出土した遺物の多くは、住居跡や大溝跡から出土した遺物と同時期・同種のものである。ほとんどが、銭塚・城敷Ⅲ~Ⅳ期を中心に銭塚・城敷Ⅱ期の範囲内に含まれ、大きく逸脱するものはない。

N-8・9グリッドとL-15・K-15~17グリッド付近には遺物包含層が形成されていた。精査の結果、遺構は検出されなかった。周囲には遺構が少なく、自然地形による傾斜地に遺物が堆積したものと推測される。なかでも、L-15・K-15~17グリッド付近では吉ヶ谷系の土器片が多く出土し、弥生包含層として調査を行った。岩鼻系の土器片が数片出土しているが、城敷遺跡に弥生時代の生活痕を示すような状況ではない。

F-11グリッドピット40



J-7グリッドピット2



第310図 グリッドピット出土遺物

1は、F-11グリッド Pit40から出土した。土師器の坏蓋模倣坏で、銭塚城敷Ⅳ期古段階に相当する。

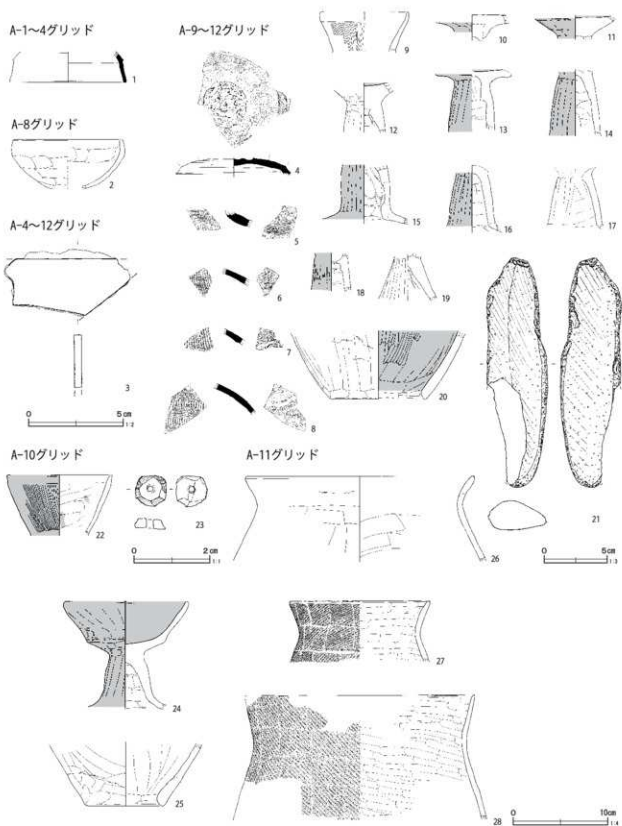
2は、J-7グリッド Pit 2から出土した。須恵器の坏身で、器壁が薄いシャープなつくりである。口縁部は長く、端部が丸い。比較的温度の低い焼成か、やや焼きしまり感がなく、やや軟質である。色調も白っぽいものである。器形・製作技法や胎土・焼成等の特徴から、陶邑産のTK23型式~TK47型式と推定される。

一方、第318図はグリッドも特定できない遺物群で、A区・B区・表探遺物として報告する。A区は主にA・Bグリッドを中心とする東西に広がる区域である。B区はH~Q-14・15グリッド付近の南北ラインである。

第311図1は、A-1~4グリッドから出土した須恵器の坏H蓋である。口縁部が長く、稜が鋭い。ロクロケズリも稜の付近まで施されている。シャープなつくりで、口縁端部や稜に技術の高さがみられる。外面には薄く自然釉が付着している。胎土の特徴から陶邑産で、時期はTK208型式段階と推定される。

3は、A-4~12グリッドから出土した。板状の鉄製品で、用途は不明である。現存長6.6cm・幅3.0cm・厚さ0.4cm、重さ34.1gの鋳造品である。(図版160-6)

5~8は、A-9~12グリッドから一括出土した



第311図 グリッド出土・表採遺物(1)

同一個体と推定される須恵器の甕片である。外面には平行タタキ後にカキ目が施されている。胎土等の特徴から、非陶邑産であるが、特定は困難である。時期も不詳であるが、他の須恵器との比較から、5世紀代と推測される。

21は、A-9~12グリッドから出土した敲石状の棒状の石製品である。平坦部には擦痕が残る。左下半部を欠損する。現存長18.1cm・幅4.8cm・厚さ2.4cm、重さ265.9g、石材は緑泥片岩である。

23は、A-10グリッドから出土した白玉穿孔工品である。側面に加工痕がある。長さ1.11cm・幅1.02cm・厚さ0.44cm、重さ0.7gである。(No.2)

27・28は吉ヶ谷系の甕で、A-11グリッドから出土した。27は、外面口縁部~肩部に単節LRを3段施文し、不鮮明であるが、口唇部には縄文原体を斜位に回転押圧されている。28は、外面口縁部~肩部に単節RLを5段施文し、残部僅少のため判別が困難であるが、口唇部に縄文原体が押圧されている可能性がある。

第312図30は、A-12~15グリッドから出土した吉ヶ谷系の甕である。口縁部~肩部に単節LRが3段施文されている。

38は、A-12~15グリッド~出土した幅狭の板状鉄製品で、用途は不明である。現存長4.0cm・幅1.1cm・厚さ0.3cm、重さ7.6gである。(図版161-4)

45は、D・E-3グリッドから出土した須恵器甕片である。外面には平行タタキが施され、これに対応する内面の当て具痕はナデ消されている。火傷痕が白色線状に残されている。製作技法や胎土等の特徴から陶邑産で、時期は5世紀前半代と推定される。

第313図47は、E・F-6~9グリッドから出土した土師器壺である。成形時に粘土を乾燥させるために休止した箇所と剥離したものが鉢に転用されている。

48は、E-9グリッドから出土した滑石製白玉

の未成品である。片面からの穿孔途上で中断された工品である。長さ1.11cm・幅1.02cm・厚さ0.44cm、重さ0.7gである。(No.2)

51は、E-14グリッドから出土した滑石製の有孔円板と思われる。平面形は隅丸台形で、中央部に円孔1孔が片面から穿たれている。一部を欠損する。長さ1.49cm・幅1.32cm・厚さ0.22cm・孔径0.21cm、重さ0.9gである。(No.1)

52は、E-15グリッドから出土した砥石である。角棒状の形態であるが上下ともに欠損している。現存する4面すべてに使用痕がみられる。長さ5.9cm・幅2.7cm・厚さ2.5cm、重さ56.16gを測る。石材は凝灰岩である。

67は、F-11グリッドから出土した滑石製剣形品で、上半を欠損する。鍔の表現が無い片切刀タイプで、扁平な造りである。現存長2.99cm・幅1.88cm・厚さ0.24cm、重さ2.2gである。

68もF-11グリッドから出土した。碧玉製の管玉で、一部欠損する。上面の孔の位置が著しく偏っていることから、片面穿孔の可能性が高い。長さ2.04cm・幅0.56cm・厚さ0.48cm・孔径0.21cm、重さ0.6gである。

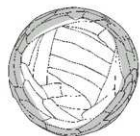
71はE・F-3~6グリッドから出土した大塚式壺口縁部である。胎土や焼成等の特徴から静岡県東部からの搬入品である。口縁部内側に突帯が巡らないタイプで、下端には三角形の粘土帯を貼付して段を形成している。口縁部の立ち上がりは低い。図示したほかに、同一個体と考えられる14点も出土しているが、接合が不可能であったため、1点のみ復元実測した。このタイプは、埼玉県内での出土例が無く、関東地方では東京都北区豊島馬場遺跡に類例が知られている。

第314図77・78は、E・F-6~9グリッドから出土した吉ヶ谷系の壺である。77は、折り返し口縁の外面に単節LRを左から右方向へ1段施文されている。78は、頸部から肩部に単節RLを左から右へ、上から下へ、3段以上施文されている。

A-12~15グリッド



29



30



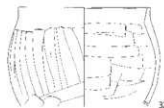
31



34



35



32



36



33



37



38

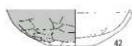


B-3グリッド



39

E-3グリッド

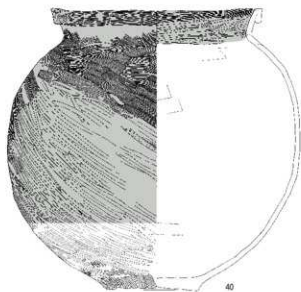


42

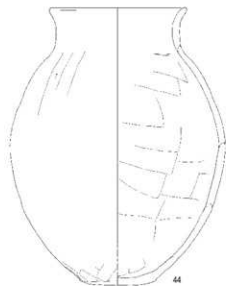


43

B-4グリッド

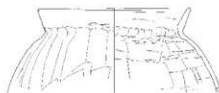


40



44

B-10グリッド



41

D・E-3グリッド

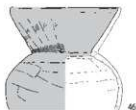


45

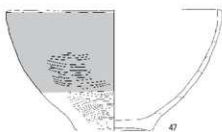


第312図 グリッド出土・表彩遺物(2)

E-7グリッド



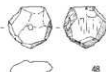
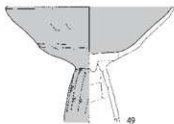
E-9グリッド



E-14グリッド



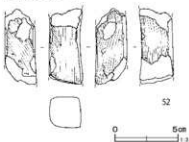
E-11グリッド



E-13グリッド



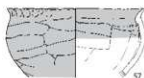
E-15グリッド



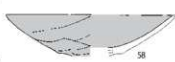
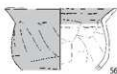
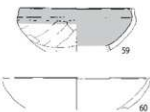
F-3グリッド



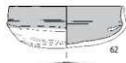
F-6グリッド



F-8グリッド



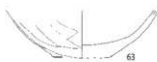
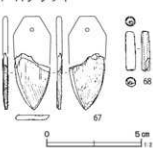
F-9グリッド



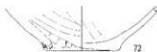
F-10グリッド



F-11グリッド



E・F3~6グリッド

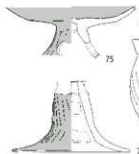
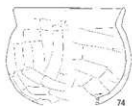


E・F-5グリッド

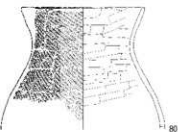
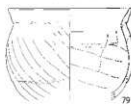


第313図 グリッド出土・表採遺物(3)

E・F-6～9グリッド



E・F-8グリッド



E・F-16グリッド



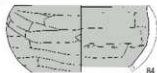
G-10グリッド



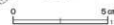
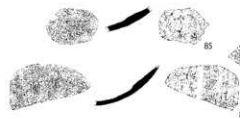
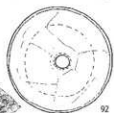
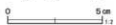
H-10グリッド



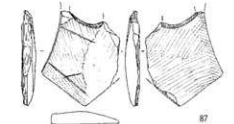
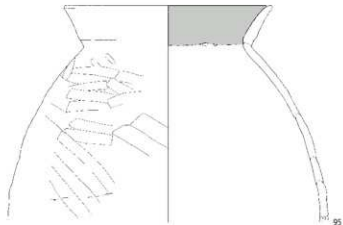
E・F-9～12グリッド



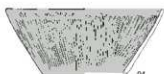
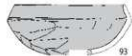
I-10グリッド



J-5グリッド



J-4グリッド



第314図 グリッド出土・表採遺物(4)

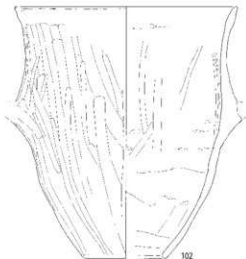
K-14グリッド



K-15・L-16グリッド



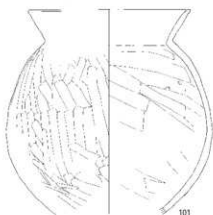
K-17グリッド



K-15グリッド



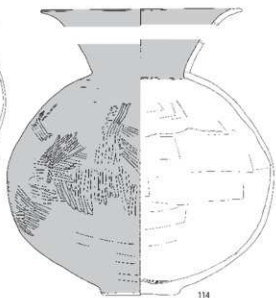
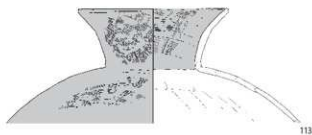
K-16・17グリッド



L-14グリッド

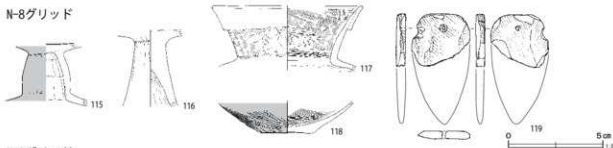


N-7・8グリッド



第315図 グリッド出土・表採遺物 (5)

N-8グリッド



N-9グリッド



第316図 グリッド出土・表採遺物(6)

80は、E・F-8グリッドから出土した吉ヶ谷系の甕である。残存する外面の口縁部から胴部上半には単節RLを左から右へ、上から下へ5段以上施文されている。また、口唇部には、縄文原体を斜位に押圧したと思われる痕跡がみられるが、摩擦が激しく判別が困難である。

82は、E・Fの8グリッドから出土した須恵器の壺口縁片である。直立する口縁端部は丸く、外面に一条巡る沈線の稜も甘い。胎土のきめが粗く、硬質感が弱い等の特徴から、在地産と推定される。85・86はE・F-9～12グリッドから出土した同一個体と推定される須恵器の大型甕である。内面には棒状工具による衝き痕が明瞭に観察できる。胎土・焼成や製作技法の特徴などから、陶邑産と推定される。時期・型式は特定できないが、5世紀代のもつと推測される。

87は、E・F-9～12から出土した不明滑石製品である。欠損品で、剣菱形の形状に大きな孔が穿たれている。残存部全面に研磨痕が残り、片面に直線的な線刻3条がみられる。現存長4.53cm・幅3.73cm・厚さ0.65cm、重さ17.1gである。

89はH-10グリッドから出土した滑石製の剣形品である。上端・剣先部を欠損するため、ペン先状に側面が抉れたような形状を呈している。鑢の表現が無い、扁平な造りである。片面穿孔で、

孔径は0.16cmである。長さ3.21cm・幅1.40cm・厚さ0.23cm、重さ2.0gである。

90・91は、I-10グリッドから出土した須恵器片である。

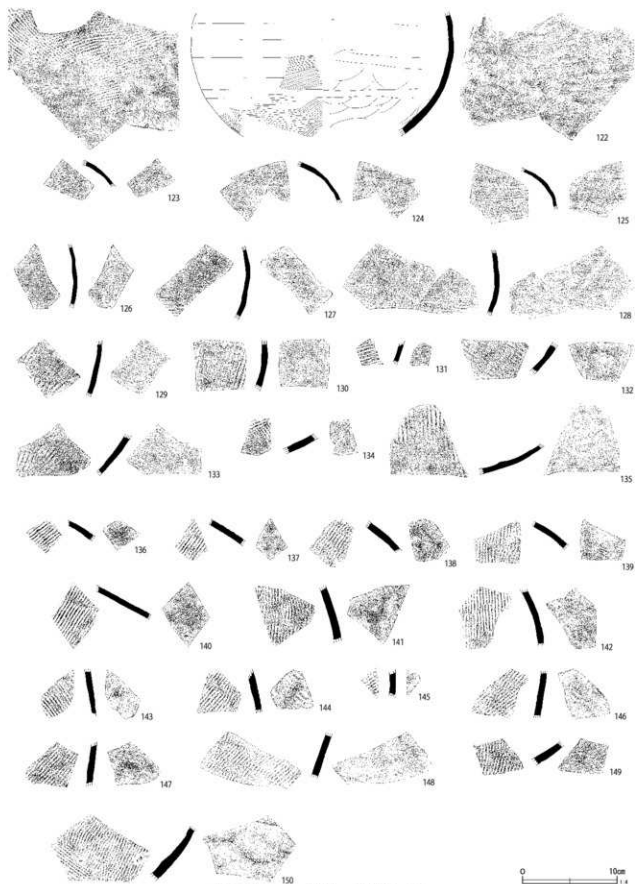
90は甕で、胴部中位を横位の沈線によって画され、櫛描きによる波状文が施されている。胎土の特徴から東海産と推定される。時期・型式は不明であるが、5世紀代と推測される。

91は甕底部片である。外面には平行タタキ、内面には掌による押圧痕がみられる。胎土や製作技法の特徴から陶邑産と推定される。時期・型式は不明であるが、5世紀代と推測される。

92は、I-10グリッドから出土した土製の紡錘車である。上下面・側面をケズリ・ナデによって仕上げられている。上径3.95cm・下径5.47cm・厚さ1.62cm・孔径0.73cm、重さ57.7gである。

第316図119は、N-8グリッドのC区包含層から出土した滑石製の剣形品である。下半部を欠損し、残存部の至るところにも破損部が存在する。側面部には工具痕のようなキズもみられる。鑢の表現が無い扁平な造りと推定される。孔は片面から穿たれ、孔径0.18cmである。残存長3.281cm・幅2.562cm・厚さ0.444cm、重さ6.3gである。

120は、N-9グリッドから出土した須恵器の高坏脚部片である。短脚の四方透かして、孔形は



第317図 グリッド出土・表探遺物 (7)

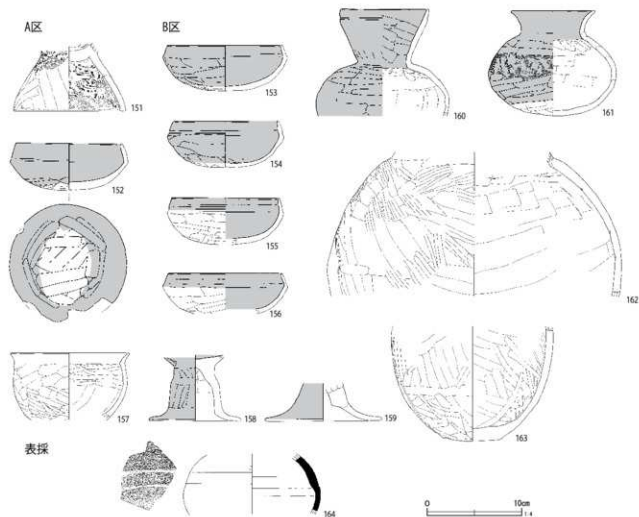
長方形である。裾部外面には垂直面を形成する。外面には自然釉が付着し、断面は小豆色に発色している。形状・製作技法・胎土の特徴などから陶邑産のTK208型式段階と推定される。

121は、N-9グリッドのC区包含層から出土した滑石製の有孔円板である。僅かに角のとれた長方形を呈し、孔は左右の短辺際に穿たれている。いずれも片面穿孔で、孔径は0.26cmである。長さ2.21cm・幅3.27cm・厚さ0.52cm、重さ7.7gである。

第317図122～135は、同一個体と推定される須恵器の甕である。出土範囲は広く、第65号住居跡、F-8・9グリッド、I-10グリッドから出土している。122は、接合されたもので、124～

136は接合できなかつた破片である。部位としては、肩部から底部までの破片で、口縁部片はみつかつていない。外面には平行タタキ後にナデが施され、再び平行タタキが行われている。内面では外面のタタキに対応した当て具痕が丁寧にナデ消されている。底部は内側から底側へ叩き出されて成形されている。丁寧な製作技法や胎土・焼成の特徴から、陶邑産で、5世紀前半のTK73型式～TK216型式段階のものとして推定される。

136～150も接合ができなかつたが、同一個体と推定される須恵器の甕である。やはり出土範囲が広く、第12・34・37・38・59・62号住居跡、E・F-6～9グリッド、G-10グリッド、I-10グリッド、J-10グリッドから出土している。肩



第318図 グリッド出土・表採遺物(8)

第100表 グリッド出土・表採遺物観察表 (第311~318段)

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	出土位置	図版
1	須恵器	坏蓋	(12.4)	3.2		K	5	普通	灰白	A1~4Gr 坏日蓋 陶色産 TK208		160-4
2	須恵器	坏	11.6	5.2		B C D H	70	普通	にぶい橙	A8Gr 内増口縁 二次的被熱 A8Gr No1		160-5
4	須恵器	蓋		2.1		E I J K	40	普通	灰	A9~12Gr 南北企産 つまみ割落		160-7
5	須恵器	甕		1.7		I	5	普通	青灰	A9~12Gr 5~8同一個体 非陶色 タタキ後カキ目		160-8
6	須恵器	甕		1.9		I K	5	普通	青灰	A9~12Gr 5~8同一個体 非陶色 タタキ後カキ目		160-8
7	須恵器	甕		1.7		I	5	普通	青灰	A9~12Gr 5~8同一個体 非陶色 タタキ後カキ目		160-8
8	須恵器	甕		3.4		I	5	普通	灰	A9~12Gr 5~8同一個体 非陶色 タタキ後カキ目		160-8
9	土師器	埴	(9.2)	4.2		C E H I K	40	普通	にぶい褐	A9~12Gr 二次的被熱 赤彩不明		
10	土師器	高坏		2.8		A C I K	60	良好	にぶい黄橙	A9~12Gr 赤彩 外面に二次的被熱		
11	土師器	高坏		2.6		E H I J	70	普通	にぶい橙	A9~12Gr 有残坏 赤彩		
12	土師器	高坏		5.2		C E H I	55	普通	にぶい橙	A9~12Gr 有残坏 外面赤彩不明 二次的被熱		
13	土師器	高坏		6.6		A E H I J	70	普通	橙	A9~12Gr 有残坏(屈折脚) 赤彩		
14	土師器	高坏		7.0		C E H I K	90	普通	にぶい橙	A9~12Gr (屈折脚) 赤彩 支脚転用痕		
15	土師器	高坏		6.2		B C I K	50	普通	にぶい橙	A9~12Gr (屈折脚) 赤彩 外面二次的被熱		
16	土師器	高坏		7.1		A C E H I K	80	普通	橙	A9~12Gr (屈折脚) 赤彩		
17	土師器	高坏		6.5		E H	60	普通	橙	A9~12Gr (屈折脚) 赤彩不明		
18	土師器	高坏		4.0		E H I	80	普通	にぶい黄橙	A9~12Gr (屈折脚) 赤彩 頭部欠損面を二次的に穿孔? + 二次的被熱(別用途への転用?)		
19	土師器	高坏		4.9		A C E H I K	70	普通	にぶい橙	A9~12Gr 赤彩不明		
20	土師器	甕		7.2	(10.0)	A B C E H I	25	普通	にぶい橙	A9~12Gr 内面に赤彩か		
22	土師器	埴	(10.8)	6.4		A C E H I K	20	普通	にぶい黄橙	A10Gr 外面赤彩 内面に斑点状に赤色塗料が付着 A10Gr No2		
24	土師器	高坏	(13.1)	11.4		C E H I K	60	普通	にぶい橙	A11Gr 有残坏(屈折脚) 赤彩 支脚転用痕(正立) A11Gr No1		161-2
25	土師器	甕		6.7	(7.6)	A H I J	20	普通	にぶい橙	A11Gr No8		
26	土師器	甕	(24.0)	9.1		B C H I K	20	普通	にぶい橙	A11Gr 器面風化 A11Gr No2		
27	吉ヶ谷	甕	(14.6)	6.5		E G I	10	普通	暗褐	A11Gr 口唇部に縄文原体を斜位に回転押圧(不鮮明) 外面口縁部~肩部に単節LR施文 A11Gr No9		
28	吉ヶ谷	甕	(24.0)	13.2		G I	20	普通	褐	A11Gr 外面口縁部~肩部に単節LR施文 口唇部に縄文原体押圧?(残部僅少のため判別困難) A11Gr No13・14		
29	土師器	坏	13.1	6.3		C E H I K	30	普通	にぶい橙	A12~15Gr 内増口縁 赤彩		161-3
30	吉ヶ谷	甕	(14.0)	5.2		A E	20	普通	橙	A12~15Gr 外面口縁部~肩部に単節LR施文		
31	土師器	甕	(26.0)	7.9		A C D E H I	15	普通	灰褐	A12~15Gr 鉢形の瓶か 外面に二次的被熱		
32	土師器	鉢	(13.8)	10.5		A E H I K	20	普通	にぶい橙	A12~15Gr 外面に二次的被熱		
33	土師器	甕	(18.2)	8.5		A C E H I J	15	普通	にぶい橙	A12~15Gr 口縁部の屈曲面合いから瓶か		
34	土師器	高坏		3.8		E H	30	普通	橙	A12~15Gr 二次的被熱による器面風化		
35	土師器	鉢		2.3	3.8	A H I J K	70	普通	にぶい黄橙	A12~15Gr 内面の一部に赤彩痕		
36	土師器	甕		4.9	(6.0)	E H	20	普通	明赤褐	A12~15Gr 外面二次的被熱		
37	土師器	甕		7.4	(6.0)	E H I	30	普通	橙	A12~15Gr 煮沸痕		
39	土師器	樽	(13.0)	5.7	1.6	E H I K	40	普通	にぶい橙	B3Gr 内外面ともにマガキ仕上げ		161-5
40	土師器	壺	22.4	29.7	10.0	E H I J K	95	普通	にぶい橙	B4Gr 複合口縁 外面赤彩・内面口縁のみ赤彩		161-6
41	土師器	甕	(16.0)	9.0		C E H I	25	普通	橙	B10Gr 煮沸痕 B10Gr No1		
42	土師器	埴		38.3	5.0	A C E H I	80	普通	にぶい橙	E3Gr 平底 外面赤彩 E3Gr No1		
43	土師器	甕		10.2	6.5	A E G H I L	30	普通	にぶい橙	E3Gr 煮沸痕 器面風化顕著 E3Gr No2・4		
44	土師器	甕	(14.3)	29.3	(8.0)	A E G H I K	25	普通	橙	E3Gr 煮沸痕顕著 器面風化顕著 E3Gr No2・4・7		162-1
45	須恵器	甕		10.6		I K	5	普通	灰白	D3~E3Gr 陶色産 5世紀前半 外面:平行タタキ 内面当て具痕ナゾ酒し		162-2
46	土師器	埴	11.7	10.8		A I K	70	普通	にぶい黄橙	E7Gr 赤彩 口縁部内面に二次的被熱による煤付着 E7Gr No7 / E8 / F8Gr / E・F6~9Gr		162-3
47	土師器	壺	(22.1)	12.7	(8.2)	E H I K	30	普通	にぶい黄橙	E9Gr 乾燥体止部での剥離を利用し鉢に転用 外面赤彩 E9Gr No1 / E・F6~9Gr		
49	土師器	高坏	17.8	12.5		A E H I J K	90	普通	にぶい橙	E11Gr 有残坏 赤彩 E11Gr No2		162-4
50	土師器	小型壺		2.3	3.5	A C E G I K	10	普通	橙	E13Gr 二次的被熱顕著		

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	出土位置	図版
53	土師器	高坏	(12.8)	5.1		A C H J	40	普通	にぶい橙	F3Gr 有稜坏 赤彩 小振りでの厚みのある坏部		
54	土師器	鉢	(17.0)	4.4		A H J	10	普通	灰黄褐	F3Gr		
55	土師器	鉢	(11.8)	5.3		A E H I J K	25	普通	灰褐	F6Gr 赤彩 二次的被熱		
56	土師器	鉢	(12.0)	6.5		H I J K	40	普通	にぶい褐	F6Gr 赤彩		
57	土師器	鉢	(14.6)	7.3		C I J	45	普通	にぶい褐	F6Gr 赤彩 外面口縁部に連続した指頭圧痕 二次的被熱		
58	土師器	高坏	(18.2)	4.4		C E I	50	普通	明赤褐	F6Gr 有稜坏 赤彩 二次的被熱		
59	土師器	坏	(12.2)	4.6		A C I	30	普通	にぶい橙	F8Gr 坏身模倣(原初的) 赤彩 二次的被熱		
60	土師器	高坏	(15.6)	3.4		A H I	40	普通	明赤褐	F8Gr (有稜坏)		
61	土師器	鉢		7.4	4.6	C H Z I	50	普通	浅黄橙	F8Gr 平底 長胴		162-7
62	土師器	坏	12.2	4.4		D E H I J K	90	普通	にぶい赤褐	F9Gr 坏身模倣 赤彩 二次的被熱 体部に焼成前の穿孔(内面に粘土の盛り上がりが見られる) F9Gr No2		163-1
63	土師器	甕		5.1	(5.8)	A H I K	50	普通	にぶい褐	F9Gr 煮沸痕顕著		
64	土師器	坏	(13.4)	4.0		E H I K	30	普通	にぶい橙	F10Gr 坏蓋模倣 積不明		
65	土師器	高坏	13.8	7.2		E H I L	90	普通	にぶい橙	F10Gr 内埴口縁坏蓋載 赤彩 坏部内面に墓状圧痕		162-8
66	土師器	高坏	(14.6)	11.3	10.7	C H I K	70	普通	にぶい橙	F10Gr 内埴口縁坏蓋載 凹孔3 赤彩 二次的被熱 脚内面に赤色塗料付着 坏部内面に墓状圧痕		
69	土師器	高坏		6.0		A H I	90	普通	明褐	E・F3~6Gr 有稜坏 赤彩 器面剥離		
70	土師器	高坏		4.9	(11.4)	A H	40	普通	赤褐	E・F3~6Gr 屈折脚		
71	土師器	壺	(23.5)	4.4		E F H	5	普通	灰白	E・F3~6Gr 大塚式土器 搬入品 口縁内面に突体のない大型壺か 口縁部の立ち上がりは低い 下端に三角形の粘土帯貼付		
72	土師器	甕		4.7	(8.0)	A E I L	40	普通	橙	E・F3~6Gr 凹孔3		
73	土師器	高坏		5.4		J L	45	普通	にぶい橙	E・F5Gr 外面ヘラナデ ハケ後ミガキ 3穴		
74	土師器	坏	11.5	10.2		E H I K	25	普通	にぶい黄橙	E・F6~9Gr 短頸丸底		163-2
75	土師器	高坏		5.5		E H I J K	40	普通	橙	E・F6~9Gr 凹孔3 二次的被熱 器面風化顕著 赤彩不明		
76	土師器	高坏		7.5	(12.4)	A C G	15	普通	にぶい黄橙	E・F6~9Gr 屈折脚 赤彩 坏部剥離後の支脚転用痕		
77	吉ヶ谷	壺	(19.4)	6.9		A C D E G H I	20	普通	褐	E・F6~9Gr 折返口縁部に単節LR 施文		
78	吉ヶ谷	壺		4.2		D E I	5	普通	褐	E・F6~9Gr 頸部~胴部に単節RL 施文		
79	土師器	鉢	(13.0)	9.7		A E G H I J	15	普通	浅黄橙	E・F8Gr 頸部にはナデの終点が連続し、稜線形成 外面二次的被熱 器面風化顕著 成形時の乾燥休止部に段差		
80	吉ヶ谷	甕	(13.0)	13.0		A B E G	10	普通	にぶい褐	E8・F8Gr 外面口縁部~胴部に単節RL 施文 口唇部に縄文原体を斜位に押圧(判別困難)		
81	須恵器	壺	(9.0)	3.3		I K L	10	普通	灰	E16・F16Gr 在産か 口縁部が丸く沈陥の様も甘い 胎土のきめが粗く硬質感が弱い		163-3
82	土師器	壺		7.0	(5.0)	A B E H L		普通	にぶい橙	E16・F16Gr 二次的被熱		
83	土師器	小型埴		4.8		A E H I J K	60	普通	灰黄褐	E・F9~12Gr 丸底 赤彩 外面二次的被熱		163-4
84	土師器	椀	(14.2)	7.0		C K	30	普通	にぶい橙	E・F9~12Gr 内埴口縁 赤彩 外面二次的被熱		
85	須恵器	大型甕		2.6		I	5	普通	灰	E・F9~12Gr 陶色産		163-5
86	須恵器	大型甕		4.3		I	5	普通	灰	E・F9~12Gr 陶色産		163-5
88	土師器	小型埴		3.6	4.0	A E H I K	70	普通	にぶい黄橙	G10Gr 平底 赤彩?		
90	須恵器	甕		3.4		I K	10	良好	灰	I10Gr 東海産 自然釉付着		164-1
91	須恵器	甕		2.3		H I K	40	普通	にぶい橙	I10Gr 陶色産 外面:平行タタキ後ナデ 内面:掌による押圧痕		164-2
93	土師器	坏	11.9	5.3		H I	30	普通	にぶい橙	J4Gr 坏身模倣 赤彩		164-4
94	土師器	埴	(16.8)	7.2		A C E H I J K	40	普通	灰黄褐	J4Gr 赤彩		
95	土師器	甕	(22.0)	22.9		A I J	35	普通	黒褐	J4Gr 下彫れの大形品 口縁部内面に赤彩(外面不明)		
96	土師器	壺		3.7	7.4	A E H I K	60	普通	にぶい橙	J5Gr 器面風化顕著		
97	土師器	高坏		5.8	(10.4)	A E H I J K	80	良好	灰褐	J5Gr 短脚 赤彩		
98	土師器	高坏		4.4		E H I J K	60	普通	にぶい橙	K14Gr 腹口縁状技法による二重口縁で、本来の口縁部は剥離 赤彩		

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考 出土位置	図版
99	土師器	甕	14.7	13.1	4.0	I L	65	普通	にぶい橙	K15Gr 外面は煮沸による黒色化 器面風化 ハケ残 ヨコナデ 一部でヘラケズリ	164-5
100	甕生	甕	(20.0)	5.0		C E H I J	10	普通	にぶい橙	K15・L16Gr 岩幕系 折返し縁に指頭による刻み 煮沸痕 煤付着 甕生包含層	
101	土師器	甕	(17.0)	21.7		E H J L	50	普通	にぶい橙	K16・17Gr 球胴形	164-6
102	土師器	甕	23.0	8.6	9.2	E H I J K	60	普通	橙	K17Gr 把手付	164-7
103	土師器	小型鉢	7.0	4.1	3.2	I J L	70	普通	にぶい赤褐色	L14Gr 手づくね成形 赤彩 底部木炭痕 二次的焼 熱	165-1
104	土師器	小型埴	3.6	2.4		H J	65	普通	にぶい橙	N7・8Gr 上げ底ヘラケズリ 包含層	
105	土師器	小型埴	2.5	4.5		A E H I J K L	60	普通	にぶい黄橙	N7・8Gr 平底 遺物包含層	
106	土師器	鉢	10.4	4.8	4.0	H J	80	普通	橙	N7・8Gr 直線的な口縁 平底 二次的焼熱 器面風 化顕著 赤彩? 包含層№29 / 包含層	165-2
107	土師器	小型埴	6.5	8.0	3.7	A B H I	85	普通	にぶい黄橙	N7・8Gr 平底 底部は周囲のみヘラケズリ 包含層 №26 / 包含層 / C区	165-4
108	土師器	器台		6.0		A E H I J K	90	普通	にぶい橙	N7・8Gr 円孔3 包含層№4	
109	土師器	埴	(20.0)	9.0		A C	25	普通	にぶい橙	N7・8Gr 広口 胴部扁平 包含層№2 / 包含層	
110	土師器	壺		4.3		A E H I K	40	普通	灰黄	N7・8Gr 頸部灰帯 包含層 / N7・8Gr №23	
111	土師器	小型台 付甕	13.4	14.7		A E H I	60	普通	暗灰黄	N7・8Gr 煮沸痕顕著 外面煤付着 包含層 / N7・ 8Gr №1・26	165-5
112	土師器	台付甕		4.5	6.4	A C H I J K	90	普通	にぶい黄橙	N7・8Gr 煮沸痕 包含層№26	
113	土師器	壺	(15.7)	12.1		A E H I J K	20	普通	橙	N7・8Gr 単口縁 赤彩 器面風化顕著 包含層№ 2・3・4・34	
114	土師器	壺		27.2	7.5	A C E H K	70	普通	にぶい黄橙	N7・8Gr 単口縁(?) 赤彩 包含層№6~16・18・ 19・20・26・28	165-3
115	土師器	高坏		6.6		B H I J L	40	普通	橙	N8Gr 短脚 赤彩 C区遺物包含層№2	
116	土師器	高坏		8.1		A H I L	80	普通	赤橙	N8Gr (屈折脚) 長脚 二次的焼熱 器面風化顕著 C区谷	
117	土師器	壺	(15.9)	6.8		E H I J K L	40	普通	灰白	N8Gr 折返し縁 C区包含層	
118	土師器	壺		3.4	5.6	A C H L	85	普通	にぶい黄橙	N8Gr 赤彩(底部まで赤彩) C区包含層	
120	須恵器	高坏		3.7	(9.1)	I	25	良好	灰	N9Gr 陶色産 TK208 短脚四方透かし高坏の脚部 外面に自然釉付着 遺物包含層	165-7
122	須恵器	甕		13.2		I K	5	普通	灰	F8Gr・F9Gr 陶色産 TK73~TK2165世紀前半代) 122~135同一個体 外面:平行タタキ後ナデ 内 面:当て具痕ナデ消し 底部タタキ出し	
123	須恵器	甕		2.9		I K	5	普通	灰	F8Gr 122~135同一個体 陶色産 TK73~TK2165 世紀前半代)	166-1
124	須恵器	甕		4.9		I K	5	普通	灰	F8Gr 122~135同一個体 陶色産 TK73~TK2165 世紀前半代)	166-1
125	須恵器	甕		4.5		I K	5	普通	灰	F8Gr 122~135同一個体 陶色産 TK73~TK2165 世紀前半代)	166-1
126	須恵器	甕		6.7		I K	5	普通	灰	F9Gr 122~135同一個体 陶色産 TK73~TK2165 世紀前半代)	166-1
127	須恵器	甕		7.8		I K	5	普通	灰	F8Gr 122~135同一個体 陶色産 TK73~TK2165 世紀前半代)	166-1
128	須恵器	甕		7.0		I K	5	普通	灰	F9Gr 122~135同一個体 陶色産 TK73~TK2165 世紀前半代)	166-1
129	須恵器	甕		6.0		I K	5	普通	灰	I10Gr 122~135同一個体 陶色産 TK73~ TK2165世紀前半代)	166-1
130	須恵器	甕		5.3		I K	5	普通	灰	I10Gr 122~135同一個体 陶色産 TK73~ TK2165世紀前半代)	166-2
131	須恵器	甕		2.6		I K	5	普通	灰	F9Gr 122~135同一個体 陶色産 TK73~TK2165 世紀前半代)	166-2
132	須恵器	甕		3.5		I K	5	普通	灰	SJ65 122~135同一個体 陶色産 TK73~TK2165 世紀前半代) SJ65№1	166-2
133	須恵器	甕		4.5		I K	5	普通	灰	表採 122~135同一個体 陶色産 TK73~TK2165 世紀前半代)	166-2

番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	出土位置	図版
134	須恵器	甕		2.2		IK	5	普通	灰	F9Gr 122~135同一個体 陶色産 TK73~TK216(5世紀前半代)		166-2
135	須恵器	甕		3.3		IK	5	普通	灰	I10Gr 122~135同一個体 陶色産 TK73~TK216(5世紀前半代)		166-2
136	須恵器	甕		2.2		I	5	普通	灰	SJ59 136~150同一個体 陶色産 5世紀前半		166-3
137	須恵器	甕		2.7		IK	5	普通	灰	SJ38 136~150同一個体 陶色産 5世紀前半		166-3
138	須恵器	甕		3.4		IK	5	普通	暗青灰	SJ62 136~150同一個体 陶色産 5世紀前半		166-3
139	須恵器	甕		3.0		IK	5	普通	灰	E・F6~9Gr 136~150同一個体 陶色産 5世紀前半		166-3
140	須恵器	甕		3.7		IK	5	普通	灰	E・F6~9Gr 136~150同一個体 陶色産 5世紀前半		166-3
141	須恵器	甕		6.2		IK	5	普通	灰	E・F6~9Gr 136~150同一個体 陶色産 5世紀前半		166-3
142	須恵器	甕		6.0		IK	5	普通	灰	I10Gr 136~150同一個体 陶色産 5世紀前半		166-3
143	須恵器	甕		5.0		IK	5	普通	灰	SJ12 136~150同一個体 陶色産 5世紀前半		166-3
144	須恵器	甕		4.7		IK	5	普通	灰	SJ37 136~150同一個体 陶色産 5世紀前半		166-3
145	須恵器	甕		3.1		I	5	普通	灰	SJ37 136~150同一個体 陶色産 5世紀前半		166-3
146	須恵器	甕		5.1		IK	5	普通	青灰	SJ37 136~150同一個体 陶色産 5世紀前半		166-3
147	須恵器	甕		4.7		IK	5	普通	灰	SJ62 136~150同一個体 陶色産 5世紀前半		166-4
148	須恵器	甕		4.9		IK	5	普通	灰	SJ34 136~150同一個体 陶色産 5世紀前半 SJ34No21		166-4
149	須恵器	甕		2.6		IK	5	普通	灰	G10Gr 136~150同一個体 陶色産 5世紀前半		166-4
150	須恵器	甕		5.9		I	5	普通	灰	I10Gr 136~150同一個体 陶色産 5世紀前半		166-4
番号	石材	器種	長(m)	型(m)	厚(m)	重(g)	状態			備考		図版
21	鏡片	磨石?	18.100	4.800	2.400	265.9				A9~A12Gr	トレンチ表採 側縁上半部に磨き	161-1
23	滑石	白玉	0.858	0.801	0.309	0.3	未成品			A10Gr No9		
48	滑石	白玉	1.110	1.020	0.440	0.7	未成品			E9Gr No2 穿孔途中		
51	滑石	有孔円板	1.490	1.320	0.220	0.9				E14Gr No1 穿孔あり		162-5
52	凝灰岩	砥石	5.900	2.700	2.500	56.2				E15Gr 上下面欠損 4面使用		162-6
67	滑石	銅形	2.990	1.880	0.240	2.2				F11Gr 一括 上部欠損		162-9
68	碧玉	碧玉	2.040	1.560	0.480	0.6				F11Gr 一括 下部欠損		162-10
87	滑石	不明	4.530	3.730	0.650	17.1				EP9~E		163-6
89	滑石	銅形	3.210	1.400	0.230	2.0				H10Gr 正面の一部割がれ 先端部欠損 穿孔あり		163-7
92	土製	紡錘車	5.470	5.360	1.620	57.7				I10Gr		164-3
119	滑石	銅形	3.281	2.562	0.444	6.3				N8Gr-C区 包含層 穿孔あり		165-6
121	滑石	有孔円板	3.270	2.210	0.520	7.7				N9Gr C区 包含層 二ヶ所穿孔あり		165-8
番号	種別	器種	口径	器高	底径	胎土	残存	焼成	色調	備考	出土位置	図版
151	土師器	台付甕		7.1	12.0	A E G H I J K	10	普通	にぶい橙	A区 煮沸痕		
152	土師器	環	11.4	4.9		E H I J K	80	良好	褐灰	B区 坏身模痕 赤彩		167-1
153	土師器	環 (12.1)	4.8			I J L	50	普通	にぶい橙	B区 坏身模痕 赤彩		167-2
154	土師器	環 (11.0)	4.9	(3.2)		A H J L	30	普通	にぶい黄橙	B区 坏身模痕 赤彩		167-3
155	土師器	環 (11.4)	4.9			A H I K	20	普通	にぶい黄橙	B区 坏身模痕 赤彩		
156	土師器	環 (12.0)	4.3			A H I	25	良好	明赤褐	B区 坏身模痕 赤彩		
157	土師器	鉢	12.7	7.1		A C H	70	普通	にぶい黄橙	B区 口縁部短く外反 内面に黒色タール状付着物		167-4
158	土師器	高环		6.9	(10.0)	A H I	45	良好	にぶい赤褐	B区 屈折脚 短脚 赤彩		
159	土師器	高环		4.0	(12.4)	C I L	50	普通	明赤褐	B区 屈折脚 短脚 赤彩		
160	土師器	埴	9.4	11.3		A H J L	90	良好	明赤褐	B区 口縁部先端付近に沈線が巡る 赤彩		167-5
161	土師器	小型壺	8.9	11.1		C E H I J K	70	良好	にぶい赤褐	B区 短頸の小型丸底壺 赤彩		167-6
162	土師器	甕		14.6		A E G H I J K	35	普通	灰黄褐	B区 球胴形 赤彩範囲不明瞭		
163	土師器	甕		12.1	6.2	A H I K	30	良好	にぶい褐	B区		
164	須恵器	磨か壺		6.4		F I K	10	良好	灰白	表採 東海産 二条の区画沈線 列点文 外面に自然輪付着		167-7

部から胴部下半部の破片で、口縁部片はない。外面に平行タタキ、内面にはこれに対応した当て具痕がみられるが、最終的にはナデ消されている。この手法は古い様相として捉えられる。製作技法や胎土・焼成の特徴などから、陶邑産と推定され、時期は5世紀前半と推測される。

第318図はグリッドも特定できない遺物群である。151はA区、152～163はB区、164は表採遺物である。151は台付甕で、銭塚城敷Ⅱ期に相当する。152～156は赤彩された坏身模倣坏、157は口縁部が外反する椀、158・159は高坏の脚、160

は埴・161は口縁部の短い丸底壺・162は胴丸な大型壺・163は長胴化がみられる甕である。概ね、銭塚城敷Ⅳ期古段階前後に相当する。

164は、細片から復元実測した須恵器の大型壺もしくは壺と思われる。外面には焼成時の自然釉が付着する。胴部上半を沈線によって区画し、内部には刺突による列点文が施されている。灰白系の胎土に黒色斑文状の物質を含むことから、東海産と推定される。時期は不詳であるが、城敷遺跡から出土している東海産須恵器と同様に5世紀代のものと想定される。

V 自然科学分析

城敷遺跡の発掘調査では、弥生時代後期から古墳時代、奈良・平安時代の集落が発見されている。また、古墳時代および奈良・平安時代頃の大溝跡からは、堰等の土木施設が確認されている。ここからは、本来ならば腐朽・消失してしまう多くの有機質遺物等が出土している。これらの遺物には、生活用具・農具や建築部材等の様々な木製品、自然木、種実、獣骨等があり、当時の生活の環境や資源利用の様相を如実に伝える貴重な資料である。

木製品については、第4号溝跡から出土した建築部材や農具の未成品等を中心に、樹種同定と年代測定を行った。獣骨等の動物遺体については動

物種と部位を、種実・葉等の大型植物遺体は種類を同定した。埼玉県内においては、自然科学的な手法により年代が検討された事例が少なく、炭素同位体比を用いた年代測定(C14AMS法)を実施した。木製品の絶対年代を測定して、遺構や遺物の年代に関わる資料を作成し、考古学的な資料に年代的な枠組みを与えることを目的とした。樹種同定・大型植物遺体同定・動物遺体同定の結果は、県内類別資料との比較を行い、遺跡が営まれていた当時の生活環境や木材・動植物資源利用等の検討を行った。

1. 銭塚・城敷遺跡出土木材の樹種

能城修一(森林総合研究所木材特性研究領域)

はじめに

銭塚・城敷遺跡は埼玉県東松山市大字高坂に位置する。

1. 試料

銭塚遺跡から出土した杭1点・礎板6点、他製品1点と、城敷遺跡から出土した古墳時代の木製品類371点・自然木278点・ウルシの木2点・樹皮1点とその他13点の樹種を報告する。木製品類には、槽や曲物といった容器をはじめとして、鋤鎌や壱杆、作業台といった農具類、椅子や丸木弓といった道具類、柱や梯子をはじめとする建築材、板や割材といった加工材、杭が含まれていた。

2. 分析方法

樹種同定は、木取りを観察して大きさを計測後、遺物から直接、片刃カミソリをもちいて横断面、接線断面、放射断面の切片を切り取り、それをガムクロラール(抱水クロラール50g、アラビアゴム粉末40g、グリセリン20ml、蒸留水50mlの混合

物)で封入しておこなった。各プレパラートには、銭塚遺跡ST2-432・587-589・631-634、城敷遺跡ST2-169-ST2-1192の番号を付して標本番号とした。なお、これらの標本番号は連続ではなく、反町遺跡等の標本番号が途中に含まれている。標本は森林総合研究所に保管されている。

3. 結果

銭塚遺跡の杭1点の樹種はクリであった(第101表9)。礎板は保存状態が悪く、いずれも同定には至らなかった。クリは水湿に強く耐朽性が高い材質をもつ。

城敷遺跡の試料665点中には、カヤ、イヌガヤ、モミ属、ツガ属、スギ、ヒノキ、アスナロの針葉樹7分類群と、オニグルミ、ヤナギ属、アサダ、クマシデ属イヌシデ節、クリ、スダジイ、ツブラジイ、コナラ属クスギ節、コナラ属コナラ節、イチイガシ、コナラ属アカガシ亜属、ムクノキ、エノキ属、ケヤキ、クワ属、クスノキ、クスノキ科、ツ

バキ属、サカキ、ヒサカキ、サクラ属、バラ属、ネムノキ、フジキ、フジ、シラキ、キハダ、コクサギ、カラスザンショウ、ヌルデ、ウルシ、カエデ属、ムクロジ、ツルウメモドキ属、ケンボナシ属、ブドウ属、クマノミズキ類、ウコギ属、タラノキ、エゴノキ属、ハイノキ属、トネリコ属トネリコ節、イボタノキ属、ムラサキシキブ属、クサギ、ニワトコの広葉樹46分類群、竹笹類の単子葉1分類群の計53分類群が認められた(表101表)。コナラ節とエノキ属、ウコギ属では枝・幹材のほか根材が認められた。以下には各分類群の木材解剖学的な記載をおこない、代表的な標本の光学顕微鏡写真を載せて同定の根拠を示す。

1. カヤ *Torreya nucifera* (L.) Siebold et Zucc. イチイ科 第319図1a-1c / 第101表 231 (枝・幹材、ST2-1176)

樹脂道と樹脂細胞を欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで晩材は少ない。仮道管の内壁には2-3本ずつ走るらせん肥厚がある。

2. イヌガヤ *Cephalotaxus harringtonia* (Knight ex Forbes) K.Koch イヌガヤ科 第319 図2a-2c / 第101表260 (枝・幹材、ST2-640)

樹脂道を欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで晩材は少ない。樹脂細胞は年輪内に散在し、水平壁は結節状。仮道管の内壁にはらせん肥厚がある。

3. モミ属 *Abies* マツ科 第319図3a-3c / 第101表259 (枝・幹材、ST2-397)

樹脂道を欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで晩材は多い。放射組織は柔細胞のみからなり、放射柔細胞には単壁孔が著しく、垂直壁は結節状。

4. ツガ属 *Tsuga* マツ科 第319図4a-4c / 第101表31 (枝・幹材、ST2-430)

樹脂道を欠く針葉樹材。早材から晩材への移行はやや急で晩材は多い。放射組織は柔細胞と放射仮道管からなり、放射柔細胞には単壁孔が

著しく、垂直壁は結節状。

5. スギ *Cryptomeria japonica* (L.f.) D.Don スギ科 第319図5a-5c / 第101表255 (枝・幹材、ST2-396)

樹脂道を欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで晩材は多い。樹脂細胞が年輪の後半に散在する。分野壁孔は孔口が水平に開く大型のスキ型で、普通1分野に2個。

6. ヒノキ *Chamaecyparis obtusa* (Siebold et Zucc.) Endl. ヒノキ科 第319・320図6a-6c / 第101表7 (枝・幹材、ST2-432)

樹脂道を欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで晩材は少ない。樹脂細胞が年輪の後半に散在する。分野壁孔は孔口が垂直にちかく開く中型のトウヒ型で、普通1分野に2個。

7. アスナロ *Thuja dolabrata* (L.f.) Siebold et Zucc. ヒノキ科 第320図7a-7c / 第101表338 (枝・幹材、ST2-449)

樹脂道を欠く針葉樹材。早材から晩材への移行は緩やかで晩材は少ない。樹脂細胞が年輪の後半に散在する。放射柔細胞には普通樹脂が詰まっており、分野壁孔は小型のスキ型で、普通1分野に2-4個。

8. オニグルミ *Juglans mandshurica* Maxim. var. *sieboldiana* (Maxim.) Makino クルミ科 第320図8a-8c / 第101表357 (枝・幹材、ST2-596)

大型~やや小型の道管が単独あるいは放射方向に2-3個複合して、年輪内で小型化しながら疎らに散在する散孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は同性で3-4細胞幅。

9. ヤナギ属 *Salix* ヤナギ科 第320図9a-9c / 第101表333 (枝・幹材、ST2-609)

小型で丸い道管が単独あるいは放射方向に2-3個複合して密に散在する散孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は単列同性で、道管との壁孔は密で大きい。

10. アサダ *Ostrya japonica* Sarg. カバノキ科

第320図10a-10c / 第101表263 (枝・幹材、ST2-1181)

小型で丸い道管が単独あるいは放射方向に2~3個複合してやや疎らに散在する散孔材。道管の穿孔は単一。木部柔組織は短接線状。放射組織は異性で2細胞幅くらい。

11. クマシデ属イヌシデ節 *Carpinus* sect. *Eucarpinus* カバノキ科 第320・321図11a-11c / 第101表425 (枝・幹材、ST2-898)

小型で丸い道管が単独あるいは放射方向に2~3個複合して放射方向に並ぶ傾向をみせる放射孔材。道管の穿孔は単一。木部柔組織は短接線状。放射組織は異性で、3細胞幅くらいの小型のものと、大型の集合状のものとを持つ。

12. クリ *Castanea crenata* Siebold et Zucc. ブナ科 第321図12a-12c / 第101表105 (枝・幹材、ST2-477)

大型で丸い孤立道管が年輪のはじめに3列ほど集合し、晩材では小型で薄壁の孤立道管が火炎状に配列する環孔材。木部柔組織は晩材でいびつな接線状。道管の穿孔は単一。放射組織は単列同性。

13. スダジイ *Castanopsis sieboldii* (Makino) Hatus. ex T. Yamaz. et Mashiba ブナ科 第321図13a-13c / 第101表375 (枝・幹材、ST2-500)

中型で丸い孤立道管が年輪のはじめに数個ずつ塊をなし、晩材では小型で薄壁の孤立道管が早材道管の塊から火炎状に配列する半環孔材。木部柔組織はいびつな接線状。道管の穿孔は単一。放射組織は単列同性。

14. ツブラジイ *Castanopsis cuspidata* (Thunb.) Schottky ブナ科 第321図14a-14c / 第101表286 (枝・幹材、ST2-1123)

スダジイによく似た半環孔材。一般に早材道管はスダジイより大きく、年輪界は集合状の広放射組織を境にしてずれる。

15. コナラ属クヌギ節 *Quercus* sect. *Aegilops* ブナ科 第321図15a-15c / 第101表527 (枝・幹材、ST2-961)

大型で丸い孤立道管が年輪のはじめに1~2列ほど集合し、晩材では小型で厚壁の孤立道管が放射状に配列する環孔材。木部柔組織は晩材でいびつな接線状。道管の穿孔は単一。放射組織は同性で、単列のものと複合状のものを持つ。

16. コナラ属コナラ節 *Quercus* sect. *Prinus* ブナ科 第321図16a-16c / 第101表24 (枝・幹材、ST2-483)、第322図17a-17c / 第101表623 (根材、ST2-1002)

枝・幹材は、大型で丸い孤立道管が年輪のはじめに1~2列ほど集合し、晩材では小型で薄壁の孤立道管が火炎状に配列する環孔材。木部柔組織は晩材でいびつな接線状。道管の穿孔は単一。放射組織は同性で、単列のものと複合状のものを持つ。

根材は早材道管が小さく、晩材道管が大きく、半環孔材となる。

17. イチイガシ *Quercus gilva* Blume ブナ科 第322図18a-18c / 第101表305 (枝・幹材、ST2-456)

大型(径200 μ m以上)で厚壁の丸い孤立道管が放射方向の帯をなす放射孔材。木部柔組織はいびつな接線状。道管の穿孔は単一。放射組織は同性で、単列のものと大型の複合状のものをもつ。

18. コナラ属アカガシ亜属 *Quercus* subgen. *Cyclobalanopsis* ブナ科 第322図19a-19c / 第101表545 (枝・幹材、ST2-858)

中型で厚壁の丸い孤立道管が放射方向に1~2列に配列する放射孔材。木部柔組織はいびつで幅の狭い带状。道管の穿孔は単一。放射組織は同性で、単列の小型のものと大型の複合状のものとなる。アカガシ亜属はイチイガシ以外の種をすべてアカガシ亜属と同定した。

19. ムクノキ *Aphananthe aspera* (Thunb.) Planch. ニレ科 第322図20a-20c / 第101表339 (枝・幹材, ST2-439)
厚壁の道管が単独あるいは放射方向に2~3個複合して疎らに散在する散孔材。道管の穿孔は単一。木部柔組織は晩材で翼状~連合翼状。放射組織は異性で4細胞幅くらい、直立部に結晶をもつ。
20. エノキ属 *Celtis* ニレ科 第322図21a-21c / 第101表288 (枝・幹材, ST2-1142)、第322・323図22a-22c / 第101表283 (根材, ST2-983)
枝・幹材は、大型で丸い道管が年輪のはじめに3列ほど集合し、晩材では小型で丸い道管が数個ずつかたまつて斜めに連なる環孔材。道管の穿孔は単一、小道管の内壁にはらせん肥厚がある。放射組織は異性で8~10細胞幅くらい、鞘細胞をもつ。
根材は早材道管が小さく、晩材道管が大きく、半環孔材となる。
21. ケヤキ *Zelkova serrata* (Thunb.) Makino ニレ科 第323図23a-23c / 第101表590 (枝・幹材, ST2-908)
大型で丸い道管が年輪のはじめに1(~2)列に配列し、晩材では小型の道管が接線方向の帯をなす環孔材。道管の穿孔は単一、小道管の内壁にはらせん肥厚がある。放射組織は異性で8細胞幅くらい、上下端には大型の結晶をもつ。
22. クワ属 *Morus* クワ科 第323図24a-24c / 第101表466 (枝・幹材, ST2-911)
やや大型で丸い道管が年輪のはじめに4列ほど集合し、晩材では小型で丸い道管が数個ずつ丸い塊をなして散在する環孔材。道管の穿孔は単一、小道管の内壁にはらせん肥厚がある。放射組織は異性で7細胞幅くらい。
23. クスノキ *Cinnamomum camphora* (L.) J.Presl クスノキ科 第323図25a-25c / 第101表372 (枝・幹材, ST2-566)
大型で丸い道管が単独あるいは放射方向に2~3個複合して、年輪内で小型化しながら疎らに散在する半環孔材。道管の穿孔は単一。木部柔組織は周囲状で、大型の油細胞をもつ。放射組織は異性で2~3細胞幅、ときに層階状に配列する。
24. クスノキ科 Lauraceae クスノキ科 第323図26a-26c / 第101表316 (枝・幹材, ST2-1017)
中型~小型でやや厚壁の道管が単独あるいは2個放射方向に複合して疎らに散在する散孔材。周囲状木部柔組織と放射組織にはしばしばやや大型の油細胞をもつ。道管の穿孔は単一、ときに階段状。放射組織は異性で2~3細胞幅。
25. ツバキ属 *Camellia* ツバキ科 第323・324図27a-27c / 第101表222 (枝・幹材, ST2-400)
小型でやや角張った孤立道管が年輪内で小型化しながら密に散在する散孔材。道管の穿孔は10本ほどの横棒からなる階段状。放射組織は異性で2~3細胞幅、しばしば直立部に大型の結晶細胞をもつ。
26. サカキ *Cleyera japonica* Thunb. ツバキ科 第324図28a-28c / 第101表450 (枝・幹材, ST2-791)
ごく小型で角張った孤立道管が密に均一に散在する散孔材。道管の穿孔は30本ほどの横棒からなる階段状。放射組織は単列異性、ときに2細胞幅となる。
27. ヒサカキ *Eurya japonica* Thunb. ツバキ科 第324図29a-29c / 第101表348 (枝・幹材, ST2-1102)
ごく小型で角張った孤立道管が密に均一に散在する散孔材。道管の穿孔は30本ほどの横棒からなる階段状。放射組織は異性で3細胞幅くらい。
28. サクラ属 (広義) *Prunus* s.l.バラ科 第324図30a-30c / 第101表224 (枝・幹材, ST2-406)

- やや小型で丸い道管が単独あるいは放射方向に2〜3個複合して斜めに連なる傾向を見せて散在する散孔材。道管の穿孔は単一で、内壁にはらせん肥厚がある。放射組織は異性で5細胞幅くらい。
29. バラ属 *Rosa* バラ科 第324図31a—31c / 第101表557 (枝・幹材, ST2—205)
 中型で丸い道管がほぼ単独で年輪のはじめに3列ほど配列し、晩材では孤立道管が不規則に小型化しながら散在する環孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は異性で大きく、幅は500 μ m以上となる。
30. ネムノキ *Albizia julibrissin* Durazz. マメ科 第324図32a—32c / 第101表149 (枝・幹材, ST2—1026)
 中型で丸い道管が単独ときに2個複合して年輪のはじめに散在し、晩材では小型化した同様の道管が疎らに散在する環孔材。道管の穿孔は単一。木部柔組織は晩材で周囲状—翼状。放射組織は同性で2〜3細胞幅、外形はいびつ。
31. フジキ *Cladrastis platycarpa* (Maxim.) Makino マメ科 第325図33a—33c / 第101表505 (枝・幹材, ST2—981)
 大型で丸い道管が年輪のはじめに3列ほど集合し、晩材では小型で丸い道管が数個ずつかたまって斜めに連なる環孔材。道管の穿孔は単一、小道管の内壁にはらせん肥厚がある。放射組織は上下端の1列が直立する異性で8細胞幅くらい。
32. フジ *Wisteria floribunda* (Willd.) DC. マメ科 第325図34a—34c / 第101表565 (枝・幹材, ST2—169)
 大型で丸い孤立道管が年輪のはじめに1列に並び、晩材ではやや小型で疎らな孤立道管の間をごく小型の道管の帯が埋める環孔材。道管の穿孔は単一、小道管の内壁にはらせん肥厚がある。放射組織は同性で8細胞幅くらい。道管要素と木繊維、小型の放射組織は層階状に配列する。
33. シラキ *Neoshirakia japonica* (Siebold et Zucc.) Esser トウダイグサ科 第325図35a—35c / 第101表672 (枝・幹材, ST2—795)
 小型で厚壁の丸い道管が単独あるいは放射方向に2〜3個複合して疎らに散在する散孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は単列異性。
34. キハダ *Phellodendron amurense* Rupr. ミカン科 第325図36a—36c / 第101表697 (枝・幹材, ST2—346)
 大型で丸い道管が単独ときに2個複合して年輪のはじめに3列ほど集合し、晩材では小型で薄壁の道管が接線方向の帯をなす環孔材。道管の穿孔は単一、小道管の内壁にはらせん肥厚がある。放射組織は同性で4細胞幅くらい。
35. コクサギ *Orixa japonica* Thunb. ミカン科 第325図37a—37c / 第101表401 (枝・幹材, ST2—949)
 ごく小型で薄壁の道管が斜め方向にのびる帯をなして散在する紋様孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は異性で1〜2細胞幅くらい。
36. カラスザンショウ *Zanthoxylum ailanthoides* Siebold et Zucc. var. *ailanthoides* ミカン科 第325・326図38a—38c / 第101表163 (枝・幹材, ST2—1040)
 大型で丸い厚壁の道管が単独あるいは放射方向に2〜3個複合して疎らに散在する散孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は同性で5細胞幅くらい。
37. ヌルデ *Rhus javanica* L. var. *chinensis* (Mill.) T. Yamaz. ウルシ科 第326図39a—39c / 第101表177 (枝・幹材, ST2—977)
 やや大型で丸い道管が単独ときに2個複合して年輪のはじめに数列配列し、晩材では小型で薄壁の道管が接線方向の帯をなす環孔材。道管の穿孔は単一、小道管の内壁にはらせん肥厚

がある。放射組織は異性で3細胞幅くらい。

38. ウルシ *Toxicodendron vernicifluum* (Stokes)
F.A.Barkley ウルシ科 第326図 40a-40c
/第101表20 (枝・幹材, ST2-263)

やや大型で丸い道管が単独ときに2個複合して年輪のはじめに数列配列し、晩材では小型で丸い道管が接線方向に2~3個複合して散在する半環孔材。道管の穿孔は単一、小道管の内壁にはらせん肥厚がある。放射組織は異性で3細胞幅くらい。

39. カエデ属 *Acer* カエデ科 第326図41a-41c /第101表42 (枝・幹材, ST2-938)

やや小型で丸い道管が単独あるいは放射方向に2~4個複合して疎らに散在する散孔材。木繊維は横断面で雲紋状を呈する。道管の穿孔は単一、内壁にはらせん肥厚がある。放射組織は同性で5細胞幅くらい。

40. ムクロジ *Sapindus mukorossi* Gaertn. ムクロジ科 第326図42a-42c /第101表242 (枝・幹材, ST2-481)

大型で丸い道管が単独あるいは2個複合して年輪のはじめに1~3列ほど配列し、晩材では小型で薄壁の道管が接線方向に伸びる塊をなして散在する環孔材。道管の穿孔は単一、小道管の内壁にはらせん肥厚がある。木部柔組織は晩材で帯状。放射組織は同性3細胞幅くらい。

41. ツルウメモドキ属 *Celastrus* ニシキギ科 第326・327図43a-43c /第101表152 (枝・幹材, ST2-1029)

大型で丸い道管がほぼ単独で年輪のはじめに3列ほど配列し、晩材では小型化した疎らな孤立道管の間にごく小型の道管が接線状の帯をなす環孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は異性で、単列のものと同型で高さが1mm以上のものからなる。

42. ケンボナシ属 *Hovenia* クロウメモドキ科 第327図44a-44c /第101表297 (枝・幹材,

ST2-1008)

やや大型で丸い道管が単独ときに2個複合して年輪のはじめに3列ほど配列し、晩材では小型で丸い厚壁の道管が接線方向に2~3個複合して散在する環孔材。道管の穿孔は単一。木部柔組織は晩材で翼状。放射組織は異性で4細胞幅くらい。

43. ブドウ属 *Vitis* ブドウ科 第327図45a-45c /第101表192 (枝・幹材, ST2-830)

大型で丸い道管がほぼ単独で年輪のはじめに散在し、大道管の間や年輪の終わりでは小道管が数個放射方向に複合して散在する散孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は異性で大きく、高さは1mm以上となる。

44. クマノミズキ類 *Swida* cf. *macrophylla* (Wall.) Sojak ミズキ科 第327図46a-46c /第101表543 (枝・幹材, ST2-851)

やや小型で丸い孤立道管がやや疎らに均一に散在する散孔材。道管の穿孔は30~40本ほどの横棒からなる階段状。木部柔組織は短接線状。放射組織は異性で4細胞幅くらい。

45. ウコギ属 *Acanthopanax* ウコギ科 第327図47a-47c /第101表621 (枝・幹材, ST2-787)、第327図48a-48c /第101表309 (根材, ST2-558)

枝・幹材は、小型で薄壁の道管が斜め~接線方向の帯をなして散在する紋様孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は上下端が直立細胞からなる異性で10細胞幅以上となる。

根材は道管が大きく、密に分布する。放射組織は小さい。

46. タラノキ *Aralia elata* (Miq.) Seem. ウコギ科 第328図49a-49c /第101表14 (枝・幹材, ST2-918)

やや小型の丸い道管が単独あるいは2個複合して年輪のはじめに数列配列し、晩材では小型で薄壁の道管が接線方向の帯をなす半環孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は上下端の1細胞が直立

する異性で8細胞幅くらい。

47. エゴノキ属 *Styrax* エゴノキ科 第328図
50a—50c/第101表319(枝・幹材, ST2—1000)
やや小型で丸い道管が単独あるいは放射方向
に2~3個複合して、年輪内で小型化しながら
散在する散孔材。道管の穿孔は10本ほどの横
棒からなる階段状。木部柔組織は晩材で接線状。
放射組織は異性で3細胞幅くらい。
48. ハイノキ属 *Symplocos* ハイノキ科 第328
図51a—51c/第101表671(枝・幹材, ST2—794)
小型で丸い道管がほぼ単独でやや疎らに均一
に散在する散孔材。道管の穿孔は20本ほどの
横棒からなる階段状。放射組織は異性で3細胞
幅くらい。
49. トネリコ属トネリコ節 *Fraxinus* sect. *Ornus*
モクセイ科 第328図52a—52c/第101表422
(枝・幹材, ST2—889)
やや大型で丸い道管が単独ときに2個複合し
て年輪のはじめに断続的に配列し、晩材では小
型で厚壁の道管が単独あるいは放射方向に2~
3個複合して疎らに散在する環孔材。道管の穿
孔は単一。木部柔組織は晩材で翼状~連合翼状。
放射組織は同性で2細胞幅。
50. イボタノキ属 *Ligustrum* モクセイ科 第
328図53a—53c/第101表56(枝・幹材, ST2—815)
小型で丸い孤立道管が年輪のはじめに断続的
に配列し、晩材ではさらに小型化した道管が単
独あるいは放射方向に2個複合して密に散在する散
孔材。道管の穿孔は単一。放射組織は異性で2細
胞幅。
51. ムラサキシキブ属 *Callicarpa* クマツヅラ
科 第328・329図54a—54c/第101表311(枝・
幹材, ST2—482)
小型で丸い厚壁の道管が単独あるいは放射方
向に2~3個複合して均一に散在する散孔材。
道管の穿孔は単一。放射組織は異性で3細胞幅。
52. クサギ *Clerodendrum trichotomum* Thunb.

クマツヅラ科 第329図55a—55c/第101表52
(枝・幹材, ST2—863)

大型で丸い道管が単独あるいは2~3個複合
して年輪のはじめに数列配列し、晩材では小型
で丸い厚壁の道管が単独あるいは2~3個複合
して散在する環孔材。道管の穿孔は単一。放射
組織は上下端の1細胞が直立する異性で、4細
胞幅くらい。

53. ニワトコ *Sambucus racemosa* L. subsp.
sieboldiana (Miq.) H.Hara スイカズラ科
第329図56a—56c/第101表215(枝・幹材,
ST2—180)

小型で丸い道管が単独あるいは放射方向に2
~3個複合して斜めに連なる傾向を見せる散孔
材。道管の穿孔は単一。放射組織は異性で5細
胞幅、鞘細胞を持つ。

54. 竹笹類 Subfam. Bambusoideae イネ科
第329図57a/第101表150(桿, ST2—1034)
中心にある一対の道管と、それと直交する原
生木部間隙と篩部を囲んで厚膜組織が維管束鞘
を形成し、それが散在する。

4. 考察

城敷遺跡から出土した木製品類全体では、モミ
属とイチイガシを含むコナラ属アカガシ亜属、エ
ノキ属、クワ属が多く、これにヒノキとスタジイ、
ツブラジイ、サカキ、ツバキ属、ウコギ属が続く
(表1)。このうちモミ属とスギ、アカガシ亜属は
道具類から建築材・加工木等まで広く用いられて
いる。これに対し、エノキ属とクワ属、スタジイ、
ツブラジイ、サカキ、ウコギ属は建築材・加工木
等といった比較的大型の材に多く、ツバキ属は堅
杵に多い。道具類では他に、イヌガヤの丸木弓と、
イチイガシの農具、アカガシ亜属の堅杵、サク
ラ属の鋤鉾、モミ属の木鎌と櫛、クワ属とアカガ
シ亜属の木鎌が目立つ。建築材・加工木等では道
具類と比べてひじょうに多様な樹種が使われてお
り、周辺の森林からもたらされたものと思える。

しかし自然木と対照してみると、アカガシ亜属やエノキ属、クワ属、サカキ、ウコギ属、ハイノキ属などの広葉樹は自然木でも多数出土していて製品の樹種とも対応するものの、針葉樹は製品等に多数使われている割りには自然木があまり見いだされていないことが分かる。

日本産のアカガシ亜属には、アカガシ、シラカシ、イチイガシ、ウラジロガシ、シラカシ、ツクバネガシ、オキナワウラジロガシ、ハナガシの8種があるが、木材組織はよく似ており、これまで亜属以下の樹種の同定はしていなかった。城敷遺跡では、近接する反町遺跡と同様に、直径200 μ m以上の道管が接線方向に数列並んで放射状に配列する個体が認められ、これらをイチイガシと同定し、それ以外をアカガシ亜属とした。イチイガシは鋸歯とエブリ、柄といった比較的小型の木製品に多用されているのに対し、それ以外のアカガシ亜属は堅材や横樋、作業台、木鍾のほか、建築材や加工木等といった小型から大型の木製品や建築材、加工木に広く利用されており、用途が対照的である。またイチイガシはアカガシ亜属に比べて点数が少なく、反町遺跡と同様に自然木には認められていない。しかし割材が出土しており、当遺跡のごく近傍ではないとしても、それほど離れていない場所に生育していたと考えられる。

自然木の直径の記録は出土点数に比して少なく、本来の傾向とはずれている可能性もあるが、直径階分布をみてみると、エノキ属を主体としてコナラ節やアカガシ亜属、クワ属が伴った、直径10cm前後の陽樹が多い。現在の薪炭林のような、縦りかえし伐採された二次林が遺跡のすぐ周辺に成立していたと想定される。これからすると、針葉樹

類は遺跡のすぐ近傍というよりはある程度離れた山地に生育していて、そこで伐採され製材されてもたらされたか、あるいは他地域から製品として運ばれてきたと想定される。またウルシは、漆掻きの痕跡をもつ木材のほか、作業台として使用されたものと自然木が出土した。漆掻きの痕跡をもつ木材の年輪数から、当遺跡の近傍でウルシは漆掻きのために8年ほど栽培されていて、漆を掻いた後の木も利用されていたことを示している。

当遺跡で出土した樹種の中で、スタジイとツブラジイ、イチイガシ、クスノキ、ハイノキ属は照葉樹林の主要な構成要素で、現在では関東地方の南岸から西日本にしか生育していない。このうちアカガシ亜属は狭山丘陵には縄文時代後・晩期から古代にかけて生育していたことが所沢市のお伊勢山遺跡の調査（辻ほか、1989、1990）で分かっており、東京都東村山市の下宅部遺跡では縄文時代後期のツクバネガシの葉が出土している（米倉ほか、2006）。しかし、それ以外の樹種は関東平野の内陸部では見いだされていない（吉川、1999）。こうした出土しているのは、埼玉県比企郡吉見町の西吉見条里遺跡（未公開）の古代の木材群である。当遺跡や反町遺跡と西吉見条里遺跡の結果を総合すると、高坂台地の周辺にはこれら照葉樹林の要素が生育できるような生態的あるいは人為的な要因が古墳時代から古代にかけて存在していたと想定される。今後、花粉分析や種実分析など、他の手法での解析結果と対照して、実態を解明していくべき重要な問題である。

※樹種同定におけるサンプル採取については、佐々木由香・村上由美子の協力を得た。

引用・参考文献

- 辻誠一郎ほか 1989 「縄文時代の古地理と古環境」[お伊勢山遺跡の調査：第3部 縄文時代] 早稲田大学所沢校地文化財調査室編 3-58
- 辻誠一郎ほか 1990 「弥生時代から平安時代の古地理と古環境」[お伊勢山遺跡の調査：第4部 弥生時代から平安時代] 早稲田大学所沢校地文化財調査室編 3-75

第101表 銭塚・城敷遺跡出土木材の樹種同定結果

番号	集積・調査年	資料番号	グリッド	遺構名	取上り層	製品群	部種	樹種	SH	本取り	表皮	備考	prep. no.
城敷遺跡													
1	369-197-11	4	Z023・24	SB14 P7	1	礎板	分割材	×		平潤			ST2-587
2	369-197-12	3	Z023・24	SB14 P9	1	礎板	分割材	×		みかん潤			ST2-631
3	369-197-13	7	Z023・24	SB14 P11	1	礎板	分割材	×		榎目			ST2-634
4	369-197-14	5	Z023・24	SB14 P6	1	礎板	分割材	×		平潤			ST2-632
5	369-197-15	6	Z023・24	SB14 P5	1	礎板	分割材	×		志持丸木			ST2-633
6		8	Z023・24	SB14 P1	1	礎板	分割材	×		みかん潤			ST2-589
7	369-210-2	470	ZK36	SE2下層		巻物品	札尻	ヒノキ	S		榎目		ST2-432
8		570		SE2	3	割材	みかん潤材	サカキ	S		みかん潤		ST2-991
9	369-210-4	2	ZJ37	SE5		杭	杭	クリ	S		皮付き		ST2-588
10	369-361-8	601	Z R15	SD10		容器	脚付き型	スズ	S		榎目		ST2-1096
11	369-368-36	596	Z T15	SD4 第1地点	1	紡錘器	板材	モミ	S		榎目		ST2-1114
12	369-368-37	617	Z T14	SD4 第1地点	46	器具	撥磨脚板	スズ	S		榎目		ST2-487
13	369-368-38	403	Z T14	SD4 第1地点	10	器具	錘	ヒノキ	S		みかん潤		ST2-483
14	369-368-39	788	Z T14	SD4 第1地点	41	建築部材	垂木	タラシ	S		志持丸木		ST2-918
15	369-368-40	744	Z T14	SD4 第1地点	50	建築部材	垂木	クワ楡	S		志持丸木		ST2-825
16	369-368-41	711	Z T14	SD4 第1地点	47	建築部材	扉付不明	クワ楡	S		志無し肉材		ST2-821
17	369-369-42	580	Z T14	SD4 第1地点	43	建築部材	横架材	サカキ	S		志持面取り		ST2-493
18	369-369-43	820	Z T14	SD4 第1地点	44	建築部材	横架材	サカキ	S		平潤		ST2-572
19	369-370-45	302	Z T14	SD4 第1地点	43	建築部材	横架材	サカキ	S		丸木	皮付き	ST2-612
20	369-370-47	372	Z T15	SD4 第1地点	10	ウレシ	漆刷木	ウレシ	S		丸木(磨り込み)		ST2-263
21	369-370-47	372	Z T15	SD4 第1地点	10	ウレシ	漆刷木	ウレシ	S		みかん潤		ST2-268
22	369-371-48	195	Z U14	SD4 第1地点	24	農具	作業台	ウレシ	S		志持丸木		ST2-637
23	369-372-49	878	Z T14	SD4 第1地点	7	武器	巧	イヌガシ	S		丸木		ST2-484
24	369-372-50	889	Z U14	SD4 第1地点	15	建築部材	樺子	コナラ楡コナラ楡	S		丸木(磨り込み)		ST2-483
25	369-373-51	319	Z U15	SD4 第1地点	8	建築部材	Y字状柱材	サカキ	S		榎目		ST2-614
26	369-373-52	207	Z U15	SD4 第1地点	15	建築部材	梁架材	ツバキ楡	S		志持丸木		ST2-1166
27	369-373-52	613	Z U15	SD4 第1地点	15	建築部材	梁架材	ツバキ楡	S		志持丸木		ST2-1107
28	369-373-52	614	Z U15	SD4 第1地点	15	建築部材	梁架材	ツバキ楡	S		志持丸木		ST2-1094
29	369-373-53	768	Z T14	SD4 第1地点	13	建築部材	横架材	コナラ楡アカガシ楡楡	S		丸木		ST2-545
30	369-373-54	314-1	Z T15	SD4 第1地点		加工木	肉材	ツブ楡	S		榎目		ST2-429
31		314-2	Z T15	SD4 第1地点		加工木	板材	榎目	S		榎目		ST2-430
32		547-1	Z T15	SD4 第1地点	6	建築部材	矢板	ツブツグイ	S		みかん潤		ST2-447
33		547-2	Z T15	SD4 第1地点	6	割材	みかん潤材	ツブツグイ	S		みかん潤		ST2-448
34		336	Z T14	SD4 第1地点	43	杭	杭	サカキ	S		志持丸木		ST2-427
35		382	Z T14	SD4 第1地点	42	自然木	自然木	クワ楡	S		志持丸木		ST2-1167
36		402	Z T14	SD4 第1地点	11	板	榎目材	イボタノ楡	S		榎目		ST2-1152
37		451	Z T14	SD4 第1地点	13	自然木	自然木	エノキ楡	S		丸木		ST2-1070
38		482-1	Z T14	SD4 第1地点	45	板	自然木	コナラ楡アカガシ楡楡	S		志持丸木		ST2-1111
39		482-2	Z T14	SD4 第1地点	45	板	自然木	モミ	S		志持丸木		ST2-1110
40		543-1	Z T14	SD4 第1地点	48	自然木	丸木材	イボタノ楡	S		丸木		ST2-950
41		543-2	Z T14	SD4 第1地点	48	自然木	自然木	イボタノ楡	S		志持丸木		ST2-951
42		569	Z T15	SD4 第1地点	5	自然木	自然木	カエデ楡	S		志持丸木	皮付き	ST2-938
43		571	Z T15	SD4 第1地点	2	自然木	自然木	クワ楡	S		平潤		ST2-927
44		573	Z T14	SD4 第1地点	14	加工木	加工木(丸木材)	サカキ楡	S		丸木	皮付き	ST2-939
45		710	Z T14	SD4 第1地点	46	自然木	自然木	コナラ楡アカガシ楡楡	S		志持丸木		ST2-820
46		720	Z T15	SD4 第1地点	13	自然木	自然木	エノキ楡	S		丸木		ST2-1066
47		728	Z U14	SD4 第1地点	11	自然木	自然木	ツバキ楡	S		志持丸木		ST2-869
48		745	Z T15	SD4 第1地点	16	自然木	自然木	クワ楡	S		丸木		ST2-1078
49		762-1	Z U14	SD4 第1地点	10	自然木	自然木	スズギ	S		志持丸木		ST2-808
50		762-2	Z U14	SD4 第1地点	10	自然木	自然木	コナラ楡アカガシ楡楡	S		志持丸木		ST2-809
51		762-3	Z U14	SD4 第1地点	10	自然木	自然木	ウレシ	S		志持丸木		ST2-810
52		762-4	Z U14	SD4 第1地点	10	自然木	自然木	クサギ	S		志持丸木		ST2-863
53		763-1	Z U14	SD4 第1地点	60	自然木	自然木	ウコギ楡	S		志持丸木		ST2-811
54		763-2	Z U14	SD4 第1地点	60	加工木	加工木	コナラ楡アカガシ楡楡	S		榎目		ST2-812
55		771	Z U15	SD4 第1地点	9	加工木	加工木	サカキ	S		志持丸木	皮付き	ST2-814
56		772	Z T14	SD4 第1地点	47	自然木	自然木	イボタノ楡	S		志持丸木		ST2-815
57		844	Z T14	SD4 第1地点	44	自然木	自然木	コナラ楡アカガシ楡楡	S		志持丸木		ST2-236
58		849	Z T15	SD4 第1地点	13	自然木	自然木	エノキ楡	S		丸木		ST2-1062
59		864	Z U14	SD4 第1地点	18	自然木	自然木	エノキ楡	SR		丸木		ST2-244
60		873	Z U14	SD4 第1地点	16	割材	割材	エノキ楡	SR				ST2-234
61		887	Z T14	SD4 第1地点	9	杭	杭	イボタノ楡	SR		志持丸木		ST2-216
62		890	Z U14	SD4 第1地点	8	自然木	自然木	クワ楡	S		丸木		ST2-224
63		896	Z U14	SD4 第1地点	13	割材	割材	クワ楡	S		割材		ST2-213
64		901	Z T14	SD4 第1地点	49	自然木	自然木	コナラ楡アカガシ楡楡	S		丸木		ST2-206
65		902	Z T14	SD4 第1地点	43A	木片	木片	ウコギ楡	S				ST2-207
66		903	Z T14	SD4 第1地点	440	自然木	自然木	×	S		丸木		ST2-208
67		905	Z T14	SD4 第1地点	482	自然木	自然木	コナラ楡アカガシ楡楡	S		志持丸木		ST2-199
68		906	Z T14	SD4 第1地点	490	自然木	自然木	コナラ楡アカガシ楡楡	S		志持丸木		ST2-200
69		917-1	Z U14	SD4 第1地点	17	割材	割材	エノキ楡	SR		割材		ST2-198

番号	種数・面積(㎡)	資料番号	グロット	遺構名	取上りNo	築群	部種	屋根	SR	水取り	表皮	備考	prep.no.
70		920	Z T14	SD4 第1地点	54	自然木	自然木	エノキ類	S	芯持丸木			ST2-192
71		934	Z T14	SD4 第1地点	41	割材	割材	コナラ属アケガシ亜属	S	平割			ST2-191
72	369-380-28	811	Z W9	SD4 第2地点	29	建築部材	垂木	クスノキ科	S	芯持丸木	夜付き		ST2-892
73	369-380-29	738	Z W9	SD4 第2地点	30	建築部材	垂木	スズジイ	S	丸木			ST2-544
74	369-380-30	629	Z W9	SD4 第2地点	27	建築部材	梁材	サカキ	S	芯持丸木			ST2-1104
75	369-380-30	709	Z W9	SD4 第2地点	27	建築部材	梁材	サカキ	S	丸木			ST2-542
76	369-381-31	691	Z W9	SD4 第2地点	2	建築部材	柱	モミ類	S	道椋目			ST2-533
77	369-381-32	692	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部位不明	コナラ属アケガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-884
78	369-382-35	692	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部位不明	コナラ属アケガシ亜属	S	ST2-884			ST2-884
79	369-382-36	692	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部位不明	コナラ属アケガシ亜属	S	ST2-884			ST2-884
80	369-382-38	692	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部位不明	コナラ属アケガシ亜属	S	ST2-884			ST2-884
81	369-382-39	692	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部位不明	コナラ属アケガシ亜属	S	ST2-884			ST2-884
82	369-383-45	692	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部位不明	コナラ属アケガシ亜属	S	ST2-884			ST2-884
83	369-382-33	705	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部位不明	コナラ属アケガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-1101
84	369-382-37	705	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部下(厚削)	コナラ属アケガシ亜属	S	ST2-1101			ST2-1101
85	369-383-41	705	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部位不明	コナラ属アケガシ亜属	S	ST2-1101			ST2-1101
86	369-383-42	705	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部位不明	コナラ属アケガシ亜属	S	ST2-1101			ST2-1101
87	369-383-43	705	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部位不明	コナラ属アケガシ亜属	S	ST2-1101			ST2-1101
88	369-383-45	705	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部位不明	コナラ属アケガシ亜属	S	ST2-1101			ST2-1101
89	369-384-47	705	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部位不明	コナラ属アケガシ亜属	S	ST2-1101			ST2-1101
90	369-382-34	661	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部位不明	コナラ属アケガシ亜属	S	みかん割			ST2-878
91	369-383-40	661	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部位不明	コナラ属アケガシ亜属	S	ST2-878			ST2-878
92	369-382-34	632	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部位不明	コナラ属アケガシ亜属	S	割材			ST2-846
93	369-383-44	632	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部下(厚削)	コナラ属アケガシ亜属	S	ST2-846			ST2-846
94	369-384-48	632	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	部下(厚削)	コナラ属アケガシ亜属	S	ST2-846			ST2-846
95	369-384-49	632	Z W9	SD4 第2地点	18	建築部材	柱材	コナラ属アケガシ亜属	S	丸木			ST2-546
96	369-384-49	815	Z W9	SD4 第2地点	19	建築部材	柱材	コナラ属アケガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-583
97	369-384-50	814	Z W9	SD4 第2地点	25	建築部材	柱材	コナラ属アケガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-948
98	369-384-51	794	Z W9	SD4 第2地点	31	建築部材	垂木	コナラ属アケガシ亜属	S	丸木			ST2-548
99	369-385-52	459	Z W9	SD4 第2地点	32	武器	弓	モミ類	S	芯持丸木			ST2-433
100	369-385-53	554	Z W9	SD4 第2地点	215	杖	杖	クマデ類イヌヅメ類	S	芯持丸木			ST2-691
101	369-385-54	603	Z W9	SD4 第2地点	41	杖	杖先	クワ類	S	芯持丸木			ST2-524
102	369-385-55	496	Z W9	SD4 第2地点	70	杖	杖	クワ科	S	丸木	夜付き		ST2-414
103	369-386-56	338	Z W9	SD4 第2地点	62	器具	竹製の	コナラ属アケガシ亜属	S	芯持面取り		90	ST2-410
104	369-386-57	586	Z W9	SD4 第2地点	50	農具	作業台	コナラ属アケガシ亜属	S	平割			ST2-484
105	369-387-58	856	Z W9	SD4 第2地点	12	馬具	輪蓋	クリ	S	板面取り			ST2-477
106	369-387-59	838	Z W9	SD4 第2地点	1	容器	樽	スギ	S	横木取り			ST2-523
107	369-388-60	519	Z W9	SD4 第2地点	48	建築部材	板材	ツブラジイ	S	芯持面取り			ST2-1100
108	369-388-61	795	Z W9	SD4 第2地点	48	建築部材	板材	ツブラジイ	S	芯持面取り			ST2-547
109	369-389-62	516	Z W9	SD4 第2地点	64	建築部材	垂木	ハイノキ類	S	芯持丸木			ST2-972
110	369-389-64	809	Z W9	SD4 第2地点	35	建築部材	柱材	クマデ類イヌヅメ類	S	丸木			ST2-549
111	369-389-65	818	Z W9	SD4 第2地点	38	杖	杖	クマデ類イヌヅメ類	S	丸木			ST2-548
112	369-389-66	688	Z W9	SD4 第2地点	207	杖	杖	コナラ属アケガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-899
113	369-390-67	362	Z W10	SD4 第2地点	163	農具	本鎌	クワ類	S	芯持丸木			ST2-425
114	369-390-68	828	Z W10	SD4 第2地点	170	用途不明	枋状内材	スギ	S	板目			ST2-564
115	369-390-69	858	Z W10	SD4 第2地点	143	建築部材	板材	スギ	S	板目			ST2-577
116	369-390-70	568	Z W10	SD4 第2地点	127	容器	動物皮板	スギ	S	道椋目			ST2-467
117	369-390-71	444	Z W10	SD4 第2地点	139	用途不明	板材	スギ	S	板目			ST2-441
118	369-390-72	555	Z W10	SD4 第2地点	110	建築部材	板材	キハバ	S	ST2-492			ST2-492
119	369-391-73	699	Z W10	SD4 第2地点	155	建築部材	横釘材	モミ類	S	板目			ST2-680
120	369-391-74	620	Z W10	SD4 第2地点	108	建築部材	板材	モミ類	S	板目(芯上)			ST2-497
121	369-391-75	373	Z W10	SD4 第2地点	119	建築部材	板材	カヤ	S	ST2-407			ST2-407
122	369-391-76	567	Z W10	SD4 第2地点	106	建築部材	板材	カヤ	S	道椋目			ST2-466
123	369-392-77	656	Z W10	SD4 第2地点	150	建築部材	柱材	ムクゴジ	S	平割			ST2-599
124	369-392-78	332	Z W10	SD4 第2地点	135	建築部材	垂木	コナラ属アケガシ亜属	S	丸木	夜付き		ST2-411
125	369-392-79	453	Z W10	SD4 第2地点	147	杖	杖	スズジイ	S	丸木			ST2-418
126	369-392-80	466	Z W10	SD4 第2地点	111	杖	杖	コナラ属アケガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-431
127	369-392-81	455	Z W10	SD4 第2地点	145	杖	杖	ツブラジイ	S	丸木			ST2-419
128	369-393-82	264	Z W10	SD4 第2地点	146	杖	杖	ツバキ類	S	芯持丸木	夜付き		ST2-347
129	369-393-83	409	Z W10	SD4 第2地点	120	杖	杖	コナラ属アケガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-426
130	369-393-84	297	Z W10	SD4 第2地点	144	杖	杖	クリ	S	丸木	夜付き		ST2-424
131	369-393-85	384	Z W10	SD4 第2地点	161	障子(漆柱)	杖?	クリ	S	ST2-1058			ST2-1058
132		180	Z W9	SD4 第2地点	20	自然木	自然木	コナラ属アケガシ亜属	S	ST2-1140			ST2-1140
133		197	Z W10	SD4 第2地点	159	自然木	自然木	エノキ類	S	ST2-1065			ST2-1065
134		200	Z W9	SD4 第2地点	22	自然木	自然木	ハイノキ類	S	芯持丸木			ST2-1162
135		201	Z W9	SD4 第2地点	46	杖	杖	トネリコ類	S	芯持丸木			ST2-1125
136		257	Z W10	SD4 第2地点	162	自然木	自然木	サカキ類	S	丸木			ST2-1068
137		287	Z W9	SD4 第2地点	68	自然木	自然木	コナラ属アケガシ亜属	S	芯持丸木	夜付き		ST2-1122
138		292	Z W9	SD4 第2地点	60	自然木	自然木	クマデ類イヌヅメ類	S	ST2-1043			ST2-1043
139		350	Z W9	SD4 第2地点	16	杖	杖	コナラ属アケガシ亜属	S	みかん割			ST2-409
140		375	Z W9	SD4 第2地点	24	割材	割材	モミ類	S	板目			ST2-690
141		378	Z W9	SD4 第2地点	93	板	板目材	イボタノキ類	S	板目			ST2-1154
142		388	Z W9	SD4 第2地点	92	自然木	自然木	エノキ類	S	割材			ST2-1168
143		392	Z W10	SD4 第2地点	118	板	板材	モミ類	S	道椋目			ST2-800
144		394	Z W9	SD4 第2地点	76	自然木	自然木	スズジイ	S	板目			ST2-1119
145		416	Z W9	SD4 第2地点	40	割材	割材	モミ類	S	みかん割			ST2-1165
146		454	Z W10	SD4 第2地点	138	自然木	自然木	クサギ	SR	割材			ST2-978
147		460	Z W9	SD4 第2地点	77	割材	割材	スズジイ	S	板目			ST2-1032
148		461-1	Z W9	SD4 第2地点	209	自然木	自然木	クワ類	S	芯持丸木			ST2-1025
149		461-2	Z W9	SD4 第2地点	209	自然木	自然木	ネムノキ	S	芯持ち丸木			ST2-1026
150		465	Z W10	SD4 第2地点	115	竹製品	素材	竹製品	-	丸木			ST2-1034

番号	集数・納品番号	資料番号	ゾウツ	造橋名	取上げNo	製品群	器種	前種	SH	木取り	皮取	備考	prev. no.
151		473	Z W10	SD4 第2地	149	自然木	自然木	エノキ類	S	芯持丸木			ST2-1028
152		477	Z W9	SD4 第2地	89	自然木	自然木	ツルウメモドキ類	S	芯持丸木			ST2-1029
153		478-1	Z W9	SD4 第2地	208	割材	干割	クワノ類	S	割材			ST2-1030
154		478-2	Z W9	SD4 第2地	208	自然木	自然木	ハイノキ類	S	芯持丸木			ST2-1031
155		481	Z W10	SD4 第2地	166	自然木	自然木	クサギ	S	芯持丸木			ST2-1038
156		481	Z W9	SD4 第2地	81	割材	角材	コナラ属アカガシ亜属	S	みかん割			ST2-796
157		483	Z W9	SD4 第2地	17	自然木	自然木	クワノ類	S	芯持丸木			ST2-1047
158		486	Z W9	SD4 第2地	203	自然木	自然木	ハイノキ類	S	芯持丸木	皮付き		ST2-1036
159		487	Z W10	SD4 第2地	114	自然木	自然木	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-1037
160		489	Z W9	SD4 第2地	42	自然木	自然木	スダジイ	S	芯持丸木			ST2-1048
161		490-1	Z W10	SD4 第2地	133	自然木	自然木	クワノ類	S	芯持丸木			ST2-1038
162		490-2	Z W10	SD4 第2地	133	自然木	自然木	ニワトコ	S	芯持丸木			ST2-1039
163		493	Z W10	SD4 第2地	134	割材	割材	カヌズギンショウ	S	板目			ST2-1040
164		497	Z W10	SD4 第2地	157	割材	みかん割材	カヌズギン	S	みかん割			ST2-1117
165		503	Z W9	SD4 第2地	57	割材	干割材	コナラ属アカガシ亜属	S	干割			ST2-965
166		504	Z W9	SD4 第2地	37	自然木	自然木	ツブラジイ	S	芯持丸木			ST2-1010
167		505	Z W10	SD4 第2地	153	自然木	自然木	ウツノ類	S	芯持丸木			ST2-1011
168		506-1	Z W10	SD4 第2地	152	自然木	自然木	タンポポノ類	S	芯持丸木			ST2-1012
169		506-2	Z W10	SD4 第2地	152	自然木	自然木	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-1013
170		506-3	Z W10	SD4 第2地	152	割材	割材	タンポポノ類	S	干割			ST2-1014
171		515	Z W9	SD4 第2地	59	自然木	自然木	ハイノキ類	S	芯持丸木			ST2-1018
172		517	Z W9	SD4 第2地	74	板	板材	モミ類	S	板目			ST2-901
173		518	Z W9	SD4 第2地	74	自然木	自然木	ツルウメモドキ類	S	芯持丸木			ST2-1019
174		520	Z W9	SD4 第2地	36	用途不明	棒状材	スダジイ	S	丸木			ST2-786
175		525	Z W9	SD4 第2地	210	自然木	自然木	エノキ類	S	芯持丸木			ST2-975
176		527	Z W9	SD4 第2地	100	自然木	自然木	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-1021
177		528	Z W9	SD4 第2地	99	自然木	自然木	クスノキ	S	芯持丸木			ST2-977
178		533	Z W9	SD4 第2地	94	自然木	自然木	クワノ類	S	芯持丸木			ST2-1023
179		544	Z W9	SD4 第2地	71	自然木	自然木	ツブラジイ	S	芯持丸木			ST2-1001
180		577	Z W9	SD4 第2地	54	自然木	自然木	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-892
181		604	Z W9	SD4 第2地	73	割材	割材?	コナラ属アカガシ亜属	S	みかん割			ST2-999
182		616	Z W9	SD4 第2地	83	板	板材	カヤ	S	板目			ST2-926
183		637	Z W10	SD4 第2地	154	自然木	自然木	エノキ類	S	割材			ST2-1071
184		645	Z W10	SD4 第2地	132	自然木	自然木	ウツノ類	S	芯持丸木			ST2-1165
185		675	Z W9	SD4 第2地	87	自然木	自然木	エノキ類	S	芯持丸木			ST2-881
186		677	Z W9	SD4 第2地	28	板	厚板	モミ類	S	板目			ST2-882
187		680	Z W9	SD4 第2地	53	板	板材	モミ類	S	板目			ST2-883
188		685	Z W9	SD4 第2地	21	建築部材?	柱?	エノキ類	S	芯持丸木			ST2-1115
189		689	Z W10	SD4 第2地	164	自然木	自然木	モミ類	S	丸木			ST2-1067
190		698	Z W10	SD4 第2地	151	自然木	自然木	エノキ類	S	丸木			ST2-1079
191		721-1	Z W10	SD4 第2地	156	板	板材	エノキ類	S	道板目			ST2-829
192		721-2	Z W10	SD4 第2地	156	自然木	自然木	ブドウ類	S	芯持丸木			ST2-830
193		751	Z W10	SD4 第2地	151	自然木	自然木	エノキ類	S	割材			ST2-805
194		783	Z W9	SD4 第2地	156	自然木	自然木	エノキ類	S	みかん割			ST2-792
195		800	Z W10	SD4 第2地	143	自然木	自然木	クサギ	S	干割			ST2-790
196		804	Z W9	SD4 第2地	204	自然木	自然木	ハイノキ類	S	丸木	表面コケ		ST2-788
197		810	Z W10	SD4 第2地	159	自然木	自然木	エノキ類	S	割材			ST2-700
198		891	Z W9	SD4 第2地	96	自然木	自然木	ニワトコ	S	丸木			ST2-223
199		892	Z W9	SD4 第2地	28	割材	干割材?	ウツノ類	S	干割			ST2-221
200		894	Z W10	SD4 第2地	128	割材	干割材?	カ	S	干割			ST2-210
201		895	Z W10	SD4 第2地	131	自然木	自然木	ハイノキ類	S	丸木			ST2-222
202		897	Z W9	SD4 第2地	39	自然木	自然木	ツブラジイ	S	芯持丸木			ST2-214
203		898	Z W9	SD4 第2地	78	加工木	加工木	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-215
204		907	Z W10	SD4 第2地	160	自然木	自然木	ブドウ類	S	芯持丸木			ST2-211
205		908	Z W9	SD4 第2地	33	自然木	自然木	スダジイ	S	芯持丸木			ST2-212
206		909	Z W10	SD4 第2地	116	自然木	自然木	ムクロジ	S	丸木			ST2-204
207		910-1	Z W9	SD4 第2地	90	割材	割材	コナラ属アカガシ亜属	S	みかん割			ST2-202
208		910-2	Z W9	SD4 第2地	90	自然木	自然木	コナラ属アカガシ亜属	S	丸木			ST2-203
209		911	Z W10	SD4 第2地	171	自然木	自然木	クワノ類	S	丸木			ST2-188
210		912	Z W10	SD4 第2地	130	自然木	自然木	ニワトコ	S	丸木			ST2-189
211		913	Z W10	SD4 第2地	123	自然木	自然木	クワノ類	S	丸木			ST2-190
212		914	Z W10	SD4 第2地	125	自然木	自然木	クワノ類	S	丸木			ST2-201
213		915	Z W9	SD4 第2地	206	割材	割材	クワノ類	S	割材			ST2-196
214		923	Z W10	SD4 第2地	121	自然木	自然木	クワノ類	S	丸木			ST2-184
215		927	Z W10	SD4 第2地	168	自然木	自然木	ニワトコ	S	丸木			ST2-180
216	369-397-30	597	Z W17	SD4 第3地	68	建築部材?	板材	モミ類	S	板目			ST2-652
217	369-397-31	599	Z W17	SD4 第3地	65	板	板	モミ類	S	芯持丸木			ST2-601
218	369-397-29	639	Z W17	SD4 第3地	59	寄割	橋	エギ	S	板目縁木取			ST2-490
219	369-397-32	821	Z W17	SD4 第3地	64	丸	丸	クワノ類	S	芯持丸木			ST2-801
220	369-398-33	961	Z W17	SD4 第3地	81	建築部材	柱状材	コナラ属アカガシ亜属	S	丸木			ST2-613
221		607	Z 23	SD4 第4地	43	板	板材	モミ類	S	道板目			ST2-895
222	382-234-240	5	A5	SD4 第4地	98	患良	型枠	ツバキ類	S	丸木			ST2-400
223	382-239-260	9	A5	SD4 第4地	72	用途不明	板材	カヤ	S	板目			ST2-635
224	382-237-253	13	A5	SD4 第4地	44	建築部材	縦放	サクノ類	S	板目			ST2-406
225	382-237-253	24-1	A5	SD4 第4地	44	建築部材	縦放	サクノ類	S	板目			ST2-403
226	382-237-253	24-2	A5	SD4 第4地	44	建築部材	縦放	サクノ類	S	板目			ST2-405
227	382-237-253	228-1	A5	SD4 第4地	44	建築部材	縦放	サクノ類	S	板目			ST2-687
228	382-237-253	228-2	A5	SD4 第4地	44	建築部材	縦放	サクノ類	SR	板目			ST2-688
229	382-239-268	19	A5	SD4 第4地	85	用途不明	板材	モミ類	S	道板目			ST2-1041
230	382-237-250	30	A5	SD4 第4地	81	建築部材	角材	モミ類	S	割材			ST2-1171
231	382-238-255	37	A5	SD4 第4地	11	用途不明	板材	カヤ	S	板目			ST2-1176

番号	車数・組数(車)	資料番号	グッド	遺構名	取上りNo.	製品群	部種	樹種	SR	水取り	表皮	備考	prep.no.
232	382-234-238	42	A5	SD4 第4地点	4	農具	平鍬	イチイガシ	S		板目		ST2-509
233	382-240-269	45	A6	SD4 第4地点	44	雑材	樹皮	ムクロジ	S		2区1層部出し		ST2-1177
234	382-234-239	54	A6	SD4 第4地点	27	農具	鋳杓	コナラ属アカガシ亜属	S		芯持丸木		ST2-424
235	382-239-262	55	A5	SD4 第4地点	23	用途不明	棒状材	エノキ属	S		芯持丸木		ST2-422
236	382-238-258	63	A5	SD4 第4地点	89	建築部材	椽子	モミ属	S		丸木部出し		ST2-589
237	382-239-265	71	A5	SD4 第4地点	71	用途不明	棒状材	クワ属	S		板目		ST2-423
238	382-239-264	75	A6	SD4 第4地点	36	用途不明	棒状材	クスノキ科	S		2区1層部出し		ST2-421
239	382-239-259	76	A4	SD4 第4地点	6	用途不明	板材	モミ属	S		板目		ST2-402
240	382-239-263	82-1	A5	SD4 第4地点	5	用途不明	棒状材	スズ	S		割材		ST2-1174
241	382-235-243	101	A6	SD4 第4地点	1	農具	横鋸	ヒノキ	S		丸木		ST2-401
242	382-238-257	117	A5	SD4 第4地点	84	建築部材	扉板	ムクロジ	S		組(芯・芯)		ST2-481
243	382-237-254	144	A6	SD4 第4地点	26	用途不明	板材	モミ属	S		板目		ST2-394
244	382-235-241	177-1	A5	SD4 第4地点		農具	鋳杓	コナラ属アカガシ亜属	S		芯持丸木		ST2-342
245	382-235-241	177-2	A5	SD4 第4地点		農具	鋳杓	コナラ属アカガシ亜属	S		芯持丸木	夜付き	ST2-343
246	382-235-244	182-1	A5	SD4 第4地点	97	武器	弓	イヌガヤ	S		丸木		ST2-666
247	382-240-271	182-2	A5	SD4 第4地点	97	用途不明	棒状材	カヤ	S		割材		ST2-667
248	382-240-270	182-3	A5	SD4 第4地点	97	用途不明	内材	モミ属	S		芯持割材		ST2-668
249	382-234-235	187	A5	SD4 第4地点	9	工具	鍬	ツブラジ	S		板目		ST2-686
250	382-236-247	188-2	A5	SD4 第4地点	57	建築部材	柱状材	サカキ	S		丸木		ST2-603
251	382-240-273	193	A5	SD4 第4地点	73	杭	杭	—	S		板目		ST2-602
252	382-239-261	215	A5	SD4 第4地点	35	用途不明	板材	モミ属	S		板目		ST2-638
253	382-240-272	216	A5	SD4 第4地点	74	杭	杭	—	S		板目		ST2-1172
254	382-234-237	220	A6	SD4 第4地点	7	農具	平鍬	コナラ属クスノギ属	S		板目		ST2-139
255	382-239-266	255	A5	SD4 第4地点	1	用途不明	板材	スズ	S		ST2-396		ST2-396
256	382-235-242	262	A6	SD4 第4地点	2	農具	鋳杓	ツバキ属	S		芯持丸木		ST2-345
257	382-238-256	263	SD4 第4地点	18	建築部材	板材	モミ属	—	S		筋板		ST2-689
258	382-236-246	265-1	A5	SD4 第4地点	28	建築部材	板材	サカキ	S		芯持丸木		ST2-1178
259	382-237-252	271	A6	SD4 第4地点	35	建築部材	柱材	ヒノキ	S		板目		ST2-696
260	382-236-245	272	A5	SD4 第4地点	75	建築部材	内材	イヌガヤ	S		芯持面取り		ST2-640
261	382-236-248	280-1	A5	SD4 第4地点	92	建築部材	柱材	ツブラジ	S		丸木		ST2-610
262	382-234-236	294	Z.Z.3	SD4 第4地点	41	農具	平鍬	イチイガシ	S		板目		ST2-475
263	263	14	A5	SD4 第4地点	31	自然木	自然木	アサダ	S		芯持丸木		ST2-1181
264	263	33	A5	SD4 第4地点	18	自然木	自然木	サカキ	S		ST2-1042		ST2-1042
265	47	A6	SD4 第4地点	3	割材	みかん割材	ハイノキ属	S		みかん割		ST2-1129	
266	58	A5	SD4 第4地点	35	自然木	自然木	エノキ属	S		—		ST2-1151	
267	93	A5	SD4 第4地点	12	自然木	自然木	—	S		—		ST2-602	
268	96	A5	SD4 第4地点	49	自然木	自然木	ハイノキ属	S		—		ST2-1133	
269	99	A5	SD4 第4地点	59	自然木	自然木	ハイノキ属	S		芯持丸木		ST2-1134	
270	119	A5	SD4 第4地点	14	自然木	自然木	ムクロジ	S		芯持丸木		ST2-1145	
271	121	A5	SD4 第4地点	67	杭	杭	ウツノギ	S		板目		ST2-987	
272	123	A5	SD4 第4地点	51	割材	みかん割材	ハイノキ属	S		みかん割		ST2-1160	
273	126	A5	SD4 第4地点	15	杭	杭	コナラ属アカガシ亜属	S		芯持丸木		ST2-1135	
274	146	A5	SD4 第4地点	62	割材	みかん割材	エノキ属	S		みかん割		ST2-1147	
275	148	A5	SD4 第4地点	59	他製品	製品破片	エノキ属	SR		板目		ST2-1150	
276	164	A5	SD4 第4地点	8	樹皮	樹皮	広葉樹樹皮	S		—		ST2-1173	
277	167	A5	SD4 第4地点	39	用途不明	筋柱(割)	コナラ属クスノギ属	S		板目		ST2-902	
278	168	A5	SD4 第4地点	86	板	板	カヤ	S		板目		ST2-903	
279	176	A5	SD4 第4地点	62	割材	割材	エノキ属	S		みかん割		ST2-695	
280	186	A6	SD4 第4地点	35	割材	割材	モミ属	S		板目		ST2-636	
281	189	A6	SD4 第4地点	5	割材	みかん割材	エノキ属	S		みかん割		ST2-1130	
282	203	A5	SD4 第4地点	62	自然木	自然木?	エノキ属	S		割		ST2-1061	
283	211	Z.Z.3	SD4 第4地点	47	自然木	自然木	エノキ属	R		芯持丸木		ST2-983	
284	222	A5	SD4 第4地点	18	自然木	自然木	コナラ属アカガシ亜属	S		芯持丸木		ST2-1161	
285	225	A5	SD4 第4地点		板	板材	×	S		板目		ST2-988	
286	230	A5	SD4 第4地点	7	割材	割材	ツブラジ	S		みかん割		ST2-1123	
287	238	A5	SD4 第4地点	30	板	板目材	サクラ属	S		板目		ST2-1143	
288	242	A5	SD4 第4地点	73	板	板目材	エノキ属	S		板目		ST2-1142	
289	248	A5	SD4 第4地点	73	杭	杭	エノキ属	S		丸木切断		ST2-1141	
290	268	A5	SD4 第4地点	10	割材	内材	コナラ属アカガシ亜属	S		芯持丸木		ST2-1120	
291	270	A5	SD4 第4地点	14	自然木	自然木	ムクロジ	S		芯持丸木		ST2-1126	
292	273	A5	SD4 第4地点	62	割材	割材	エノキ属	S		みかん割		ST2-986	
293	280-2	A5	SD4 第4地点	92	加工木	丸木切断口	スズ	S		丸木		ST2-611	
294	453	Z.Z.3	SD4 第4地点	14	自然木	自然木	コナラ属アカガシ亜属	S		芯持丸木	夜付き	ST2-1024	
295	484-3	Z.Z.3	SD4 第4地点	54	自然木	自然木	エノキ属	S		平割		ST2-1051	
296	494-2	Z.Z.3	SD4 第4地点	44	割材	割材?	エノキ属	S		芯持丸木		ST2-1052	
297	566	Z.Z.3	SD4 第4地点	51	割材	割材	ナンゴクシ	S		みかん割		ST2-1008	
298	600	Z.Z.3	SD4 第4地点	42	板	板材	モミ属	S		板目		ST2-1092	
299	382-248-59	429	A17	SD4 第5地点	19	建築部材	板材	キハダ	S		芯持板目		ST2-442
300	382-247-54	462	A17	SD4 第5地点	17	農具	鎌柄	イチイガシ	S		削り出し		ST2-486
301	382-248-45	471	A17	SD4 第5地点	34	杭	杭	トネリコ属メネギ科	S		丸木		ST2-417
302	382-248-61	484-1	A17	SD4 第5地点	24	用途不明	棒状材	エノキ属	S		みかん割		ST2-416
303	382-246-53	545-1	A17	SD4 第5地点	31	農具	道具木製品	イチイガシ	S		板目		ST2-531
304	382-248-63	563	A17	SD4 第5地点	51	用途不明	扁平木製品	スズ	S		板目		ST2-435
305	382-246-52	585	A17	SD4 第5地点	30	農具	道具木製品	イチイガシ	S		板目		ST2-456
306	382-247-58	609	A17	SD4 第5地点	1	器	曲物板材	ヒノキ	S		板目		ST2-499
307	382-248-60	624	A17	SD4 第5地点	48	建築部材	柱・梁・桁材	クワ属	S		芯持丸木		ST2-963
308	382-247-57	752-1	A17	SD4 第5地点	9	農具	作業台	クワ属	SR		芯持丸木		ST2-836
309	382-248-62	779	A17	SD4 第5地点	9	用途不明	棒状材	ウツノギ	R		芯持丸木		ST2-558
310	382-247-56	877	A17	SD4 第5地点	15	農具	山下駄	スズ	S		板目		ST2-530
311	382-248-64	945	A17	SD4 第5地点	15	用途不明	棒状材	ムラサキシキブ属	S		丸木		ST2-482
312	382-247-55	947	A17	SD4 第5地点	28	農具	火割白	ナンゴクシ	S		芯持面取り		ST2-476

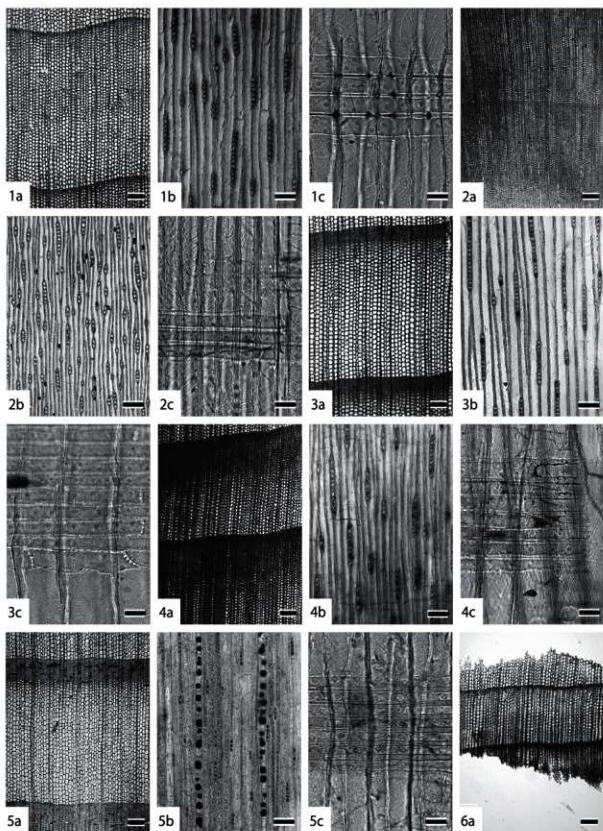
番号	集数・収録番号	資料番号	ジャンル	道産名	取上げNo	製菓品	器種	前種	SIR	木取り	表皮	備考	prep. no.	
313		484-2	A17	SD4 第5巻	24	自然木	棒	ニワトコ	S	丸木			ST2-415	
314		495	A17	SD4 第5巻	26	自然木	自然木	エノキ属	S	丸木			ST2-962	
315		498	A17	SD4 第5巻	27	杭	杭	クワ属	S	芯持丸木			ST2-1159	
316		513	A17	SD4 第5巻	53	自然木	自然木	クワノキ科	S	芯持丸木			ST2-1017	
317		523	A17	SD4 第5巻	35	杭	木片	コナラ属アカガシ亜属	S	割材			ST2-974	
318		545-2	A17	SD4 第5巻	31	自然木	自然木	ニワトコ	S	芯持丸木			ST2-522	
319		610	A17	SD4 第5巻	2	杭	杭?	エゴノキ属	S	芯持丸木			ST2-1000	
320		682	A17	SD4 第5巻	35	自然木	自然木	クサギ	S	芯持丸木			ST2-923	
321		687	A17	SD4 第5巻	20	自然木	自然木	クワ属	S	割材			ST2-1186	
322		748	A17	SD4 第5巻	38	自然木	自然木	ウコ平属	S	割れ			ST2-838	
323		752-2	A17	SD4 第5巻	3	加工木	加工木	エノキ属	S	板目			ST2-827	
324		769	A17	SD4 第5巻	33	自然木	自然木	ウコ平属	S	芯持丸木			ST2-856	
325		836	A17	SD4 第5巻	4	自然木	自然木	コナラ属アカガシ亜属	S	丸木			ST2-250	
326		841-1	A17	SD4 第5巻	27	割材	割材	ウコ平属	S	割材			ST2-235	
327		866-1	A17	SD4 第5巻	29	自然木	自然木	ニワトコ	S	芯持丸木			ST2-231	
328		867-1	A17	SD4 第5巻	20	自然木	自然木	クワ属	S	丸木			ST2-1057	
329		867-2	A17	SD4 第5巻	20	自然木	自然木	クワ属	S	丸木			ST2-1064	
330		918	A17	SD4 第5巻	36	自然木	自然木	クワ属	S	芯持丸木			ST2-194	
331		937	A17	SD4 第5巻	55	自然木	自然木	タマシバ属イヌシダ節	S	丸木			ST2-178	
332	382-266-166	303	E14	SD4 第6巻	71	建築部材	柱材	クワ属	S			先端削り	ST2-1192	
333	382-271-183	308	F14	SD4 第6巻	202	用途不明	木製品	ヤナギ属	S	みかん割		加工取	ST2-609	
334	382-266-164	321	F14	SD4 第6巻	205	建築部材	柱材	コナラ属アカガシ亜属	S	丸木		皮化	ST2-412	
335	382-272-200	363	E14	SD4 第6巻	183	杭	杭	クワ属	S	芯持丸木			ST2-426	
336	382-272-205	397	E14	SD4 第6巻	182	杭	杭	クワ属	S	丸木			ST2-408	
337	382-272-203	485	F14	SD4 第6巻	180	杭	杭	ツバノコ	S	丸木			ST2-413	
338	382-268-178	538	F14	SD4 第6巻	201	用途不明	板材	アヌナロ	S	板目			ST2-449	
339	382-267-168	540	F14	SD4 第6巻	258	建築部材	梁材	ムクノキ	S	芯持丸木		(ほぞ穴)	ST2-439	
340	382-262-153	551	F14	SD4 第6巻	238	農具	楕圓	コナラ属アカガシ亜属	S	割材削り出し			ST2-438	
341	382-262-149	560	F14	SD4 第6巻	223	農具	曲が表木成箱	サカキ属	S	板目		未成品	ST2-494	
342	382-263-158	561-1	G14-15	SD4 第6巻	21	農具	木鎌	イチノガシ	S	芯持削り出し			ST2-445	
343	382-262-154	561-2	G14-15	SD4 第6巻	21	農具	鋳物	ツバノコ	S	丸木			ST2-446	
344	382-272-201	576	E14	SD4 第6巻	33	杭	杭	エノキ属	S	芯持丸木			ST2-865	
345	382-262-155	584	F14	SD4 第6巻	168	農具	型枠・楕圓	コナラ属アカガシ亜属	S	丸木			ST2-485	
346	382-272-204	591-1	E14	SD4 第6巻	154	杭	杭	ササキ	S	丸木		皮化 製材	ST2-451	
347	382-271-190	619	F14	SD4 第6巻	218	用途不明	枠状板材	ヒメヤナギ	S	板目			ST2-1091	
348	382-272-195	622	E14	SD4 第6巻	179	杭	杭	モミヤナギ	S	芯持丸木		皮化	ST2-1102	
349	382-272-194	623	E15	SD4 第6巻	17	杭	杭	クワ属	S	丸木		皮化	ST2-1098	
350	382-266-167	628	F14	SD4 第6巻	220	建築部材	又柱	クワ属	S				ST2-1055	
351	382-264-161	640	F14	SD4 第6巻	167	容器	樽	モミ属	S	楕圓削り出し			ST2-489	
352	382-268-175	649	F14	SD4 第6巻	92	建築部材	梁材	スダジイ	S	板目			ST2-579	
353	382-268-175	655	F14	SD4 第6巻	92	建築部材	梁材	スダジイ	S				ST2-584	
354	382-265-163	650	E14	SD4 第6巻	157	割材	割材	モミ属	S	板目		漆材	ST2-580	
355	382-267-173	651	E15	SD4 第6巻	173	建築部材	柱材	エノキ属	S	丸木			ST2-890	
356	382-268-176	669	E14	SD4 第6巻	40	建築部材	梁材	スダジイ	S	板目		地点不明	ST2-598	
357	382-268-177	683	E14	SD4 第6巻	30	建築部材	梁材	オニヅルミ	S	板目			ST2-596	
358	382-271-186	684	F14	SD4 第6巻	221	用途不明	分枝材	スダジイ	S	芯持丸木			表面削り出し	ST2-597
359	382-272-202	695	F14	SD4 第6巻	87	杭	杭	ツバノコ	S	芯持丸木			皮化 脚止	ST2-1112
360		701	F14	SD4 第6巻	215	原材	伐採材	エノキ属	S	割材			704と同一	ST2-860
361	382-273-208	704	F14	SD4 第6巻	215	原材	伐採材	エノキ属	S	芯持丸木				ST2-865
362	382-271-185	712	F14	SD4 第6巻	241	用途不明	枠状部材	アブデ	S	丸木				ST2-543
363	382-276-182	718	F14	SD4 第6巻	225	建築部材	柱材	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木				ST2-557
364	382-266-165	723	F14	SD4 第6巻	109	建築部材	扉部不明	コナラ属コナラ節	S	芯持丸木				ST2-867
365	382-272-197	724	E14	SD4 第6巻	151	杭	杭	エノキ属	S	みかん割				ST2-870
366	382-263-157	726	F14	SD4 第6巻	169	農具	作業台	エノキ属	S	板目			端部加工	ST2-828
367	382-262-150	743	F14	SD4 第6巻	75	農具	楕圓成箱	コナラ属コナラ節	S	板目			楕圓削り	ST2-836
368	382-271-188	757	F14	SD4 第6巻	97	杭?	杭?	ウコ平属	S	芯持丸木				ST2-559
369	382-272-206	799	F14	SD4 第6巻	116	杭	杭	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木			加工	ST2-560
370	382-272-206	852	F14	SD4 第6巻	116	杭	杭	コナラ属アカガシ亜属	S	丸木			加工	ST2-242
371	382-272-199	808	F14	SD4 第6巻	71	杭	杭	ササキ	S	丸木				ST2-571
372	382-263-159	825	F14	SD4 第6巻	76	容器	樽	クスノキ	S	板目				ST2-566
373	382-271-193	833	F14	SD4 第6巻	98	用途不明	板材	エゴノキ属	S	芯持削り出し				ST2-568
374	382-263-160	859	F14	SD4 第6巻	114	容器	壺	ケヤキ	S	楕圓削り出し		皮化		ST2-576
375	382-269-179	875	F14	SD4 第6巻	206	用途不明	台?	スダジイ	S	板目				ST2-500
376	382-265-162	876	E14	SD4 第6巻	164	農具	楕圓	クワ属	S	丸木				ST2-519
377	382-262-156	880	E15	SD4 第6巻	16	農具	鋳物	ツバノコ	S	芯持丸木				ST2-570
378	382-271-192	883	E15	SD4 第6巻	15	用途不明	枠状板材	スギ	S	板目			残りあり	ST2-569
379	382-262-151	950	F14	SD4 第6巻	255	武器	木鎌	モミ属	S	芯持削り出し				ST2-510
380	382-262-152	954	F14	SD4 第6巻	134	武器	口苜	刺楸	S	楕圓			本職手番	ST2-511
381	382-271-191	630-1	F14	SD4 第6巻	59	板材	板材	モミ属	S	板目材				ST2-904
382	382-273-207	703-1	F14	SD4 第6巻	230	建築部材	柱材	クワ属	S	芯持丸木				ST2-1108
383	382-272-198	727	E14	SD4 第6巻	181	杭	杭	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木				ST2-556
384	382-271-189	775	E14	SD4 第6巻	40	自然木	伐採留材	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木				ST2-822
385	382-272-196	815-2	F14	SD4 第6巻	73	杭	杭	コナラ属アカガシ亜属	S	丸木			加工 楕圓	ST2-574
386	382-267-172	869-1	F14	SD4 第6巻	237	建築部材	垂木?	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木				ST2-591
387	382-267-171	869-2	F14	SD4 第6巻	237	自然木	丸木材	コナラ属アカガシ亜属	S	平割			表面こけり	ST2-592
388	382-271-187	869-3	F14	SD4 第6巻	237	自然木	丸木材	ニワトコ	S	芯持丸木				ST2-593
389	382-267-169	893	E14	SD4 第6巻	27	建築部材	垂木	モミ属	S	芯持丸木				ST2-1059
390		16	F14	SD4 第6巻	119	自然木	自然木	エノキ属	S					ST2-1190
391		64	F14	SD4 第6巻	239	自然木	自然木	ササキ	S	芯持丸木				ST2-1131
392		226	F14	SD4 第6巻	115	自然木	自然木	クワ属	S					ST2-1188
393		259	F14	SD4 第6巻	99	自然木	自然木	クワ属	SIR	丸木				ST2-1076

番号	集数・地区番号	資料番号	グリッド	遺構名	取上のNo.	製品群	部種	樹種	SR	水取り	表茂	備考	prep.no.
394		323-1	F14	SD4 第6地点		湖材	平割材	サカキ	S	平割			ST2-1183
395		323-2	F14	SD4 第6地点		自然木	丸木	モミ属	S	丸木			ST2-1184
396		447	F14	SD4 第6地点	240	板	板材	ツブラジ	S	みかじ割			ST2-797
397		509	F14	SD4 第6地点	99	自然木	丸木	クワ属	S	クワ属			ST2-1015
398		512	F14	SD4 第6地点	236	自然木	丸木	クワ属	S	クワ属			ST2-987
399		521	F14	SD4 第6地点	102	自然木	丸木	クワ属	S	割れ			ST2-959
400		537	H14	SD4 第6地点	55	自然木	丸木	コナラ属アケガシ変種	S	芯持丸木	皮付き		ST2-929
401		539	F14	SD4 第6地点	216	自然木	丸木材	コウサギ	S	丸木			ST2-949
402		549	F14	SD4 第6地点	53	自然木	丸木	クワ属	S	芯持丸木			ST2-1003
403		552	F14	SD4 第6地点	74	自然木	丸木材	コナラ属アケガシ変種	S	芯持丸木	皮付き		ST2-953
404		558	F14	SD4 第6地点	32	自然木	丸木	クワ属	SR	S			ST2-930
405		561-3	G14-15	SD4 第6地点	99	板材	板材	ムクロジ	S	芯目			ST2-966
406		561-4	G14-15	SD4 第6地点	99	自然木	丸木材	ハノキ属	S	芯持丸木			ST2-987
407		561-5	G14-15	SD4 第6地点	99	自然木	丸木	ハノキ属	S	芯持丸木			ST2-988
408		561-6	G14-15	SD4 第6地点		自然木	丸木	ハノキ属	S	芯持丸木			ST2-989
409		561-7	G14-15	SD4 第6地点		自然木	丸木	エノキ属	S	芯持丸木			ST2-970
410		562	F14	SD4 第6地点	249	板	板	ツブラジ	S	芯持丸木			ST2-1009
411		372	F14	SD4 第6地点	64	加工木	加工木	ウコギ属	S	丸木			ST2-992
412		381	F14	SD4 第6地点	60	自然木	丸木	クマシラダマ(エシダ属)	S	芯持丸木			ST2-941
413		382	F14	SD4 第6地点	65	自然木	丸木	クマシラダマ(エシダ属)	S	芯持丸木			ST2-996
414		583	F14	SD4 第6地点	65	自然木	丸木	クマシラダマ(エシダ属)	S	芯持丸木			ST2-995
415		589	F14	SD4 第6地点	220	自然木	丸木	クワ属	S	芯持丸木			ST2-928
416		590	F14	SD4 第6地点	113	自然木	丸木	エノキ属	S	芯持丸木			ST2-997
417		602	F14	SD4 第6地点	100	板	板材	モミ属	S	板目			ST2-894
418		611	F14	SD4 第6地点	170	木片	木片	ブジキ	S	芯目			ST2-896
419		626	F14	SD4 第6地点	91	加工木	板(丸木材)	コナラ属アケガシ変種	S	丸木			ST2-845
420		630-3	F14	SD4 第6地点	39	自然木	丸木	クワ属	S	芯持丸木			ST2-940
421		654	F14	SD4 第6地点	222	用途不明	棒状材	キハダ	S	板目			ST2-1153
422		658	F14	SD4 第6地点	63	自然木	丸木	トネリコ属/ネリコ属	S	芯持丸木			ST2-889
423		662	F14	SD4 第6地点	261	自然木	丸木	クワ属	S	芯持丸木			ST2-899
424		666	F14	SD4 第6地点	56	加工木	板(丸木材)	クワ属	S	丸木			ST2-839
425		668	F14	SD4 第6地点	82	板	板	クマシラダマ(エシダ属)	S	芯持丸木	皮付き		ST2-898
426		672	F14	SD4 第6地点	69	自然木	丸木	ツルモミ(エシダ属)	S	芯持丸木			ST2-840
427		636	F14	SD4 第6地点	259	自然木	丸木	クワ属	S	芯持丸木			ST2-1090
428		693	F14	SD4 第6地点	57	加工木	板(丸木材)	サカキ	S	丸木			ST2-957
429		697	F14	SD4 第6地点	51	自然木	丸木	クワ属	SR	割れ			ST2-818
430		703-2	F14	SD4 第6地点	220	建築部材	建築部材	クワ属	S	芯持丸木			ST2-1109
431		706	F14	SD4 第6地点	93	自然木	丸木	コナラ属コナラ属	S	芯持丸木			ST2-819
432		708	F14	SD4 第6地点	90	自然木	丸木	コナラ属アケガシ変種	S	芯持丸木	皮付き		ST2-861
433		713	E14	SD4 第6地点	158	自然木	丸木	コナラ属コナラ属	S	芯持丸木			ST2-862
434		714	F14	SD4 第6地点	78	建築部材	建築部材	コナラ属アケガシ変種	S	丸木			ST2-541
435		725	F14	SD4 第6地点	203	自然木	丸木	エノキ属	S	芯持丸木			ST2-919
436		729	F14	SD4 第6地点	109	自然木	丸木	コナラ属コナラ属	S	芯持丸木			ST2-920
437		733	F14	SD4 第6地点	79	湖材	湖材	ツブラジ	S	板目			ST2-833
438		734	F14	SD4 第6地点	82	板	板材	モミ属	S	板目			ST2-834
439		739	F14	SD4 第6地点	72	自然木	丸木(丸木)	コナラ属アケガシ変種	S	丸木	皮付き		ST2-835
440		741	F14	SD4 第6地点	94	加工木	丸木	コナラ属アケガシ変種	S	芯持丸木			ST2-834
441		742	F14	SD4 第6地点	67	自然木	丸木	クワギ	S	芯持丸木			ST2-876
442		746	F14	SD4 第6地点	104	加工木	加工木	サカキ	S		皮付き		ST2-837
443		747	F14	SD4 第6地点	96	自然木	丸木	トネリコ属	S	芯持丸木			ST2-837
444		766	F14	SD4 第6地点	243	自然木	丸木	ニワトコ	S	芯持丸木			ST2-854
445		767	F14	SD4 第6地点	204	自然木	丸木	エノキ属	S	芯持丸木			ST2-855
446		770	F14	SD4 第6地点	101	自然木	丸木	ハノキ属	S	芯持丸木			ST2-857
447		774	F14	SD4 第6地点	83	自然木	丸木	コナラ属アケガシ変種	S	芯持丸木			ST2-816
448		776	F14	SD4 第6地点	247	自然木	丸木	カエデ属	S	芯持丸木			ST2-859
449		780	F14	SD4 第6地点	66	自然木	丸木	エノキ属	S	芯持丸木	皮付き		ST2-693
450		785	E14	SD4 第6地点	163	自然木	丸木	サカキ	S	芯持丸木			ST2-791
451		787	E14	SD4 第6地点	166	湖材	平割材	クワ属	S	平割			ST2-823
452		789	E14	SD4 第6地点	166	加工木	丸木	クワ属	S				ST2-1189
453		790	F14	SD4 第6地点	248	自然木	丸木	ウコギ属	S	芯持丸木			ST2-695
454		791	E14	SD4 第6地点	159	木片	木片	ウコギ属	S	割れ			ST2-696
455		792	E14	SD4 第6地点	162	木片	木片	×	S	割材			ST2-683
456		793	E14	SD4 第6地点	160	自然木	丸木材	ニワトコ	S	芯持丸木			ST2-684
457		797	F14	SD4 第6地点	81	自然木	丸木	コナラ属アケガシ変種	S	芯持丸木			ST2-682
458		802-1	F14	SD4 第6地点	68	加工木	丸木	コナラ属アケガシ変種	S	芯持丸木			ST2-915
459		802-2	F14	SD4 第6地点	68	自然木	丸木	フジ	S	芯持丸木			ST2-916
460		803	F14	SD4 第6地点	81	自然木	丸木	エノキ属	SR				ST2-789
461		805	F14	SD4 第6地点	70	自然木	丸木	コナラ属アケガシ変種	S	芯持丸木			ST2-699
462	382-267-174	813	F14	SD4 第6地点		建築部材	柱材	ツバキ属	S	丸木			ST2-999
463	382-267-174	848		SD4 第6地点	95				S				ST2-575
464		815-1	F14	SD4 第6地点	73	自然木	丸木	コナラ属アケガシ変種	S	丸木	皮付き		ST2-573
465		816	E14	SD4 第6地点	159	自然木	丸木	ウコギ属	S	丸木			ST2-907
466		817	F14	SD4 第6地点	115	加工木	丸木	クワ属	S	丸木			ST2-911
467		826	F14	SD4 第6地点	105	自然木	丸木	ハノキ属	S	芯持丸木	皮付き		ST2-914
468		830	F14	SD4 第6地点	77	自然木	丸木	エノキ属	S	丸木			ST2-913
469		851	F14	SD4 第6地点	119	自然木	丸木	エノキ属	S	丸木			ST2-246
470		879-1 (A)	F14	SD4 第6地点	262	建築部材	扉	エノキ属	S	組(芯・念)			ST2-495
471		879-2 (B)	F14	SD4 第6地点	14	建築部材	扉	ムクロジ	S	組(芯・念)			ST2-496
472		884	F14	SD4 第6地点	307	自然木	丸木	エノキ属	S	丸木	皮付き		ST2-226
473		885	F14	SD4 第6地点	171	湖材	平割	クワ属	S	湖材			ST2-220
474		888	E14	SD4 第6地点	160	板	板目材	クワ属	S	板目			ST2-217

番号	集数・収録番号	資料番号	アップ	道橋名	取上げNo	製菓品	器種	前種	SH	本取り	表皮	備考	prep no.
475		932	F14	SD4	第7巻	306	自然木	自然木	コナク属アカガシ巻類	S	芯持丸木		ST2-170
476	382-285-56	198-1	O14	SD4	第7巻	339	農具	柄	カエデ	S	平張り		ST2-395
477	382-286-61	325	M14	SD4	第7巻	446	建築部材	分枝材	モミ	S	丸木		ST2-615
478	382-286-72	343-1	M14	SD4	第7巻	489	木片	木片	コナク属アカガシ巻類	S	板目		ST2-1166
479	382-290-80	367	M14	SD4	第7巻	477	丸	丸	イチイガシ	S	芯丸・節出し		ST2-1206
480	382-290-83	387	P14	SD4	第7巻	413	原材	平張り材	エノキ属	S	平張	皮付き	ST2-982
481	382-290-77	404	M14	SD4	第7巻	357	丸	丸	クワ属	S	丸木		ST2-444
482	382-286-60	307	M14	SD4	第7巻	418	建築部材	垂木		S			ST2-3418
483	382-289-71	423	M14	SD4	第7巻	453	建築部材	角材	スギ	S			ST2-798
484	382-288-68	433	O14	SD4	第7巻	447	建築部材	部位不明	サクラ属	S			ST2-440
485	382-290-82	449	O15	SD4	第7巻	368	用途不明	丸	エノキ属	S			ST2-1163
486	382-290-79	464	M14	SD4	第7巻	332	丸	丸	コナク属コナラ類	S	芯持丸木		ST2-434
487	382-290-73	524	M14	SD4	第7巻	501	丸	丸	スダジイ	S	芯持丸木	輪皮	ST2-460
488	382-286-63	565	O14	SD4	第7巻	338	建築部材	板材	サクラ属	S	板目		ST2-437
489	382-286-63	646	O14	SD4	第7巻	338	建築部材	板材	サクラ属	S			ST2-581
490	382-290-76	588	N14	SD4	第7巻	500	丸	丸	ウコギ属	S	芯持丸木	ホゾ有り	ST2-463
491	382-289-70	625	M14	SD4	第7巻	463	用途不明	移状板材	モミ属	S	板目		ST2-1099
492	382-288-65	627	P14	SD4	第7巻	315	建築部材	板材	スギ	S	板目	厚板 C14	ST2-1116
493	382-288-67	641	O14	SD4	第7巻	337	建築部材	壁板材		S	板目		ST2-488
494	382-290-75	642	O14	SD4	第7巻	332	丸	丸	サクラ属	S	丸木		ST2-578
495	382-290-74	644	M14	SD4	第7巻	503	丸	丸	コナク属アカガシ巻類	S	芯持丸木		ST2-594
496	382-285-54	651	P14	SD4	第7巻	317	農具	整材	ワカバ属	S	芯持丸木		ST2-595
497	382-288-66	660	M14	SD4	第7巻	428	建築部材	みかん割材	ツブラジイ	S	みかん割		ST2-583
498	382-287-64	664	O14	SD4	第7巻	336	建築部材	板材	スダジイ	S	板目		ST2-964
499	382-287-64	673	O14	SD4	第7巻	336	建築部材	板材	スダジイ	S	板目		ST2-1093
500	382-287-64	696-1	O14	SD4	第7巻	336	建築部材	板材	ツブラジイ	S	板目		ST2-585
501	382-289-69	674	M14	SD4	第7巻	444	建築部材	板材	モミ属	S	板目		ST2-1061
502	382-285-57	676-1	M14	SD4	第7巻	-45	農具	柄	モミ属	S	芯丸・節出し		ST2-841
503	382-285-53	681	M14	SD4	第7巻	417	農具	整材	ワカバ属	S	丸木	皮化	ST2-582
504	382-285-58	702-1	M14	SD4	第7巻	452	建築部材	柱材	フジキ	S	平張	縁皮化 軸	ST2-980
505	382-286-62	702-2	M14	SD4	第7巻	452	建築部材	構築材	フジキ	S	板目	縁皮化 軸	ST2-981
506	382-290-78	781-1	N14	SD4	第7巻	320	丸	丸	コナク属アカガシ巻類	S	芯持丸木	皮付き	ST2-561
507		839	O14	SD4	第7巻	342	板	板材	クワ属	S	板目	みかん割加工	ST2-237
508	382-286-59	890	M14	SD4	第7巻	454	建築部材	柱材	エノキ属	S	丸木		ST2-209
509		299	M14	SD4	第7巻	354	自然木	丸	モミ属	S			ST2-304
510		343-1	M14	SD4	第7巻	489	製品片	製品片	コナク属アカガシ巻類	S	板目		ST2-1156
511		343-2	M14	SD4	第7巻	489	製品片	製品片	コナク属アカガシ巻類	S	みかん割		ST2-1155
512		343-3	M14	SD4	第7巻	489	割材	割材片	エノキ属	S	割材		ST2-1157
513		352	O15	SD4	第7巻	382	建築部材	角柱	コナク属アカガシ巻類	S	みかん割		ST2-685
514		365	M14	SD4	第7巻	410	割材	割材	モミ属	S	割材		ST2-1158
515		366	M14	SD4	第7巻	473	自然木	自然木	クワ属	S	割材		ST2-989
516		367	M14	SD4	第7巻	477	丸	丸	イチイガシ	S	芯丸・節出し		prep no. 不明
517		385	N15	SD4	第7巻	330	自然木	自然木	ササキ	S	丸木		ST2-1077
518		387	P14	SD4	第7巻	313	丸木	丸木	エノキ属	S	平張り		prep no. 不明
519		621	P14	SD4	第7巻	313	丸木	丸木	エノキ属	S	平張り		
520		857	P14	SD4	第7巻	313	割り材	割り材	エノキ属	S	みかん割り		
521		422	M14	SD4	第7巻	497	割材	みかん割材	コナク属アカガシ巻類	S	みかん割り		ST2-1118
522		446	M14	SD4	第7巻	445	割材	平張り材	ハイノキ属	S	みかん割り		ST2-1185
523		450	N14	SD4	第7巻	319	自然木	自然木	ササキ	S			ST2-1053
524		467	P14	SD4	第7巻	314	自然木	自然木	ウコギ属	S	芯持丸木		ST2-1033
525		476	O14	SD4	第7巻	345	自然木	自然木	エノキ属	S	芯持丸木		ST2-1035
526		480	M14	SD4	第7巻	492	自然木	自然木	モミ属	S	丸木		ST2-1069
527		488	O15	SD4	第7巻	387	自然木	自然木	コナク属クヌギ類	S	芯持丸木		ST2-961
528		491-1	M14	SD4	第7巻	419	自然木	自然木	ハイノキ属	S	芯持丸木		ST2-1049
529		491-2	M14	SD4	第7巻	419	自然木	自然木	ハイノキ属	S	芯持丸木		ST2-1050
530		526	O14	SD4	第7巻	349	自然木	自然木コナラ	コナク属アカガシ巻類	S	芯持丸木		ST2-976
531		548	N14	SD4	第7巻	328	自然木	自然木	クワ属	S	割材		ST2-852
532		579	P14	SD4	第7巻	318	加工木	加工木	クワ属	S	みかん割		ST2-994
533		587	P14	SD4	第7巻	316	自然木	自然木	クワ属	S	割材		ST2-942
534		594	O14	SD4	第7巻	322	自然木	自然木	コナク属コナラ類	S	芯持丸木	皮付き	ST2-998
535		606	M14	SD4	第7巻	498	加工木	加工木	コナク属アカガシ巻類	S	芯持丸木		ST2-955
536		608	M14	SD4	第7巻	493	板	板材	スギ	S	道板目		ST2-1106
537		621	P14	SD4	第7巻	313	割材	平張り材	エノキ属	S	平張		ST2-956
538		676-2	M14-15	SD4	第7巻	-45	板	板材片	モミ属	S	板目		ST2-842
539		676-3	M14-15	SD4	第7巻	-45	加工木	加工木?	エノキ属	S	割材		ST2-843
540		696-2	O14	SD4	第7巻	336	割材	割材	ケヤキ	S	割材		ST2-586
541		715	O15	SD4	第7巻	371	自然木	自然木	ハイノキ属	SH	芯持丸木		ST2-831
542		740	O14	SD4	第7巻	350	自然木	自然木	クワ属	S	平張		ST2-921
543		758	O14	SD4	第7巻	334	自然木	自然木	タマノリスギ類	S	芯持丸木		ST2-851
544		759	P14	SD4	第7巻	312	加工木	加工木	イボタノキ属	S	芯持丸木		ST2-807
545		773	M14	SD4	第7巻	448	自然木	自然木	コナク属アカガシ巻類	S	芯持丸木		ST2-858
546		781-2	N14	SD4	第7巻	320	自然木	自然木	コナク属アカガシ巻類	S	芯持丸木		ST2-562
547		784	M14	SD4	第7巻	405	木片	木片	スダジイ	S	みかん割		ST2-793
548		816	O15	SD4	第7巻	358	自然木	自然木	コナク属アカガシ巻類	S	芯持丸木		ST2-910
549		838	M14	SD4	第7巻	511	自然木	自然木	コナク属アカガシ巻類	S	丸木		ST2-252
550		853	P14	SD4	第7巻	316	自然木	自然木	クワ属	S	丸木		ST2-241
551		861	O14	SD4	第7巻	367	自然木	自然木	ツブラジイ	S	丸木		ST2-229
552		863	O15	SD4	第7巻	369	割材	割材?	コナク属アカガシ巻類	S	みかん割		ST2-243
553		919	M14	SD4	第7巻	496	自然木	自然木	ニワトコ	S	芯持丸木		ST2-195
554		865	N14	SD4	第7巻	319	自然木	自然木	エノキ属	SH	丸木		ST2-1060
555		870	O15	SD4	第7巻	364	自然木	自然木	×	S	芯持丸木		ST2-233

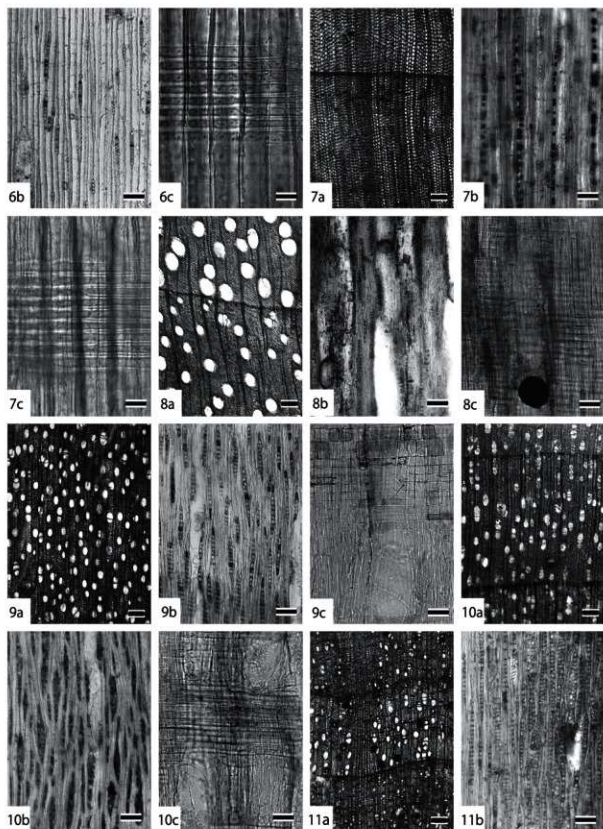
番号	車数・組数(番号)	資料番号	グリップ	遺構名	取上げNo.	製品群	部種	種補	SR	水取り	表茂	備考	prep.no.
556	886	P14	SD4	第7地点	314	杭	杭	コナラ属コナラ節	S	丸木	茂付き		ST2-225
557	900	M14	SD4	第7地点	458	自然木	自然木	ハナキ属	S	丸木			ST2-205
558	921	M14	SD4	第7地点	406	自然木	自然木	コナラ属アカガシ変属	S	芯持丸木			ST2-193
559	922	M14	SD4	第7地点	438	自然木	自然木	ニワトコ	S	丸木			ST2-183
560	924	M14	SD4	第7地点	447	自然木	自然木	スズグワイ	S	丸木			ST2-185
561	925	M14	SD4	第7地点	421	自然木	自然木	ニワトコ	S	丸木			ST2-186
562	926	M14	SD4	第7地点	416	自然木	自然木	クワ属	S	丸木			ST2-187
563	928	M14	SD4	第7地点	412	自然木	丸木	×	S	丸木			ST2-181
564	929	M14	SD4	第7地点	407	自然木	自然木	キハダ	S	丸木			ST2-182
565	931	M14	SD4	第7地点	450	自然木	自然木	フジ	S	芯持丸木	茂付き		ST2-169
566	935	M14	SD4	第7地点	424	自然木	自然木	コナラ属コナラ節	S	丸木			ST2-179
567	938	M14	SD4	第7地点	431	自然木	自然木	ニワトコ	S	丸木			ST2-177
568	382-293-15	293	SD4	用途不明	154	樹皮	樹皮	エゴノキ属	S	芯持丸木	芯持丸木		ST2-454
569	293		SD4	自然木	600	自然木	自然木	エノキ属	S	丸木			ST2-1121
570	306		SD4	自然木	153	自然木	自然木	コナラ属コナラ節	SR	丸木			ST2-1072
571	311		SD4	自然木	190	自然木	自然木	ハノキ属	S	芯持丸木	茂付き		ST2-1148
572	368		SD4	自然木	487	自然木	自然木	コナラ属アカガシ変属	S	芯持丸木	茂付き		ST2-990
573	382-292-6	10	SD4	地点不明		器具	製粉	ツバキ属	S	丸木			ST2-399
574	382-293-14	23	SD4	地点不明		建築部材	板状部材	モミ属	S	板目			ST2-1170
575	382-294-23	77	SD4	地点不明		用途不明	器具	モミ属	S	板目			ST2-601
576	382-292-8	98	SD4	地点不明		器具	木脚	コナラ属アカガシ変属	S	芯持丸木			ST2-1182
577	382-294-18	105	SD4	地点不明		建築部材	板材	モミ属	S	板目			ST2-906
578	382-292-7	118	SD4	地点不明		薪物部材	板材	モミ属	S	芯持丸木			ST2-349
579	382-292-17	170	SD4	地点不明		用途不明	板材	モミ属	S	板目			ST2-640
580	382-294-21	213	SD4	地点不明		杭	杭	ツバキ属	S	芯持丸木			ST2-344
581	382-294-22	235	SD4	地点不明		建築部材	柱材	サカキ	S	丸木			ST2-604
582	382-283-55	254	SD4	地点不明		杭	杭	クサキ	S	丸木			ST2-984
583	382-293-12	267	SD4	地点不明		建築部材	柱材	サカキ	S	半節取口			ST2-639
584	382-293-13	279	SD4	地点不明		建築部材	柱材	イオウシロ	S	みかん割			ST2-398
585	382-294-19	281-1	SD4	地点不明		用途不明	板状部材	ムクロジ	S	割材			ST2-1138
586	382-294-20	456	SD4	地点不明		用途不明	板材	モミ属	S				ST2-799
587	382-294-24	598	SD4	地点不明		杭	杭	スルデ	S	芯持丸木			ST2-800
588	382-292-11	663	SD4	地点不明		建築部材	垂木	コナラ属クスノキ節	S	芯持丸木	茂付き		ST2-897
589	382-292-10	807	SD4	地点不明		建築部材	垂木	サカキ	S	丸木			ST2-550
590	382-292-9	814	SD4	地点不明		容器	樽かき	ケヤキ	S				ST2-908
591	382-292-5	822	SD4	地点不明		器具	製粉	ツバキ属	S	芯持丸木			ST2-565
592	382-293-16	837	SD4	地点不明		用途不明	割材	ムクロジ	S	芯持丸木			ST2-567
593	31					割材	割材	モミ属	S	割材			ST2-1175
594	43-1					杭	杭	ウコギ属	S	芯持丸木			ST2-1179
595	43-2					自然木	自然木	サカキ	S	みかん割			ST2-1180
596	53					自然木	自然木	ヒサヤキ	SR	芯持丸木			ST2-1144
597	57					割材	平割材	ハノキ属	S	平割			ST2-1132
598	107					自然木	自然木	エノキ属	S				ST2-1187
599	112					器具	器具	モミ属	S	板目			ST2-965
600	122					他製品	製品破片	エノキ属	S	-			ST2-1146
601	135					用途不明	棒状材	スギ	S	芯持丸木			ST2-904
602	202					自然木	自然木	ケヤキ	S	割れ			ST2-1169
603	210					自然木	自然木	ウコギ属	S	芯持丸木			ST2-1127
604	229					自然木	自然木	フアラジ	S	芯持丸木			ST2-1124
605	251					用途不明	棒状材	コナラ属アカガシ変属	S	平割	茂付き		ST2-985
606	253	SD4	2・2			板	板目材	コナラ属コナラ節	SR	板目			ST2-1128
607	281-2							スズグワイ	S	芯持丸木			ST2-1137
608	379	SD4	153			自然木	自然木	コナラ属コナラ節	S	割れ	茂付き		ST2-1191
609	381	SD4	153			自然木	自然木	コナラ属コナラ節	S	割れ			ST2-1065
610	383	SD4	153			自然木	自然木	コナラ属コナラ節	S	割れ			ST2-1045
611	400	SD4	42			自然木	自然木	コナラ属アカガシ変属	S	芯持丸木			ST2-1149
612	448					板	板材	モミ属	S	板目			ST2-1164
613	452	SD4	602			自然木	自然木	クワ属	S	割れ			ST2-979
614	463					割材	割材	エノキ属	S	割材			ST2-1027
615	472					自然木	自然木	クワ属	S	割れ			ST2-960
616	475	ZW17	SD4	第3地点	63	自然木	自然木	コナラ属アカガシ変属	S	芯持丸木			ST2-1097
617	508		SD4		46	自然木	自然木	ハノキ属	S	割れ			ST2-958
618	511		SD4		178	自然木	自然木	コナラ属アカガシ変属	S	芯持丸木			ST2-1016
619	522		SD4		153	自然木	自然木	コナラ属コナラ節	S	割れ			ST2-973
620	531	ZW10	SD4	第2地点	124	割材	割材	クマシロ属イヌシロ節	S	みかん割			ST2-1022
621	535					加工木	製材	ウコギ属	S	芯持丸木			ST2-787
622	541		SD4		61	自然木	自然木	コナラ属アカガシ変属	S	芯持丸木			ST2-957
623	546		SD4		13	自然木	自然木	コナラ属コナラ節	R	芯持丸木			ST2-1002
624	530		SD4		14	自然木	自然木	サカキ	S	芯持丸木			ST2-1004
625	556		SD4		224	割材	割材	スダジ	S	みかん割			ST2-1005
626	574		SD4		30	自然木	自然木	トネリコ属トネリコ節	S	芯持丸木			ST2-993
627	575-2		SD4		32	板	板材	フアラジ	S	板目			ST2-940
628	591-2		SD4		154	割材	割材	イオウシロ	S	みかん割			ST2-452
629	591-4		SD4		154	板	板材	スギ	S	丸木			ST2-954
630	557		SD4		38	自然木	丸木材	コナラ属アカガシ変属	S	丸木			ST2-1066
631	559-1					割材	割材	エノキ属	S	みかん割			ST2-1066
632	559-2					割材	割材	コナラ属アカガシ変属	S	みかん割			ST2-1067
633	591-5		SD4		155	割材	割材	フアラジ	S	割れ			ST2-453
634	592		SD4		54	自然木	丸木材	クワ属	S	丸木			ST2-943
635	593		SD4		34	自然木	自然木	フアラジ	S	芯持丸木			ST2-944
636	595-1					自然木	丸木材	コナラ属アカガシ変属	S	芯持丸木	茂付き		ST2-945

番号	集数・納品番号	資料番号	グリップ	造橋名	取上げNo	製品群	芯材	前材	SH	木取り	表皮	備考	prep.no.
637		395-2				自然木	自然木	ウコキ質	S	濡れ			ST2-946
638		605		SD4		建築部材	鋼	ムクロジ	S	黒目(広芯)			ST2-498
639		612	Z W17	SD4 第3地点	17	自然木	自然木	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-947
640		631		SD4	50	自然木	自然木	ハイノキ属	S	芯持丸木			ST2-885
641		632		SD4		自然木	自然木	クワ属	S	芯持丸木			ST2-886
642		643		SD4	36	自然木	自然木(丸材)	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-847
643		642		SD4	28	自然木	自然木	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-887
644		653-1		SD4		加工木	加工木	ウコキ質	S	芯持丸木			ST2-848
645		653-2		SD4		農具	鋼	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-849
646		653-3		SD4		自然木	自然木	ウコキ質	S	濡れ			ST2-931
647		653-4		SD4		自然木	自然木	コナラ属アカガシ亜属	S	濡れ			ST2-932
648		653-5		SD4		自然木	自然木	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-933
649		653-6		SD4		自然木	自然木	サカキ	S	芯持丸木			ST2-934
650		653-7		SD4		自然木	自然木	ハイノキ属	S	芯持丸木			ST2-935
651		657		SD4	37	自然木	自然木	トネリコ属トネリコ節	S	芯持丸木			ST2-888
652		667		SD4	153	自然木	自然木	コナラ属コナラ節	S	干割			ST2-922
653		671		SD4	29	自然木	自然木	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-880
654		678				板	板材	ツブブシ	S	芯持板目			ST2-936
655		694		SD4	58	鋼材	鋼材	コナラ属コナラ節	S	黒目			ST2-844
656		714				自然木	自然木	クワ属	S	芯持丸木			ST2-872
657		719		SD4	152	自然木	自然木	クワ属	SR	芯持丸木			ST2-871
658		730				自然木	自然木	クワ属	S	芯持丸木			ST2-832
659		732		SD4	47	自然木	自然木	クワ属	S	黒目に濡れ			ST2-873
660		735		SD4	184	自然木	自然木	エノキ属	S	芯持丸木	度付き		ST2-874
661		736	Z W17	SD4 第3地点	56	自然木	自然木	クワ属	S	芯持丸木			ST2-900
662		737		SD4	50	自然木	自然木	クワ属	S	芯持丸木			ST2-875
663		749	Z W17	SD4 第3地点	58	自然木	自然木	クワ属	S	芯持丸木			ST2-866
664		755		SD4	35	自然木	自然木	エノキ属	S	芯持丸木			ST2-850
665		756		SD4	153	自然木	自然木	コナラ属コナラ節	S	濡れ			ST2-806
666		760		SD4	40	自然木	自然木	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-852
667		761		SD4	152	鋼材	?	クワ属	S	みかん割			ST2-864
668		763-3	Z W17	SD4 第3地点	60	鋼材	みかん割材	コナラ属アカガシ亜属	S	みかん割			ST2-813
669		764		SD4	605	自然木	自然木	クワ属	S	芯持丸木			ST2-853
670		777		SD4	151	自然木	自然木	エノキ属	S	濡れ			ST2-817
671		778		SD4	177	自然木	自然木	ハイノキ属	S	芯持丸木			ST2-794
672		782		SD4	172	自然木	自然木	シヤキ	S	丸木			ST2-795
673		832		SD4	41	自然木	自然木	エノキ属	S	芯持丸木			ST2-238
674		834		SD4	42	自然木	自然木	クワ属	S	鋼材			ST2-239
675		838		SD4	151	自然木	自然木	エノキ属	S	丸木			ST2-248
676		850	Z W17	SD4 第3地点	61	自然木	自然木	エノキ属	S	丸木			ST2-247
677		854		SD4	39	自然木	自然木	コナラ属コナラ節	S	丸木			ST2-245
678		786		SD4	176	自然木	自然木	エノキ属	S	芯持丸木			ST2-894
679		798	E 14	SD4 第6地点	157	自然木	自然木	ツブブシ	S	鋼材			ST2-661
680		801		SD4	157	自然木	自然木	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-897
681		806		SD4	43	自然木	丸木材	クワ属	S	芯持丸木			ST2-698
682		819		SD4	35	鋼材	鋼材	エノキ属	S	みかん割			ST2-912
683		827		SD4	376	鋼	鋼破片	エノキ属	S	鋼木取り			ST2-913
684		831				鋼材	干割材	モミ属	S	干割			ST2-249
685		860		SD4	6	鋼材	干割材	ウコキ質	S	干割			ST2-230
686	382-65-10	95	C3	SJ22 P162		建築部材	柱継	コナラ属アカガシ亜属	S	芯持丸木			ST2-348
687	382-65-9	97	C3	SJ22 P162		建築部材	柱継	エゴノキ属	S	芯持丸木			ST2-420
689	382-184-1	286	F7・8	SB7 P14		建築部材	柱継	キヤパ	S	みかん割			ST2-346
690	382-184-2	514	F7・8	SB7 P149		建築部材	柱継	キヤパ	S	丸木			ST2-450
698								×					ST2-641
700								×					ST2-642
701								×					ST2-643
702								草本C	S				ST2-644
703								草本C	S				ST2-645
704								ツバキ属	S				ST2-868
705								クワ属	S				ST2-891
706								クワ属	SR				ST2-917
707								エノキ属	S				ST2-1020
708								×					ST2-1054
709								ケヤキ	S				ST2-1056
710								エノキ属	S				ST2-1103
711								ケヤ	S				ST2-1113



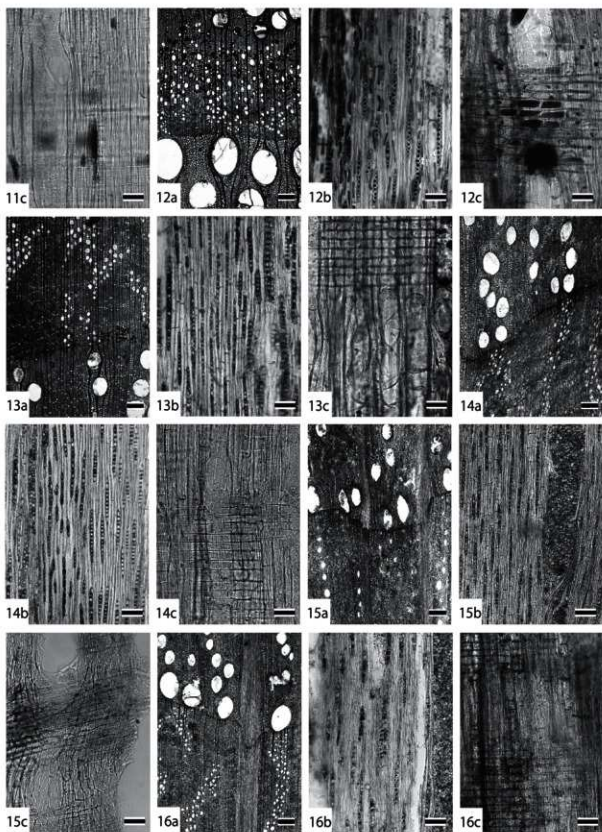
1a-1c:カヤ(木・幹材,第101表 ST2-1176) 2a-2c:イタガヤ(木・幹材,第101表 ST2-640)
 3a-3c:モミジ(木・幹材,第101表 ST2-397) 4a-4c:ツガ属(木・幹材,第101表 ST2-430) 5a-5c:スギ(木・幹材,第101表 ST2-396) 6a:ヒノキ(木・幹材,第101表 ST2-432)
 a:横断面(スケール=200 μm) b:接線断面(スケール=100 μm) c:放射断面(スケール=25 μm)

第319図 城敷遺跡出土木材の顕微鏡写真(1)



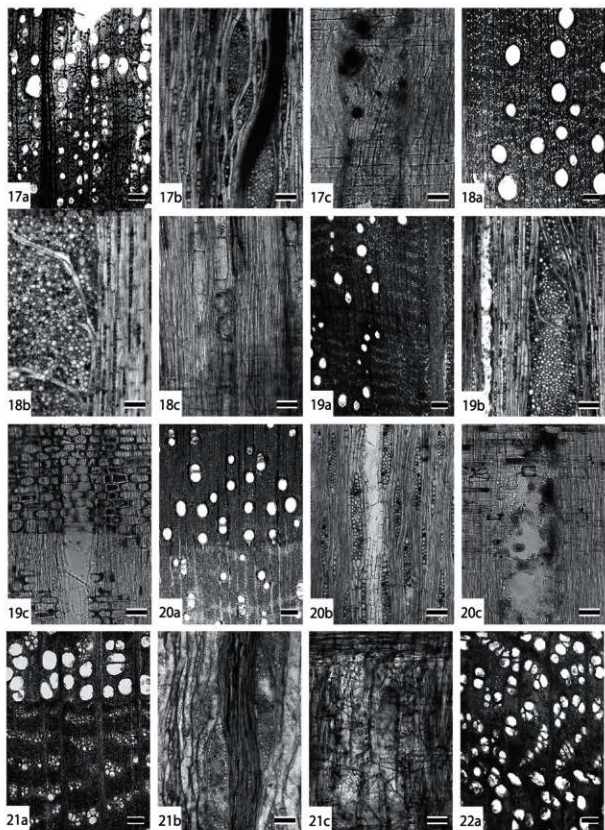
6b-6c:ヒノキ(枝・幹材, 第101表 ST2-432) 7a-7c:アスナロ(枝・幹材, 第101表 ST2-449) 8a-8c:オニグルミ(枝・幹材, 第101表 ST2-596)
 9a-9c:ヤナギ(枝・幹材, 第101表 ST2-609) 10a-10c:アサダ(枝・幹材, 第101表 ST2-1181) 11a-11b:クマシラ属イヌシラ属(枝・幹材, 第101表 ST2-898)
 a : 縦断面(スケール=200 μ m) b : 接線断面(スケール=100 μ m) c : 放射断面(スケール=25 μ m(6c, 7c.) 50 μ m(8c, 9c, 10c.))

第320図 城敷遺跡出土木材の顕微鏡写真(2)



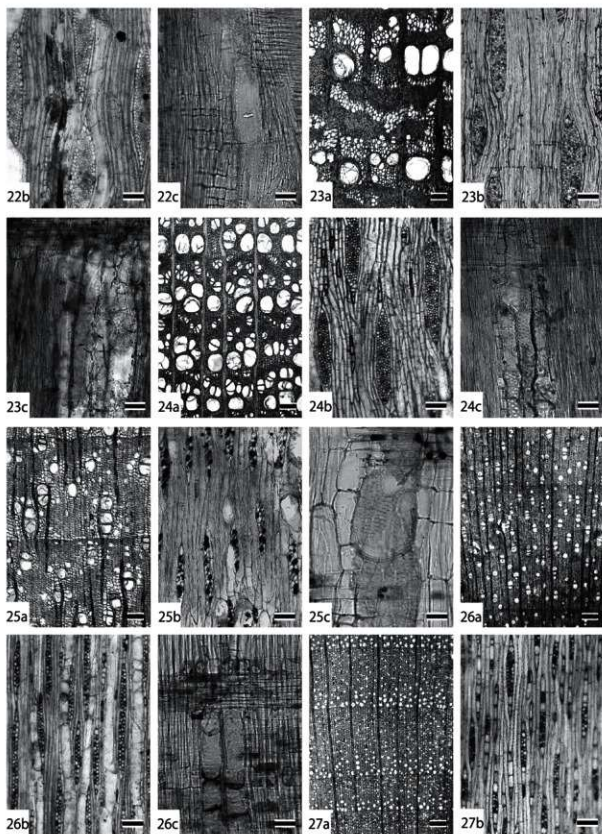
11c:クマシダ属イヌシダ節(枝・幹材, 第101表 ST2-898) 12a-12c:クリ(枝・幹材, 第101表 ST2-477) 13a-13c:スタジイ(枝・幹材, 第101表 ST2-500)
 14a-14c:ツブラジイ(枝・幹材, 第101表 ST2-1123) 15a-15c:コナラ属クヌギ節(枝・幹材, 第101表 ST2-961) 16a-16c:コナラ属コナラ節(枝・幹材, 第101表 ST2-483)
 a:横断面(スケール=200 μ m) b:接線断面(スケール=100 μ m) c:放射断面(スケール=50 μ m)

第321図 城敷遺跡出土木材の顕微鏡写真(3)



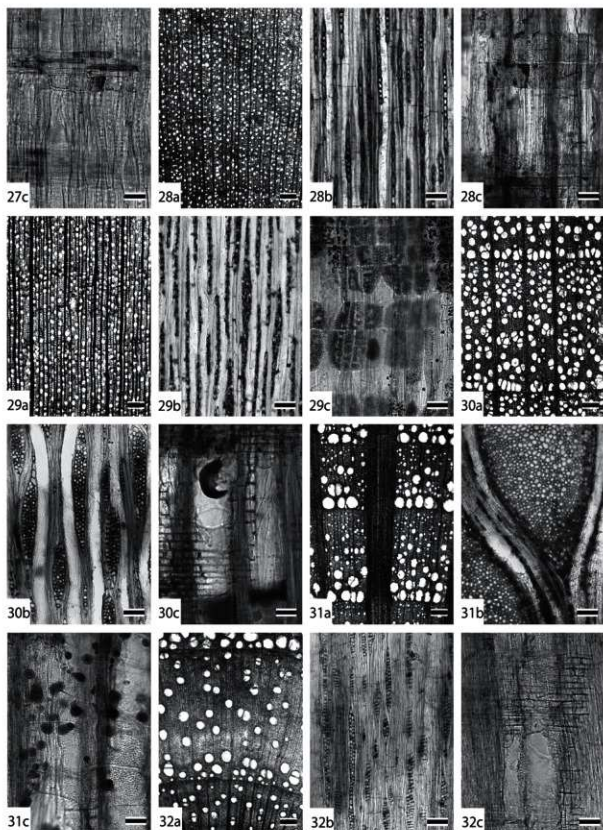
17a-17c:コナラ属コナラ節(根材,第101表 ST2-1002) 18a-18c:イチイガシ(枝・幹材,第101表 ST2-456) 19a-19c:コナラ属アカシキ属(枝・幹材,第101表 ST2-858)
 20a-20c:ムクノキ(枝・幹材,第101表 ST2-439) 21a-21c:エノキ属(枝・幹材,第101表 ST2-1142) 22a:エノキ属(根材,第101表 ST2-983)
 a:横断面(スケール=200 μ m) b:接線断面(スケール=100 μ m) c:放射断面(スケール=50 μ m)

第322図 城敷遺跡出土木材の顕微鏡写真(4)



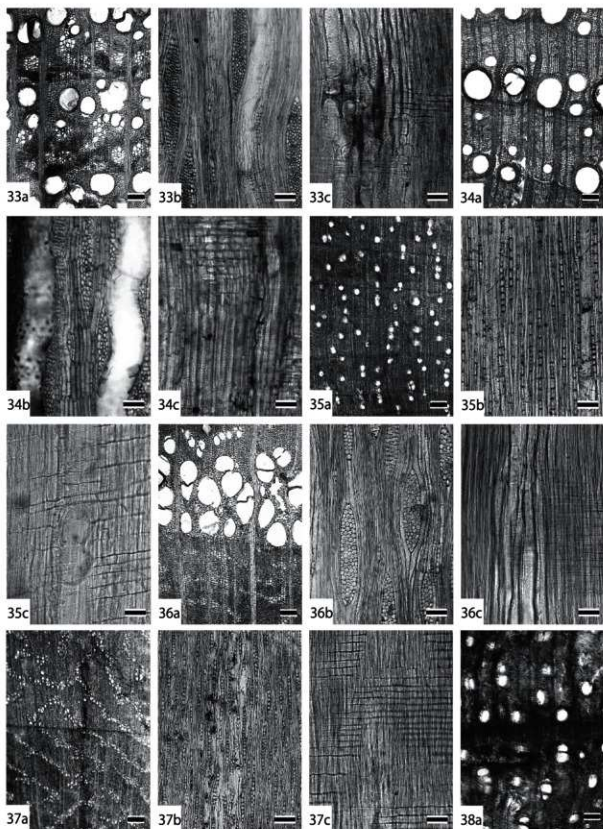
22b-22c:エノキ属(樹材, 第101表282 ST2-983) 23a-23c:ケヤキ(枝・幹材, 第101表589 ST2-908) 24a-24c:ツバキ属(枝・幹材, 第101表465 ST2-911)
 25a-25c:クスノキ(枝・幹材, 第101表371 ST2-566) 26a-26c:クスノキ科(枝・幹材, 第101表449 ST2-1017) 27a-27b:ツバキ属(枝・幹材, 第101表347 ST2-400)
 a:横断面(スケール=200 μ m) b:接線断面(スケール=100 μ m) c:放射断面(スケール=50 μ m)

第323図 城敷遺跡出土木材の顕微鏡写真(5)



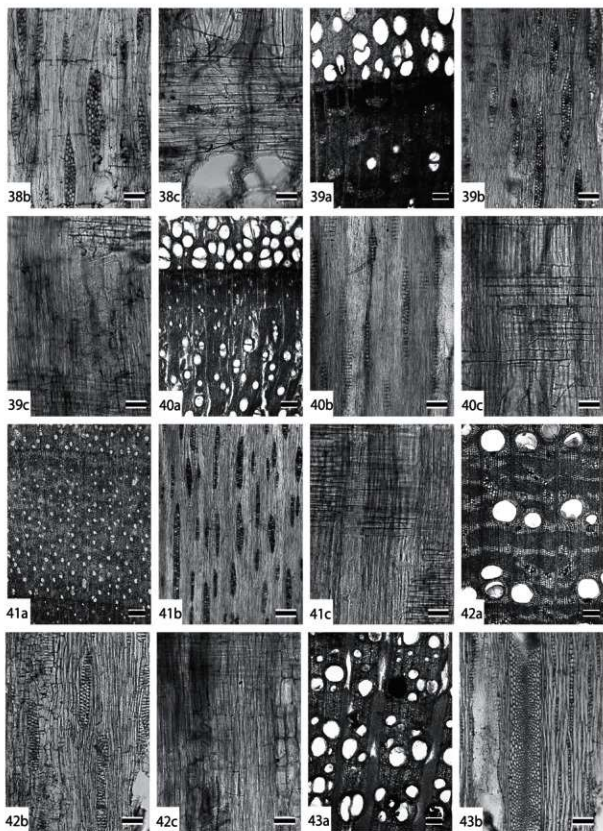
27c:ツバキ属(枝・幹材,第101表 ST2-400) 28a-28c:サカキ(枝・幹材,第101表 ST2-791) 29a-29c:ヒサカキ(枝・幹材,第101表 ST2-1102)
 30a-30c:サクラ属(広葉) (枝・幹材,第101表 ST2-406) 31a-31c:バラ属(枝・幹材,第101表 ST2-205) 32a-32c:ネムノキ(枝・幹材,第101表 ST2-1026)
 a:横断面(スケール=200 μm) b:放射断面(スケール=100 μm) c:放射断面(スケール=50 μm)

第324図 城敷遺跡出土木材の顕微鏡写真(6)



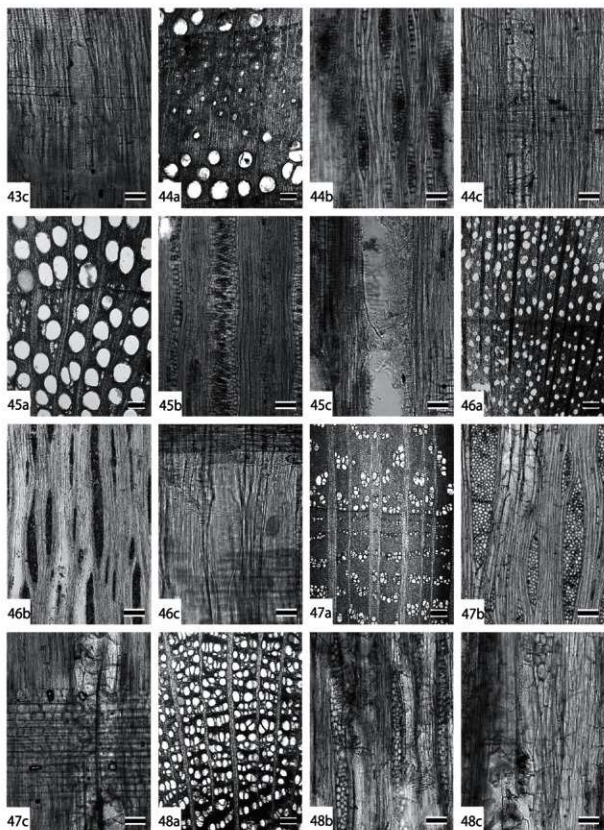
33a-33c:フジキ(枝・幹材,第101表 ST2-081) 34a-34c:フジ(枝・幹材,第101表 ST2-169) 35a-35c:シラキ(枝・幹材,第101表 ST2-795)
 36a-36c:キハダ(枝・幹材,第101表 ST2-346) 37a-37c:コサギ(枝・幹材,第101表 ST2-949) 38a:カラスザンショウ(枝・幹材,第101表 ST2-1040)
 a:横断面(スケール=200 μ m) b:接線断面(スケール=100 μ m) c:放射断面(スケール=50 μ m)

第325図 城敷遺跡出土木材の顕微鏡写真(7)



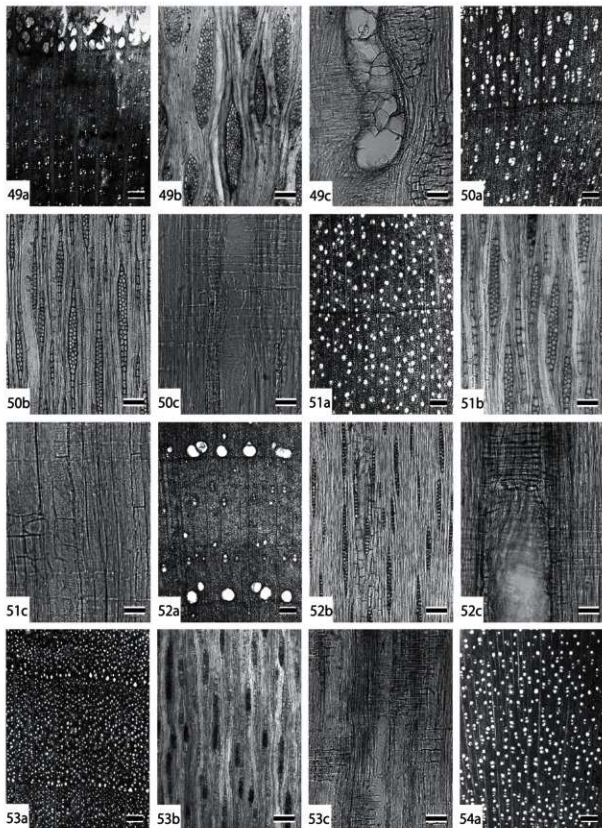
38b-38c:カラスザンショウ(枝・幹材,第101表 ST2-1040) 39a-39c:ヌルデ(枝・幹材,ST2-977) 40a-40c:ウルシ(枝・幹材,第101表 ST2-263)
 41a-41c:カエデ属(枝・幹材,第101表 ST2-938) 42a-42c:ムクロジ(枝・幹材,第101表 ST2-481) 43a-43b:ツルクメドモドキ属(枝・幹材,第101表 ST2-1029)
 a:縦断面(スケール=200 μm) b:接線断面(スケール=100 μm) c:放射断面(スケール=50 μm)

第326図 城敷遺跡出土木材の顕微鏡写真(8)



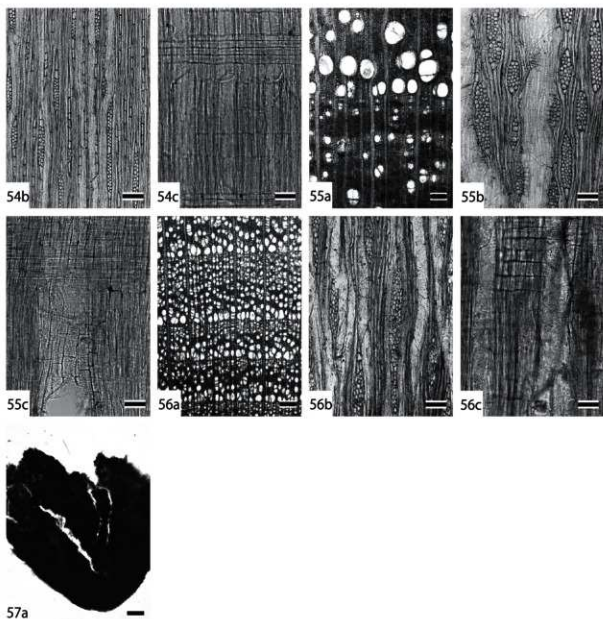
43c: ツルウメドキ属(枝・幹材, 第101表 ST2-1029) 44a-44c: ケンボナシ属(枝・幹材, 第101表 ST2-1008) 45a-45c: ブドウ属(枝・幹材, 第101表 ST2-830)
 46a-46c: クマノミズキ類(枝・幹材, 第101表 ST2-851) 47a-47c: ウコギ属(枝・幹材, 第101表 ST2-787) 48a-48c: ウコギ属(根材, 第101表 ST2-558)
 a: 横断面(スケール=200 μ m) b: 接離断面(スケール=100 μ m) c: 放射断面(スケール=50 μ m)

第327図 城敷遺跡出土木材の顕微鏡写真(9)



49a-49c: タラノキ(枝・幹材, 第101表 ST2-918) 50a-50c: エゴノ牛虱(枝・幹材, 第101表 ST2-1000) 51a-51c: ハイノ牛虱(枝・幹材, 第101表 ST2-794)
 52a-52c: トネリコ属トリネコ節(枝・幹材, 第101表 ST2-889) 53a-53c: イボタノ牛虱(枝・幹材, 第101表 ST2-815) 54a: ムラサキシキブ属(枝・幹材, 第101表 ST2-482)
 a: 横断面(スケール=200 μm) b: 接線断面(スケール=100 μm) c: 放射断面(スケール=50 μm)

第328図 城敷遺跡出土木材の顕微鏡写真(10)



54b-54c: ムラサキシロブ属(枝・幹材,第101表 ST2-4R2) 55a-55c:クサギ(枝・幹材,第101表 ST2-863) 56a-56c:ニフトコ(枝・幹材,第101表 ST2-180)
 57a:竹節類(第101表 ST2-1034)
 a:横断面(スケール=200 μ m) b:接線断面(スケール=100 μ m) c:放射断面(スケール=50 μ m)

第329図 城敷遺跡出土木材の顕微鏡写真 (11)

2. 城敷遺跡の自然科学分析

バリノ・サーヴェイ株式会社

はじめに

埼玉県東松山市高坂に所在する城敷遺跡は、比企南丘陵東端の高坂台地北縁に広がる都幾川が形成した沖積地、現在の都幾川右岸に立地している。発掘調査の結果、古墳時代前～後期及び奈良～平安時代の集落が確認されている。また、古墳～平安時代にかけての大溝跡が検出され、堰等の土木施設が確認されたほか、生活用具や農具、建築部材等の様々な木製品が出土している。

本報告では、城敷遺跡から出土した建築部材や木製品、自然木、種実や葉等の大型植物遺体や動物遺存体を対象とする。木製品の年代測定を行って遺構や遺物の年代に関わる資料を作成し、樹種・植物遺体の同定によって各遺物の樹種や木材利用の傾向と、動物遺存体の種類・部位について検討を目的として自然科学分析調査を実施する。

(1) 樹種同定

1. 試料

試料は、建築部材・木製品12点と自然木8点の計20点からなる。試料の詳細は結果とともに第102表に示す。

2. 分析方法

(1) 試料採取

各木製品の木取及び保存状況を観察した後、剃刀を用いて木口（横断面）・柁目（放射断面）・板目（接線断面）の3断面の徒手切片を直接採取する。また、複数の破片等からなる試料は、接合面を利用して木片を採取し、木片から切片を作製する。自然木については、年輪の広い場所や狭い場所を避けて木片を採取し、木片から切片を作製する。また、分析対象試料のうち鍍（第102表2）は表面の大部分が炭化していたため、炭化部分より試料採取を行っている。

(2) 前処理及び同定

切片は、ガム・クロラール（抱水クロラール、アラビアゴム粉末、グリセリン、蒸留水の混合液）で封入し、プレバラートとする。プレバラートは、生物顕微鏡で木材組織を観察する。上記した鍍については、採取試料を自然乾燥させた後、実体顕微鏡および走査型電子顕微鏡を用いて木材組織を観察する。

各試料で観察された木材組織の特徴を現生標本と比較して種類を同定する。同定の根拠となる顕微鏡下での木材組織の特徴等については、島地・伊東(1982)、Wheeler 他(1998)、Richter 他(2006)を参考にする。また、各樹種の木材組織については、林(1991)、伊東(1995、1996、1997、1998、1999)や独立行政法人森林総合研究所の日本産木材識別データベースを参考にする。

3. 結果

建築部材・木製品は、針葉樹2種類（モミ属・イヌガヤ）と広葉樹8種類（コナラ属コナラ亜属コナラ節・コナラ属アカガシ亜属・エノキ属・ヤマグワ・サカキ・サクラ属・ヌルデ・ムクロジ）、自然木は、広葉樹2種類（エノキ属・ヤマグワ）に同定された。以下に、各種類の解剖学的特徴等を記す。

・モミ属（Abies）マツ科

軸方向組織は仮道管のみで構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は比較的緩やかで、晩材部の幅は狭い。放射組織は柔細胞のみで構成される。柔細胞壁は粗く、水平壁・垂直壁にはじゅうず状の肥厚が認められる。分野壁孔はスギ型で1分野に1-4個。放射組織は単列、1-20細胞高。

・イヌガヤ（*Cephalotaxus harringtonia* (Knight) K. Koch f.）イヌガヤ科イヌガヤ属

軸方向組織は仮道管と樹脂細胞で構成される。仮道管の早材部から晩材部への移行は緩やか。仮道管内壁にはらせん肥厚が認められる。樹脂細胞は早材部および晩材部に散在する。放射組織は柔細胞のみで構成され、分野壁孔はヒノキ型で1分野に1-2個。放射組織は単列、1-10細胞高。

・コナラ属コナラ亜属コナラ節 (*Quercus* subgen. *Lepidobalanus* sect. *Prinus*) ブナ科

環孔材で、孔圏部は1-3列、孔圏外で急激に管径を減じたのち、漸減しながら火炎状に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-20細胞高のものとの複合放射組織とがある。

・コナラ属アカガシ亜属 (*Quercus* subgen. *Cyclobalanopsis*) ブナ科

放射孔材で、管壁厚は中庸-厚く、横断面では楕円形、単独で放射方向に配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列する。放射組織は同性、単列、1-20細胞高のものとの複合放射組織とがある。

・エノキ属 (*Celtis*) ニレ科

環孔材で、孔圏部は1-3列、孔圏外でやや急激に管径を減じたのち、塊状に複合して接線・斜方向に配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、1-6細胞幅、1-50細胞高で輪細胞が認められる。

・ヤマグワ (*Morus australis* Poir.) クワ科クワ属

環孔材で、孔圏部は3-5列、孔圏外への移行は緩やかで、晩材部では単独または2-4個が塊状あるいは接線方向に複合して接線・斜方向に配列し、年輪界に向かって管径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列し、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、1-6細胞幅、1-50細胞高で、しばしば結晶を含む。

・サカキ (*Cleyera japonica* Thunberg pro parte emend. Sieb. et Zucc.) ツバキ科サカキ属

散孔材で、小径の道管が単独または2-3個が複合して散在し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管の分布密度は高い。道管は階段穿孔を有し、壁孔は対列-階段状に配列する。放射組織は異性、単列、1-20細胞高。

・サクラ属 (*Prunus*) バラ科

散孔材で、管壁厚は中庸、横断面では角張った楕円形、単独または2-6個が複合、年輪界に向かって管径を漸減させながら散在する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、1-3細胞幅、1-30細胞高。

・スルデ (*Rhus javanica* L.) ウルシ科ウルシ属
環孔材で孔圏部は4-5列、孔圏外への移行は緩やかで、晩材部では2-5個が塊状に複合して配列し、年輪界に向かって径を漸減させる。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は異性、1-4細胞幅、1-30細胞高。

・ムクロジ (*Sapindus mukorossi* Gaertn.) ムクロジ科ムクロジ属

環孔材で、孔圏部は1-2列、孔圏外で急激に管径を減じたのち漸減、塊状に複合して配列する。道管は単穿孔を有し、壁孔は交互状に配列、小道管内壁にはらせん肥厚が認められる。放射組織は同性、1-3細胞幅、1-40細胞高。柔組織は周囲状-連合翼状、帯状およびターミナル状。

4. 考察

城敷遺跡から出土した建築部材・木製品の12点からは、針葉樹2種類(モミ属・イヌガヤ)と広葉樹8種類(コナラ属コナラ亜属コナラ節・コナラ属アカガシ亜属・エノキ属・ヤマグワ・サカキ・サクラ属・スルデ・ムクロジ)の10種類の樹種が確認された。また、自然木8点からは広葉樹2種類(エノキ属・ヤマグワ)が確認された。以

下に、分析対象とした試料について、時期別に木材利用に関する考察を行う。

(1) 古墳時代前期

古墳時代前期の所産とされる木製品6点は、横鉾、鉾、鋤、弓、腰掛、火鑽臼からなる。横鉾は、接地面に鋸歯がない平刃タイプであり、鉾もいわゆる平鉾であった。いずれも重硬で強度の高いアカガシ亜属の柾目板の利用が確認された。一方、鋤は強度が比較的高いサクラ属の板目板が利用されており、鉾とは樹種・木取がともに異なる。弓は、芯持の丸木弓であり、硬く韌性のあるイヌガヤの利用が認められた。腰掛は、半裁木の樹芯側を接地面として、樹芯に近い部分を年輪に沿って削り貫いている。座面は、板目の平坦面になるよう加工が施され、樹種は重硬で耐朽性の高いヤマグラブであった。火鑽臼は、芯持丸木材の上面と下面を平坦としたような木取が認められ、樹種は加工が容易とされるヌルデであった。

埼玉県内における古墳時代前期の木製品の分析調査は、小敷田遺跡（熊谷市・行田市）や小敷田遺跡に近接する北鳥遺跡（熊谷市）、鍛冶谷・新田口遺跡（戸田市）、中耕遺跡（坂戸市）等で実施されている（能城・鈴木、1986；鈴木・能城、1991；バリノ・サーヴェイ株式会社、1993、2005a、2005b）。横鉾は、小敷田遺跡（熊谷市・行田市）の出土資料5点（平刃（3点）、鋸歯（1点）、形態不明（1点））を対象とした事例があり、平刃と形態不明はいずれもアカガシ亜属、鋸歯になるタイプにはクスギ節が確認されている。鉾は、小敷田遺跡の調査事例が主体であり、形態の明らかな資料は全て直柄の鉾身であり、平鉾や又鉾、多又鉾が認められている。曲柄鉾は、北鳥遺跡で柄を対象とした調査が行われているが、鉾身を対象とした調査は知られていない。これらの調査結果では、小敷田遺跡の鉾（24点）はアカガシ亜属とクスギ節・コナラ節が共に11点と多く、モミ属とムクロジが各1点ずつ確認されている。北鳥遺跡の鉾（3点）

は、いずれもクスギ節が認められている。さらに、鍛冶谷・新田口遺跡の形態不明の鉾（2点）は、クスギ節とクリの利用が認められている。これらの結果を見る限り、埼玉県内では鉾に用いられる木材の種類構成は、常緑広葉樹のアカガシ亜属と、落葉広葉樹のクスギ節・コナラ節を主体とする傾向が窺われる。本遺跡に隣接する反町遺跡においても、又鉾にアカガシ亜属、多又鉾にクスギ節が確認されており、同様の木材利用が示唆される。

鋤は、埼玉県内のこれまでの調査事例では、鉾と同様にアカガシ亜属とクスギ節を主体とする木材利用が窺われる一方、サクラ属の確認事例は知られていない。群馬県、東京都、神奈川県、千葉県等の関東近県の調査においてもサクラ属は確認されておらず、関東地方では初の確認例と言える。

弓にイヌガヤを利用する事例は、小敷田遺跡で4例確認されている。この他に、当該期の弓に用いられた樹種としてカヤとヒノキ等も確認されている。弓を対象とした調査は少ないが、本分析結果は、これまでの調査結果と概ね調和的と言える。腰掛については、埼玉県内での調査事例は知られていないが、本分析結果から重硬で強度・耐朽性の高い木材を選択していたことが推定される。火鑽臼は、小敷田遺跡でスギの利用例が2点確認されているが、広葉樹の利用は知られていない。スギの利用は、伊興遺跡（東京都足立区）でも確認されている（橋本・高橋、1997）一方、広葉樹の利用が認められた事例は上戸塚正上寺遺跡（群馬県藤岡市）でつる植物のマタビ属が確認されている（吉川・藤根、1993）。全体的には針葉樹材の利用が目立ち、使用する木材の発火温度や摩擦係数などが関係していると推定される。本遺跡の火鑽臼に認められたヌルデについては、材質に関するデータが不足しているため、実際に実験等を行い火鑽臼としての使いやすさ等を検証する必要がある。

(2) 古墳時代中期

第102表 樹種同定結果

番号	集数-種目-番号	整理番号	遺蹟名	種別	木取	時期	樹種
1	382-246-53	543-1	SD4 第5地点	諸手練木成品	板目	古墳時代前期	コナラ属アカガシ垂属
2	382-234-236	294	SD4 第4地点	楳 (平楳)	板目	古墳時代前期	コナラ属アカガシ垂属
3	382-262-149	560	SD4 第6地点	楳	板目	古墳時代前期	サクラ属
4	369-372-49	878	SD4 第1地点	腰掛	芯持丸木	古墳時代前期	イヌガヤ
5	382-265-162	876	SD4 第6地点	腰掛	芯持丸木	古墳時代前期	ヤマグワ
6	382-247-55	947	SD4 第5地点	火漕臼	丸木	古墳時代前期	ヌルデ
7	369-369-42	580	SD4 第1地点	横架材	芯持角材	奈良時代	サカキ
8	382-238-257	117	SD4 第4地点	扉板材	芯外板目-板目	古墳時代中期	ムクロジ
9	382-269-180	879-2	SD4 第6地点	扉	芯外板目-板目	古墳時代中期	エノキ属
10	369-381-31	691	SD4 第2地点	楳	追根	古墳時代中期	モミ属
11	369-368-37	617	SD4 第1地点	腰掛 (脚板)	芯持丸木	古墳時代中期	コナラ属コナラ垂属コナラ節
12		451	SD4 第1地点	自然木	丸木	奈良時代	エノキ属
13		720	SD4 第1地点	自然木	丸木	奈良時代	エノキ属
14		849	SD4 第1地点	自然木	丸木	奈良時代	エノキ属
15		745	SD4 第1地点	自然木	丸木	奈良時代	ヤマグワ
16		939	SD4	自然木	—	古墳時代後期	エノキ属
17		940	SD4	自然木	—	古墳時代後期	エノキ属
18		941	SD4	自然木	—	古墳時代後期	エノキ属
19		942	SD4	自然木	—	古墳時代後期	エノキ属
20		879-1	SD4 第6地点	扉	芯外板目-板目	古墳時代中期	ムクロジ

古墳時代中期の所産とされる木製品5点は、建築部材 (扉・扉板) 3点、楳1点、腰掛1点からなる。扉は、樹芯を外した板目取の板材で、樹芯を通らずに最も幅広の板材を得られる部分が利用される。樹種は、ムクロジ (2点) とエノキ属 (1点) であり、いずれも広葉樹材であった。これらは、いずれも直径が1mを超える大木となり、木材はやや重硬な部類に入るが、強度は高くない種類である。反町遺跡の古墳時代前期の所産とされる自然木にムクロジ、本遺跡の古墳時代後期の自然木にエノキ属が確認されていることを考慮すると、いずれも本遺跡周辺で入手可能であった可能性がある。埼玉県内における扉を対象とした分析調査は、北島遺跡の古代とされる扉に針葉樹のモミ属が確認されている (高橋、1995) が、当該期の調査事例は知られていない。

楳 (鴨居) は、追根の板材で、木理が通直、割裂性が高く加工は容易であるが保存性が低い針葉樹のモミ属の利用が確認された。モミ属も大径木になる種類であることから、大材が得られることや加工性から利用されたと考えられる。

腰掛は、重硬で強度が高い材質を有するコナラ節の芯持丸木が利用され、段部分は樹芯付近まで切り込みが入る。埼玉県内における腰掛を対象とした分析調査は、古墳時代前期の資料が多く、当該期の事例はほとんどない。古墳時代前期の腰掛は、鍛冶谷・新田口遺跡でクリとコナラ節 (能城・鈴

木、1986) が確認されている。また、小敷田遺跡ではモミ属、イヌシデ節、クヌギ節、ケヤキ、ヤマグワ、カエデ属、トチノキ、クマノミズキ類 (鈴木・能城、1991)、北島遺跡ではキハダ、ヤマグワ、エノキ属 (パリオ・サーヴェイ株式会社、2005b) が確認されており、利用される樹種は多様である。

(3) 古墳時代後期

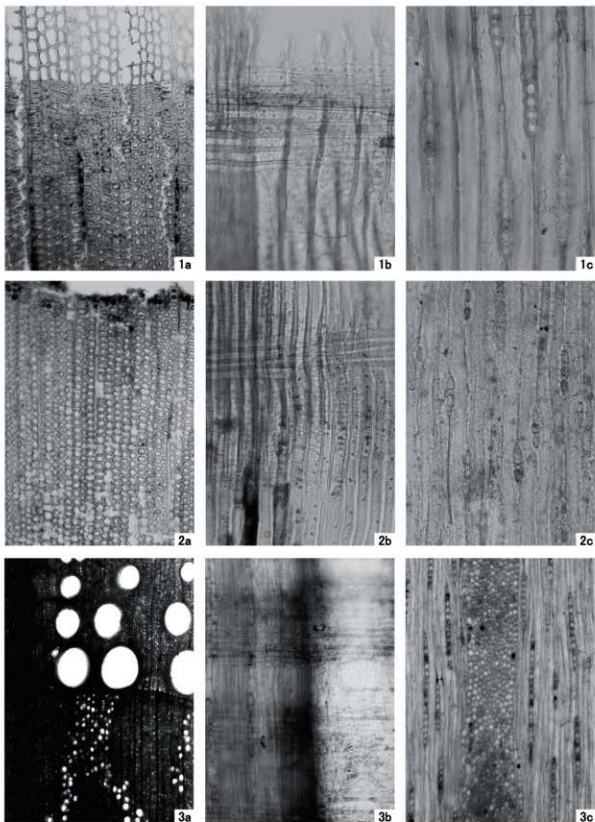
古墳時代後期の所産とされる試料4点は全て自然木であり、いずれも落葉広葉樹のエノキ属であった。エノキ属には、エノキ、エゾエノキ、コバノチョウセンエノキ、クワノハエノキがある。関東地方の沖積地では、エノキが一般的であることから、今回の試料はエノキの可能性が高い。エノキは、日当たりの良い適湿地に生育し、自然堤防上によくみられることや、本遺跡の立地等を考慮すると、遺跡周辺の沖積地に生育していたと考えられる。

(4) 奈良時代

奈良時代の所産とされる試料は、木製品1点 (横架材)、自然木4点からなる。横架材は、芯持角材であり、重硬で強度が高いサカキが認められた。自然木に認められたエノキ属やヤマグワは、共に河畔林などを構成する種類である。このことから、当該期にも遺跡周辺にはこれらの樹木が生育していたと推定される。

引用・参考文献

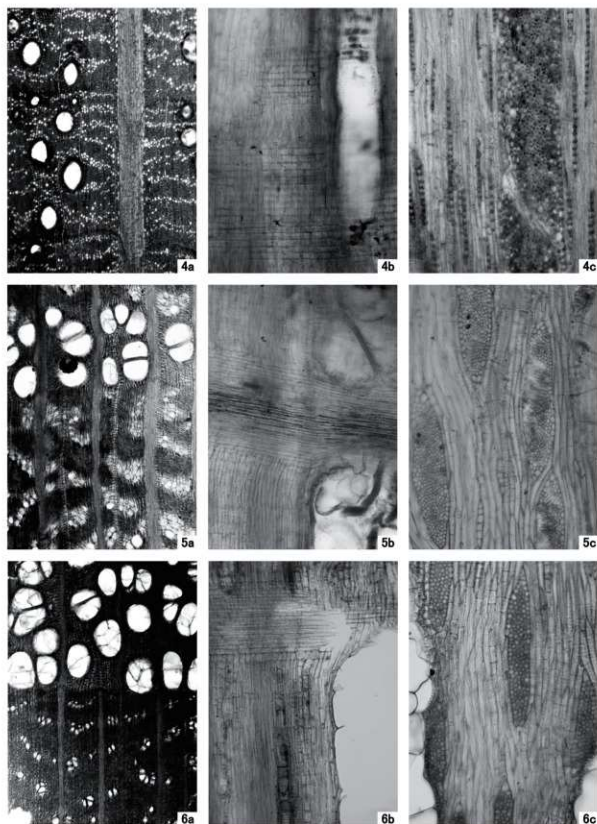
- 橋本真紀夫・高橋敦 1997 「伊興遺跡から出土した木製品の樹種」『伊興遺跡』足立区伊興遺跡調査会、397-418.
- 林 昭三 1991 「日本産木材 顕微鏡写真集」京都大学木質科学研究所
- 伊東隆夫 1995 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅰ」『木材研究・資料、31』京都大学木質科学研究所81-181.
- 伊東隆夫 1996 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅱ」『木材研究・資料、32』京都大学木質科学研究所66-176.
- 伊東隆夫 1997 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅲ」『木材研究・資料、33』京都大学木質科学研究所83-201.
- 伊東隆夫 1998 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅳ」『木材研究・資料、34』京都大学木質科学研究所30-166.
- 伊東隆夫 1999 「日本産広葉樹材の解剖学的記載Ⅴ」『木材研究・資料、35』京都大学木質科学研究所47-216.
- 能城修一・鈴木三男 1986 「鑑治谷・新田口遺跡出土木材の樹種」『鑑治谷・新田口遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書62集 398-410.
- 能城修一・鈴木三男 1991 「埼玉県駒西町小沼耕地遺跡から出土した木製品の樹種」『小沼耕地遺跡』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第100集163-166.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 1989 「1号住居址出土炭化材判定」『勝呂庵寺 勝呂庵寺F地区(西入間警察署勝呂駐在所)発掘調査報告書』坂戸市遺跡発掘調査班45-47.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 1993 「中耕遺跡出土遺物の自然科学分析報告」『中耕遺跡-VI-本文編(第1分冊)』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第125集321-365.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 2000 「掘立柱建物跡出土木材樹種判定」『築道下遺跡Ⅳ(第3分冊)』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第246集626-629.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 2004 「下田町遺跡の化学分析」『下田町遺跡Ⅰ(第2分冊)』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第296集440-453.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 2005a 「北島遺跡の自然科学分析」『北島遺跡XI』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書303集173-177.
- バリノ・サーヴェイ株式会社 2005b 「北島遺跡第19地点出土木製品の樹種判定」『北島遺跡XIII』埼玉県埋蔵文化財調査報告書第305集222-234.
- Richter H.G., Grosser D., Heinz I. and Gasson P.E. (編) 2006 「針葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト」伊東隆夫・藤井智之・佐野雄三・安部久・内海泰弘(日本語版監修) 海青社70p. [Richter H.G., Grosser D., Heinz I. and Gasson P.E. (2004) IAWA List of Microscopic Features for Softwood Identification].
- 島地謙・伊東隆夫 1982 「図説木材組織」地球社176p.
- 鈴木三男・能城修一 1991 「小敷田遺跡の木材化石群集」『小敷田遺跡 河川跡遺物編(第Ⅱ分冊)』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第95集268-318.
- 高橋敦 2005 「建築材及び井戸枠材」『北島遺跡IX』埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第293集460-464.
- Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (編) 1998 「広葉樹材の識別 IAWAによる光学顕微鏡的特徴リスト」伊東隆夫・藤井智之・佐伯浩(日本語版監修) 海青社122p. [Wheeler E.A., Bass P. and Gasson P.E. (1989) IAWA List of Microscopic Features for Hardwood Identification].
- 吉川純子・藤根久 1993 「上戸塚正上寺遺跡出土大型植物化石と木材」『上戸塚正上寺遺跡』群馬県埋蔵文化財調査事業団発掘調査報告書第149集114-14



1. モミ属 (第102表1)
 2. イヌガヤ (第102表4)
 3. コナラ属コナラ亜属コナラ節 (第102表11)
- a・小口 b・柁目 c・板目

200 μ m a
100 μ m b, c

第330図 城敷遺跡の木材 (1)



4. コナラ属アカガシ亜属 (第102表3)

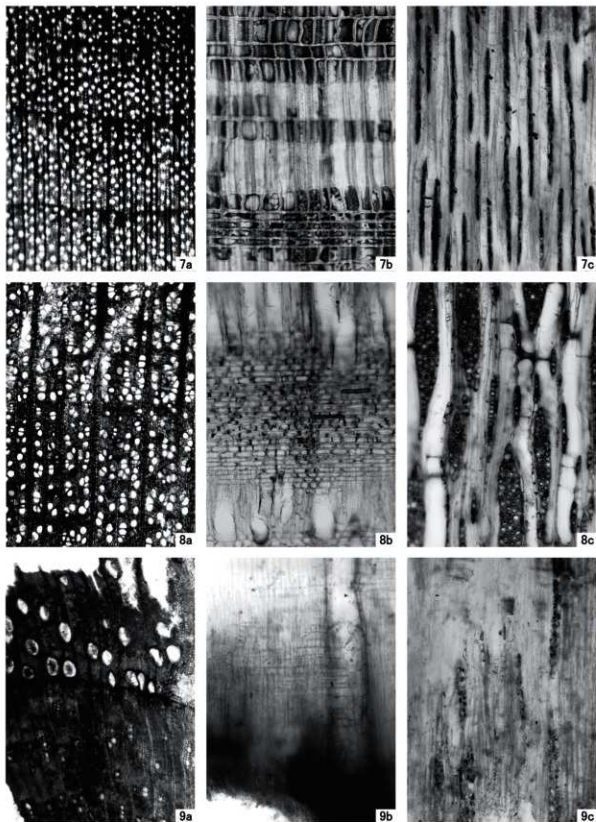
5. エノキ属 (第102表18)

6. ヤマグワ (第102表15)

a・小孔 b・柁目 c・板目

200 μ m a
100 μ m b, c

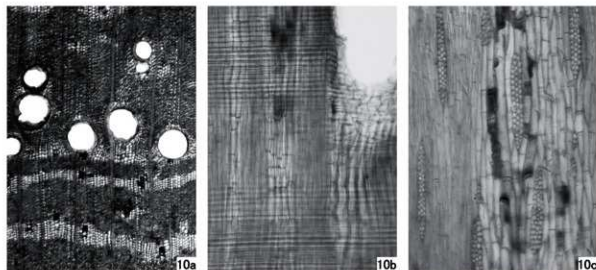
第331図 城敷遺跡の木材 (2)



10. サカキ(第102表7)
 11. サクラ属(第102表3)
 12. スルデ(第102表6)
 a・小口 b・柱目 c・板目

200 μ m.a
 100 μ m.b,c

第332図 城敷遺跡の木材(3)



10. ムクロジ(第102表8)

a・小口 b・径目 c・板目

第333図 城敷遺跡の木材(4)

200 μm
100 μm

(2) 放射性炭素年代測定

1. 試料

試料は、城敷遺跡から出土した木製品8点である。木製品からの試料の採取は、調査担当者との協議・確認に基づき行っている。以下に、試料および試料採取部位の概要を記す。

① 漆原木(第369集第370図47)

樹皮が認められない芯持丸木である。丸木材の表面は滑らかで大きく欠損する状況が認められないこと、漆液の採取痕が認められることから、樹皮が剥落しただけの状態と推定される。試料は、最外年輪部分より採取している。

② 扉(第382集第269図180)

樹皮の痕跡は認められない大径木の樹芯を外した板材である。樹皮の痕跡は認められない。樹芯近くまで加工し、木材の径を最大限利用しようとした木取りが推測される。本試料は、樹種同定結果からエノキ属であることが確認されているが、エノキ属の最大径を考慮すると外側に年輪が存在した可能性がある。試料は、観察範囲内の最外年輪部分より採取している。

③ 板材(第382集第288図65)

板目板であり、樹皮は認められない。試料は、

観察範囲内の最外年輪部分より採取している。

④ 板材(第369集第388図60)

分割材(半裁状)の有柄穴板材である。観察範囲内の最も外側の年輪に近い接合面を対象に木片を採取した。試料採取箇所は、観察範囲内の最も外側の年輪から約1cm内側に相当する。

⑤ 不明板材(第382集第269図179)

分割材の台輪状板材である。観察範囲内の最も外側の年輪に近い接合面を対象に木片を採取した。試料採取箇所は、観察範囲の最も外側の年輪から約1cm内側に相当する。

⑥ 横架材?(第369集第391図73)

分割材の横架材である。観察範囲内の最も外側の年輪より木片を採取した。

⑦ 扉(第382集第238図257)

板目板状の扉材である。観察範囲内の最も外側の年輪は、加工部分に相当し、木片の採取が困難と判断された。そのため、やや離れた箇所に相当する破片の接合面を対象に木片を採取した。試料採取箇所は、最も外側の年輪部分より年輪数にして20～30年程度離れた箇所に相当する。

⑧ 板材(非掲載遺物)

正目板状の板材の破片である。観察範囲内の最

も外側の年輪より木片を採取した。

2. 分析方法

各木製品の木取りを観察した後、可能な限り最外部の年輪から試料を採取する。また、採取する年輪幅は、可能な限り数年以内に取める。これらの試料について、目的物と異なる年代を持つものが付着している場合は、ピンセットや超音波洗浄等により物理的に除去する。その後、HClによる炭酸塩等酸可溶成分の除去(塩酸1.2N)、NaOHによる腐植酸等アルカリ可溶成分の除去(水酸化ナトリウム1N)、HClによりアルカリ処理時に生成した炭酸塩等酸可溶成分を除去(塩酸1.2N)する(酸・アルカリ・酸処理)。

試料をバイコール管に入れ、1gの酸化銅(II)と銀箔(硫化物を除去するため)を加えて、管内を真空にして封じきり、500°C(30分)850°C(2時間)で加熱する。液体窒素と液体窒素+エタノールの温度差を利用し、真空ラインにてCO₂を精製する。真空ラインにてバイコール管に精製したCO₂と鉄・水素を投入し封じ切る。鉄のあるバイコール管底部のみを650°Cで10時間以上加熱し、グラファイトを生成する。

化学処理後のグラファイト・鉄粉混合試料を内径1mmの孔にプレスして、タンデム加速器のイオン源に装着し、測定する。

ン源に装着し、測定する。

測定機器は、3MV小型タンデム加速器をベースとした¹⁴C-AMS専用装置NEC Pelletron 9SDH-2(第103・104表①~③)とNEC製コンパクトAMS・1.5SDH(第105表④~⑧)を使用する。AMS測定時に、標準試料である米国国立標準局(NIST)から提供されるシュウ酸(HOX-II)とバックグラウンド試料の測定も行う。また、測定中試料¹³C/¹²Cの測定も行うため、この値を用いて¹³Cを算出する。

放射性炭素の半減期はLIBBYの半減期5,568年を使用する。測定年代は1950年を基点とした年代(BP)であり、誤差は標準偏差(One Sigma:68%)に相当する年代である。得られた測定値は、¹³Cの値を元に同位体効果の補正を行う。さらに、補正値はRADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV5.02(Copyright 1986-2005 M Stuiver and PJ Reimer)やRADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV5.0(Copyright 1986-2005 M Stuiver and PJ Reimer)を用いて暦年較正を実施する。その際、誤差として標準偏差(One Sigma)を用いる。

暦年較正とは、大気中の¹⁴C濃度が一定で半減期が5568年として算出された年代値に対し、過去の宇宙線強度や地球磁場の変動による大気中の

第103表 放射性炭素年代測定結果

番号	集積・検出番号	整理番号	遺構名	取上%	器種	性状	補正年代BP	δ ¹³ C(‰)	測定年代BP	Code No.	測定機関 code
①	369-370-47	372	SD4 第1地点	10	漆材	生木	1,450±30	-26.71±0.79	1,480±30	10168-9	IAAA-81023
②	382-269-180	879-2	SD4 第6地点	14	扉	生木	1,690±30	-24.93±0.68	1,690±30	10168-10	IAAA-81024
③	382-288-65	627	SD4 第7地点	315	板材	生木	1,550±30	-27.13±0.73	1,580±30	10168-11	IAAA-81025

1) 年代値の算出には、Libbyの半減期5568年を使用。

2) BP年代値は、1950年を基点として何年前であるかを示す。

3) 付記した誤差は、測定誤差(測定値の68%が入る範囲)を年代値に換算した値。

第104表 暦年較正結果

番号	集積・検出番号	整理番号	遺構名	取上%	器種	補正年代BP	暦年較正年代 (cal)			相対比	Code No.
							σ	2σ	σ		
①	369-370-47	372	SD4 第1地点	10	漆材	1,451±32	σ	cal AD 590 - cal AD 643	cal BP 1,360 - 1,307	1.000	10168-9
							2σ	cal AD 558 - cal AD 651	cal BP 1,392 - 1,299	1.000	
							σ	cal AD 264 - cal AD 276	cal BP 1,686 - 1,674	0.119	
②	382-269-180	879-2	SD4 第6地点	14	扉	1,692±32	σ	cal AD 332 - cal AD 402	cal BP 1,618 - 1,548	0.881	10168-10
							2σ	cal AD 256 - cal AD 304	cal BP 1,694 - 1,646	0.229	
							σ	cal AD 314 - cal AD 419	cal BP 1,636 - 1,531	0.771	
③	382-288-65	627	SD4 第7地点	315	板材	1,549±31	σ	cal AD 435 - cal AD 491	cal BP 1,515 - 1,459	0.618	10168-11
							2σ	cal AD 509 - cal AD 518	cal BP 1,441 - 1,432	0.084	
							σ	cal AD 528 - cal AD 555	cal BP 1,422 - 1,395	0.298	
							2σ	cal AD 426 - cal AD 579	cal BP 1,524 - 1,371	1.000	

1) RADIOCARBON CALIBRATION PROGRAM CALIB REV5.02 (Copyright 1986-2005 M Stuiver and PJ Reimer) を使用した。

2) 計算には表に示した互換前の値を使用している。

3) 統計的に真の値が入る確率はσは68%、2σは95%である。

4) 相対比は、σ、2σのそれぞれを1とした場合、確率的に真の値が存在する比率を相対的に示したものである。

第105表 放射性炭素年代測定及び暦年校正結果

番号	観測・測定 番号	整理 番号	遺構名	取上げ 層	器種名	補正年代 (yrBP)	$\delta^{13}C$ (‰)	補正年代 (暦年校正用)	暦年校正年代 (cal)			相対比	測定機関 Code.
									cal AD	cal AD	cal BP		
④	369- 388-60	519	SD4 第2地点	48	板材	1,590± 20	-26.60± 0.16	1,589±18	σ	cal AD 427 - cal AD 442	cal BP 1,523 - 1,508	0.187	PLD- 14585
										cal AD 453 - cal AD 461	cal BP 1,497 - 1,489	0.090	
										cal AD 484 - cal AD 533	cal BP 1,466 - 1,417	0.723	
2 σ	cal AD 424 - cal AD 535	cal BP 1,526 - 1,415	1.000										
	cal AD 436 - cal AD 490	cal BP 1,514 - 1,460	0.756										
	cal AD 509 - cal AD 518	cal BP 1,441 - 1,432	0.117										
⑤	382- 269-179	875	SD4 第6地点	206	石明 板材	1,565± 20	-26.05± 0.14	1,567±18	σ	cal AD 528 - cal AD 538	cal BP 1,422 - 1,412	0.127	PLD- 14586
										cal AD 430 - cal AD 541	cal BP 1,520 - 1,409	1.000	
									2 σ	cal AD 263 - cal AD 276	cal BP 1,687 - 1,674	0.182	
	cal AD 331 - cal AD 384	cal BP 1,619 - 1,566	0.818										
	cal AD 258 - cal AD 299	cal BP 1,692 - 1,651	0.268										
	cal AD 318 - cal AD 400	cal BP 1,632 - 1,550	0.732										
⑥	369- 391-73	699	SD4 第2地点	155	構架 材?	1,705± 20	-25.23± 0.14	1,705±18	σ	cal AD 242 - cal AD 260	cal BP 1,708 - 1,690	0.328	PLD- 14587
										cal AD 283 - cal AD 323	cal BP 1,667 - 1,627	0.672	
									2	cal AD 242 - cal AD 343	cal BP 1,723 - 1,607	1.000	
	cal AD 255 - cal AD 267	cal BP 1,695 - 1,683	0.177										
	cal AD 271 - cal AD 304	cal BP 1,679 - 1,646	0.503										
	cal AD 314 - cal AD 335	cal BP 1,636 - 1,615	0.320										
⑦	382- 238-257		SD4 第4地点	84	扉板	1,760± 20	-25.72± 0.20	1,759±20	σ	cal AD 243 - cal AD 354	cal BP 1,707 - 1,596	0.961	PLD- 14588
										cal AD 227 - cal AD 343	cal BP 1,723 - 1,607	1.000	
									2 σ	cal AD 243 - cal AD 354	cal BP 1,707 - 1,596	0.961	
	cal AD 243 - cal AD 354	cal BP 1,707 - 1,596	0.961										
	cal AD 367 - cal AD 380	cal BP 1,583 - 1,570	0.039										

^{14}C 濃度の変動、及び半減期の違い (^{14}C の半減期 5730±40年) を校正することである。暦年校正に関しては、本来10年単位で表すが通例であるが、将来的な暦年校正プログラムや暦年校正曲線の改正時の再計算、再検討に対応するため、1年単位で表記している。本分析では、北半球の大気中炭素に由来する校正曲線を用い、暦年校正結果は測定誤差 σ 、2 σ (σ は統計的に真の値が68%の確率で存在する範囲、2 σ は真の値が95%の確率で存在する範囲)の値を示す。表中の相対比(確立分布)とは、 σ 、2 σ の範囲をそれぞれ計算された校正年代が複数の年代幅を示す場合に、各年代幅の範囲内で真の値が存在する確率の総和を1とし各年代幅における確率を相対的に示したものである。

3. 結果

同位体効果による補正を行った測定結果を①～③については第102・103表、④～⑧については第104表に示す。

木製品の補正年代及び暦年校正結果(σ)は、①漆原木が1,450±30BP・calAD590-643、②扉が1,690±30BP・calAD264-402、③板材が1,550±30BP・calAD435-555、④板材が1,590±20yrBP・calAD427-533、⑤板材が1,565±

20yrBP・calAD436-538、⑥横架材が1,705±20yrBP・calAD263-384、⑦扉板が1,760±20yrBP・calAD242-323、⑧板材が1,735±20yrBP・calAD255-335である。

(3) 大型植物遺体同定

1. 試料

試料は、古墳時代中～後期の大溝跡(第4号溝跡)採取された葉が混じる土壌(第106表1)と、同川跡内から出土した種実遺体(第106表2～11)である。なお、第5号住居跡は、試料が存在しなかったことから、上記した川跡から出土した種実遺体(第106表12)を代替試料として分析に供している。試料の詳細は、結果と共に第106表に記す。

2. 分析方法

土壌試料(第106表1)は、水に浸し、面相筆を用いて葉を可能な限り抽出した後、土壌(湿重量670g)を粒径0.5mmの篩を通して水洗する。篩内の試料を粒径別にシャーレに集めて双眼実体顕微鏡下で観察し、ピンセットや面相筆を用いて同定可能な種実や主に先端部や基部が残存している葉などの大型植物遺体を抽出する。葉の表面に付いた泥を、双眼実体顕微鏡下で面相筆を用いて壊

第106表 大型植物遺体同定結果

番号	遺体名	フラット	取上No	分類群	部位	状態	個数	計測値 (mm)			備考	
								長さ	幅	厚さ		
1	SD4	ZU14		モミ属	葉	破片	2	-	-	-	先端部	
			クワ属	枝	破片	1	-	-	-			
			カヅノキ属	枝	破片	1	-	-	-			
			バウ属	葉実	破片	1	-	-	-			
			フジ	小葉	破片	2	-	-	-			
			ブドウ属	種子	完形	1	-	-	-	先端部5, 基部17, 両端欠損11		
			ノブドウ	種子	完形	1	-	-	-			
			タラノキ	枝	破片	3	-	-	-			
			タラノキ	枝	破片	1	-	-	-			
			クヤマウコギ近縁種	枝	完形	2	-	-	-			
			エゴノキ	種子	破片	1	-	-	-			
			ニワトコ	枝	破片	9	-	-	-			
			ニワトコ	枝	破片	5	-	-	-			
			広葉樹	葉	破片	1	-	-	-			
			イネ	穎	破片	6	-	-	-	1個基部		
			イネ	穎	破片	1	-	-	-	基部		
			エノコログサ属	葉実	完形	4	-	-	-			
			イネ科	葉実	破片	1	-	-	-			
			ミクリ属	葉実	完形	1	-	-	-			
			カヤツリグサ科	葉実	破片	1	-	-	-			
			カヤツリグサ科	葉実	破片	1	-	-	-			
			カナムグラ	枝	破片	7	-	-	-			
			イラクサ科	葉実	完形	8	-	-	-			
			ギンギン属	花蕾	完形	1	-	-	-			
			イヌタデ近縁種	葉実	完形	1	-	-	-			
			イシヒキリ近縁種	葉実	破片	2	-	-	-			
			タデ属	葉実	完形	1	-	-	-			
			タデ属	葉実	完形	1	-	-	-			
マルミノヤマゴボウ	種子	破片	2	-	-	-						
ナデシコ科	種子	完形	5	-	-	-						
アカザ科	種子	完形	2	-	-	-						
ヒユ科	種子	完形	5	-	-	-						
ヒユ科	種子	破片	1	-	-	-						
トウゴクサハノオ	種子	完形	3	-	-	-						
キジムシロ類*	枝	破片	1	-	-	-						
ヒメミカンソウ	種子	完形	1	-	-	-						
ゴキツル	種子	破片	3	-	-	-						
ヤブシラミ	葉実	破片	3	-	-	-						
セリ科	葉実	破片	1	-	-	-						
イヌコウジュ属	葉実	完形	1	-	-	-						
ハダカホオズキ近縁種	種子	完形	1	-	-	-						
ナス科	種子	破片	1	-	-	-						
メナメミ属	葉実	破片	1	-	-	-						
不明種実			1	-	-	-						
2	SD4	F14	953	モモ	枝	完形	1	24.38	19.56	15.77		
							食痕	1	26.65	-	18.72	食痕縦合線、径1.6×1.3cm
3	SD4	F14	952	トチノキ	葉実	完形	1	-	-	-	径3cm, 食痕頂部: 径3.5mm	
							破片	1	-	-	-	大きさ2.7cm
4	SD4	F14.15	944	ゴキツル	種子	破片	8	-	-	-	最大7.7mm, 直径1個体分	
				オニグルミ	枝	完形	食痕	1	34.9	29.08	-	食痕側面、径1.8×2.1cm
5	SD4	F14	951	モモ	枝	完形	4	31.78	24.05	18.23		
								26.67	23	17.4		
								25.19	20.67	16.06		
								22.45	18.23	14.99		
								24.74	20.13	15.48		
								24.6+	20.11	14.77	食痕頂部	
6	SD4	F6		オニグルミ	枝	破片	1	44.21	27.28	-	扁平	
							完形	1	21.47	15.9	14.17	
7	SD4	ZW10	943	モモ	枝	完形	食痕	1	21.88	-	15.02	食痕側面縦合線
8	SD4	ZW10	946	モモ	枝	完形	1	21.8	19.23	15.69		
9	SD4第4地点		958	モモ	枝	完形	1	23.27	18.52	15.34		
							破片	1	21.92	18.52	-	扁平
10	SD4第4地点	A6西	957	モモ	枝	完形	1	22.07	19.37	15.66	表面摩耗	
11	SD4	ZT14	18	トチノキ	種子	破片	2	-	-	-	径合し1/2個体、径3.0cm	
12	SD4	ZW9	-55	モモ	枝	完形	食痕	1	22.78	-	16.47	食痕側面縦合線

*キジムシロ類: キジムシロ属-ヘビイチゴ属-オランダイチゴ属

れない程度除去する。

抽出された大型植物遺体を双眼実体顕微鏡下で観察する。現生標本および濱野(2005)、石川(1994)、中山ほか(2000)等の図鑑との対照から、種類と部位を同定し、個数を数えて表示する。実体顕微鏡下による区別が困難な複数種間には「-」で結んで表示する。分析後は、大型植物遺体等を種類別に容器に入れ、70%程度のエタノール溶液で液浸し、保管する。葉は透明なフィルム(エスカル:三菱ガス化学株式会社製)に挟んで保管する。

3. 結果

結果を第106表に示す。古墳時代中～後期の川跡(第4号溝跡)からは、裸子植物1分類群(針葉樹のモミ属)、被子植物47分類群(落葉広葉樹のオニグルミ、クワ属、カジノキ属、バラ属、モモ、フジ、トチノキ、ブドウ属、ノブドウ、タラノキ、ケヤマウコギ近似種、エゴノキ、ニワトコ、草本のイネ、エノコログサ属、イネ科、ミクリ属、カヤツリグサ科、カナムグラ、イラクサ科、ギシギシ属、イヌタデ近似種、イシミカワ近似種、タデ属、マルミノヤマゴボウ、ナデシコ科、アカザ科、ヒユ科、トウゴクサバノオ、ヒメミカンソウ、ゴキヅル、ヤブジラミ、セリ科、イヌコウジュ属、ハダカホオズキ近似種、ナス科、メナモミ属)の種実122個、葉37個、計159個が検出されたほか、不明種実1個、広葉樹の葉の破片1個が確認された。

栽培種は、モモの核が第4号溝跡(第106図2、5、7、8、12)から12個、第4号溝跡第4地点(第106表9、10)から3個、さらに、イネの穎が第4号溝跡(第106表1)から7個確認された。以下に、各分類群の形態的特徴を記す。

<木本>

・モミ属(*Abies*) マツ科

葉の破片が検出された。灰褐色、破片の長さは0.6cm、最大幅は先端近くで2mm程度の線形で扁平。先端部は凹頭、基部を欠損する。葉上面には

中肋に沿って凹む溝があり、裏面の溝の両側に白色の気孔帯が配列する。

・オニグルミ(*Juglans mandshurica* Maxim. var. *sachalinensis* (Miyabe et Kudo) Kitamura) クルミ科クルミ属

核が検出された。灰褐色、広卵形で頂部が尖り、1本の明瞭な縦の縫合線がある。完形個体(第106表5)は、長さ34.9mm、幅29.08mm。側面に、齧歯類による食痕と考えられる径18×21mmの歪な円形の孔が開いている。縫合線に沿って半分に割れた破片(第106表6)は、長さ44.21mm、幅27.28mmを測る。核は木質、硬く緻密で、表面には縦方向に溝状の浅い彫紋が走り、ごつごつしている。

・カジノキ属(*Broussonetia*) クワ科

核の破片が検出された。灰黄褐色、完形ならば長さ1.5–2.5mm、幅1–2mm、厚さ0.5–1.5mm程度のやや扁平な直方体状広倒卵体。側面は狭倒卵形で、他方は稜になり薄い。基部一端に突起がある。表面には疣状の微細な隆起が散在する。破片は、大きさ2mm程度。

・クワ属(*Morus*) クワ科

種子が検出された。灰褐色、長さ2mm、幅1.7mm、厚さ1.0mm程度の三角状広倒卵体。側面は狭倒卵形で、他方は稜になりやや薄い。一辺が鋭利で、基部に爪状突起を持つ。表面には微細な網目模様がありざらつく。本地域に分布するクワ属は、ヤマグワ(*M. australis* Poir.)と、栽培種のマグワ(*M. alba* L.)の2種があるが、実体顕微鏡下観察による両種の判別は困難であることから、クワ属にとどめている。

・バラ属(*Rosa*) バラ科

果実の破片が検出された。灰褐色、長さ3.7mm、径1.8mm程度の三稜状倒卵体。側面は半広倒卵形。腹面は鈍稜があり、稜上にある浅い1個の縦溝に沿って割れている。果皮表面は粗面。

・モモ(*Prunus persica* Batsch) バラ科サクラン属

核(内果皮)が検出された。灰褐色、やや扁平

な広楕円体。大きさは、最大(第106表5)で長さ31.78mm、幅24.05mm、厚さ18.23mm、最小(第106表8)で長さ21.8mm、幅19.23mm、厚さ15.69mmを測る。頂部は尖り、基部は切形で中央部に湾入した臍がある。1本の明瞭な縦の縫合線上が発達し、背面正中線上に細い縦隆条が、腹面正中線には浅い縦溝とその両側に幅の狭い帯状部がある。縫合線に沿って半分に割れた破片や、縫合線上に食痕がある個体がみられる。内果皮は厚く硬く、表面は縦に流れる不規則な線状の深い窪みがあり、全体として粗いしわ状にみえる。内側表面は平滑で、種子1個が入る楕円形の窪みがある。

・フジ (*Wisteria floribunda* (Willd.) DC.) マメ科フジ属

長さ20–30cmの奇数羽状複葉を構成する11–19枚の小葉が検出された。小葉は淡灰褐色、質が薄く、長さ4–6cm、幅2–2.5cm程度の狭卵形。葉柄は0.3–0.4cm。先端部は鋭く尖り、頂部は鈍頭。基部はほぼ円形で左右非対称。側脈は5–9対で葉縁に達しない。葉縁は全縁で大きな波状。

・トチノキ (*Aesculus turbinata* Blume) トチノキ科トチノキ属

種子の破片と果実が検出された。種子は完形ならば偏球体で、表面にはほぼ赤道面を蛇行して一周する特徴的なカーブを境に、不規則な流理状模様がある光沢の強い黒色の上部と、粗面で光沢のない灰褐色の下部の着点に別れる。破片2個は接合し、径3.9cm程度、約1/2個体となる。種皮は薄く硬く、割れ方は不規則。

果実は灰褐色、径3cm程度の歪な倒卵体。頂部はやや尖り、基部は切形。基部と頂部を結ぶ3本の溝に沿って割れた破片は、大きさ27mm、厚さ4mm程度。果皮は厚く弾力があり、表面には皮目状の斑点がある。完形個体の頂部には、食痕と思われる径3.5mm程度の円形の孔がみられる。

・ブドウ属 (*Vitis*) ブドウ科

種子が検出された。灰褐色、長さ4.2mm、幅3.5mm、

厚さ2.5mm程度の広倒卵体、側面視は半広倒卵形。基部は細く嘴状に尖る核嘴がある。背面正中線の頂部から長さ3mm、幅1mm程度の卵形の合点があり、細く浅い溝に囲まれる。腹面正中線は(鈍)稜をなし、細い筋が走る。正中線の左右には、各1個の長さ2.5mm、幅0.5–0.7mm程度の倒皮針形で深く窪む核窪がある。種皮表面は粗面。

・ノブドウ (*Ampelopsis brevipedunculata* (Maxim.) Trautv.) ブドウ科ノブドウ属

種子が検出された。灰褐色、長さ3.8mm、径4mm程度の広倒卵体、側面視は半広倒卵形。基部は細く嘴状に尖る核嘴があり、腹面側の先に臍がある。背面は、正中線上の頂部から長さ3mm、幅1.2mm程度のU字状の合点がある。腹面は正中線上に(鈍)稜をなし、細い筋が走る。正中線の左右には、各1個の長さ2mm、幅0.5–0.7mm程度の倒皮針形で深く窪む核窪がある。種皮表面は粗面。

・タラノキ (*Aralia elata* (Miq.) Seemann) ウコギ科タラノキ属

核(内果皮)が検出された。灰褐色、長さ2.5mm、幅1.7mm程度のやや偏平な半楕円体。腹面はほぼ直線状で、片端に突起がある。背面には数本の浅い溝が走る。表面は粗面。

・ケヤマウコギ近似種 (*Acanthopanax cf. divaricatus* (Sieb. et Zucc.) Seem.) ウコギ科ウコギ属

核(内果皮)が検出された。灰褐色、長さ4.5mm、幅2.8mm、厚さ1mm程度のやや偏平な半長楕円体。腹面は幅0.5mm程度の広線形で、片端に突起がある。正中線上は溝がある。表面は海綿状で粗面。

・エゴノキ (*Styrax japonica* Sieb. et Zucc.) エゴノキ科エゴノキ属

種子の破片が検出された。黒灰色、完形ならば長さ0.8–1.2cm、径6.5–7mm程度の卵体。頂部から基部にかけて3本程度の縦溝と縦隆条がある。基部は斜切形で、灰褐色で粗面の着点がある。破片は頂部で大きさ4.7mm程度。種皮は硬く断面は

櫛状。表面にはハクウンボク (*S. obassia* Sieb. et Zucc.) よりもやや粗い粒状網目模様がある。内面は灰褐色で粗面。

・ニワトコ (*Sambucus racemosa* L. subsp. *sieboldiana* (Miq.) Hara) スイカズラ科ニワトコ属

核 (内果皮) が検出された。黄灰褐色、長さ2.4mm、幅1.4mm 程度のやや扁平な広倒卵体。背面は丸みがあり、腹面の正中線上は鈍稜をなす。基部はやや尖り、腹面正中線上に小さな孔がある。内果皮はやや硬く、表面には横皺状模様が発達する。

<草本>

・イネ (*Oryza sativa* L.) イネ科イネ属

穎の破片が検出された。淡-灰褐色、1個炭化しており黒色。完形ならば、長さ6-7.5mm、幅3-4mm、厚さ1.5-2mm 程度のやや扁平な長楕円体。基部に斜切状円柱形の果実序柄と1対の護穎を有し、その上に外穎 (護穎と言う場合もある) と内穎がある。外穎は5脈、内穎は3脈をもち、ともに舟形を呈し、縫合してやや扁平な長楕円形の稲稃を構成する。穎は柔らかく、表面には顆粒状突起が縦列する。破片は大きさ2.3mm 程度。

・エノコログサ属 (*Setaria*) イネ科

果実が検出された。灰黄褐色、長さ2.3mm、径1.3mm 程度の半偏球体。背面は丸みがあり腹面は扁平。果皮表面には横方向に目立つ網目模様が配列する。

・イネ科 (*Gramineae*)

果実が確認された。灰褐色、長さ2.3mm、径1.2mm 程度の狭卵-半偏球体で、背面は丸みがあり腹面は扁平。果皮表面は平滑で微細な縦長の網目模様が縦列する。

・ミクリ属 (*Sparganium*) ミクリ科

果実が検出された。灰褐色、長さ2.8mm、径1.7mm 程度の倒卵体。頂部は尖り、基部は切形。果皮は海綿状で表面には数本の隆条が縦列する。

・カヤツリグサ科 (*Cyperaceae*)

果実が検出された。灰黒褐色、長さ1.8mm、幅1.3mm 程度のやや扁平な倒卵形。頂部の柱頭部分は尖り、基部はやや伸びて切形。果皮表面には微細な網目模様がある。スゲ属アゼスゲ節 (*Carex* Sect. *Carex*) に似る。

・カナムグラ (*Humulus japonicus* Sieb. et Zucc.) クワ科カラハナソウ属

核の破片が検出された。暗灰褐色、完形ならば径4-4.5mm、厚さ1mm 程度の側面観は円形、上面観は両凸レンズ形。破片は縦方向に一周する稜に沿って割れた半分未満で大きさ3.8mm 程度。基部はやや尖り、頂部は切形で淡黄褐色、径1mm 程度のハート形の突起がある。表面は粗面で断面は櫛状。

・イラクサ科 (*Urticaceae*)

果実が検出された。淡灰褐色、長さ1.2mm、幅0.9mm 程度のやや扁平な非対称広倒卵体。両端は尖り、中央部は両凸レンズ形。果皮表面は粗面。

・ギシギシ属 (*Rumex*) タデ科

果実を包む花被が検出された。灰褐色、長さ5.5mm、径3.7mm 程度の三稜状円卵体。粗い網目模様をなし、縁には歯牙がある。中肋は瘤状に膨れる。内部に長さ2-3mm、径1.5-2mm 程度の鋭く三稜を持つ広卵体の果実1個が入る。

・イヌタデ近似種 (*Polygonum* cf. *longisetum* De Bruyn) タデ科タデ属

果実が検出された。黒色、長さ2.1mm、径1.3mm 程度の丸みのある三稜状卵体。頂部は尖り、基部は切形で灰褐色、径0.5mm 程度の萼がある。果皮表面は平滑で光沢があり、灰褐色で粗面の花被が残存する。

・イシミカワ近似種 (*Polygonum* cf. *perfoliatum* L.) タデ科タデ属

果実の破片が検出された。黒色、完形ならば、長さ4mm、径3mm 程度の広楕円状球形。基部に淡褐色の萼片が残る。破片は基部の一部が残存し、大きさ2.5mm 程度。果皮表面は粗面。ママコノシ

リスグイ (*P. senticosum* (Meisn.) Fr. et Sav.)
の果実の破片の可能性もある。

・タデ属 (*Polygonum*) タデ科

果実が検出された。黒褐色、長さ2.5mm、幅2mm程度のレンズ状広卵体。頂部はやや尖り、基部は切形。果皮表面はやや平滑。

・マルミノヤマゴボウ (*Phytolacca japonica* Makino) ヤマゴボウ科ヤマゴボウ属

種子が検出された。黒色、長さ2.8mm、幅3.3mm、厚さ1.5mm程度の両凸レンズ状腎円体。基部一端が大きく(径1mm程度)凹み、臍がある。種皮表面は平滑で、浅い細線状隆条が臍を取り囲むように同心円状に配列する。

・ナデシコ科 (*Caryophyllaceae*)

種子が検出された。灰褐色、径1mm程度のやや扁平な腎状円形。基部は凹み、臍がある。種皮は薄く表面には瘤-針状突起が臍から同心円状に配列する。

・アカザ科 (*Chenopodiaceae*)

種子が検出された。黒色、径1mm程度のやや扁平な円盤状。基部は凹み、臍がある。種皮表面には臍を取り囲むように微細な網目模様放射状に配列し、光沢がある。

・ヒユ科 (*Amaranthaceae*)

種子が検出された。黒色、径1.2mm程度の扁平な円盤状。縁は稜状で、基部は凹み臍がある。種皮表面には臍を取り囲むように微細な網目模様が配列し、光沢がある。

・トウゴクサバノオ (*Dichocarpum trachyspermum* (Maxim.) W. T. Wang et Hsiao)

キンボウゲ科シロカネソウ属

種子が検出された。淡灰褐色、径0.7mm程度の偏球体。種皮は薄く、表面には小突起が密布しざらつく。

・キジムシロ属-ヘビイチゴ属-オランダイチゴ属 (*Potentilla - Duchesnea-Fragaria*) バラ科核(内果皮)の破片が検出された。淡灰褐色、長

さ1mm、幅0.7mm程度のやや扁平な腎体で、破片は半分に割れた1片である。内果皮は厚く硬く、表面は粗面で数個の海綿状隆条が斜上する。

・ヒメミカンソウ (*Phyllanthus matsumurae* Hayata) トウダイグサ科コミカンソウ属

種子が検出された。灰褐色、長さ1.1mm、径0.7mm程度の半広倒卵体。背面は丸みを帯び、腹面の正中線は稜状。基部正中線上に細長い臍がある。種皮表面は粗面。

・ゴキツル (*Actinostemma lobatum* (Maxim.) Maxim.) ウリ科ゴキツル属

種子の破片が検出された。灰褐色、完形ならば長さ1.2cm、幅8mm、厚さ4mm程度のやや扁平な広倒卵体で切形の基部に臍と発芽口がある。背面は丸みを帯び、表面は粗面で不明瞭な大型網目模様がある。腹面はやや平ら。破片は計約1個体分。大きさは最大7.7mm程度(上半部欠損)。

・ヤブジラミ (*Torilis japonica* (Houtt.) DC.) セリ科ヤブジラミ属

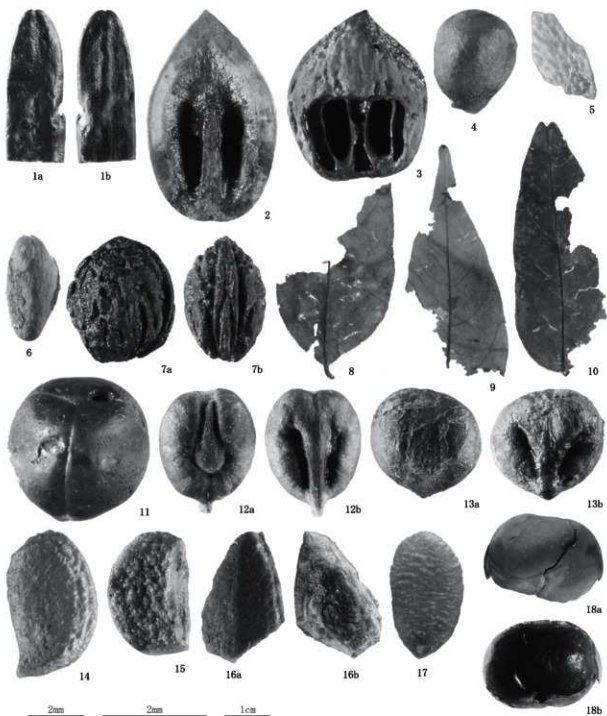
果実の破片が検出された。灰黄褐色、破片は長さ3mm、幅1mm以上、厚さ0.5mm程度。完形ならば扁平な長楕円体で両端は尖る。背面に3個の幅0.2mm程度の縦隆条が配列し、それらの間に半透明で茶褐色の油管が配列する。表面には0.5mm程度の鈎状の剛毛が密生する。なお、剛毛が欠損する個体をセリ科 (*Umbelliferae*) にとどめている。

・イヌコウジュ属 (*Mosla*) シソ科

果実が検出された。灰褐色、径1.4mm程度の倒広卵体。基部には臍点があり、舌状にわずかに突出する。果皮はやや厚く硬く、表面は浅く大きく明瞭な網目模様が不規則に配列する。

・ハダカホオズキ近似種 (*Tubocapsicum cf. anomalum* (Franch. et Savat.) Makino) ナス科ハダカホオズキ属

種子が検出された。淡灰褐色、計1.3mm程度の扁平でやや歪な広卵形。基部は切形でややくびれた部分に臍がある。種皮表面には比較的大きく深

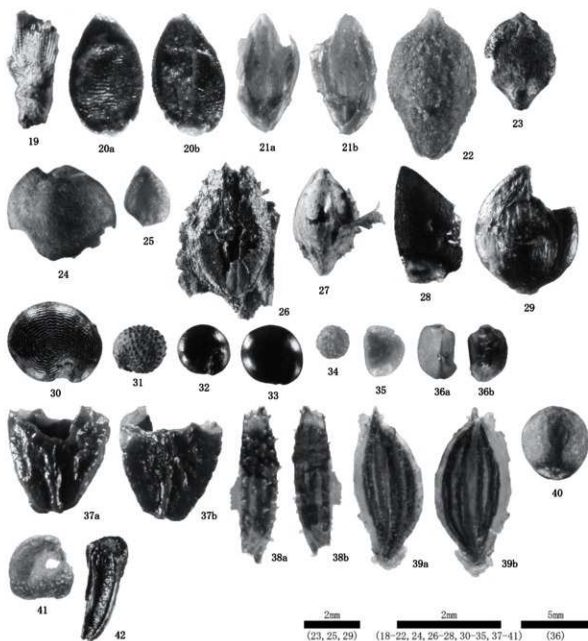


(1, 6, 12, 13, 15, 16, 18) (4, 5, 14, 17)

(2, 3, 7-11)

- | | |
|--------------------------|-----------------------|
| 1. モミ属 葉 (第106表1) | 2. オニグルミ 核 (第106表6) |
| 3. オニグルミ 核 (第106表5) | 4. クワ属 核 (第106表1) |
| 5. カジノキ属 核 (第106表1) | 6. パラ属 果実 (第106表1) |
| 7. モモ 核 (第106表5) | 8. フジ 小葉 (第106表1) |
| 9. フジ 小葉 (第106表1) | 10. フジ 小葉 (第106表1) |
| 11. トチノキ 果実 (第106表3) | 12. ブドウ属 種子 (第106表1) |
| 13. ノブドウ 種子 (第106表1) | 14. タラノキ 核 (第106表1) |
| 15. ケヤマウコギ近似種 核 (第106表1) | 16. エゴノキ 種子 (第106表1) |
| 17. ニワトコ 核 (第106表1) | 18. トチノキ 種子 (第106表11) |

第334図 城敷遺跡の大型植物遺体 (1)



19. イネ 穎(第106表1)
 21. イネ科 果実(第106表1)
 23. カヤツリグサ科 果実(第106表1)
 25. イラクサ科 果実(第106表1)
 27. タデ属 果実(第106表1)
 29. タデ属 果実(第106表1)
 31. ナデシコ科 種子(第106表1)
 33. ヒユ科 種子(第106表1)
 35. キジムシロ属-ヘビイチゴ属-オランダイチゴ属 核(第106表1)
 36. ヒメミカンソウ 種子(第106表1)
 38. ヤブジラミ 果実(第106表1)
 40. イヌコウジュ属 果実(第106表1)
 42. メナモミ属 果実(第106表1)
20. エノコログサ属 果実(第106表1)
 22. ミクリ属 果実(第106表1)
 24. カナムグラ 核(第106表1)
 26. キシギシ属 花被(第106表1)
 28. タデ属 果実(第106表1)
 30. マルミノヤマゴボウ 種子(第106表1)
 32. アカザ科 種子(第106表1)
 34. トウゴクサバノオ 種子(第106表1)
 37. ゴキツル 種子(第106表4)
 39. セリ科 果実(第106表1)
 41. ナス科 種子(第106表1)

第335図 城敷遺跡の大型植物遺体(2)

い星型状網目模様が臍から同心円状に発達する。なお、種皮表面の網目模様は微細な個体をナス科(Solanaceae)として区別している。

・メナモミ属(Siegesbeckia) キク科

果実が検出された。黒褐色、長さ2mm、径1.7mm程度の狭三角状菱形体で腹面方向へ湾曲する。頂部には円形の臍がある。果皮表面は海綿状で浅い縦溝と微細な網目がある。網目の境壁は短く突出し、全体に微細な突起がある。

4. 考察

古墳時代中期～後期の川跡(第4号溝跡)より確認された種実遺体群のうち、単体で検出された種実では、栽培種のモモの核が多く確認された。モモの核は、破片が1点確認されたほかは全て完形であったことから、果実を利用した後の残渣等に由来する可能性がある。モモ以外では、トチノキ、オニグルミ、ゴキヅルが確認された。トチノキやオニグルミは川沿いに生育する落葉高木であり、ゴキヅルも水辺に生育するつる植物であることから、川沿いに生育した個体由来の可能性もある。また、トチノキやオニグルミは、堅果が可食できることから、当時植物質食糧として採取・利用されていた可能性もある。

一方、土壌試料における種実遺体群は、栽培種のイネの穎が確認されたほか、木本では針葉樹のモミ属、落葉藤本のフジの葉、落葉高木のクワ属やカジノキ属、落葉小高木のエゴノキ、落葉低木のバラ属、やタラノキ、ケヤマウコギ近似種、ニワトコ、落葉藤本のブドウ属やノブドウの種実が確認された。また、草本類では、水生植物のミクリ属、水湿地に生育するつる性植物のゴキヅル、中生植物でつる性植物のカナムグラやイシミカワ近似種、中生植物のエノコログサ属やイネ科、カヤツリグサ科、イラクサ科、ギシギシ属、イヌタデ近似種、タデ属、マルミノヤマゴボウ、ナデシコ科、アカザ科、ヒユ科、トウゴクサバノオ、ヒメミカンソウ、ヤブジラミ、セリ科、イヌコウジ

ユ属、ハダカホオズキ近似種、ナス科、メナモミ属が確認された。

針葉樹のモミ属は、隣接する反町遺跡の建築材等に多く確認されており、遺跡の近傍にモミ属を供給する森林資源の存在が指摘されている(能城ほか2009)。モミ属は、山地の崖地や扇状地上などによく見られる種類であることから、周囲の段丘崖等に生育していた可能性がある。広葉樹では、河畔林・溪畔林を構成する分類群や、林縁部などの明るく開けた場所に先駆的に侵入する低木類や藤本類が検出されたことから、これらは河川沿いの林分やその周縁等に生育した樹木由来すると考えられる。また、草本類も明るく開けた場所に生育する、いわゆる人里植物に属する分類群が多いことから、河川沿いや周辺の水湿地等の草地や、上記した樹木が生育する林縁部等に生育した個体由来すると考えられる。

(4) 骨同定

1. 試料

試料は、古墳時代中～後期の川跡(第4号溝跡)や、古墳時代後期の第62号住居跡から出土した骨貝類12試料(第108表1～12)である。

2. 分析方法

試料に付着した砂分や泥分を乾いた筆・竹串、あるいは水に浸した筆で静かに可能な限り除去する。砂分や泥分を除去すると骨の崩壊が進むと思われる脆弱な試料については、土壌がついた状態のままに留めている。一部の試料については、一般工作用接着剤を用いて接合する。また、保存の悪い試料に関しては、有機溶剤で薄めた一般工作用接着剤を塗布して補強する。自然乾燥後、試料を肉眼で観察して形態的特徴から種類および部位の特定を行う。

3. 結果

検出された種類は、二枚貝綱1種類(イシガイ類)、哺乳綱3種類(イヌ・ウマ・ニホンジカ)である(第107表)。同定結果を第108表に示す。以下、

第107表 検出分類群一覧

軟体動物門	Phylum Mollusca
二枚貝綱	Class Bivalvia
古異歯亜綱	Suborder Palaeoheterodonta
イシガイ目	Order Unionoida
イシガイ科	Family Unionidae
イシガイ類	Gen. et. sp. indet.
脊椎動物門	Phylum Vertebrata
哺乳綱	Class Mammalia
ネコ目(食肉目)	Order Carnivora
ネコ亜目	Suborder Fissipedia
イヌ科	Family Canidae
イヌ	Canis familiaris
ウマ目(奇蹄目)	Order Perissodactyla
ウマ科	Family Equidae
ウマ	Equus caballus
ウシ目(偶蹄目)	Order Artiodactyla
シカ科	Family Cervidae
ニホンジカ	Cervus nippon

第109表 イヌ右下顎骨計測値(第108表10)

計測部位	計測値(mm)
下顎骨全長2(顎より)(Cm-id)	129±
下顎体長(M3後縁-id)	87±
下顎骨長(Cm-犬歯後縁)	116.9
下顎枝高(gov-cv)	51.9
下顎体高(M1中央)	24.5
下顎体厚(M1中央)	11.9
咬筋深さ	7.5

試料ごとに結果を記す。

・第108表1(第4号溝跡№10)

ウマの手中骨とみられる。両端が欠損する。この他に、遠位端の破片や骨体片がみられる。ピビアナイトが析出する。

・第108表2(第4号溝跡№11)

ウマの基節骨である。遠位端および近位端がわずかに破損する。この他に、部位不明の破片がみられる。ピビアナイトが析出する。

・第108表3(第4号溝跡№9)

ウマの左腕骨+尺骨である。遠位端が欠損する。近位端幅は66mm±である。土塊状でピビアナイトが析出する。この他に、土塊には両端が欠損する四肢骨が確認される。大きさ・太さなどから手中骨の可能性はある。

・第108表4(第4号溝跡№21)

大型獣類の四肢骨片である。両端が欠損する。ピビアナイトが析出する。

・第108表5(第4号溝跡)

イシガイ科の左設の殻皮、獣類の部位不明破片

第108表 骨貝類同定結果

番号	遺構名	プロット	集土	種類	部位	左右	部分	数量	計測値(mm)	備考			
1	SD4	ZW9	10	ウマ	手中骨		両端欠	1		ピビアナイト析出			
							遠位端片	1		ピビアナイト析出			
2	SD4	ZW9	11	ウマ	基節骨		破片	-		25.1g			
							破片	1		ピビアナイト析出			
							破片	9		ピビアナイト析出			
3	SD4	ZW9	9	ウマ	腕骨+尺骨	左	遠位端欠	1	Bp=66±	土塊状、亀裂片有			
							手中骨?	1		ピビアナイト析出			
							大型獣類	四肢骨	両端欠	1		ピビアナイト析出	
4	SD4	ZU14	21				破片	8+					
							破片	1		土塊状			
							破片	3		ピビアナイト析出			
							破片	2					
5	SD4	N1	15				イシガイ科	殻皮	左	破片	1		土塊状
							獣類	不明		破片	3		ピビアナイト析出
							植物遺体	不明		破片	2		
6	SD4	ZU15	7	ウマ/ウシ	四肢骨		両端欠	1					
							その他	残遺		-		35.0g	
							獣類	不明		破片	19+		土塊状
7	SD4	ZW9	51				破片	27+		焼骨			
8	S52カマド			獣類	不明		破片	27+					
9	SD4第4地点	A4東	8	ニホンジカ	尺骨	右	近位端	1					
10	SD4第4地点	A5東	81	イヌ	下顎骨	左	下顎枝欠	1		P2-M3補立			
							右	破片	1		P1-P4補立		
11	SD4第4地点	A5西		獣類	四肢骨		第1頸椎	破片	1				
							破片	1					
12	SD4第4地点	A5西	87	ニホンジカ	肘骨	右	遠位端	1	Bp=35.7				
							獣類	四肢骨	破片	1			
							不明		破片	1			
							植物遺体	不明	破片	3			
その他	残遺		-				65.3g						

である。イシガイ科の殻皮は、土塊にへばりつく。また獣類の骨片はピビアナイトが析出する。

・第108表6(第4号溝跡№7)

ウマ/ウシの四肢骨片である。両端が欠損する。

・第108表7(第4号溝跡№51)

獣類の部位不明破片である。土塊状である。

・第108表8(第62号住居跡カマド)

獣類の部位不明破片である。焼骨である。

・第108表9(第4号溝跡第4地点№8)

ニホンジカの右尺骨近位端片である。

・第108表10(第4号溝跡第4地点№81)

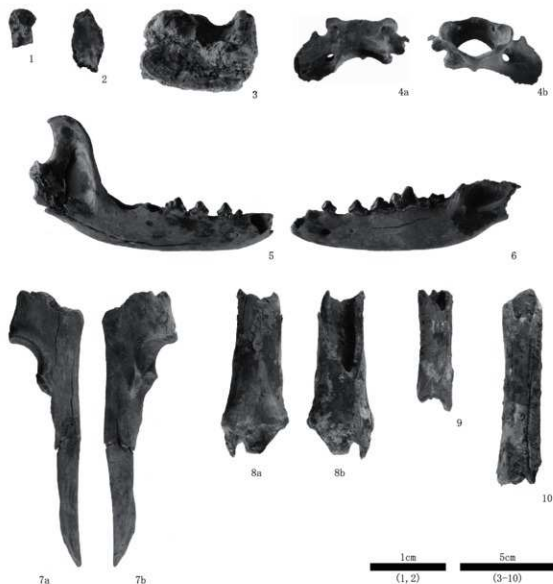
イヌの左右下顎骨および第1頸椎である。左下顎骨は下顎枝が欠損し、第1前臼歯~第3後臼歯が植立する。右下顎骨はわずかに破損する程度で比較的保存状態が良好で、第1~4前臼歯が植立する。

・第108表11(第4号溝跡第4地点)

獣類の四肢骨片である。

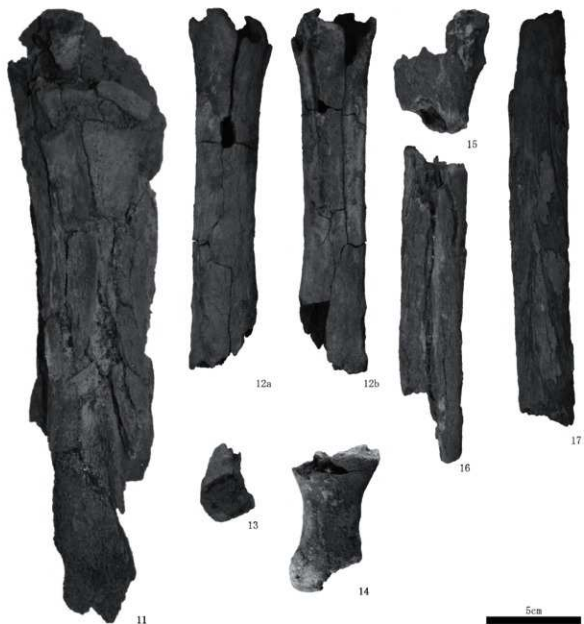
・第108表12(第4号溝跡第4地点№87)

ニホンジカの右脛骨遠位端、獣類の四肢骨片が



1. 獣類焼骨片(第108表8)
2. 獣類焼骨片(第108表8)
3. イシガイ科左殻皮(第108表5)
4. イヌ第1頸椎(第108表10)
5. イヌ右下顎骨(第108表10)
6. イヌ左下顎骨(第108表10)
7. ニホンジカ右尺骨近位端(第108表9)
8. ニホンジカ右脛骨遠位端(第108表12)
9. 獣類四肢骨(第108表11)
10. 獣類四肢骨(第108表12)

第336図 城敷遺跡の出土骨貝類(1)



- | | |
|-----------------------------|-----------------------|
| 11. ウマ左橈骨+尺骨, 中手骨? (第108表3) | 12. ウマ中手骨骨体 (第108表1) |
| 13. ウマ中手骨遠位端 (第108表1) | 14. ウマ基節骨 (第108表2) |
| 15. ウマ/ウシ四肢骨 (第108表6) | 16. ウマ/ウシ四肢骨 (第108表6) |
| 17. 大型獣類四肢骨 (第108表4) | |

第337図 城敷遺跡の出土骨貝類 (2)

確認される。ニホンジカの右脛骨は、遠位端幅35.7mmを計る。

4. 考察

古墳時代中期～後期の川跡（第4号溝跡）から出土した骨は、ピビアナイトが析出する。これは、地下水中の鉄分と骨のリン酸が化学反応を起こし、その後に酸化が進んで青緑色に変色したものであり、還元条件下にあったことを意味する。川跡内からは、イシガイ科の殻皮、ウマの左桡骨+尺骨・中手骨・中手骨？・基節骨、ウマ/ウシの四肢骨、大型獣類の四肢骨、獣類の部位不明破片が確認された。イシガイ科は、淡水性の二枚貝類であることから、川跡内に生育していた可能性がある。一方、ウマは、ZW9グリッドより多く確認される傾向が看守される。また、第108表3（第4号溝跡）では、左桡骨+尺骨に並んで中手骨の可能性ある

骨体が確認された。中手骨であるならば、上肢を屈曲させた状態が推定される。このウマは、左桡骨+尺骨の近位端幅が66mm前後であることから、西中川ほか(1991)に基づくと、体高110～115cm程度とトカラ馬程度の大きさが推定され、小型のウマであったと考えられる。

第108表9～12（第4号溝跡第4地点）からは、ニホンジカの尺骨と脛骨、イヌの左右下顎骨と第1頸椎が確認された。イヌは、頭蓋が存在していたと推定され、本来は1個体分が残存していた可能性もある。また、右下顎骨長が129mm前後を計る（第109表）ことから、中型犬程度の大きさと推定され（長谷部1952）、歯牙が全て萌出しているが歯牙の咬耗が顕著に進行していないことから若獣の可能性がある。

引用・参考文献

- 濱野周泰 2005 『原寸図鑑集つばでおぼえる樹木』 柏書房、334p.
- 長谷部言人 1952 『大骨』『古胡貝塚』埋蔵文化財発掘調査報告第一 文化財保護委員会 146～150.
- 石川茂雄 1994 『原色日本植物種子写真図鑑』石川茂雄図鑑刊行委員会 328p.
- 松井章 1997 『考古学から見た動物利用』『部落解放なら8』奈良県部落解放研究所 2～31.
- 中山至大・井之口希秀・南谷忠志 2000 『日本植物種子図鑑』東北大学出版会 642p.
- 西中川駿・本田道輝・松元光春 1991 『古代遺跡出土骨からみたわが国の牛、馬の渡来時期とその経路に関する研究』平成2年度文部省科学研究費補助金（一般研究B）研究成果報告書 99p.
- 能城修一・佐々木由香・村上由美子 2009 『反町遺跡出土木材の樹種』『東松山市 反町遺跡1（第2分冊）』埼玉県埋蔵文化財調査事業報告書第361集 315～343.

3. 城敷遺跡における放射性炭素年代 (AMS 測定)

(株) 加速器分析研究所

1. 測定対象試料

城敷遺跡は、埼玉県東松山市高坂347-1 他(北緯36° 00' 24"、東経140° 15' 38")に所在する。測定対象試料は、低地に形成された自然堤防に沿った埋没河川の調査で出土した建築部材や木製品から採取された木片で、第4号溝跡第4地点出土① IAAA-103033 (第382集第237図253)、② IAAA-103034 (第382集第238図258)、同第5地点出土③ IAAA-103035 (第382集第246図53)、④ IAAA-103036 (第382集第246図52)、同第6地点出土⑤ IAAA-103037 (第382集第267図168)、⑥ IAAA-103038 (第382集第262図149)、⑦ IAAA-103039 (第382集第268図175)、同第7地点出土⑧ IAAA-103040 (第382集第287図64) の合計8点である。建築部材、木製品の種類と木取りは調査担当者の認定、樹種は能城修一氏(森林総合研究所)の同定による(第101表)。処理、測定に用いる木片試料は、各建築部材、木製品の木取りを観察し、残存する限りで最外年輪に当たる部位から採取された。これらの試料が出土した同じ遺構の別地点では、古墳時代中期(～9世紀)の土器が出土している。

2. 測定の意義

河川跡内から出土した建築部材、木製品の使用年代、もしくは原材木の伐採年代を明らかにする。

3. 化学処理工程

(1) メス・ピンセットを使い、根・土等の付着物を取り除く。
(2) 酸-アルカリ-酸(AAA: Acid Alkali Acid)処理により不純物を化学的に取り除く。その後、超純水で中性になるまで希釈し、乾燥させる。AAA処理における酸処理では、通常1 mol/l (1M) の塩酸(HCl)を用いる。アルカリ処理で

は水酸化ナトリウム(NaOH)水溶液を用い、0.001Mから1Mまで徐々に濃度を上げながら処理を行う。アルカリ濃度が1Mに達した時には「AAA」、1M未満の場合は「AaA」と第110表に記載する。

(3) 試料を燃焼させ、二酸化炭素(CO₂)を発生させる。

(4) 真空ラインで二酸化炭素を精製する。

(5) 精製した二酸化炭素と鉄を触媒として水素で還元し、グラファイト(C)を生成させる。

(6) グラファイトを内径1mmのカソードにハンドプレス機で詰め、それをホイールにはめ込み、測定装置に装着する。

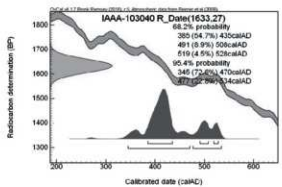
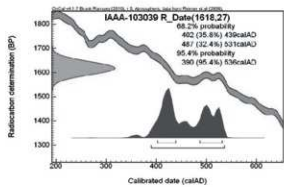
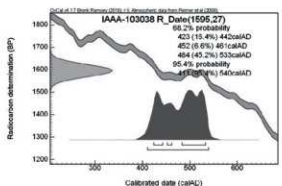
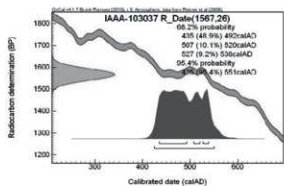
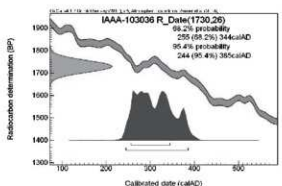
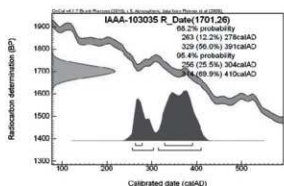
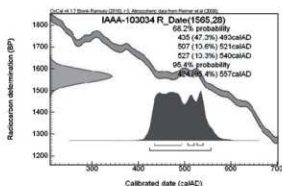
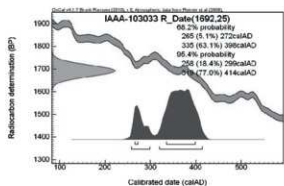
4. 測定方法

3MVタンデム加速器(NEC Pelletron 9SDH-2)をベースとした¹⁴C-AMS専用装置を使用し、¹⁴Cの計数、¹³C濃度(¹³C/¹²C)、¹⁴C濃度(¹⁴C/¹²C)の測定を行う。測定では、米国国立標準局(NIST)から提供されたシュウ酸(HOx II)を標準試料とする。この標準試料とバックグラウンド試料の測定も同時に実施する。

5. 算出方法

(1) $\delta^{13}\text{C}$ は、試料炭素の¹³C濃度(¹³C/¹²C)を測定し、基準試料からのずれを千分偏差(‰)で表した値である(第110表)。AMS装置による測定値を用い、表中に「AMS」と注記する。

(2) ¹⁴C年代(Libby Age: yrBP)は、過去の大气中¹⁴C濃度が一定であったと仮定して測定され、1950年を基準年(0yrBP)として遡る年代である。年代値の算出には、Libbyの半減期(5568年)を使用する(Stuiver and Polach 1977)。¹⁴C年代は $\delta^{13}\text{C}$ によって同位体効果を補正する必要がある。補正した値を第110表に、補正していない値



第338図 歴年較正年代グラフ

第110表 放射性炭素年代測定結果

番号	測定番号	施設・測定-器	器型番号	遺構名	取込	器種	試料形態	処理方法	$\delta^{13}\text{C}$ (‰) (AMS)	$\delta^{13}\text{C}$ 補正あり		
										Libby Age (yrBP)	pMC (%)	
①	IAAA-103033	382-237-253	13他	SD4 第4地点	44	建築部材(扇状)	木片(サクラ楓, 板目)	AAa	-26.89 ± 0.53	1,690 ± 30	81 ± 0.25	
②	IAAA-103034	382-238-258	63	SD4 第4地点	89	建築部材(棒)	木片(モミ楓, 丸木)	AAA	-27.03 ± 0.44	1,570 ± 30	82.29 ± 0.29	
③	IAAA-103035	382-246-53	545-1	SD4 第5地点	31	磨目(滑子)樹木炭	木片(イチイダシ, 板目)	AAa	-28.94 ± 0.6	1,700 ± 30	80.91 ± 0.27	
④	IAAA-103036	382-246-52	585	SD4 第5地点	30	磨目(滑子)樹木炭	木片(イチイダシ, 板目)	AAa	-25.54 ± 0.36	1,730 ± 30	80.62 ± 0.27	
⑤	IAAA-103037	382-267-168	540他	SD4 第6地点	258	建築部材(横架材)	木片(ムクノキ, 芯材材)	AAA	-27.91 ± 0.34	1,570 ± 30	82.27 ± 0.27	
⑥	IAAA-103038	382-262-149	560	SD4 第6地点	223	建築部材(横架材)	木片(サクラ楓, 板目)	AAa	-26.64 ± 0.62	1,600 ± 30	81.98 ± 0.28	
⑦	IAAA-103039	382-268-175	649他	SD4 第6地点	92	建築部材(横架材)	木片(スダジイ, 板目)	AAa	-26.76 ± 0.46	1,620 ± 30	81.75 ± 0.28	
⑧	IAAA-103040	382-287-64	664他	SD4 第7地点	336	建築部材(板材)	木片(スダジイ, 板目)	AAa	-25.98 ± 0.48	1,630 ± 30	81.6 ± 0.27	

[p4162]

第111表 暦年校正結果

番号	測定番号	施設・測定-器	器型番号	遺構名	取込	$\delta^{13}\text{C}$ 補正なし		暦年校正用 (yrBP)	1 σ 暦年代範囲		2 σ 暦年代範囲	
						Age (yrBP)	pMC (%)					
①	IAAA-103033	382-237-253	13他	SD4 第4地点	44	1,720 ± 20	80.69 ± 0.24	1,692 ± 25	285calAD - 272calAD (5.1%)	256calAD - 299calAD (18.4%)	319calAD - 414calAD (77.8%)	
									335calAD - 368calAD (63.1%)			
②	IAAA-103034	382-238-258	63	SD4 第4地点	89	1,600 ± 30	81.95 ± 0.28	1,565 ± 28	435calAD - 493calAD (47.3%)	507calAD - 521calAD (16.6%)	424calAD - 537calAD (95.4%)	
									527calAD - 540calAD (10.3%)			
									263calAD - 278calAD (12.2%)			
③	IAAA-103035	382-246-53	545-1	SD4 第5地点	31	1,730 ± 30	80.59 ± 0.25	1,701 ± 26	329calAD - 391calAD (56.0%)	256calAD - 304calAD (25.3%)	314calAD - 410calAD (69.9%)	
									263calAD - 278calAD (12.2%)			
									255calAD - 344calAD (68.2%)			
④	IAAA-103036	382-246-52	585	SD4 第5地点	30	1,740 ± 30	80.53 ± 0.26	1,730 ± 26	436calAD - 490calAD (48.9%)	244calAD - 385calAD (95.4%)	425calAD - 551calAD (95.4%)	
									507calAD - 520calAD (19.1%)			
									527calAD - 536calAD (9.2%)			
⑤	IAAA-103037	382-267-168	540他	SD4 第6地点	258	1,620 ± 30	81.78 ± 0.26	1,567 ± 26	423calAD - 443calAD (16.4%)	411calAD - 540calAD (95.4%)	425calAD - 551calAD (95.4%)	
									507calAD - 520calAD (19.1%)			
									527calAD - 536calAD (9.2%)			
⑥	IAAA-103038	382-262-149	560	SD4 第6地点	223	1,620 ± 30	81.71 ± 0.26	1,595 ± 27	452calAD - 461calAD (6.6%)	411calAD - 540calAD (95.4%)	425calAD - 551calAD (95.4%)	
									484calAD - 533calAD (45.2%)			
									402calAD - 436calAD (35.8%)			
⑦	IAAA-103039	382-268-175	649他	SD4 第6地点	92	1,650 ± 30	81.45 ± 0.26	1,618 ± 27	487calAD - 531calAD (32.4%)	390calAD - 536calAD (95.4%)	425calAD - 551calAD (95.4%)	
									385calAD - 435calAD (54.7%)			
									491calAD - 506calAD (8.9%)			
⑧	IAAA-103040	382-287-64	664他	SD4 第7地点	336	1,650 ± 30	81.43 ± 0.26	1,633 ± 27	519calAD - 528calAD (4.5%)	345calAD - 470calAD (72.6%)	425calAD - 551calAD (95.4%)	
									477calAD - 534calAD (22.8%)			

[参考値]

を参考値として第111表に示した。 ^{14}C 年代と誤差は、下1桁を丸めて10年単位で表示される。また、 ^{14}C 年代の誤差 ($\pm 1\sigma$) は、試料の ^{14}C 年代がその誤差範囲に入る確率が68.2%であることを意味する。

(3) pMC (percent Modern Carbon) は、標準現代炭素に対する試料炭素の ^{14}C 濃度の割合である。pMCが小さい (^{14}C が少ない) ほど古い年代を示し、pMCが100以上 (^{14}C の量が標準現代炭素と同等以上) の場合 Modern とする。この値も $\delta^{13}\text{C}$ によって補正する必要があるため、補正した値を第110表に、補正していない値を参考値として第111表に示した。

(4) 暦年校正年代とは、年代が既知の試料の ^{14}C

濃度を元に描かれた校正曲線と照らし合わせ、過去の ^{14}C 濃度変化などを補正し、実年代に近づけた値である。暦年校正年代は、 ^{14}C 年代に対応する校正曲線上の暦年代範囲であり、1標準偏差 ($1\sigma=68.2\%$) あるいは2標準偏差 ($2\sigma=95.4\%$) で表示される。グラフの縦軸が ^{14}C 年代、横軸が暦年校正年代を表す。暦年校正プログラムに入力される値は、 $\delta^{13}\text{C}$ 補正を行い、下1桁を丸めない ^{14}C 年代値である。なお、校正曲線および校正プログラムは、データの蓄積によって更新される。また、プログラムの種類によっても結果が異なるため、年代の活用にあたってはその種類とバージョンを確認する必要がある。ここでは、暦年校正年代の計算に、IntCal09データベース

(Reimer et al. 2009) を用い、OxCalv4.1校正プログラム (Bronk Ramsey 2009) を使用した。暦年校正年代については、特定のデータベース、プログラムに依存する点を考慮し、プログラムに入力する値とともに参考値として第111表に示した。暦年校正年代は、 ^{14}C 年代に基づいて校正 (calibrate) された年代値であることを明示するために「cal BC/AD」(または「cal BP」) という単位で表される。

6. 測定結果

第4号溝跡出土土料の ^{14}C 年代は、第4地点出土の① IAAA-103033が $1690 \pm 30\text{yrBP}$ 、② IAAA-103034が $1570 \pm 30\text{yrBP}$ 、第5地点出土の③ IAAA-103035が $1700 \pm 30\text{yrBP}$ 、④ IAAA-103036が $1730 \pm 30\text{yrBP}$ 、第6地点出土の⑤ IAAA-103037が $1570 \pm 30\text{yrBP}$ 、⑥ IAAA-103038が $1600 \pm 30\text{yrBP}$ 、⑦ IAAA-103039が $1620 \pm 30\text{yrBP}$ 、第7地点出土の⑧ IAAA-103040が $1630 \pm 30\text{yrBP}$ である。 $1730 \pm 30\text{yrBP}$ (④ IAAA-103036) ~ $1570 \pm 30\text{yrBP}$ (② IAAA-103034、⑤ IAAA-103037) の年

代幅を持つが、誤差 ($\pm 1\sigma$) の範囲で値が重なるものも多く、8点である程度近接した年代値を示している。暦年校正年代 (1σ) は、① IAAA-103033が $265 \sim 398\text{cal AD}$ の間に2つの範囲、② IAAA-103034が $435 \sim 540\text{cal AD}$ の間に3つの範囲、③ IAAA-103035が $263 \sim 391\text{cal AD}$ の間に2つの範囲、④ IAAA-103036が $255 \sim 344\text{cal AD}$ の範囲、⑤ IAAA-103037が $435 \sim 538\text{cal AD}$ の間に3つの範囲、⑥ IAAA-103038が $423 \sim 533\text{cal AD}$ の間に3つの範囲、⑦ IAAA-103039が $402 \sim 531\text{cal AD}$ の間に2つの範囲、⑧ IAAA-103040が $385 \sim 528\text{cal AD}$ の間に3つの範囲で示され、同じ遺構の別地点で確認された出土土器の様相におおよそ矛盾しない、もしくは若干古い年代値となっている。なお、試料は残存する最外年輪から採取されているため、厳密にはもとの樹木の枯死・伐採年より古い年代値を示す可能性があることを考慮する必要がある。試料の炭素含有率はすべて60%前後で、化学処理、測定上の問題は認められない。

引用・参考文献

- Stuiver M. and Polach H.A. 1997 Discussion: Reporting of ^{14}C date. *Radiocarbon* 19 (3) ,355-363
- Bronk Ramsey C. 2009 Bayesian analysis of radiocarbon dates. *Radiocarbon* 51 (1) ,337-360
- Reimer, P.J. et al. 2009 IntCal09 and Marine09 radiocarbon age calibration curves, 0-50,000 years cal BP. *radiocarbon* 51 (4) ,1111-1150

VI 発掘調査のまとめ

1. 発掘調査の成果

城敷遺跡と遺跡群

城敷遺跡は、埼玉県ほぼ中央地点にあたる東松山市大字高坂に位置している。都幾川右岸の埋没自然堤防上に立地し、背後には高坂台地が広がっている。城敷遺跡の北側に銭塚遺跡が接しているが、行政的な区分で、遺跡の時期や遺構の分布から分割することは困難である。発見された城敷遺跡第18号溝跡・第10号溝跡（既報告）を境とみることができなくはないが、「遺跡」・「集落」を明確に分割できるほどの規模ではない。そのため、銭塚遺跡と城敷遺跡を同一の遺跡として捉えた方が、銭塚・城敷遺跡の本質を理解しやすい。また、東方約500mに所在する反町遺跡は、銭塚・城敷遺跡と有機的・直接的に関連していた遺跡である。そこで、銭塚・城敷遺跡と反町遺跡をひとつの遺跡群として捉えることができる。個々の遺跡における様々な事象を、3遺跡相互に関連付けることによって、立体的・時間的・空間的な相乗効果によって理解できた事例が多々ある。遺跡群という発想を加えることによって、銭塚・城敷遺跡と反町遺跡の発掘調査の成果をより有効に活用することが可能になっていく。

発掘調査によって発見された遺構

城敷遺跡の発掘調査は、3次にわたって実施された。検出された遺構の総数は、住居跡115軒・掘立柱建物跡は16棟・柱穴列1列・土壇42基・溝跡32条・大溝跡1条7地点・滑石製品集中地点2箇所・水田跡1箇所・性格不明遺構1箇所・ビット多数である。

このうち、ZZグリッド以北に位置する住居跡31軒・掘立柱建物跡3棟・土壇9基・溝跡21条・大溝跡1条（3地点）については、「銭塚Ⅱ／

城敷Ⅰ」（第369集）において既に報告済みである。

本書では、Aグリッド以南に位置する住居跡84軒（第1～75・77・108～115号住居跡）・掘立柱建物跡13棟（第1・3～12・16・17号掘立柱建物跡）・柱穴列1列（第1号柱穴列）・土壇32基（第1～15・17～29・39～42号土壇）・溝跡11条（第1～3・5～9・31～33号溝跡）・大溝跡1条4地点・滑石製品集中地点2箇所・水田跡1箇所・性格不明遺構1箇所等について報告した。

大溝の流れと一体となった集落経営

城敷遺跡では、集落の経営期に大溝跡（第4号溝跡）が集落域のなかを蛇行して流れていた。この大溝は、本来は自然河川と思われるが、堰状施設や護岸施設が整備され、水位や流路が制御されている。また、水辺への昇降のための階段状施設も2箇所で見られている。このように、城敷遺跡では、自然河川を人工的に管理しながら生活に取り入れていた。そのため、大溝によって三分割されていたようにみえる遺構の分布状況は、各々の集落が大溝によって分断されてしまった訳ではなく、大溝の周囲3箇所に分かれて営まれていた一連の集落群と捉えるべきである。

城敷遺跡の遺構は、大溝の北側・南西側・東側に分割される。

大溝北側の分布域には、住居跡17軒・掘立柱建物跡2棟等が所在する。また、同一の遺跡といえる銭塚遺跡もこの地域に該当する。

大溝南西側の分布域には、住居跡82軒と掘立柱建物跡12棟等がある。10～20軒程度の住居跡が密集する傾向が窺われる。掘立柱建物跡は住居跡との重複を避けるように、数棟ごとがまとまって建てられている。このような分布状況は、住居跡

と掘立柱建物跡の同時性を示している。

大溝東側の分布域には、住居跡15軒・掘立柱建物跡2棟・柱穴列1列等がある。北側・南西側の分布域と比べると、閑散とした遺構の分布状況である。しかし、大溝の第6地点に設置された昇降施設は東側を向いており、検出数は少ないものの、河川に対する土木事業を支えることができた相応の遺構群が存在していたものと推定される。

城敷遺跡の集落の時期

城敷遺跡から発見された住居跡115軒・掘立柱建物跡16棟等は、概ね2つの時期に分割される。ひとつは古墳時代前期で、もう一つは古墳時代中期後半～古墳時代後期初頭である。この時期以前の弥生時代や、以後の奈良・平安時代の住居跡や掘立柱建物跡はみつからない。つまり、この二時期に限定的に栄えた集落と位置付けることが可能である。

集落形成の開始

城敷遺跡のなかで最も古い遺構は、第11号住居跡で、弥生時代終末期の吉ヶ谷系の甕と碧玉製の管玉が出土している。甕の特徴は反町編年Ⅰ-5段階に相当するものであるが、遺物量はきわめて少なく、図示し得たものは1点のみである。しかも、同時期と推定できる他の遺構はみつからない。

古墳時代前期（銭塚・城敷Ⅱ期）になると、城敷遺跡の本格的な集落形成が開始される。この時期の住居跡として23軒が数えられ、さらに状況証拠から4軒程度が加わる。1軒を除き、ほかは、大溝の南西分布域に位置している。また、第7号溝跡もこの時期に掘削されたものと推定でき、この集落の南西側の境界として機能していたものと推測される。

ここで問題となるのが、「大溝がいつの時期から流れていたのか」という問題である。大溝から出土した土器類の大半は、古墳時代中期後半～後期初頭段階のものである。第4号溝跡第5地点か

らは、古墳時代前期の土器群が数多く出土していることから、既にこの時期には流れていた可能性が高い。しかし、古墳時代前期の段階まで、第4地点→第2地点→第1地点→第3地点→第5地点→第6地点→第7地点という経路が辿れるとすれば、各地点でも相当数の古墳時代前期の遺物が出土するはずである。しかし、第5地点以外では古墳時代前期の遺物の出土量が少ないことから、第5地点を共有する別ルートを想定する必要があるかもしれない。そこで注目される遺構が、ZR-14・15、ZS-15グリッドで検出されている第10号溝跡（第369集既報告）である。最北の第1地点の東側で大溝に合流する流路状の溝跡であるが、検出された箇所以北には継続する溝の痕跡がみつからない。比較的早い段階で埋没してしまったことが想定され、古墳時代前期の大溝の流路とみることも可能である。

古墳時代前期の集落

古墳時代前期の集落は、前期初頭の反町編年Ⅱ-1段階（3世紀末～4世紀前半）から活発に行われている。住居跡8軒が該当し、住居跡同士の位置関係から、数軒からなる単位が想定される。唯一、大溝の東側に位置する第73号住居跡の周囲では、同時期の遺構がみつからない。また住居跡の構築は、古墳時代中期後半を待たなければならない。このような古墳時代前期の遺構の分布状況から、古墳時代前期の大溝の流路を再検討する必要がある。もし、E・Fグリッドライン付近で東方の調査区域外に想定することが可能であれば、第73号住居跡も大溝の南西分布域に含まれることになる。

次に、反町編年Ⅱ-2段階（4世紀前半～中葉）には、A-13グリッドに位置する第3号住居跡と、E・F-5～8グリッドに所在する4軒の住居跡とに分布が分かれる。続いて、反町編年Ⅱ-3段階（4世紀中葉～末）の4軒の住居跡は、1軒ずつ分散している。このほかに、6軒の住居跡が

反町編年Ⅱ期に該当する。

この時期、東方の反町遺跡では住居跡200軒を超える大規模集落が形成され、周囲には墓域も備えられている。このような反町遺跡の繁栄と併行して、城敷遺跡でも新たに集落が出現してくる。

ただし、反町遺跡との関連ばかりではなく、古墳時代前期は、汎関東的に低地部へ集落が展開した時期でもある。城敷遺跡の周辺でも、これまでに遺跡のなかった自然堤防上に数多くの遺跡が展開を始めている。市野川流域には西吉見条里遺跡・三ノ耕地遺跡や、都幾川を流下した荒川低地には元宿遺跡・富田後遺跡・白井沼遺跡・平沼一丁田遺跡など、この時期に低地部に出現した集落である。

また、城敷遺跡の周辺には出現期古墳が多く分布している。銭塚・城敷・反町遺跡群を臨む高坂台地では、地域最古の古墳である諏訪山29号墳（前方後方墳）が築造され、諏訪山古墳（前方後円墳）・諏訪山33号墳（円墳）と盟主墳が継続する諏訪山古墳群が造営されている。都幾川を扶んだ対岸の松山台地には天神山古墳・根岸稲荷神社古墳・下道添2号墳、吉見丘陵には山の根古墳など、出現期の前方後方墳が築かれている。

出現期古墳は、古墳被葬者たる地域首長の存在を意味する。彼らは、低地部への集落の進出を主導し、耕作地を拡大し、生産力の向上に努めたものと推測される。このような、社会情勢のなかに、反町遺跡の繁栄と城敷遺跡の出現を位置付けることができる。また、城敷遺跡の出現契機として、反町遺跡が隣接する城敷の地に拡大したとする考え方と、地域首長の主導の下、新たに形成された集落と捉える考え方があり。解明は困難であるが、反町遺跡とは大溝を扶んだ反対側に住居の分布が限定されていることから、後者の新規集落の可能性が高いと推定される。

ところで、住居跡200軒を超える大規模集落が形成された反町遺跡は、河川の氾濫に襲われ、縮

小化していく。これと軌を一にするように、形成されたばかりの城敷遺跡でも、集落が途絶えてしまう。城敷遺跡には直接的に洪水に見舞われた痕跡はみられないが、直近の反町遺跡が被災した光景を想定すると、居住に適さない地に陥ってしまった状況が想像される。例えば、耕作地が水没し、集落を維持できなくなった可能性などが考えられよう。

集落の再経営

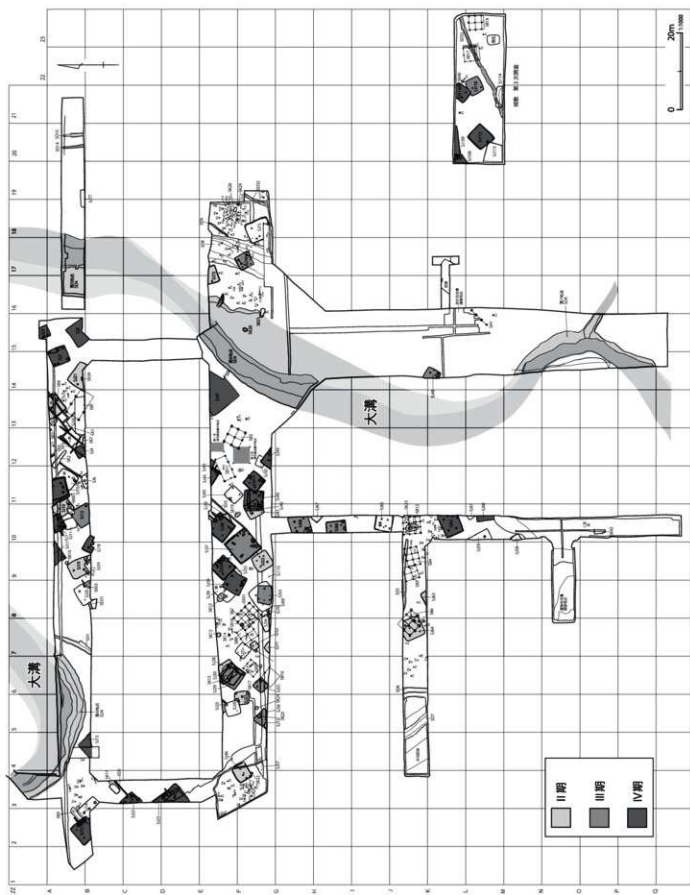
古墳時代中期（銭塚・城敷Ⅲ期）になると、集落の形成が再開される。

まず、銭塚・城敷Ⅲ期古段階（5世紀前半代）では、古墳時代前期集落が形成された大溝の南西分布域に、住居跡7軒が再出現する。このうち、第12号住居跡からは滑石製白玉の製作途上の工程品・剥片が多数出土し、工房跡と推定される。直後に、第30号住居跡が第29号住居跡に拡張され、ほかに2軒の住居跡も構築されている。そして新たに、大溝の東側分布域にも、住居跡2軒が建てられ始めている。

やや遅れて、銭塚・城敷Ⅲ期古段階～新段階（5世紀前半～後半代）にかけて、大溝の北側分布域にも2軒の住居跡が構築されている。このうち、第105号住居跡にはカマドが構築されている。煙道部は不明であるが、しっかりとした袖部を土台に形成された燃焼部が検出されている。基本的には、古墳時代後期にみられるカマドと遜色がない機能を持ち、埼玉県北西部でみられるような初期カマド的な様相はない。残念ながら、出土した遺物は煮沸具が中心で、微妙な時期的比較が困難であり、次の段階にずれ込む可能性もある。

中期後半新段階（銭塚・城敷Ⅲ期新段階・5世紀後半代）になると、住居跡の分布も広がる。

大溝北側分布域では、住居跡4軒と第14号掘立柱建物跡が検出されている。このなかで、火処が検出された第89・91号住居跡には、カマドが設置されている。また、第91号住居跡は、滑石製白



第339图 城墩遗址Ⅱ集落变迁图 1:1000

第112表 城教遺跡遺構時期区分一覧

遺構名	グリッド	分布域	時期	年代	備考
第1号住居跡	ZZ-A-15	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマド
第2号住居跡	A-14-15	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマド
第3号住居跡	A-13	南西	Ⅱ-2	4世紀前半～中葉	
第4号住居跡	A-B-12	南西	Ⅳ期新段階	6世紀初頭	
第5号住居跡	A-10-11	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	
第6号住居跡	A-B-11	南西	V期	7世紀前半～中頃	
第7号住居跡	A-10	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマド
第8号住居跡	A-B-15	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	滑石工房
第9号住居跡	A-11	南西	Ⅱ-1	3世紀末～4世紀前半	(が)
第10号住居跡	A-10-11	南西	Ⅱ-3	4世紀中葉～末	が
第11号住居跡	A-10	南西	Ⅰ-5		
第12号住居跡	A-10-11	南西	Ⅲ期古段階	5世紀前半	滑石工房
第13号住居跡	A-B-4-5	南西	Ⅳ期新段階	6世紀初頭	
第14号住居跡	A-B-2-3	南西	Ⅳ期	5世紀末葉～6世紀初頭	
第15号住居跡	A-B-2	南西	Ⅳ期新段階	6世紀初頭	カマド
第16号住居跡	A-B-12-13	南西			が
第17号住居跡	A-9	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	
第18号住居跡	A-B-9-10	南西	Ⅳ期最新段階	6世紀前葉	
第19号住居跡	A-B-9	南西			が
第20号住居跡	A-B-8	南西	Ⅲ期最新段階	5世紀後半代～5世紀末葉	カマド
第21号住居跡	A-B-13-14	南西	Ⅱ-1	3世紀末～4世紀前半	
第22号住居跡	B-C-3	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	
第23号住居跡	C-D-3	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマド
第24号住居跡	B-9	南西			
第25号住居跡	E-F-5-6	南西	Ⅱ-2	4世紀前半～中葉	
第26号住居跡	E-F-5-6	南西			(が)
第27号住居跡	E-F-5-6	南西	Ⅱ-2	4世紀前半～中葉	が
第28号住居跡	E-F-6	南西	Ⅱ-1	3世紀末～4世紀前半	
第29-30号住居跡	E-F-6	南西	Ⅲ期古段階	5世紀前半	が
第31号住居跡	F-6-7	南西	Ⅱ		が
第32号住居跡	F-7	南西	Ⅱ-1	3世紀末～4世紀前半	が
第33-36号住居跡	E-F-8-9	南西	Ⅱ-Ⅲ期		が
第34号住居跡	E-F-8-9	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマド
第35号住居跡	E-9	南西	Ⅳ期新段階	6世紀初頭	カマド
第37号住居跡	E-F-9-10	南西	Ⅲ期新段階	5世紀後半代	カマド
第38号住居跡	E-F-9-10	南西	Ⅳ期新段階	6世紀初頭	カマド
第39号住居跡	E-F-9-10	南西	Ⅱ-3	4世紀中葉～末	
第41号住居跡	F-10-11	南西	Ⅱ-1	3世紀末～4世紀前半	が
第42-40号住居跡	F-10-11	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマド
第43号住居跡	E-F-10-11	南西	Ⅱ期	4世紀	
第44号住居跡	E-11-12	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマド
第45号住居跡	E-11-12	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	
第46号住居跡	E-F-3-4	南西	Ⅱ-3	4世紀中葉～末	が
第47号住居跡	E-13	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	
第48号住居跡	J-K-14	東	Ⅲ期古段階	5世紀前半	
第49号住居跡	F-12	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマド
第50号住居跡	F-12	南西	Ⅱ-Ⅲ期		が
第51号住居跡	F-11	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマド
第52号住居跡	F-9	南西	Ⅱ-1	3世紀末～4世紀前半	が
第53号住居跡	F-8	南西	Ⅲ期古段階	5世紀前半	が
第54号住居跡	F-7-8	南西	Ⅲ期新段階～Ⅳ期古段階	5世紀後半代～5世紀末葉	カマド
第55号住居跡	F-6	南西	Ⅲ期古段階	5世紀前半	が
第56号住居跡	F-5	南西	Ⅲ期古段階	5世紀前半	が
第57号住居跡	F-3-4	南西			
第58号住居跡	M10	南西	Ⅱ期	4世紀	
第59号住居跡	L-10	南西	Ⅲ期新段階～Ⅳ期古段階	5世紀後半代～5世紀末葉	

遺構名	グリッド	分布域	時期	年代	備考	
第60号住居跡	L-10	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉		
第61号住居跡	L-10	南西				
第62号住居跡	K-L-10	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマフ	
第63号住居跡	J-K-8	南西	Ⅱ-3	4世紀中葉～末		
第64号住居跡	J-7-8	南西	Ⅱ-1	3世紀末～4世紀前半	カ	
第65号住居跡	I-J-10	南西	Ⅲ期	5世紀	カ	
第66号住居跡	H-10	南西	Ⅲ期新段階	5世紀後半代	カ	
第67号住居跡	G-H-10	南西				
第68号住居跡	G-10	南西	Ⅲ期古段階(～新段階)	5世紀前半	カ	
第69号住居跡	F-8	南西	Ⅲ期	5世紀	カ	
第70号住居跡	F-8	南西	Ⅱ-2	4世紀前半～中葉		
第71号住居跡	F-7	南西	Ⅱ-2	4世紀前半～中葉		
第72号住居跡	F-5	南西	Ⅲ期新段階	5世紀後半代		
第73号住居跡	E-16-17	東	Ⅱ-1	3世紀末～4世紀前半		
第74号住居跡	E-F-17	東	Ⅲ期古段階	5世紀前半	カ	
第75号住居跡	F-17-18	東	Ⅲ期	5世紀	カ	
第76号住居跡	ZW-13-14	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマフ	
第77号住居跡	A-B-18-19	東	(Ⅲ期新段階～)Ⅳ期古段階			
第78号住居跡	ZW-19	南西	Ⅳ期古段階	5世紀末葉		
第79号住居跡	ZW-19					
第80号住居跡	ZX-ZY-14-15	南西	Ⅲ期古段階～新段階	5世紀前半～後半代	カ	
第81号住居跡	ZY-ZZ-14-15	南西	Ⅲ期新段階	5世紀後半代	カ	
第82号住居跡	ZX-ZY-14-15	南西	Ⅱ期	4世紀		
第83号住居跡	ZW-14-15	南西	Ⅲ期新段階	5世紀後半代	カマフ	
第84号住居跡	ZW-14	南西	Ⅳ期	5世紀末葉～6世紀初頭	カマフ	
第85号住居跡	ZW-ZX-15	南西	Ⅱ期	4世紀		
第86号住居跡	ZW-ZX-15	南西	Ⅱ期	4世紀		
第87号住居跡	ZX-5	北	Ⅳ期新段階	6世紀初頭	カマフ	
第88号住居跡	ZW-6	北	Ⅳ期新段階	6世紀初頭	カマフ	
第89号住居跡	ZW-ZX-5-6	北	Ⅲ期新段階	5世紀後半代	カマフ	
第90号住居跡	ZW-ZX-5-6	北	Ⅲ期新段階	5世紀後半代		
第91号住居跡	ZW-ZX-5	北	Ⅲ期新段階	5世紀後半代	カマフ	滑石工房
第92号住居跡	ZU-ZV-6-7	北	Ⅳ期新段階	6世紀初頭	カマフ	
第93号住居跡	ZT-ZU-7	北	Ⅳ期新段階	6世紀初頭	カマフ	
第94号住居跡	ZS-ZT-7-8	北	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマフ	
第95号住居跡	ZY-ZZ-14	南西	Ⅱ期	4世紀		
第96号住居跡	ZW-ZX-14	南西	Ⅳ期新段階	6世紀初頭	カマフ	
第97号住居跡	ZT-7	北				
第98号住居跡	ZU-7	北	Ⅳ期古段階	5世紀末葉		
第99号住居跡	ZS-8	北	Ⅲ期古段階～新段階	5世紀前半～後半代		
第100号住居跡	ZR-8	北	Ⅳ期新段階	6世紀初頭	カマフ	
第101号住居跡	ZS-8-9	北	Ⅳ期古段階	5世紀末葉		
第102号住居跡	ZS-8-9	北	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマフ	
第103号住居跡	ZS-10	北	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマフ	
第104号住居跡	ZR-8-9	北	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマフ	
第105号住居跡	ZQ-ZR-8-9	北	Ⅲ期古段階～新段階	5世紀前半～後半代	カマフ	
第106号住居跡	ZO-ZP-9-10	北	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマフ	
第107号住居跡	ZS-15-16	東	Ⅲ期新段階	5世紀後半代		
第108号住居跡	K-L-19-20	東	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマフ	
第109号住居跡	K-20	東	Ⅳ期古段階	5世紀末葉		
第110号住居跡	L-21-22	東	Ⅲ期古段階	5世紀前半	カ	
第111号住居跡	K-L-21-22	東	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	(カマフ)	
第112号住居跡	L-20	東	Ⅳ期古段階	5世紀末葉	カマフ	
第113号住居跡	L-M-19-20	東	Ⅲ期	5世紀		
第114号住居跡	L-M-21	東				
第115号住居跡	F-9	南西			カ	

遺構名	グリッド	分布域	時期	年代	備考
第1号掘立柱建物跡	A・B-13	南西	Ⅲ期～Ⅳ期	5世紀後半～6世紀初頭	
第3号掘立柱建物跡	E・F-12	南西		5世紀後半～6世紀初頭	
第4号掘立柱建物跡	J-9	南西	Ⅳ期新段階	6世紀初頭	
第5号掘立柱建物跡	J-9	南西	Ⅲ期～Ⅳ期	5世紀後半～6世紀初頭	
第6号掘立柱建物跡	J-7・8	南西	Ⅲ期～Ⅳ期	5世紀後半～6世紀初頭	
第7号掘立柱建物跡	E・8・F-7・8	南西	Ⅲ期～Ⅳ期	5世紀後半～6世紀初頭	
第8号掘立柱建物跡	F-7	南西	Ⅲ期～Ⅳ期	5世紀後半～6世紀初頭	
第9号掘立柱建物跡	F-6	南西	Ⅲ期～Ⅳ期	5世紀後半～6世紀初頭	
第10号掘立柱建物跡	F-6	南西	Ⅲ期～Ⅳ期	5世紀後半～6世紀初頭	
第11号掘立柱建物跡	E-11-12	南西		5世紀後半～6世紀初頭	
第12号掘立柱建物跡	J-10	南西	Ⅲ期～Ⅳ期	5世紀後半～6世紀初頭	
第13号掘立柱建物跡	ZW-12-13		Ⅳ期古段階	5世紀末葉	
第14号掘立柱建物跡	ZS・ZT-7・8		Ⅲ期新段階	5世紀後半	
第15号掘立柱建物跡	ZS-7・8		Ⅳ期古段階	5世紀末葉	
第16号掘立柱建物跡	L-23	東		5世紀後半～6世紀初頭	
第17号掘立柱建物跡	L-22	東		5世紀後半～6世紀初頭	
第1号櫛列跡					
第1号土壇			Ⅱ期		
第7号土壇			Ⅱ期		
第8号土壇			Ⅳ期古段階	5世紀末葉	
第9号土壇			Ⅱ期		
第15号土壇			Ⅲ期古段階		
第19号土壇			Ⅱ-2		
第20号土壇			Ⅱ-1		
第21号土壇			Ⅲ期		
第27号土壇			Ⅱ-3		
第7号溝跡			Ⅱ-3		
第1号滑石製品集中地点			Ⅲ期		
第2号滑石製品集中地点			Ⅲ期		

玉製作工房跡と推定される。さらに倉庫と推定される2間×2間縦柱建物は、集落の中に収納すべき蓄財が存在していたことを意味している。

大溝の南西分布域には、5軒の住居跡がある。火処が確認された4軒は、カマドが2軒・炉が2軒で、炉とカマドが共存している状態である。また、このなかで第37号住居跡は、滑石製白玉の製作工房跡である。

このほかに、5軒の住居跡が銭塚・城敷Ⅲ期(新古段階の確定不可)に位置付けられる。その後、銭塚・城敷Ⅲ期新段階～Ⅳ期古段階(5世紀後半～末葉)には、大溝の南西分布域に住居跡3軒、大溝東側の北端部に住居跡1軒がみられる。

E-12グリッドとF-12グリッドに位置する2箇所の滑石製品集中地点も、相伴した土器群から銭塚・城敷Ⅲ期に推定される。ここからは、剣形品・有孔円板・白玉等の石製製造品とともに、

未成品や滑石製品の製作途上の破損品・剥片等が2,000点以上も出土している。

集落の繁栄と終焉

古墳時代後期初頭(銭塚・城敷Ⅳ期)になると、集落の経営はピークを迎える。銭塚・城敷Ⅳ期古段階(5世紀末葉)の住居軒数は、大溝の北側分布域では7軒、南西分布域では19軒、東側分布域では4軒を数える。これに、新古段階の判断がつかないが、2軒の住居跡も大溝の南西分布域に加わるものと推定される。特に、南西分布域では、滑石製白玉製作工房跡と推定される第2・7・34・49号住居跡が含まれている。

住居の火処は、完全にカマドに転換し、これに対応して、甕の長胴化が普遍的になる。さらに、二次的に被熱したことが明確な高坏が多く出土している。被熱状況を観察すると、全面に被熱痕が確認できるものはほとんどなく、基本的に

はタテ1/2部分が被熱した状態である。カマドの支脚への転用が想定され、焚口側が被熱し、反対面の奥壁側があまり熱を受けていない。また、坯部内面も被熱しているもの、脚部内面も被熱しているもの、欠損面も被熱しているものなどがあり、正立・倒立の使用手法や欠損品を転用したことが推定できる。さらに1軒の住居から数点が出土している例がほとんどであり、残存状態や用途に応じて適宜使い分けていたようである。

中期後半新段階から後期初頭古段階には、住居跡の間隙に掘立柱建物跡15棟が構築されている。また、住居跡が希薄なJ-7~10グリッド付近では4棟の掘立柱建物跡の周囲には、組み合わせが把握できなかった多数のピットが分布している。この場所は、掘立柱建物跡が集中する地区となる可能性がある。いずれにしても、住居跡と掘立柱建物跡の両者が互いに意識された分布状況は、両遺構の同時性を示している。これらの掘立柱建物跡には、倉庫としての機能が想定される。そして多数の倉庫が存在することは、多量の動産が蓄積された富裕なムラを想像させる。

後期初頭新段階の銭塚・城敷Ⅳ期新段階(6世紀初頭)になると、住居跡の軒数が大幅に減ってくる。大溝の北側分布域では5軒、大溝の南西分布域では6軒を数えるのみで、前段階と比べると、減少傾向は激しい。しかしながら、第15号住居跡では依然として滑石製白玉の製作が続けられている。さらに、大溝の東側分布域では該期の住居跡はなく、いち早く、住居の構築が途絶えてしまう。これ以降は、第18号住居跡を最後に集落が再び途絶え、そして、集落の中心が北側の銭塚遺跡へと移っていく。

大溝から多量に出土した土器群の大半は、古墳時代中期後半から後期初頭のものである。城敷遺跡は、古墳時代前期の水害によって居住に適さない地となった可能性が高い。その地に再び集落を営むにあたり、河川を管理する術をもって臨んだ

ものと想定される。ところが、本流流路の変更によるものか、この大溝は埋設を始める。第1地点の最上層から出土した須恵器長頸瓶・蓋や土師器北武蔵型暗文坏などから、7世紀後半~8世紀初頭頃にはほぼ埋没してしまったようである。このような過程の中で河川の水量は減少し、やがて集落の人々の生活を賄う水量を確保することができなくなり、銭塚遺跡へと集落が移動していったことが想像される。

一方、古墳時代中期後半から後期初頭の反町遺跡では、住居数が激減している。そして、墓域へと変貌し、前方後円墳を中核とした初期群集墳の造営が開始されている。銭塚・城敷・反町遺跡群では、集落=城敷遺跡、墓域=反町遺跡という対応関係が成立している。反町遺跡の古墳群については、高坂台地上に営まれている高坂古墳群等の動向も考慮する必要がある。

大溝と古墳時代中期~後期初頭の集落

大溝跡(第4号溝跡)は、人工的に管理されていた痕跡が随所に残されている自然河川である。既報告の第2地点では、流れに直交する横木列(堰状施設)と、その下流には流れに平行する木列(護岸施設)が築かれていた。また、その上流側には、大溝に昇降するための階段状遺構が設置されていた。第6地点でも、しがらみ状の堰状施設と、その上流側に昇降施設が確認されている。このことから、堰状施設と上流の昇降施設は関連の深い施設で、堰状施設で水流を堰き止めることによって水位を上昇させ、水の汲み上げ作業を容易にしていたものと推測される。

大溝に沿って、浅い幅広のテラス状の掘削がみられる。現代の河川敷と同様の機能が想定され、川幅を拡張することによって、増水時の許容容積を確保することがひとつの目的になっていたであろう。また、発掘調査では検出されていないが、テラス部を掘削した土砂は、堤防状に盛土されていた可能性も考えられる。さらに、各地点から川

の流れに沿って長尺の木材を並べた護岸設備が確認されている。これらの諸施設によって流路・水量・水位をコントロールし、居住域を水害から守っていた。このように、河川の流れを有効に取り込みながら、集落が営まれていたようである。

大溝からは、加工が施された木製品と未加工の木製遺物が、多量に出土している。多くは、堰状施設や護岸施設等の構築部材として用いられたものである。加工が施された木製品は、構築部材に再利用されているため、農具や容器などの日常生活で使われていた道具類よりも、長尺・大型の構築部材類が圧倒的に多い。また、多量の土師器・木製品とともに、陶邑産や東海産の古墳時代の初期須恵器も数多く発見されている。第3地点からは、樽形甕（TK83=TK73併行段階）が故意に破碎されて撒かれていたような状態で検出されている。本報告の第4地点からは、5世紀中葉から後半代（～TK23・TK47）の陶邑産の坏H蓋・坏H身・無蓋高坏・大甕と、東海産の無蓋高坏（TK23併行）、在地産と推定される高坏（TK47併行）が出土している。第6地点では陶邑産の坏H蓋・坏H身、第7地点では東海産の甕（5世紀後半代）がある。関東の地において、この段階の須恵器は非日常的な特別な器である。単なる高級品という扱いではなく、祭祀具としての意味合いをもっていたものと推測される。第3地点の故意に破碎されたような樽形甕と第4地点の大甕の存在は饗宴を連想させ、大溝（河川）・水に関わる何らかの祭祀が執り行われたことが想像される。

滑石製祭祀具と集落

大溝第6地点西岸のE-12グリッドとF-12グリッドには、2箇所の滑石製品集中地点が位置する。ここは、第3・11号掘立柱建物跡の南側・北側の空間地にあたり、住居跡の重複も認められない。共伴した土器群から、銭塚・城敷Ⅲ期のものと推定される。これらの地点からは、剣形・有孔円板・白玉等の石製模造品とともに、未成品や

滑石製品の製作途上の破損品・剥片等が2,000点以上も出土している。この集中地点を囲むような柱穴配置などは確認されておらず、上屋をもたない露天の「場」と考えられる。また、製作に関わるような施設や工具類も検出されていないため、単純に「工房跡」と推定することもできない。

ここで、2箇所の滑石製品集中地点を、敢えて区切るように建てられた第3・11号掘立柱建物跡との関連が注目される。例えば、掘立柱建物の建築時等の祭祀に関わる遺構と考えることも可能である。しかし、他の14棟の掘立柱建物跡には、滑石製模造品を使用したような祭祀の痕跡がない。そのため、第3・11号掘立柱建物跡に対して特別な意味合いを見出す必要が生じてくる。別の考え方として、第3・11号掘立柱建物跡を滑石製品の工房跡と位置付けて、その廃材を建物脇の空閑地に廃棄したとすることも可能かもしれない。だが、第3・11号掘立柱建物跡の範囲内には、滑石製品の未成品や製作途上の破損品・剥片等の出土がなく、工房跡と位置付けることは難しい。

その一方で、城敷遺跡の古墳時代中期後半～後期初頭の集落では、段階ごとに数軒ずつの滑石製品の工房跡が発見されている。銭塚・城敷Ⅲ期古段階では第12号住居跡、Ⅲ期新段階では第37・91号住居跡、Ⅳ期古段階では第2・7・34・49号住居跡、Ⅳ期新段階では第15号住居跡と、集落規模の増減に対応した数の工房跡がみつまっている。よって、城敷遺跡の集落では、古墳時代中期後半の再開当初から終焉まで、滑石製の祭祀具が作り続けられていたことになる。

城敷遺跡の特徴

大溝から発見された多数の木製品の中には、建物の開口部の扉板や櫺・蹴放し等が含まれている。これらの構築部材の出土は、開閉や施錠が必要な建造物の存在を示している。その候補のひとつとして倉庫が考えられ、厳重に管理されるべき「もの」が収納されていたことが想定される。

また、大溝からは、陶邑産・東海産の須恵器が数多く検出されている。この段階の須恵器は非日常的な特別な器であり、単なる高級品・貴重品という扱いではなく、祭祀具としての意味合いをもっていたものと推測される。第3地点では故意に破砕されたような樽形甕有孔門板、第4地点では大甕と剣形模造品・碧玉製管玉が共伴し、須恵器の祭祀具的な意味合いを補強している。さらに、第5号地点の岸边には袋状鉄斧と壺2点が並べて置かれ、第6地点では剣形模造品・有孔門板・碧玉製管玉・ガラス製小玉や鉄鏝・刀子とともに、祭祀具の木製鏝が出土している。

滑石製模造品や須恵器等の出土は、これらを祭祀具として用いた祭祀が執り行われていたことを示唆している。この想定が許されるならば、これらの遺物が出土した「大溝＝河川」や水に関わる祭祀が行われていたことが想像される。一方では、

2. 初期須恵器について

城敷遺跡の発掘調査において、初期須恵器の出土は遺跡を特徴づける象徴的な事象の一つである。ここでいう初期須恵器とは、陶邑編年のTK73型式～TK47型式のI期に相当するもので、須恵器の成立から定型化するまでの諸段階に位置付けられる(田辺1981)。

須恵器の実年代については、田辺昭三・白石太一郎・中村浩らによって導き出されている。

田辺は、埼玉県さきたま稲荷山古墳の拵れ部から一括出土した須恵器を、TK47型式の中でもやや古い型式の特徴をもつものとした。そして、TK47型式を「辛亥年」=471年を遡らないという年代観を示している(田辺1981)。

白石は、稲荷山古墳の辛亥銘鉄剣と共伴した礫櫛出土遺物に注目している。馬具の三鈴付杏葉を伴う遺物群を須恵器編年のMT15型式のやや古い段階に併行するとし、「辛亥年」=471年という立場から、MT15型式の前半期を5世紀末葉の暦

廃棄と捉えることもできるが、水量・水流を管理している大溝に不用品を廃棄する行為には疑問を感じる。やはり、滑石製模造品や須恵器等の出土を、何らかの意図をもった行為の結果として考える方が妥当と思われる。

城敷遺跡では古墳時代中期後半に集落形成を再開するにあたり、堰状施設や護岸施設等の人工的に河川を管理する術を携えていた。それと同時に、常に河川に対して祈りを捧げ、自然の脅威を鎮めていた様子が窺われる。このように、現実的な技術と精神的な祈りを併せもっていたことは、城敷遺跡の大きな特徴である。

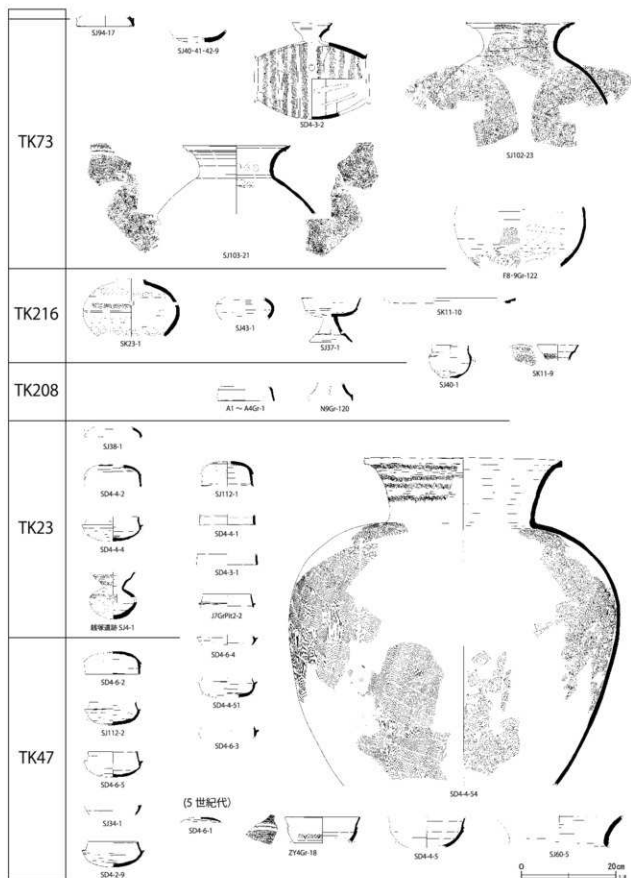
このような特徴をもつ城敷遺跡にとって、初期須恵器・滑石製品・木製品の多量出土は、象徴的な事象である。そこで、次項から、これらの遺物に焦点をあて、城敷遺跡の性格を追求する。

年代を想定している。さらに、MT15型式以前にTK73型式-TK216型式-TK208型式-TK23型式-TK47型式の5型式が設定されていることから、須恵器の初現年代を5世紀初頭ないし4世紀末葉まで遡ると推定されている(白石1985)。

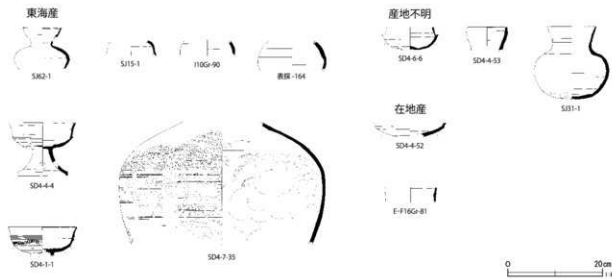
中村浩は、稲荷山古墳一括出土須恵器をI型式4段階から5段階相当に位置付けている。そして、「辛亥年」=471年説から、I型式4段階の絶対年代は475年を上限とした。そこで、陶邑での生産開始を5世紀第1四半期の古い段階を想定している(中村1999)。

いずれにしても、5世紀の初頭には須恵器生産が開始されていたことが予想される。そこで、城敷遺跡の初期須恵器は、5世紀初頭から第3四半期を中心としたものといえる。

初期須恵器は、大半が甕・壺の破片資料である。I期前半には、大型・小型・樽形の甕の出土が多くみられ、これに無蓋短脚の高杯が加わる。I期



第340図 城敷遺跡から出土した初期須恵器（1）陶邑産



第341図 城敷遺跡から出土した初期須恵器(2)

後半段階になると甕・高坏は減少し、坏H蓋・坏H身と甕が主体となっている。このように、I期の前半と後半で器種構成が異なることは、特筆すべき事象の一つに数えられる。また、甕が多く出土していることも、特徴にあげられる。

これらの須恵器は、胎土・焼成や製作技法の特徴から、概ね陶邑産と東海産に分割される。これに百濟馬韓からの搬入品と推定されるもの(第54号住居跡2)、在地の南比企産(第4号溝跡第4地点22)・末野産か(EF16グリッド81)と推測されるものが加わっている。これらの須恵器の器種・型式・年代・産地については第113表に示した。また、残存状態が良好であったもののうち、陶邑産を第340図に、東海産とその他のものを第341図に図示した。

陶邑産の須恵器が最も多く、また個々の遺存度も比較的高く、型式・年代が特定できたものが多い。前半のTK73型式～TK216型式段階では、甕・壺・高坏でほぼ占められている。中頃のTK208型式を境にして器種構成は一変し、坏H蓋・坏H身と甕が主体となっている。

一方、東海産の須恵器は破片資料が多く、型式・年代等を特定し難いものが多い。蓋・甕もしくは壺・高坏・甕がある。第62号住居跡1の甕は

TK208型式併行、第4号溝跡第4地点4の無蓋高坏はTK23型式併行、第4号溝跡第7地点35の甕は5世紀後半代、第4号溝跡第1地点1の無蓋高坏は6世紀代と推定される。一方で、坏類の出土がみられず、陶邑産との相違がみられる。

産地不明品は、胎土・焼成ばかりではなく、器形や調整技法なども独特なもので、時期の推定も困難である。第31号住居跡1は古墳時代前期の住居跡への混入品で、搬出する遺物の年代から推測することも困難である。第4号溝跡第6地点6の坏H身の器形はTK47型式に近似するものであるが、胎土や焼成などから陶邑以外に産地を求めざるを得ない。

初期須恵器は、住居跡・土壌・大溝跡等から出土し、グリッド出土例も顕著である。第31号住居跡の壺、第37号住居跡の高坏、第40号住居跡の把手付碗、第112号住居跡の坏H蓋・坏H身、銭塚第4号住居跡の甕は、住居跡から出土した中では形状が保たれた数少ないものである。また、同一個体と推定される破片が広範囲に分布している状況もみられる(第317図122～135・136～150)。さらに、第101・102・103号住居跡と第37号土壌からも、同一個体と推定されるTK73型式の壺が出土している。このように、同一個体の破片が広

第113表 錢塚・城敷遺跡出土初期須恵器一覽表

遺構名	棟目番号		器種	型式	年代	産地	備考
第15号住居跡	382	50	1	蓋	不明	(東海西部)	Ⅳ期新
第31号住居跡	382	76	1	壺	不明	不明	Ⅱ期
第34号住居跡	382	80	1	坏日身	TK47	陶邑産	Ⅳ期古
第37号住居跡	382	89	1	無蓋高坏	TK216	陶邑産	Ⅲ期新
第38号住居跡	382	96	1	坏日蓋	~TK23	陶邑産	Ⅳ期新
第40号住居跡	382	100	1	把手付桶	(TK216~TK208)	關東以外	Ⅳ期古
第40・41・42号住居跡	382	102	9	無蓋高坏	TK83 (TK73併行)	陶邑産	Ⅳ期古
第43号住居跡	382	103	1	壺	TK216	陶邑産	Ⅱ期
第44号住居跡	382	105	1	壺?		(5世紀代)	陶邑小 Ⅳ期古
第54号住居跡	382	126	2	平底瓶		5世紀代	行濟馬韓贈入品? Ⅲ期新~Ⅳ期古
第54号住居跡	382	126	1	高坏	TK23 (~TK47)	陶邑産	Ⅲ期新~Ⅳ期古
第59号住居跡	382	133	3	甕	TK208以降	陶邑産	Ⅲ期新~Ⅳ期古
第60号住居跡	382	135	5	甕口縁		5世紀代	Ⅳ期古
第62号住居跡	382	138	1	壺	TK208併行	東海小	Ⅳ期古
第62号住居跡	382	138	2	甕口縁	TK216	陶邑産	Ⅳ期古
第65号住居跡	382	145	8	甕		5世紀前半	陶邑産
	382	145	9				
	382	145	10				
	382	145	12				
	382	145	13				
	382	145	14				
第65号住居跡	382	145	15				Ⅲ期
第65号住居跡	382	145	11	甕		5世紀前半	Ⅲ期
第76号住居跡	369	284	7	壺		5世紀代	陶邑産 Ⅳ期古
第94号住居跡	369	317	17	蓋小	ON231~TK73	陶邑産	Ⅳ期古
第94号住居跡	369	317	27	壺	TK216	陶邑産	Ⅳ期古
第94号住居跡	369	317	28	壺	TK216	陶邑産	Ⅳ期古
第101・102号住居跡	369	334	1	甕	TK73	陶邑産	Ⅳ期古
第102号住居跡	369	334	22				
第102号住居跡	369	335	23				
第102号住居跡	369	335	24				
第103号住居跡	369	337	21				
第103号住居跡	369	337	22				
第103号住居跡	369	337	23				
第103号住居跡	369	337	23				
第37号土壇	369	352	1				
第37号土壇	369	352	2				
第37号土壇	369	352	3				
第37号土壇	369	352	4				
第37号土壇	369	352	5				
第108号住居跡	382	165	7	甕		(5世紀代)	陶邑産 Ⅳ期古
第112号住居跡	382	171	1	坏日蓋	TK23~TK47	陶邑産	Ⅳ期古
第112号住居跡	382	171	2	坏日身	TK47	陶邑産	Ⅳ期古
第11号土壇	382	201	9	壺	ON231~TK208	陶邑産	
第11号土壇	382	201	10	甕口縁	TK216	陶邑産	
第11号土壇	382	201	11	甕	TK216	5世紀前半	陶邑産
	382	201	12				
	382	201	13				
	382	201	14				
	382	201	15				
	382	201	16				
	382	201	17				
	382	201	18				
	382	201	19				
	382	201	20				
第20号土壇	382	204	80			5世紀代	陶邑産
第23号土壇	382	191	1	大型壺	~TK216	陶邑産	

遺構名	棟回番号	器種	型式	年代	産地	備考
第36号土壇	369 353 20	甕		(5世紀代)	陶邑産	
第4号溝跡第1地点	369 365 1	無蓋高坏		6C 代か	東海産	
第4号溝跡第1地点	369 365 2	脚付壺		7 C	在地産(不明)	
第4号溝跡第1地点	369 365 3	甕		7 C 代	南北金産産	
第4号溝跡第1地点	369 365 5	甕		?	南北金産産	
第4号溝跡第2地点	369 378 9	坏H身	TK47		陶邑産	
第4号溝跡第2地点	369 379 19	壺		(5世紀代)	東海産	
第4号溝跡第2地点	369 379 20	甕	TK47併行		東海産か	
第4号溝跡第2地点	369 379 21	甕		(5世紀代)	東海産	
第4号溝跡第2地点	369 379 22	甕				
第4号溝跡第3地点	369 395 1	坏H蓋	TK47 (~TK23)		陶邑産か	
第4号溝跡第3地点	369 395 2	樽形甕	TK83 (TK73併行)		陶邑産	
第4号溝跡第3地点	369 396 26	甕			木野産か	
第4号溝跡第4地点	382 223 1	坏H蓋	TK23~TK47		陶邑産	
第4号溝跡第4地点	382 223 2	坏H蓋	TK23		陶邑か	
第4号溝跡第4地点	382 223 4	無蓋高坏	TK23		東海か(非陶邑)	
第4号溝跡第4地点	382 223 3	坏H身	TK23		陶邑産	
第4号溝跡第4地点	382 223 5	無蓋高坏		(5世紀代)	陶邑産	
第4号溝跡第4地点	382 223 6	甕		5世紀中葉以前	陶邑産	
	382 223 7					
	382 223 8					
	382 223 9					
第4号溝跡第4地点	382 223 10	甕		5世紀中葉以前	陶邑産	
第4号溝跡第4地点	382 223 11	甕		5世紀代	陶邑産	
第4号溝跡第4地点	382 225 51	坏H身	TK23~TK47		陶邑産	
第4号溝跡第4地点	382 225 52	無蓋高坏	TK47併行		(南北金産か)	
第4号溝跡第4地点	382 225 53	壺?	不明	不明	不明	
第4号溝跡第4地点	382 225 54	大甕	TK23~TK47	5世紀後半代	陶邑産	
	382 225 55					
	382 225 56					
	382 225 57					
	382 225 58					
	382 225 59					
	382 225 60					
	382 225 61					
	382 225 62					
	382 225 63					
	382 225 64					
	382 225 65					
	382 226 66					
	382 226 67					
	382 226 68					
	382 226 69					
	382 226 70					
	382 226 71					
382 226 72						
382 226 73						
382 226 74						
382 226 75						
382 226 76						
382 226 77						
第4号溝跡第4地点	382 226 78	甕		5世紀前半	陶邑産	A1~A4Gr
	382 226 79					
第4号溝跡第6地点	382 256 1	坏H蓋		(5世紀代)	陶邑産	
第4号溝跡第6地点	382 256 2	坏H蓋	TK47		陶邑産	
第4号溝跡第6地点	382 256 3	坏H身	TK23~TK47		陶邑産	
第4号溝跡第6地点	382 256 4	坏H身	TK23~TK47		陶邑産	

遺構名	棟目番号		器種	型式	年代	産地	備考				
第4号溝跡第6地点	382	256	5	坏H身	TK47		陶邑産				
第4号溝跡第6地点	382	256	6	坏H身	TK47併行		産地不明				
第4号溝跡第7地点	382	283	35	甕		5世紀後半代	東海西部(東山)	SD4-7+M14Gr			
	382	283	36					M14Gr+B区			
	382	283	37								
	382	283	38								
	382	283	39					M14Gr+C14Gr			
	382	283	40								
	382	283	41					L14Gr			
	382	283	42								
	382	283	43					M15Gr			
	382	283	44					B区			
	382	283	45					M14Gr			
	382	283	46					M15Gr			
	382	283	47					M15Gr			
382	283	48									
第4号溝跡第7地点	382	284	49	甕			在地産か				
第4号溝跡第7地点	382	284	5 0	甕	(5世紀代)		陶邑か				
第4号溝跡第7地点	382	284	5 1	甕		5世紀代	陶邑産	L14Gr			
	382	284	5 2					SD4-7+L14Gr			
J7GrPn2	382	310	2	坏H身	TK23~TK47		陶邑産				
ZW11Gr	369	399	4	甕			南北金産				
ZW11Gr	369	399	5	甕		(5世紀代)	東海産(東山)				
ZY4Gr	369	400	18	無蓋高坏		(5世紀代)	陶邑産か				
ZY4Gr	369	400	19	甕			南北金産				
ZY4Gr	369	400	20	甕		(5世紀代)	東海産(東山)				
A1~A4Gr	382	311	1	坏H蓋	TK208	(5世紀代)	陶邑産				
A9~A12Gr	382	311	4	蓋			南北金産				
A9~A12Gr	382	311	5	甕		(5世紀代)	非陶邑				
A9~A12Gr	382	311	6								
A9~A12Gr	382	311	7								
A9~A12Gr	382	311	8								
D3~E3Gr-1	382	312	45					甕		5世紀前半	陶邑産
E-F16Gr	382	314	81					甕			在地産
EF9~EF12Gr	382	314	85	大型甕		(5世紀代)	陶邑産				
EF9~EF12Gr	382	314	86	大型甕		(5世紀代)	陶邑産				
110Gr	382	314	90	甕		(5世紀代)	東海産				
110Gr	382	314	91	甕		(5世紀代)	陶邑産				
N9Gr	382	316	120	短脚高坏	TK208		陶邑産				
F8・9Gr	382	317	122	甕	TK73~TK216	5世紀前半	陶邑産				
F8Gr	382	317	123								
F8Gr	382	317	124								
F8Gr	382	317	125								
F9Gr	382	317	126								
F8Gr	382	317	127								
F9Gr	382	317	128								
110Gr	382	317	129								
110Gr	382	317	130								
F9Gr	382	317	131								
第65号住居跡	382	317	132								
表探	382	317	133								
F9Gr	382	317	134								
110Gr	382	317	135								
第59号住居跡	382	317	136								
第38号住居跡	382	317	137								
第62号住居跡	382	317	138								
EF6~EF9Gr	382	317	139								

遺構名	棟号	器種	型式	年代	産地	備考
EF6~EF9Gr	382 317 140	甕		5世紀前半	陶邑産	
EF6~EF9Gr	382 317 141					
I10Gr	382 317 142					
第12号住居跡	382 317 143					
第37号住居跡	382 317 144					
第37号住居跡	382 317 145					
第37号住居跡	382 317 146					
第62号住居跡	382 317 147					
第34号住居跡	382 317 148					
G10Gr	382 317 149					
J10Gr	382 317 150					
表採	382 318 164	甕 or 壺		(5世紀代)	東海産	
銭塚第4号住居跡	369 38 1	甕	TK23		陶邑産	

範囲に分布していることは、須恵器が単なる容器として用いていただけではなく、破片にも何らかの意味合いがあったことを想像させる事例と想像することもできる。

3間×3間総柱の第12号掘立柱建物跡の内部には、第23号土壌が重複する。建物の軸方向と土壌の長軸方向が合致していることから、両遺構に関連性が想定される。第23号土壌からは、大型甕が出土し、TK216型式段階以前の陶邑産と推定される。甕という器種から祭祀的な意味合いが連想され、建物に関わる祭祀的な施設と考えることもできよう。

大溝から初期須恵器が多量に出土したことも、城敷遺跡を特徴付ける事象の一つである。

第4地点では、多量の土師器とともに、非日常的な要素の強い陶邑産の大甕（推定高80cm強、TK23型式~TK47型式）が出土している。これに陶邑産の坏H蓋・坏H身・無蓋高坏と、東海産・在地産の高坏が加わる。

堰状施設が築かれた第2地点からは、陶邑産の坏H身（TK47型式）と東海産の壺・甕・甕の破片が発見されている。一方、第6地点では陶邑産の坏H蓋・坏H身が出土している。両地点ともに、坏類が堰状施設に意図的に絡ませられたような状態で検出されている。

第3地点からは、故意に破砕された陶邑産の樽形甕（TK83=TK73併行段階）の破片が、大溝

内に撒かれたような状態で検出されている。

最南端の第7地点では、東海産の甕（5世紀後半代）が主体で、他の地点とは様相を異にする。また、最北部の第1地点では、6世紀代の東海産高坏と7世紀代の在地産の須恵器が出土しているが、北側直近の銭塚遺跡の影響が考えられる。

関東の地において、5世紀代の須恵器は出土数が少ない。一般的には未だ普及していないもので、限定的な出土にすぎない。このような状況から、集落に居住する一個人によって入手・所有していたとは考え難く、地域首長の介在が予想される。そこで、多量の初期須恵器を出土した城敷遺跡は、地域首長と密接な関連をもっていた集落と位置付けることができる。このことは、16棟もの掘立柱建物跡や扉板・長さ3mの梯子を始めとする建築部材、多量の滑石製品等からも、富裕な集落であったことが推測される。

このように、地域首長と密接な関連をもっていた富裕な集落であるが故に出土する初期須恵器であるが、その出土と住居跡規模には相関関係が成立しない。そのため、富裕層が所有した高級品の一つという扱いもできない。その一方で、この相反する所有形態から、初期須恵器には非日常的な特別な器としての用途・性格が想定される。その一例として、大溝第2・6地点では須恵器坏類と堰状施設との関連が想定され、また第3地点の故意に破砕されたような状態で出土した樽形甕と

第4地点の大甕から饗宴が連想させられる。この場合、須恵器には祭祀具としての意味合いが推測され、大溝(河川)・水に関わる何らかの祭祀が執り行われたことが想像される。

城敷遺跡では、Ⅱ期のMT15型式の須恵器は出土していない。ところが、南西約2kmに所在する桜山窯跡群からは、埴輪窯跡17基・埴輪工房跡3軒と、Ⅱ型式第1段階～第2段階の6号須恵器窯、Ⅱ型式第2段階(～第3段階)に位置付けられている8号須恵器窯が発見されている。しか

3. 滑石製品の製作について

城敷遺跡では、古墳時代中期後半以降の集落に伴って、2箇所の滑石製品集中地点と8軒(第2・7・12・15・34・37・49・91号住居跡)の滑石製品工房跡が検出されている。これらの遺構からは、剣形模造品・有孔門板・白玉等の滑石製模造品とともに、滑石製品の製作途上の破損品・剥片が多数出土している。剣形模造品・有孔門板・白玉等の製作途上剥片類の混在が予想されるが、明確に分離することは困難な作業である。そこで、小剥片が多いことから、白玉製作に関わる剥片と仮定し、整理を行った

滑石製白玉の製作工程については、篠原祐一(1995)・平尾和久(2005)らによって、復元案が示されている。

平尾案では、原石→方形板状加工品→板チョコ状加工品→方形チップ→白玉という工程が想定されている。しかし、城敷遺跡から発見された製作途上品・剥片類には、方形板状加工品や板チョコ状加工品に相当するようなものがみられない。

篠原案は、棒状に加工した石材(形割工程品)から白玉を製作するもので、反町遺跡で復元された管玉の製作工程にも通ずる点が多い(赤熊2011)。また、出土した製作途上品・剥片類には、各工程段階に相当するものが含まれている。

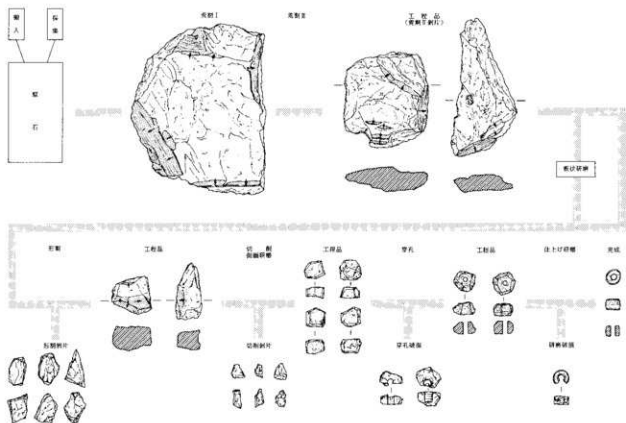
篠原が復元した工程を、第342図に転載した。

し、桜山窯跡で製作された須恵器は、城敷遺跡・銭塚遺跡ではみつかっていない。また、隣接する反町遺跡第4号埴(前方後円埴)からは、群馬県藤岡産のTK47型式併行の須恵器無蓋高環が発見されている。このように、陶邑産・東海産の搬入という一方的な供給ルートから、地方窯の出現によって供給体制が複雑になっていく。残念ながら、城敷遺跡ではこれを検証できる資料がなく、集落自体も終焉を迎えてしまう。

概ね、荒削Ⅰ(原石を持ち運べる大きさにする)→荒削Ⅱ(方形・長方形を意識した割り出し)→形割(白玉が取れる大きさに分割)→切削・側面荒研磨(長さ0.7～0.4cm×厚さ0.5～0.3cmほどの多角柱に切り削ぐ+研磨)→穿孔→仕上げ研磨→完成という流れである。

城敷遺跡から出土した滑石剥片類については、残存する大きさ・形状等を各工程段階に照らし合わせながら分類した。荒削段階の工程品・剥片と形割工程品は検出されていないが、分選段階での見識不足のため、認識できなかったものが存在する可能性がある。工程ごとに、工程品(工程完成品)と剥片・破損品が発生する。そこで、滑石剥片類を形割剥片・切削工程品・切削剥片・穿孔工程品・穿孔時破損品(穿孔破損)・穿孔後破損品(仕上げ研磨破損)・未成品に分類した。

形割剥片と切削剥片の区別には、「長さ・幅1.0cm、重さ0.1g」という大きさ・重さの基準を設けた。いずれかの条件が基準値を超えるものを形割剥片、いずれの条件も基準値に満たないものを切削剥片と定義した。穿孔時破損品・穿孔後破損品の区別は、上下面の研磨痕の有無を基準とし、研磨痕がみられるものを穿孔後破損品と定義した。また、穿孔時破損品側面には加工痕の有無が認められる。これは形割工程での微調整クズり痕もし



第342図 白玉製作工程復元図 (藤原1995より転載)

くは切削・側面研磨工程の研磨痕と思われるが、粗い状態である。

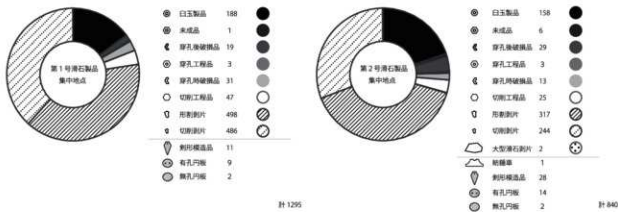
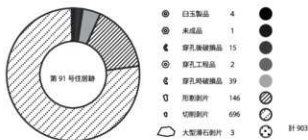
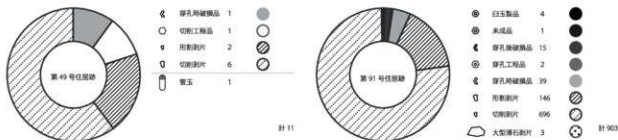
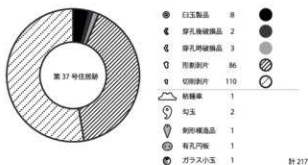
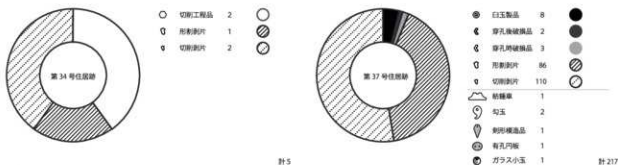
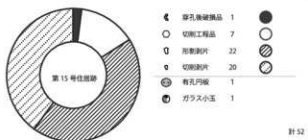
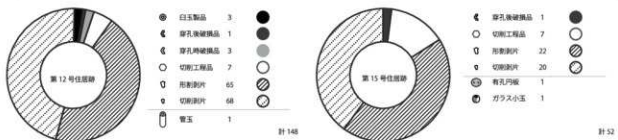
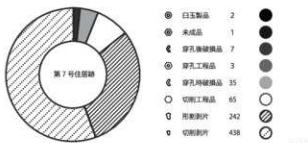
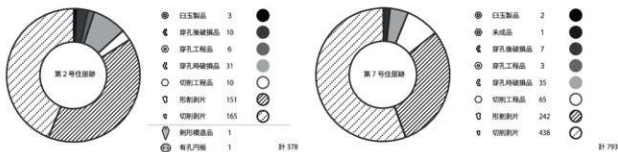
第1・2号滑石製品集中地点と8軒の工房跡から出土した滑石剥片類は、分類した個体数と割合を遺構ごとにグラフ化した(第343図)。「銭塚Ⅱ/城敷Ⅰ」(第369集)で報告した第91号住居跡の資料については、同様の基準に基づいて再分類を行った。その結果、出土した個体数から工房跡を3群に分割することができ、それぞれの群ごとに異なる特徴を捉えることができた。

まず、第34・49号住居跡は、製品・剥片類を合わせても10点以下である。通常の住居からは出土しない滑石工程品・剥片が存在するが、個体数は極端に少ない。工房としての機能に疑問が生じ、工房の定義について検討を要する。

次は、50～400点の第15・12・37・2号住居跡である。それぞれがⅢ期・Ⅳ期新古段階に振り分けられ、滑石工房として平均的な様相を示してい

る可能性がある。共通点として、形削剥片と切削剥片の点数がほぼ同じである。一方、穿孔前後段階の破損品に着目すると、第12・15・37号住居跡の2%に対し、第2号住居跡は12.5%である。第2号住居跡は他の3軒よりも資料点数が多い。集落最盛期と連動して量産体制を要したが、工人の技術が追い付かず、慎重な作業が求められる穿孔段階の欠損品を生じさせたという解釈ができるかもしれない。

最後は、第7号住居跡と第91号住居跡である。剣形模造品・有孔円板等は含まれず、白玉関連の資料で占められている。製品を含めて第7号住居跡が793点、第91号住居跡が903点を数える。第7号住居跡では、切削剥片が形削剥片の約1.8倍、穿孔前後段階の破損品の割合は5.6%である。第91号住居跡は、切削剥片が形削剥片の約4.8倍、穿孔前後段階の破損品の割合は6.2%である。切削剥片と形削剥片の割合が、第15・12・37・2号



第343図 滑石剥片類の分類グラフ

住居跡とは大きく異なっている。

一方、第1・2号滑石製品集中地点では、第15・12・37・2号住居跡の特徴と第7・91号住居跡の特徴を折衷したような数量割合を示している。

第1号滑石製品集中地点は、剣形11点・有孔円板9点・無孔円板2点・白玉完成品188点を含み、総数1295点を数える。切削剥片と形割剥片はほぼ同数で、穿孔前後段階の破損品の割合は4.2%である。

第2号滑石製品集中地点は、剣形28点・有孔円板14点・無孔円板2点・白玉完成品158点・紡錘車1点を含み、総数840点を数える。形割剥片は切削剥片の約1.3倍で、穿孔前後段階の破損品の割合は5.7%である。

このように、分類した個体数とその割合から、城敷遺跡における滑石製品製作の傾向を窺うことができる。一つは、切削剥片と形割剥片の割合がほぼ同数から1.8倍未満で、形状の小さな切削剥片が圧倒的に多いという予想とは異なる結果が得られた。しかし、第91号住居跡は切削剥片が形割剥片の約4.8倍で、他の工房跡の傾向とは異なる。ただし、第91号住居跡は資料化の条件が異なり、これが影響した可能性も否めない。

次は、穿孔前後段階の破損品の割合が2～6%代で、きわめて完成度が高いことである。例外的な第2号住居跡でも12.5%で、極端な高数値を示しているわけではない。

以上のように、製作途上の剥片類は分類できたが、各工程段階で使用されていた工具類は発見されていない。篠原は、形割工程では鉄製工具（敲打具）、切削工程では刀子・鑿状の鉄製工具、穿孔工程では舞錐状の穿孔具を想定している。これに研磨時の砥石等も製作工具として考えられる。また、分類時の見識不足に起因するかも知れないが、荒削段階の工程品・剥片と形割工程品が検出されていない。このように、城敷遺跡では工具類の同伴や荒削段階の工程品・剥片がなく、滑石製品製

作を復原する上では、大きな弱点である。

滑石製品は宝器的・呪術的な要素をもつことから、支配者層の所有物と考えられている。そのため、滑石製品の製作集団も、支配者によって管理されていたものと推定されている。滑石製品の製作において、原石の確保は重要な要素のひとつであるが、製作地と原石産出地が必ずしも近接しているわけではない。原石産出地では有益な資源として確保・管理を要し、非産出の製作地では原石を入手する必要が生じる。そこで、産出地と製作地との交渉が必要となり、それぞれを掌握した支配者が交渉にあたったと推定されている（篠原1995）。

城敷遺跡では、近隣に原石産出地がなく、他地域から持ち込んで製作していた。そして荒削段階の工程品・剥片がみられないことから、荒削された工程品が原材料として持ち込まれていた可能性が考えられる。不用な部分を含む大型の原石を運搬する労力や、最初の荒削工程を省くことができる。産出地においても、荒削り工程を施して形状の均一化を図ることにより、管理を容易にし、製品価値も上げていたことが想像される。

城敷遺跡の滑石製品の製作において、第1・2号滑石製品集中地点に対する評価は大きな影響を及ぼす。第1・2号滑石製品集中地点は、剣形・有孔円板・白玉等の石製模造品とともに、滑石製品の多量な未成品や製作途上の破損品・剥片等が集中的に出土している。掘り込みや上層をもたない露天状態である。また、製作関連の施設や工具類の検出がなく、工房跡と推定することもできない。もし仮に、工具類が存在していた場合には、露天での滑石製品製作が想定できる条件を整える必要がある。また、1項において、隣接する掘立柱建物と関連させた建物祭祀や廃材投棄などの案を示したが、現状では否定する状況証拠の方が優勢である。

城敷遺跡では、滑石製品の工房跡が古墳時代中

期後半～後期初頃までの段階ごとに発見されている。Ⅲ期古段階では第12号住居跡、Ⅲ期新段階では第37・91号住居跡、Ⅳ期古段階では第2・7（・34・49）号住居跡、Ⅳ期新段階では第15号住居跡が、集落規模の増減に対応した軒数の工房跡がみつかっている。このように、城敷遺跡では、集落の再開当初から終焉まで、常に滑石製品が作り続けられていた。隣接する反町遺跡では、古墳時代前期に水晶・碧玉等の玉作が行われていた。ここで培われていた製作技術と伝統が、城敷遺跡での滑石製品の製作の背景にあったと考えることは飛躍しすぎた考えではないだろう。

一方、滑石製品の製作については支配者による管理が想定されているが、流通・配布についても同様の構図が考えられる。当初は、支配者層によって独占されていたが、古墳時代中頃以降には一般集落まで消費地が拡大したとされる。城敷遺跡の滑石製品の製作は、消費地が拡大する段階に合致する。ただし、原石産出地ではない城敷遺跡では原石確保という最大の課題があり、生産は地域首長によって管理され、その下で消費されていたと思われる。自ら製作した製品を、自らが消費す

4. 大溝と木製品の出土状況について

城敷遺跡では、7地点から大規模な溝跡が発見されている。各地点の規模や覆土の堆積状況、出土遺物の種類・時期などには類似点が多いことから、同一の大溝跡と判断され、第4号溝跡と報告した。この大溝は、古墳時代の集落のなかを縫うように蛇行していた自然河川跡と推定される。

ルートを復元すると、最西端の第4地点を始点に、西側から遺跡内に流れ込む。第4地点では、北西から北東へ向かう上弦の弧を描き、北上する。途中、第2地点を経由し、第1地点に至る。ここで屈曲して南方へ向きを変え、第3地点に向かう。その後、第5地点→第6地点→第7地点の順に緩やかに蛇行しながら南下し、調査区南端部で西側

る地産地消・自給自足的な生産構造とは異なる。

城敷遺跡では、大溝第3地点から故意に破砕してその破片を撒いた須恵器樽形甕とともに、有孔円板2点が出土している。第6地点では、剣形模造品6点、単孔の有孔円板5点、碧玉製管玉・ガラス玉・滑石製紡錘車と、鉄鎌・刀子・木鎌・木製槽3点・腰掛2点が検出されている。穂積裕昌によって祭祀で供せられる物品構成が分類されているが（穂積2009）、剣形模造品・有孔円板・管玉・ガラス玉・紡錘車・鉄鎌・刀子・木鎌は「奉祭品」、木製槽は「供献用具」、腰掛は「祭具」もしくは「神座・表示の用具」に相当するものと思われる。また、共存した須恵器坏類を始めとした多数の土師器も供献用具に含まれるであろう。このように、城敷遺跡では、滑石製品が祭祀具として使用されている。

城敷遺跡における滑石製品の生産と消費の関係をみると、常に滑石製祭祀具を必要としていた集落とすることが可能であろう。初期須恵器の出土と関連させて考えると、大溝に関わる祭祀が執り行われていたことが予想される。

に抜けていく（第215図）。

城敷遺跡では、大溝（河川）の流れを自然に任せていたわけではない。堰状施設や護岸施設、河川敷のようなテラス部等の土木事業によって、人工的に流路をコントロールしていた痕跡が各所に残されている。特にテラス部は、検出された第2地点～第6地点に加え、始点・終点の第4地点・第7地点でも設置されている可能性が高い。大溝に沿って延々と、長距離にわたる大規模な土木工事が竣工されている。また、河川岸への昇降施設や祭祀の場等の諸施設も設けられている。このように、城敷遺跡では大溝を管理し、集落に住む人々の生活のために積極的に活用していた。

第4地点における木製品の出土状況 (第344図)

第4地点は、北西から流入して北東方向へ向かう屈曲点にあたる。遺物は全域に分布し、土師器・須恵器とともに、多量の木製品が出土している。木製品のひとつに建築部材の扉板があり、扉が設置された建物が存在していたことを示している。

木製品は大型品が多く、流路方向に長手方向に沿わせたような状態で発見されている。ごく一部を除き、整然とした出土状況には、人為的な関与が想定できる。その一方で、杭を打ち込んだような状況が確認されていないことから、流木が流路屈曲部に集まったものと捉えることもできる。しかし、相伴した須恵器・土師器の器面には水流による摩耗はみられず、大溝の中を流れていたとは考えられない。木製品も同様で、長手方向を揃えた出土状況は、人為的な関与が施された可能性が高い。一案として、流路屈曲点外側にあたることから、水流の浸食から岸辺を保護するための護岸を目的として長大な木製品を設置したことが考えられる。また、出土した木製品には二次転用されたものが多いことから、再加工のための水漬け行為も想定される。

木製品とともに出土した須恵器は、5世紀代の初期須恵器である。多くは陶邑産と推定され、当時はたいへん貴重なものである。大甕から饗宴、坏・高坏から供献という祭祀的な行為が連想される。また、水流による器面の摩耗がみられない多量の土師器は、碗坏類・高坏、埴・壺・甕など多種に及んでいる。さらに、滑石製剣形模造品・碧玉製管玉からも祭祀的な要素を垣間見ることができる。

第2地点における木製品の出土状況 (第345図)

第2地点では、兩岸にテラス部が設けられている。テラス部は大溝本流路との比高差を和らげ、水流の生活利用を容易にした工夫と捉えられる。また、増水時には流水容積として加わり、水害対策の一手段と推定される。さらに、テラス部の掘

削により発生した土壌は、集落側に堤状に積み上げていた可能性も考えられる。

最も上流の西岸には、階段状の昇降施設が付設されている。傾斜角24°の急斜面を階段状に整地することによって、水辺への昇降の負担を緩和していたものと推測される。また通路が特定されることは、堤状盛土の存在を類推させる。

昇降施設の下流には、大溝の流れに直交するように木製品の長手方向が揃えられた横木列が形成されている。堰状施設と推定され、流路の流れを堰き止めて、流路の水位を調節する機能が想定される。堰状施設によって昇降施設のある上流部の水位を上げることによって、取水や水場作業の環境を整えたのであろう。

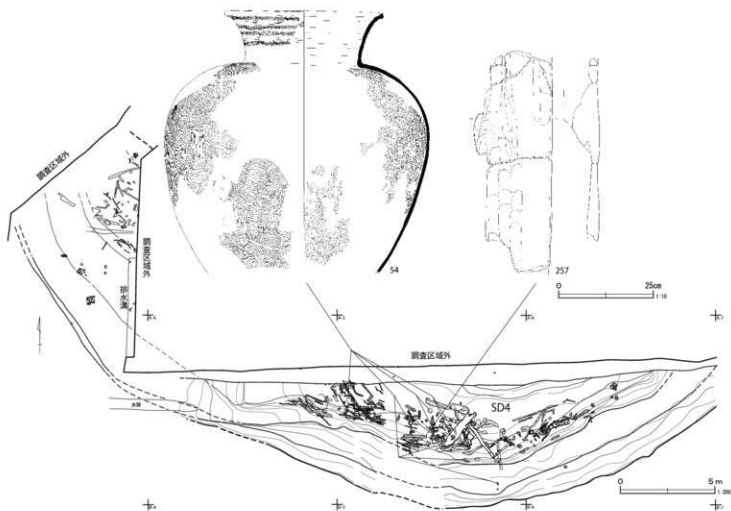
堰状施設の下流には、流路方向に長手方向を揃えた木製品が配されている。北端部では杭を打ち込んでこれらの木製品を固定していた状況も検出され、護岸の機能が想定される。

このように、第2地点では、テラス部・昇降施設とともに、長大な木製品によって構築された堰状施設・護岸施設が設けられている。これらの構築材には、柱材・梁材・垂木・楣等の建築部材が多く転用されている。このなかで、楣は扉板と同様に、扉が設置された建物の存在を示している。また、貴重な木製の四脚槽・曲物底板・輪鏝と須恵器坏H身等の相伴状況を、祭祀的な要素と捉えることが可能かもしれない。

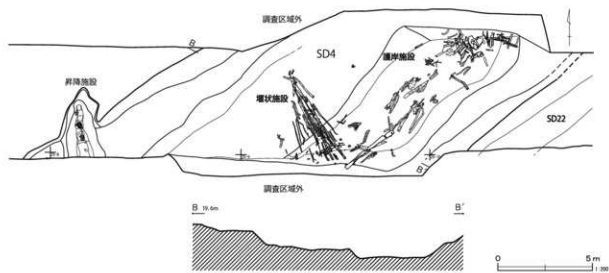
第1地点における木製品の出土状況 (第346図)

第1地点は、第2地点→第1地点→第3地点へと下弦の弧を描きながら繋ぐ頂点に位置する。

住居跡が多く分布する南側には、テラス部が設けられている。流路内には、長さ8m以上もある流路の南岸から北岸まで届くような大木が横たわっていた。「橋」を想起して精査を行ったが、橋脚等の橋を支えたような痕跡は発見されなかった。また大木自体も捻じれた形状で、橋桁としての利用は考え難い。次に反町遺跡第48号溝跡で発見



第344图 第4号沟跡第4地点遺物出土状況



第345图 第4号沟跡第2地点遺物出土状況

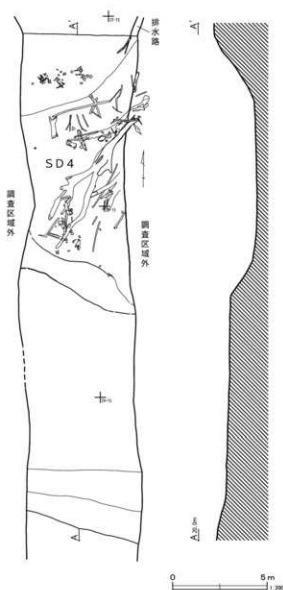
されたような堰堤も想起されるが、支保工・棟木・矢板等の構造は検出されていない。また、流路際に自生していた樹木が、何らかの原因によって流路内に倒れ込んでしまった可能性も考えられる。

大木の西側に近接して、木製品と5世紀代の須恵器(高坏・東海産)・土師器が出土している。木製品には腰掛の脚・紡織具と、柱材・垂木・桁梁材など建築部材がある。建築部材は、1m前後に切断されたものが多く、大木に対して直交するような位置関係で出土している。

大木の東側には少量の木製品が散在し、農具の作業台1点・弓1点を除き、ほかは建築部材で占められている。木製品の多くは、大木に平行するような位置関係にあり、西側との相違が目される。また、大木の下から、長さ3mの梯子が発見されている。この梯子を必要とする建造物は、櫓や高床建物などの相当な高さをもつ大規模なものに限定される。高床建物の場合、豪族居宅や祭殿などの特別な建造物が想定される。この梯子の存在は、城敷遺跡のなかにこの長大な梯子を必要とする大型建造物が建立されていたことを示唆している。さらに、共伴した土師器は銭塚・城敷Ⅲ期段階のものであるが、仮器化された胴部焼成前穿孔の甕が含まれている。

大木を挟んだ東西で相違する木製品の出土状況には、人為的な関与が連想される。一案として、本来は大木を芯材として、西側の上流面を矢板材、東側の大木付近を棟木材とした堰堤施設で、撤去もしくは壊れた残骸と想定される。

また、出土した木製品のなかに、漆の樹液が採取された漆原木が検出されている。放射性炭素年代測定では、6世紀末～7世紀前半に位置付けられる。また、北岸付近から小振りな坏や長胴甕等の7世紀代の土師器が出土し、城敷遺跡の集落が途絶えた後にも大溝が流れていたことを物語っている。



第346図 第4号溝跡第1地点遺物出土状況

第3地点における木製品の出土状況(第347図)

第3地点は北から南へ流下し、住居跡の所在する西側にテラス部が設けられている。

遺物は、大半のものが溝底付近から出土し、木製品は他地点と比べると点数が少ない。容器の槽と、建築部材の板材・柱材、これを再加工した杭等がある。長尺な建築部材の長手方向が流路方向と一致するなどの注視すべき状況が見受けられるが、出土量が少ないため、人工的な施設の痕跡を推測することは難しい。

土器類は、陶邑産の須恵器坏H蓋・樽形甕と、

完形率の高い土師器環・高環、赤彩された土師器鉢・壺が共存している。樽形甕はTK83型式(TK73型式併行)と推定される古式なもので、南北約6mにわたる範囲から破片がみつまっている。これらの破片の出土地点と部位には規則性がなく、人為的に破砕した破片が大溝の中に投棄されたような状態であった。また、完形品の土師器環蓋模倣5点が、西岸テラスから投げ込まれたような状況で出土している。さらに、滑石製有孔円板や、小型環のなかから有孔円板の形削り工程品の可能性をもつ扁平な滑石片3枚が検出されている。これに加えて、木製容器の槽も伴出している。

このような樽形甕の破砕・投棄行為と、祭祀遺物の有孔円板、完形率の高い土師器環蓋模倣、木製槽などが集中した出土状況から、水に関わる何らかの祭祀が執り行われたことが推定される。須恵器・土師器・木製槽は供献用具、有孔円板は奉祭品として祭祀で供せられたものと考えられる(穂積2009)。祭祀行為の最後に、樽形甕は破砕し、破片を大溝の中へ撒いたものと想定される。

第5地点における木製品の出土状況(第348図)

第5地点は、第3地点を経由した流路が、北から南へ流下する。第3地点と同様に、住居跡の所在する西側にテラス部が設けられている。

遺物は、東半の本流部からの出土である。溝底付近から木製品が出土し、東側の壁斜面には古墳時代前期～中期の土師器が集中する。また、西側のテラス部から本流に至る肩部付近から、県内でも出土例の少ない袋状鉄斧と土師器甕・埴が、意図的に配されたように伴出している。

本流部溝底付近から出土した木製品は、流路方向と長手方向が揃っている。検出範囲が狭いため不明な点が多く、目的をもって配置した痕跡の有無の判断は難しい。しかし、無造作に大溝の中に投げ入れたものとは考えがたい。少なくとも、流路方向と木製品の長手方向を揃えて、落とし入れたものと推定される。木製品の出土量も決して多

くはないが、他の地点と比較すると、農具や容器・火鏝白などの木製品類が目立ち、建築部材が少ない。特に農具では、諸手鎌の未成品2点と鎌柄・田下駄などが注目される。諸手鎌の未成品は、城敷遺跡で木製品が製作されていたことを裏付ける資料である。また、製作途上の乾燥を防ぐため、水漬けを行っていた可能性も考えられる。

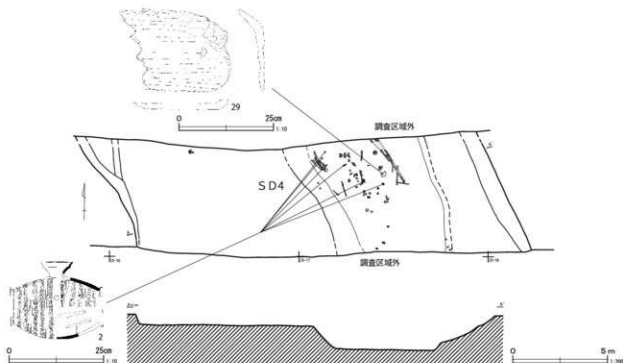
第6地点における木製品の出土状況(第349・350図)

第6地点は、北東から調査区域に流れ込み、カーブを描きながら南西方向へ抜ける。東岸にはテラス部が形成されているが、掘り込みラインが河川流路とは平行せずに南北方位をとる。北端付近には昇降施設が設けられている。

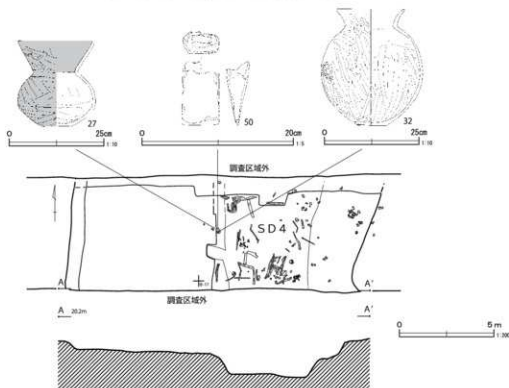
遺物は、流路内からの出土が大半である。テラス部・昇降施設が付設された東側よりも、住居跡・掘立柱建物跡が群集する西側に多い。須恵器・土師器・石製品と多量の木製品が、E・F-14グリッドに集中して出土している。

木製品には、農具の鋤・鎌・堅杵、容器の槽・盤、一木造り・組合せ式の腰掛、木鎌がある。建築部材には柱材・板材・垂木材・梯子などのほかに、扉2点と5孔以上の円孔が穿たれた長大な板材も含まれている。これらの建築部材の出土は、城敷遺跡の集落内に相応の建造物が存在していたことを示唆するものである。なかでも、扉は一般的な建物とは「格」が異なる建造物に用いられたものである。

木製品の出土状況は、北半部では長手方向を流路方向に揃えた状態で出土している。この一群の北端に扉が位置している。一方、南半部では長尺の木製品が長手方向を流路に対して直角する方向に向いている。概ね、規模の大きな木製品を中心にして、周囲に中小の木製品が位置している。特に集中地点の中央付近では、西岸上端から川底に向かって長尺材が並んでいる。この状況が第2地点で確認された堰状施設と酷似していることか



第347図 第4号溝跡第3地点遺物出土状況

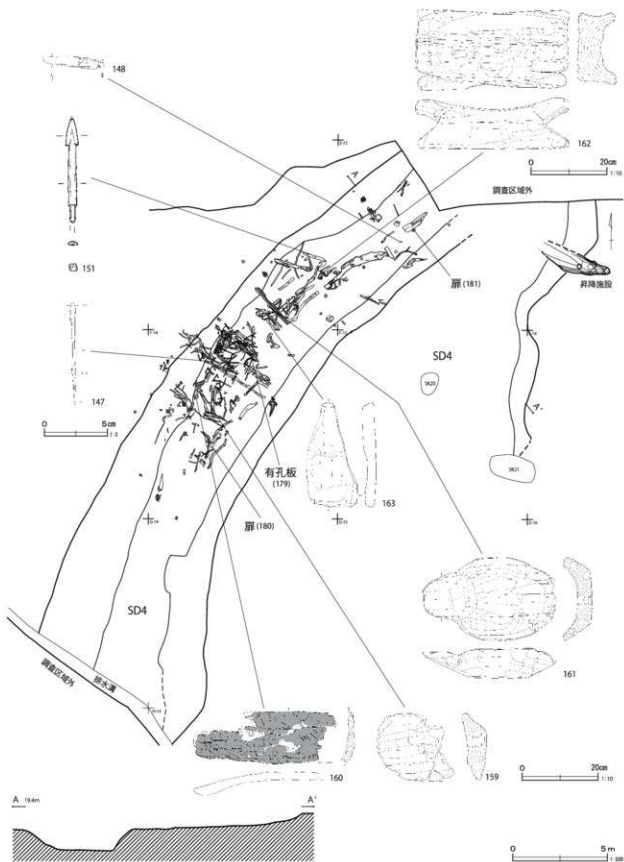


第348図 第4号溝跡第5地点遺物出土状況

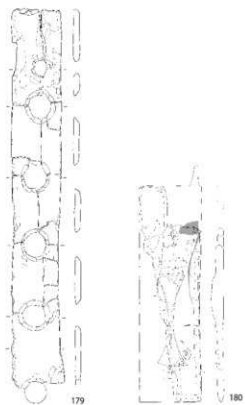
ら、しがらみ状の堰状施設と推定される。また、堰状施設と昇降施設の位置関係も第2地点と同様で、城敷遺跡では堰状施設とその上流の昇降施

設が一体の施設と想定される。

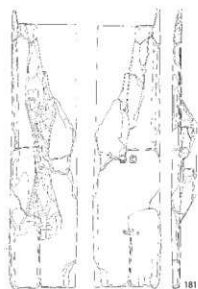
須恵器は、陶邑産の坏類で占められている。土師器は、坏類・高坏・埴が多く、壺・甕が加わる。



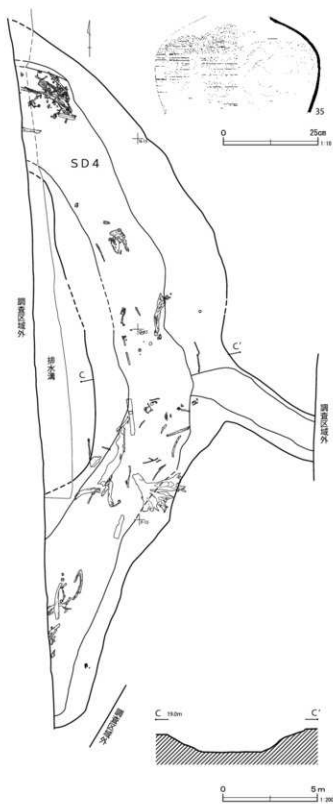
第349图 第4号沟第6地点遗物出土状况(1)



第350图 第4号溝跡第6地点遺物出土状況(2)



0 50cm
1:20



第351图 第4号溝跡第7地点遺物出土状況

鉄製品の刀子・鉄鎌と、鉄鎌を矢柄に装着する樹皮も出土している。また、滑石製の剣形模造品・有孔円板・紡錘車、碧玉製管玉、ガラス製小玉や、木製鎌等の祭祀的な遺物もみられる。滑石製品は他地点と比べて滑石製品の出土点数が多く、至近のE-12・F-12グリッドに位置する第1・2号滑石製品集中地点の影響も考えられる。さらに木製槽3点と一木造りの腰掛・組合せ式の腰掛の脚も見つかっている。これらの遺物の出土から、堰状施設付近で水に関わる何らかの祭祀が執り行われたことが予想される。祭祀で供せられた物品群として、滑石製品や玉類、刀子・鉄鎌・木製鎌を奉祭品、須恵器環類・土師器・木製槽を供献用具、腰掛を神座・表示の用具に相当すると思われる(徳積2009)。

第7地点における木製品の出土状況(第351図)

第7地点は、北西から調査区域に流れ込み、カーブを描きながら南西方向へ抜ける蛇行点にあたる。流路部分のみの検出であるが、西岸にテラス部が設けられている可能性が高い。蛇行部の頂点付近から東南東へ伸びる溝が派生し、大溝から分水した導水施設の可能性がある。分岐点の下流付近には川岸に生えていた樹木の根部が流路内に落ち込んでおり、これを基礎材とした堰状施設を予想できなくはない。しかし、その周辺には木製品が疎らに分布しているにすぎない。現状では、水嵩を調節するような堰状施設に存在は認め難く、取水口が恒常的に機能していたとは考え難い。

北端部東岸部には、建築部材を中心とした、長尺の木製品が流路方向に長手方向を揃えて密集している。これらの木製品は杭によって固定されていたことから、護岸機能が想定される。ここから、完存率の高い土師器環類・高坏・脚付鉢・甕などが出土している。また、東海産の須恵器甕が、大溝内から多数の破片となって検出されているが、陶邑産の須恵器を中心とする他地点とは様相が異なる。破片となって満遍なく出土した初期須恵器

と完存率の高い土師器には、単なる廃棄遺物ではなく、人為的な要素を窺うことができる。

木製品の出土状況を観察する意義と課題

大溝から出土した木製品の大半は、建築部材や杭、用途不明の加工材で、農具・工具・容器等の道具類は少ない。そのため、時期別・種類別に変遷過程を追うことは困難な作業である。また、木製品に残された工具痕を観察すると、二次的・三次的な加工例が多い。追次的加工に伴って新たな要素が加わるため、結果的に用途不明の木製品となっている例も多い。このような、「木製品の再利用」は、城敷遺跡ばかりではなく、埼玉県の木製品における大きな特徴でもある。

河川跡から出土した木製品については、「廃棄」と報告された例が多い。ところが、城敷遺跡では堰状施設・護岸施設と推定される木組・木列跡が確認される一方、「廃棄」を肯定する状況はみられない。流路方向に対し直交もしくは平行して壁面に沿った状況は、崩壊した堰状施設や護岸施設の痕跡と予想される。また、考古学的に証明することは難しいが、二次転用する再加工前の水漬け行為の可能性もある。これらは、河川の積極的な活用を示唆している。他の遺跡においても、木製品の出土状況を再検討し、河川に対して積極的に関与した痕跡を見つけ出す必要がある。河川のコントロールは低地開発の基本であり、出土した木製品は低地開発の成功の証といえる。

城敷遺跡では、木製品の樹種同定・放射性炭素年代測定、共伴した種子同定等の分析を進めた。これらの結果を踏まえて、森林資源・原材料の調達・生産・消費・廃棄までの木製品流通システムの復元が今後の課題の一つである。また、木製品のなかで建築部材は高い割合をもち、多数の建物遺構も発見されている。これらの資料を組み合わせることによって、当時の建築構造・建築技術等を復元することも今後の課題にあげられる。

引用・参考文献

- 赤熊浩一ほか 2011 「反町遺跡Ⅱ」埼玉県埋蔵文化財調査事業報告書第380集
- 甘粕 健 1976 「三千塚古墳群に関する覚え書」『北武蔵考古資料図鑑』校倉書房 P.139～150
- 石岡忠雄 1980 「北武蔵の玉作遺跡」『研究紀要』第2号 埼玉県立歴史資料館 P.41～74
- 磯崎 一・山本 靖 2005 「北烏遺跡ⅩⅠ」埼玉県埋蔵文化財調査事業報告書第305集
- 上原真人 1993 『木器集成図録 近畿原始篇』奈良国立文化財研究所 史料第36冊
- 太田博之 2009 「埼玉県本庄市東五十子遺跡10号住居跡出土の鉄器」『考古学雑誌』第93巻第2号 P.139～158
- 大橋信弥 1978 「支脚形土製品の系譜」『古代研究』17 P.21～36
- 尾形須敏 1999 「いわゆる「比企型環」の編年基準の要点—小地域を対象とした編年の確立に向けて—」『あらかわ』第2号 あらかわ考古談話会 P.19～35
- 尾形須敏 2008 「古墳時代後期の土師器研究の再認識—(仮称)「人間系土師器」の実態と生産地推定を例として—」『埼玉考古』第43号 埼玉考古学会 P.79～98
- 越智陽子 2009 「須恵器樽形壺の編年とその祖形」『古代学研究会』182号 古代学研究会 P.39～48
- 金井塚良一 1979 「比企地方の前方後円墳—北武蔵の前方後円墳の研究(1)」『研究紀要』第1号 埼玉県立歴史資料館 P.113～159
- 亀田修一編 2003 『考古資料大観 第3巻 弥生・古墳時代 土器Ⅲ』小学館
- 菊地 真 2007 「西浦ノ野本氏館跡/山王夷/銭塚」埼玉県埋蔵文化財調査事業報告書第340集
- 菊地 真 2007 「都幾川下流域の埋没微地形と遺跡立地(予察)」『研究紀要』第22号 埼玉県埋蔵文化財調査事業報告書 P.61～70
- 菊地 真 2009 「都幾川下流・早稲田地の埋没微地形と遺跡立地」『人文科学研究』第125輯 新潟大学人文学部 P.1～13
- 北武蔵古代文化研究会他 1987 「第8回三県シンポジウム 東国における古式須恵器をめぐる諸問題」北武蔵古代文化研究会・群馬考古学研究会・山由川水系古代文化研究所
- 黒坂資裕ほか 2010 「出土建築部材における調査方法についての研究報告」独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所
- 小郷利幸 2001 「津山市日上畷山古墳群出土の樽形」『年報 津山弥生の里』第8号 津山市教育委員会・津山弥生の里文化財センター P.38～55
- 財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所編 1994 「古代における農具の変遷—稲作技術史を農具からみる—」財団法人静岡県埋蔵文化財調査研究所設立10周年記念シンポジウム・第4回東日本埋蔵文化財研究会・第2回東海考古学フォーラム
- 埼玉県教育委員会 1994 『埼玉県古墳詳細分布調査報告書』
- 酒井清治 1999 「陶器 TK87号出土の樽形壺土器の再検討—樽形壺の可能性を求めて—」『人類史研究11』 P.117～122
- 酒井清治 2004 「須恵器生産のはじまり」『国立歴史民俗博物館研究報告』第110集 P.339～365
- 坂本和俊 1990 「関東1 東京・埼玉・神奈川」『古墳時代の研究 第11巻』雄山閣出版 P.79～98
- 藤原祐一 1995 「白土研究私論」『研究紀要第3号』財団法人栃木県文化振興事業埋蔵文化財センター P.17～49
- 藤原祐一 2000 「石製模造品の諸問題」『奈良国立文化財研究所埋蔵文化財センター埋蔵文化財発掘技術者特別研修 信州型連遺跡調査過程』P.44～79
- 高田敏男ほか 2010 「遺跡出土の建築部材に関する総合的研究 シンポジウム「出土建築部材の調査方法と視点」の記録」独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所
- 高田敏男ほか 2010 「遺跡出土の建築部材に関する総合的研究」独立行政法人国立文化財機構奈良文化財研究所

- 白石太一郎 1985 「年代決定論(2)」[岩波講座 日本考古学1 研究の方法] 岩波書店 P.217~242
- 鈴木孝之 1991 『代正寺・大西』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第110集
- 宅間清公 2005 『北島遺跡X 1』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第303集
- 竹中大工道具館 1985 『竹中大工道具館 展示解説』
- 田辺昭三 1966 『陶邑古窯址群 I』 平安学園考古学クラブ
- 田辺昭三 1981 『須恵器大成』 角川書店
- 富田和夫 2005 「東松山市域敷・銭塚(第2次)遺跡の調査」[第38回遺跡発掘調査報告会発表要旨] 埼玉考古学会
- 富田和夫・山本靖 2010 『銭塚Ⅱ/城敷Ⅰ』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第369集
- 中村倉司 1989 「関東地方における甕・大型甕・須恵器出現期の地域差」[研究紀要] 第6号 財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団 P.95~124
- 中村倉司 1999 「埼玉県における5世紀代の土器—和泉式土器の行方—」[東国土器研究] 第5号 東国土器研究会
- 中村 浩 1994 「泉州における遺跡の調査 I 陶邑Ⅷ」 大阪府文化財調査報告書第46輯
- 中村 浩 1995 『須恵器集成図録 第1巻 近畿 I』 雄山閣出版
- 中村 浩 1999 『古墳時代須恵器の生産と流通』 雄山閣出版
- 中村 浩 2001 『和泉陶邑窯出土須恵器の型式編年』 芙蓉書房出版
- 福田 聖 2009 『反町遺跡 I』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第361集
- 藤野一之 2009 「Hr-FAの降下年代と須恵器歴年代」[上毛野の考古学Ⅱ] 群馬考古学ネットワーク編 P.69~78
- 平尾和久 2005 『滑石製白玉の製作工程』[古文化誌叢] 第55集 九州古文化研究会 P.129~144
- 町田章・上原真人編 1985 『木器集成図録 近畿古代篇』 奈良国立文化財研究所 史料第27冊
- 水口由紀子 1989 「古墳時代後期における土師器の一分析—元荒川以南の武蔵を事例にして—」[東国土器研究] 第2号 東国土器研究会 P.163~177
- 水口由紀子 1989 「いわゆる“比企型甕”の再検討」[東京考古] 第7号 P.119~138
- 水村孝行ほか 1982 『松山窯跡群』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第7集
- 宮本長二郎 2001 『原始・古代住居の復元』[日本の美術] No.420至文堂
- 宮本長二郎 2007 『出土建築部材が解く古代建築』[日本の美術] No.490至文堂
- 山田昌久編 2003 『考古資料大観 第8巻 弥生・古墳時代 木・繊維製品』 小学館
- 山本 靖 2005 『北島遺跡X』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第302集
- 山本 靖 2008 『諏訪木遺跡Ⅲ』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第351集
- 山本 靖 2011 『掘り出された古墳時代の木器—北島遺跡とその周辺—』[平成22年度東京・神奈川・埼玉埋蔵文化財普及連携事業 公開セミナー 発掘された木器からわかること] 財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団 P.10~16
- 吉田 稔 1991 『小敷田遺跡』 埼玉県埋蔵文化財調査事業団報告書第95集